

177-43

理地國帝

京東  
允發店書堂省三

明治  
38 2 24  
丙交

辯言

本書の稿を脱せしは去る明治三十六年の春なりき、此時第五回勸業博覽會の開設ありて、本邦産業上の變化を知る好機なるを以て、稿を携へて大阪に遊び、各府縣事務官諸氏の懇篤なる指導を仰ぎたれば、本書の面目は爲に一新するに至れり、故に本書の内容は博覽會事務官諸氏の力による所多く、教材の排列は専ら著者の經驗に基くと雖、學友諸君の助言による處亦少からず、記して茲に好意を謝す

著者識

凡例

一本書は、中等教育の教科書たらんしめんが爲に編纂したるものなり  
 一本書は、初等教育との連絡を保たんが爲、地形の分割及地名の發音等  
 は概ね文部省編纂の國定教科書と一致せしめたりと雖、記述の順序  
 幾分か異なる處あり  
 一山川都邑等の左側に加へたる數字は「高さ」長さ及「人口」を示せるもの  
 にして「高さ」は尺を以て表し「長さ」は里を以て表し「人口」は萬を單位と  
 して表したり  
 一天産物製造物等の比較は概最近三年間の統計によりて其平均數を  
 採りたり  
 一各地方誌の終に添へたる表は、單に本書の概括に供する爲にして「高  
 さ」「山」「長さ」「河」「人口」多き都邑を順序に擧げしに非ず、故に高きを措きて  
 低きを擧げ多きを捨て、少きを載せたる所亦少からず

最近帝國地理目次

總論

地球

日本帝國

地方誌

關東地方

地形

(交通)

東京府 神奈川県 千葉縣 埼玉縣

群馬縣 栃木縣 茨城縣

奥羽地方

地形

交通

福島縣 宮城縣 岩手縣 青森縣 秋田縣 山形縣

本洲中部地方……………四三

地形 交通

山梨縣 靜岡縣 愛知縣 岐阜縣 長野縣 新潟縣

富山縣 石川縣 福井縣

近畿地方……………六八

地形 交通

滋賀縣 京都府 奈良縣 三重縣 和歌山縣 大阪府

兵庫縣

中國地方……………八六

地形 交通

岡山縣 廣島縣 山口縣 島根縣 鳥取縣

四國地方……………九七

地形 交通

地形 交通

德島縣 香川縣 愛媛縣 高知縣

九州地方……………一〇七

地形 交通

福岡縣 佐賀縣 長崎縣 熊本縣 大分縣 宮崎縣

鹿兒島縣 沖繩縣

臺灣……………一二六

地形 交通 住民

西部地方 東部地方 澎湖諸島

北海道……………一三三

地形 交通 住民

西部地方 南部地方 北東部地方 千島地方

近海諸島……………一四四

插論

地形及近海……………一四九

氣候及天産……………一五一

生業及産物……………一五三

商業及貿易……………一六〇

交通及都會……………一六二

住民及政治……………一六四

最近帝國地理目次畢

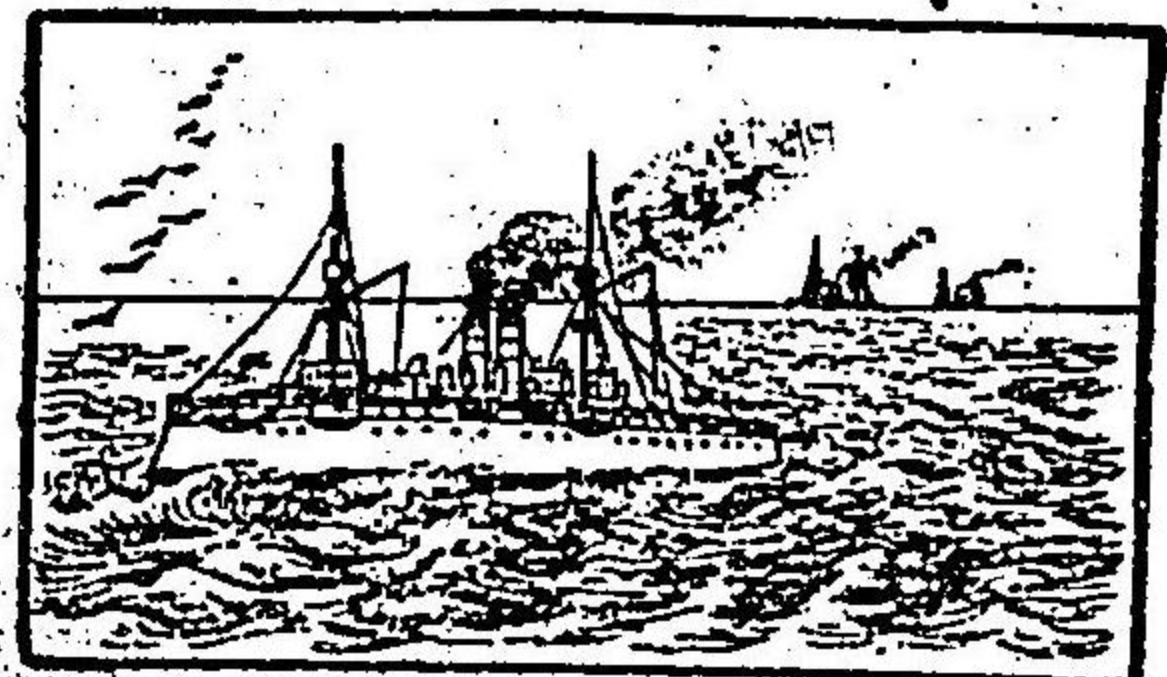
最近帝國地理

總論

地球の腰息する地球は、其形殆球の如し、故に高きに登るに従ひ眼界益廣く、又船の海岸に近づくときは、次第に

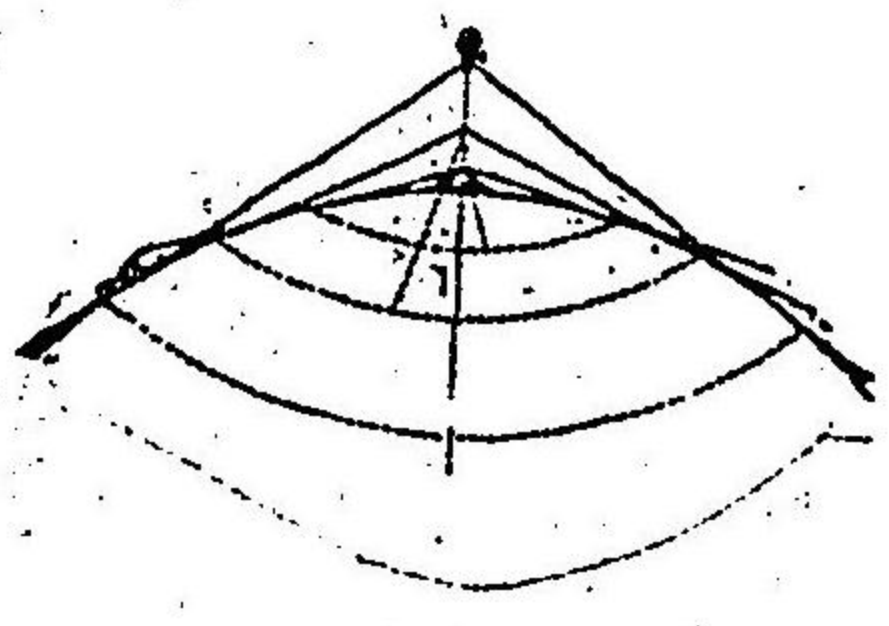
其上部より現るゝものなり。

地球は、常に太陽の周圍を運行し、又自、西より東に回轉す。此回轉の軸と想像せらるゝ線を地軸といひ、兩端を北極南極といふ、此地球面には、數多の虚線を設く。



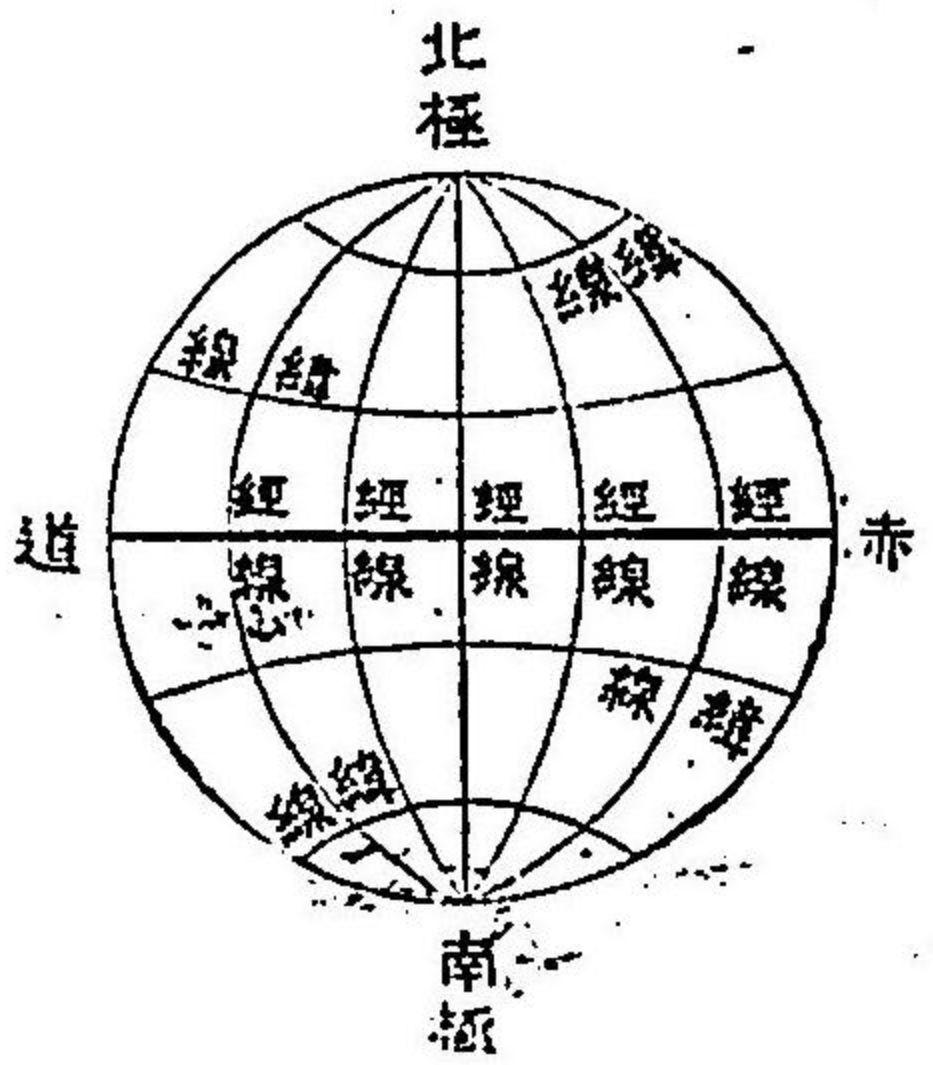
一 高さにより眼界の廣狭異なる有様を示す

二 船の沖にあるときは上部のみ現はるれども漸く近づくときに見るに全體を示す



總論 地球

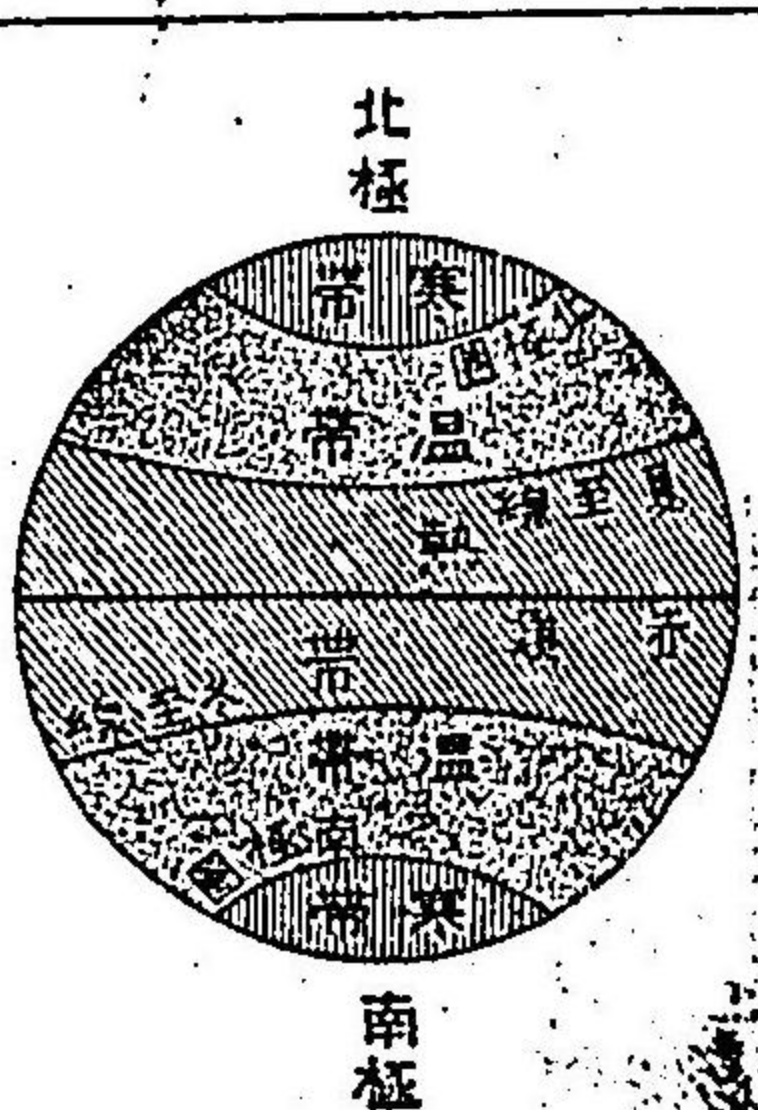
圖三 赤道緯度線經度線を示す



赤道 兩極の中間を東西に引きたる線  
緯度線 赤道と並行に引きたる數多の線  
經度線 赤道と直角に引きたる數多の線  
赤道の南北凡二十三度半の處にある  
線を北回歸線(線夏至)南回歸線(線冬至)とい

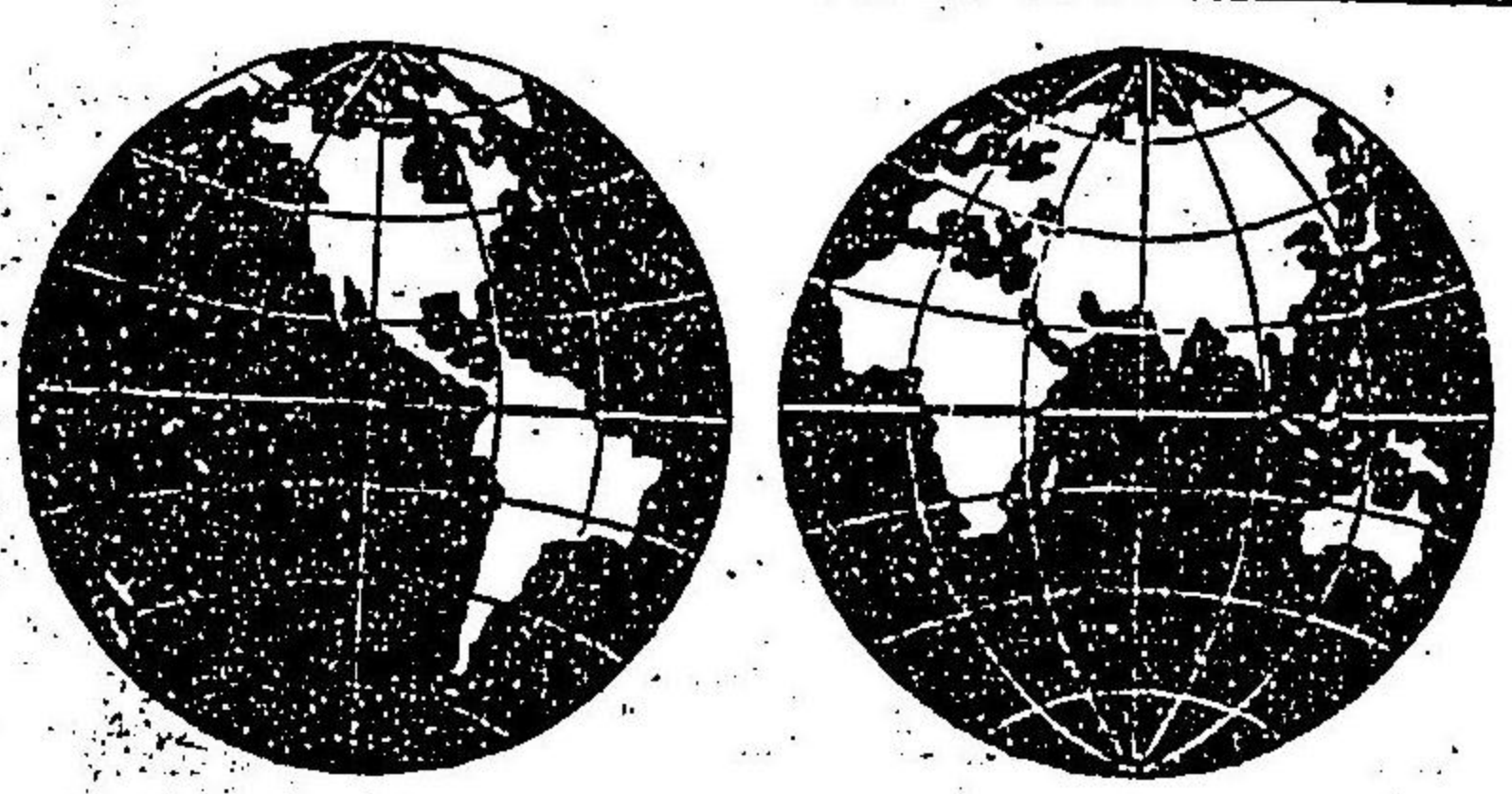
圖四 熱帶溫帶寒帶の別を示す

ひ、兩極より凡二十三度半の處にある  
線を南極圈北極圈といふ、兩回歸線の  
間は熱帶と稱して甚だ暑く、兩極圈内  
は寒帶と稱して寒さ強く、熱帶と寒帶  
との間は溫帶と稱して頗る溫和なり。  
地球表面の有様を模型に作りたるを地球儀といひ、平面に  
示せるを地圖といふ、地圖には、地球全部を示すもの、地球を

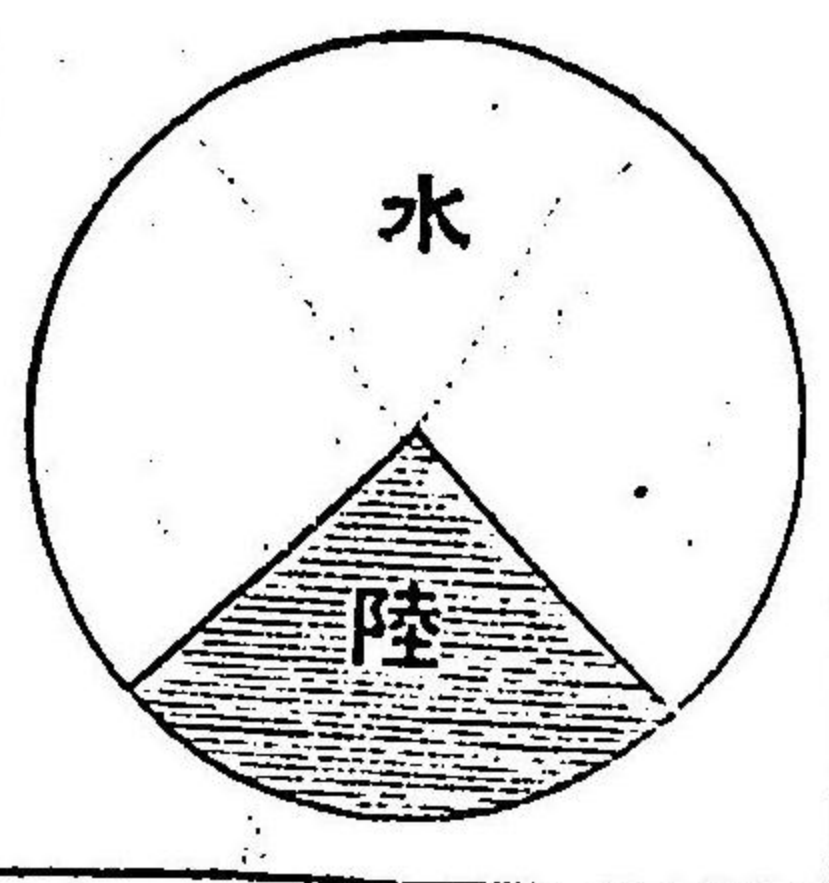


圖五 東半球と西半球を示す

兩分して示すもの、地球の一部を示すもの  
等種々あり、地球を兩分するには、西經二十  
度東經百六十度の經度線より分つを常と  
し、之を東半球西半球と呼ぶ。  
地球の表面は凡三千三百萬方里ありて、水  
と陸とに分れ、其面積水面は陸面に略三倍  
す、今之を分て、陸を六大洲となし、水を三大  
洋となす。



圖六 水と陸との割合を示す  
水 三億八千萬方里  
陸 一億八千萬方里

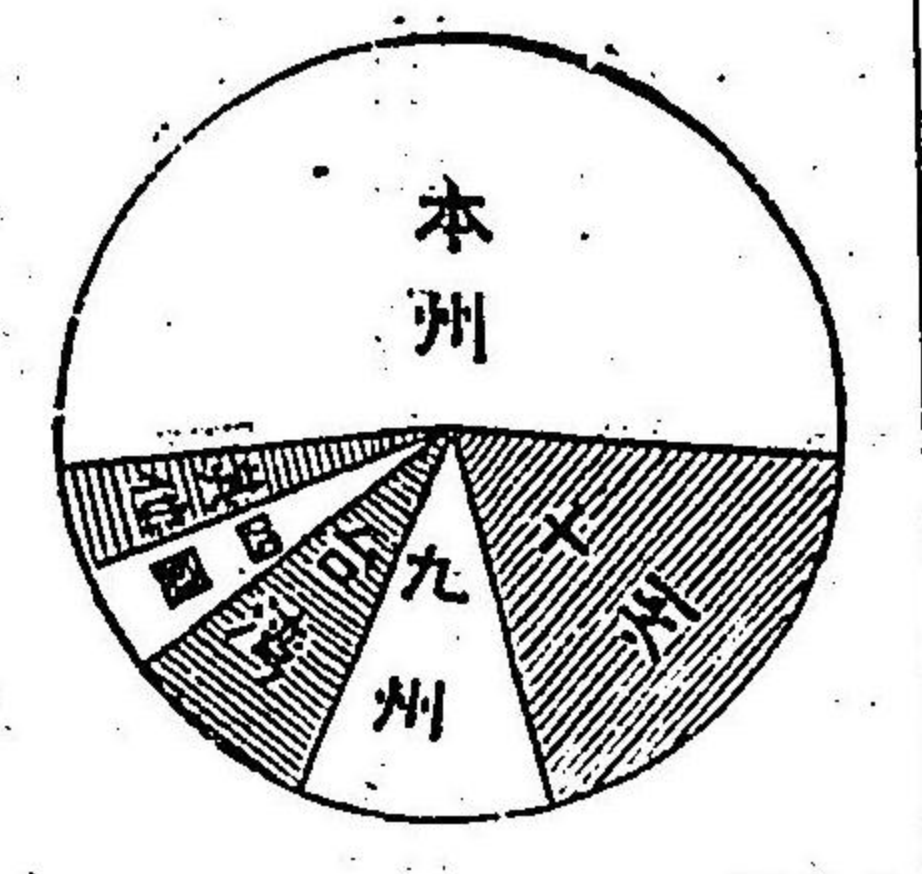


陸面 アジヤ洲 ヨーロッパ洲 太 洋 洲  
アフリカ洲 北アメリカ洲 南アメリカ洲  
水面 太平洋 印度洋 大西洋  
此他南大洋と北氷洋とを加へて五大洋とも稱す。

33

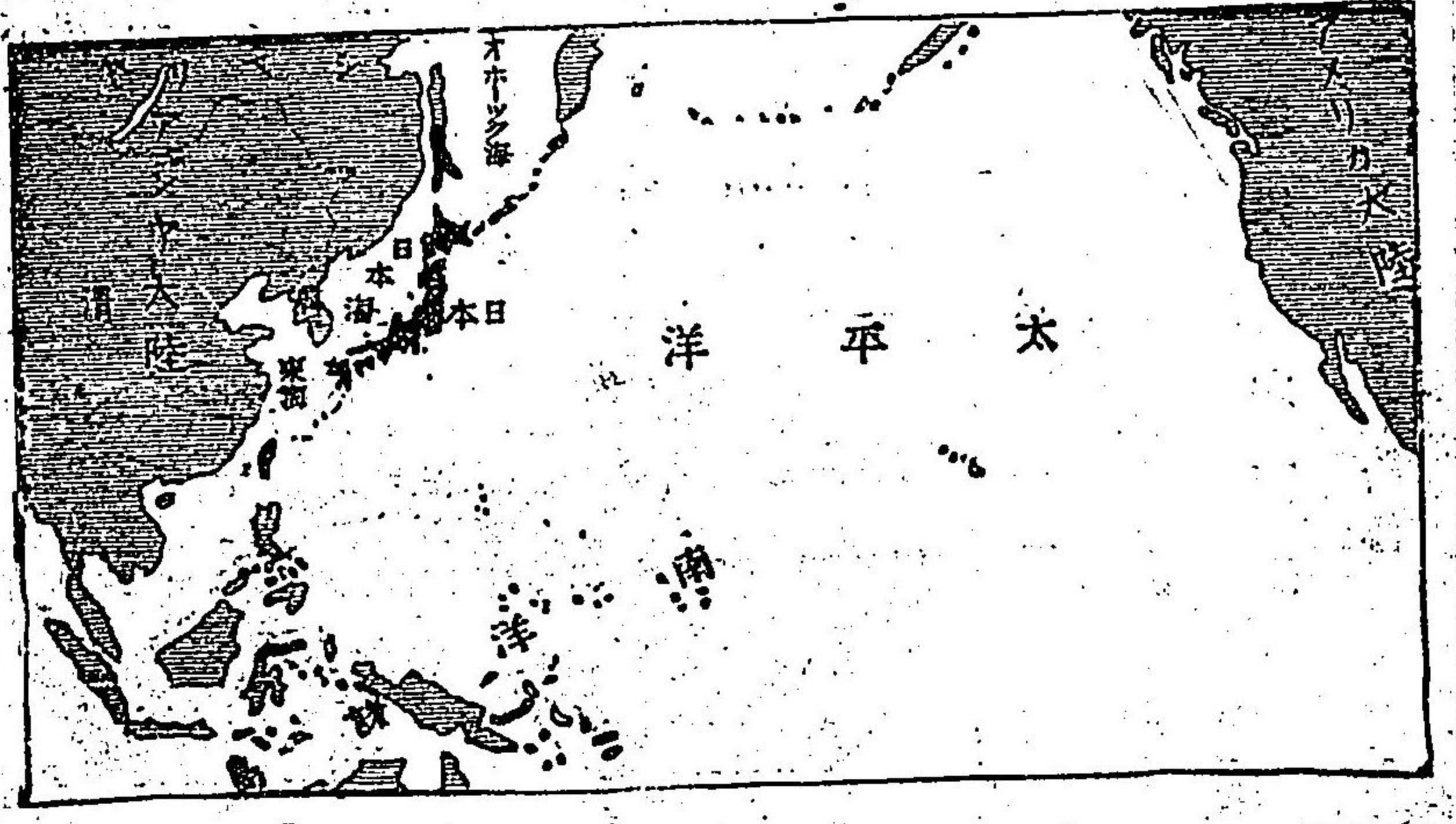
七 五大島の面積割合を示す  
1 本州 47.7%  
2 九州 11.7%  
3 四国 5.3%  
4 北海道 22.3%  
5 台湾 12.0%

八 我國四隣の有様を示す



- 本州島 豆南諸島 波島 隠岐島
- 十州島 千島
- 九州島 壱岐島 對馬島 琉球諸島
- 臺灣島 澎湖島
- 四國島 淡路島

我國は三連の弓状をなし、四面はオホーツク海、日本海、東海を隔て、

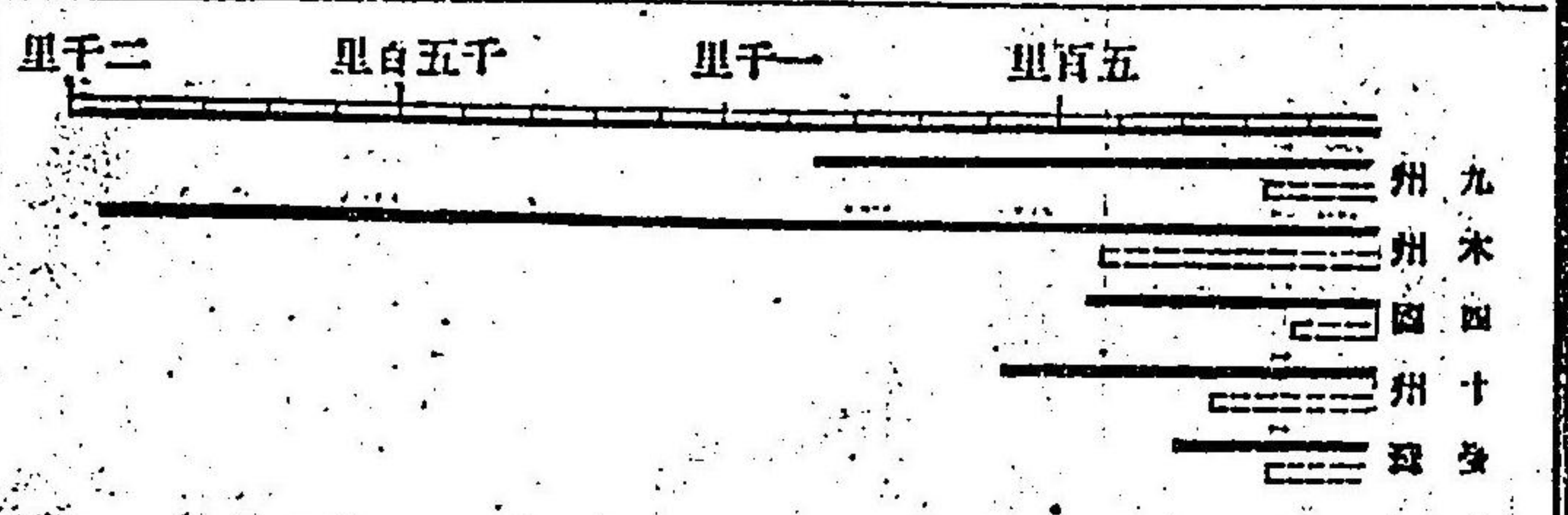


九 五大島の沿岸線延長と面積の割合を示す  
黒線は沿岸線の長さ、白線は周長の長さなり  
1 本州の沿岸線 14,000 里  
2 九州の沿岸線 3,500 里  
3 四国の沿岸線 1,500 里  
4 北海道の沿岸線 1,000 里  
5 台湾の沿岸線 1,000 里

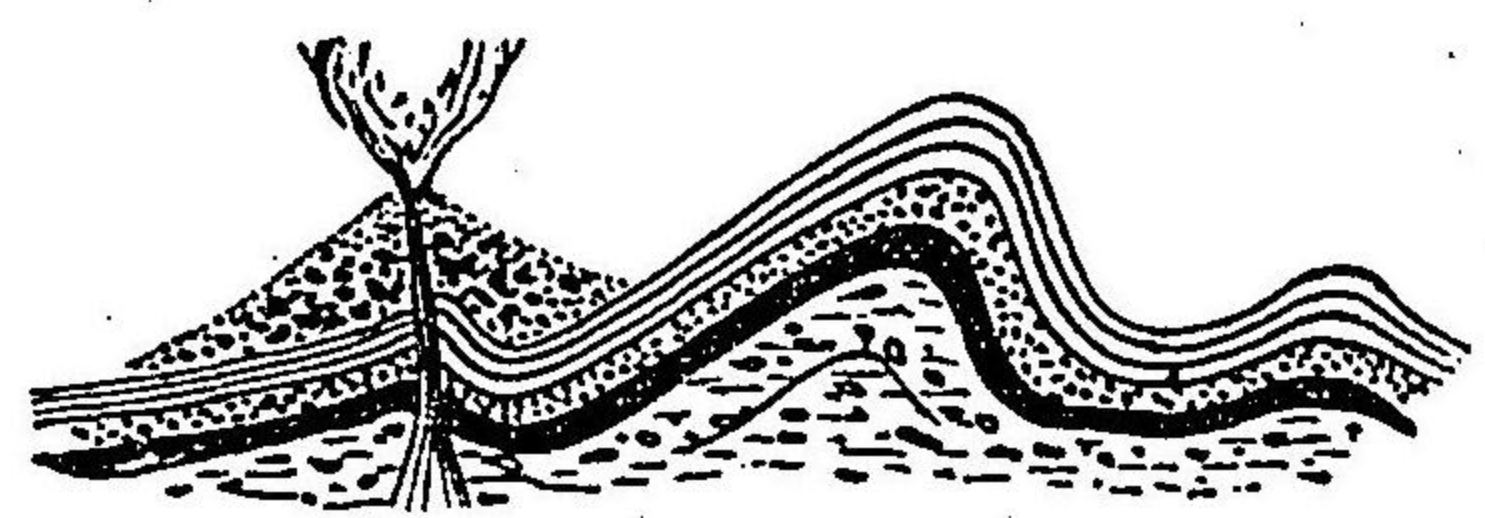
アジア大陸のシベリヤ、韓(朝鮮)、清(支那)に面し、凸面は太平洋を隔て、遂にアメリカ大陸及南洋諸島に對す。

我國の沿岸は、半島多く、島嶼に富み、從て其延長大なれども、太平洋面は殊に長し、凡沿岸の屈曲著しければ、運輸交通を便にし、其地の進歩發達を促すものなり、我國五大島中、面積に比して沿岸線の最長きは九州にして、本州、四國、十州、臺灣之に次ぐ。

我國は山多し、山はもと地殼の皺なれば、相連續するを常とす之を山脈といひ、山脈の數多集れるを山系といふ、又地殼の弱所を破りて、熔岩等を噴出することあり、



○ 山脈の構造と火山噴出の状とを示す

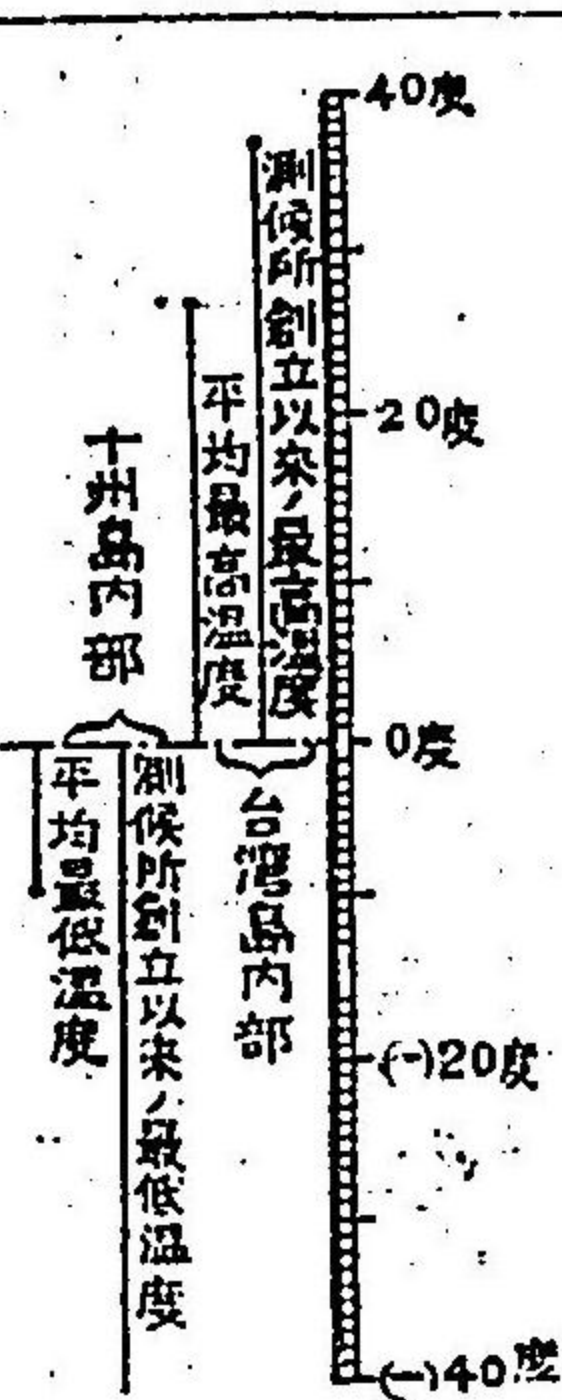


○ 我國の極端温度を示す

和なれども、南北兩地を比すれば、甚しき差異あり、又夏は南東風多くして、太平洋岸は雨多けれども、冬は北西風多くして、日本海岸は雪甚だ深し、斯く處により

之を火山といひ、火山は概列をなして噴出す、之を火山脈といふ、我帝國の大部は、樺太山系、崑崙山系の兩隆起よりなり、此兩山系の結合地に富士火山脈あり、又北方には千島火山脈、南方には霧島火山脈ありて、到る處高地多く、從て平野の廣きもの少く、河流の長大なるもの稀なり。

我國の大部は、溫帶に位するが故に、氣候概温



氣候風土同じからざるを以て、動植物も亦自、異れども、一般に穀物能く登り、百果亦豊熟す。

我國は臺灣を除き、山河の形勢によりて、畿内と東海、東山、北陸、山陰、山陽、南海、西海、北海の八道に大別し、更に之を八十五國に分てる舊區劃あれども、現時は行政上の便を計り、北海道と臺灣とを除き、三府四十三縣に分ちて各部に府縣廳を置き、又北海道には道廳を置き、臺灣には總督府を設く。

### 地方誌

#### 關東地方

關東とは所謂關八州の地にして、東海道の相模、武藏、安房、上總、下總、常陸

地方誌 關東地方



東山道の**上野下野**の八國にして、其中安房上總下總を房總地方と稱し、上野下野を兩毛地方と稱す、域内を行政上左の一府六縣に分つ、  
 東京府 神奈川縣 千葉縣 埼玉縣 群馬縣 栃木縣 茨城縣

**地形** 城の南方には房總三浦の兩半島ありて、東京灣相模灣を抱き、東面には**犬吠岬**突出して**鹿島灘**と**九十九里濱**とを分つ。

關東地方に於ける山脈の概況を示す。關東地方の山脈は、大體南北に走り、東海地方の山脈と接する。其の間に、利根川、荒川、多摩川等の大河が流れて、東京灣に注ぎ、馬入川は相模灣に注ぐ。此等諸川の流域には、廣大なる關東平原あり。



分水山脈 (那須山 須那山 日光山 淺間山 四阿山 白根山)

山脈は數多ありて、北境及西境を圍繞し、南方にも亦小山脈あり。  
 阿武隈山脈 八溝山 筑波山  
 房總山脈 鹿野山 鋸山 清澄山  
 越後山脈 清水峠  
 關東山脈 大井山 丹澤山 武甲山 三峰山 甲武信嶽  
 富士火山脈 箱根山

關東地方の交通を示す。東海道線、中央東線、甲武鐵道線、高崎線、信越線、東北線、海岸線、總武鐵道線、神戶小樽線、東武線、横濱小樽線、四國線、横濱打狗線、小笠原島線。

**關東山脈** 大井山 (4,300) 丹澤山 (5,180) 武甲山 (4,220) 三峰山 (3,550) 甲武信嶽 (3,000)  
**富士火山脈** 箱根山 (4,280)  
 以上の山脈より發源する河流は其數多く、利根川は太平洋に注ぎ、荒川、多摩川等は東京灣に注ぎ、馬入川は相模灣に注ぐ。此等諸川の流域には、廣大なる關東平原あり。

**交通** 東京を中心として、東海道中山道、奥州街道、濱街道、甲州街道等の道路四方に通じ、鐵道亦概之に沿へり、即、東海道線は西南に走り、甲武鐵道は西に走りて、中央東線と連絡し、日本鐵道線は三派に分れ、其高崎線は北西に走りて、信越線と連絡し、其東北線、海岸線は共に北東地方に通じ、總武鐵道



は東に走る、其他此等の線路を連絡し、或は分岐する諸線甚だ多し。

海運は横濱を中心として諸外國と通じ、又内地航路には神戸小樽東廻線横濱小樽西廻線横濱打狗線小笠原島線を始め近海地方との航通甚だ繁し。

**東京府**

管内(武蔵一部伊豆七)は西北

部に山脈連れども、大部は平坦にして、河川灌漑の利多し。

東京(市)は、隅田川の下流に跨り、南部は東京灣に臨む、我國の首府にして、又世界屈指の大都會なり、此地もと江戸と



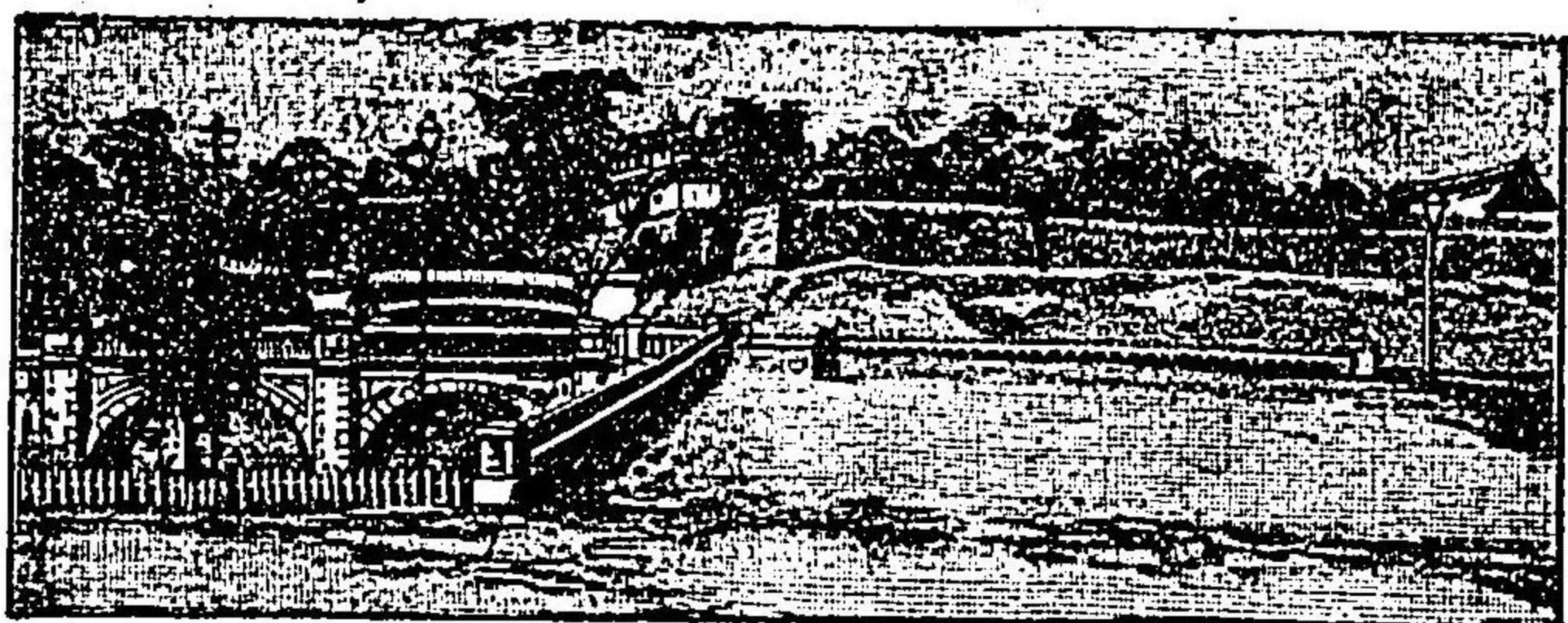
隅田川左岸の向島に於ては、樹の多きを以て、向島多きと見ゆ。此の向島は、隅田川の上流に多し。

稱せしが明治元年之を現稱に改めたり。

長祿年間太田道灌此地に城を築き、次で徳川家康幕府を開くと共に、漸く繁盛となり、降て明治二年 帝都と此に奠め給へり。

宮城は市の中央に位し、其周圍には、中央政府の諸官廳國會議事堂參謀本部近衛及第一師團司令部大審院控訴院其他諸外國公使館等多く集れり。

市は我邦學藝の中心にして、東京帝國大學第一高等學校東京高等師範學校東京高等商業學校東京高等工業學校東京商船學校東京美術學校東京音樂學校東京郵便電信學校陸軍大學校

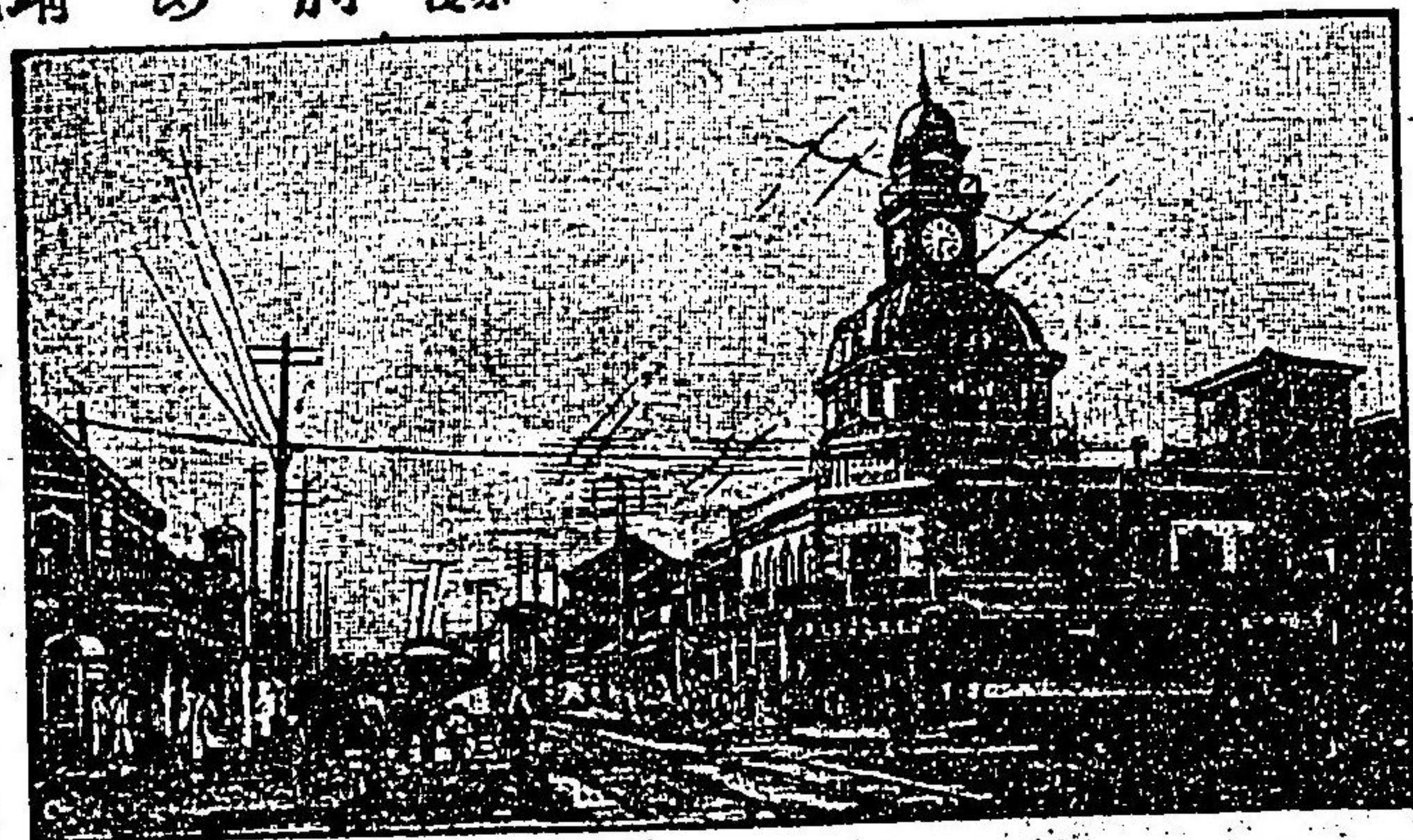


宮城の外部に於ては、左方の橋は入口なる二重橋右方の橋は宮城の一物なり。

陸軍士官學校海軍大學校學習院華族女學校帝室博物館動物園帝國圖書館等あり。

五  
東京市中最繁華なる銀座通に於て電車は縦横に走るを

市は又商工業の中心地にして、日本銀行商品陳列所等の機關具り、又印刷局砲兵工廠等を始め多數の大工場ありて、綿絲紫染蒔繪洋紙、マッチ、雜貨等の産甚だ多く、近時出版業亦盛なり。  
市を分ちて十五區麹町神田日本橋京橋芝麻布赤坂西谷牛込小石川本郷下谷淺草本所となし、又地勢上山、手及下、町に別る、市民の遊樂地として、所々に公園あり、上野、淺草、芝、日比谷等最著しく、又靖國神社、向島等の名區多し。



六  
海苔採集の状にして海中にある樹枝は海苔を附着せしむる爲に散りたる海苔柴なり

市内は道路四通し、到る處人車馬車の來往繁く、且主要の街路には、電車鐵道の布設ありて交通の便甚だ宜しく、又數條の大鐵道此處を中心として四方に通ず。

八王子は鐵道中央東線の接續地にして、絹織物の産出甚だ多く、青梅鐵道に沿へる青梅は附近の山地より多量の石灰岩を産す。

多摩川は、鮎の産に名高く、其水清冽なるを以て引きて東京市民の飲料に供す、此河の下流を六郷川といふ。

六郷川に近き大森邊は、梨の栽培多く、其海濱は海苔の産に



名あり、又遙に南方の海上に散在する伊豆七島及小笠原諸島も府の管轄に屬す、〔靜岡縣の〕

概 要

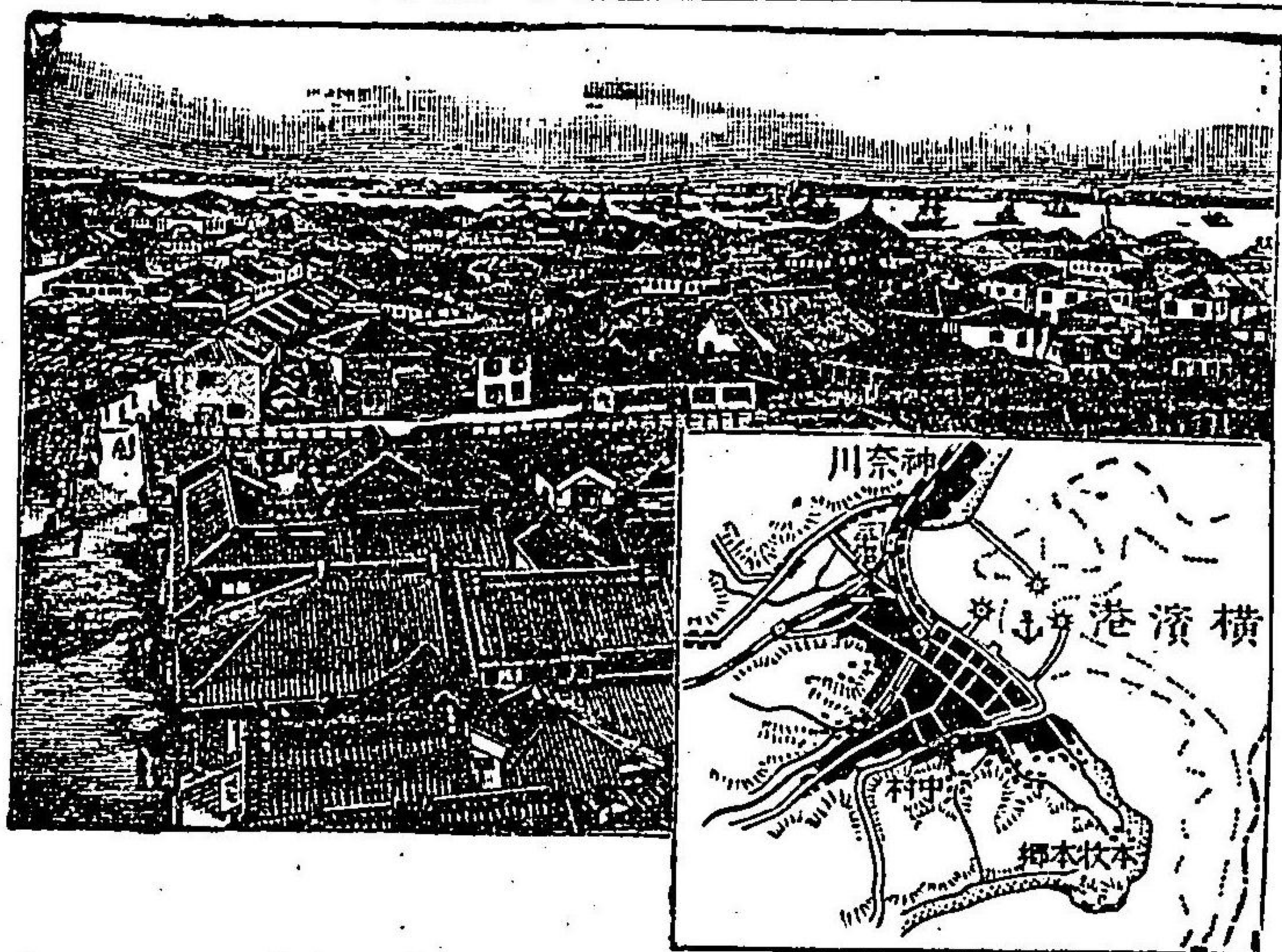
東京は世界第五の都會にして、我國政治上學術上經濟上の中心なり。東京は全國流行の中心地にして其風俗言語は一般の標準となれり。洋紙の産出多く又海苔の採收は殆ど全産額の半を占む。山地には養蠶機械の業行はれ、八王子の絹織物は殊に有名なり。

神奈川縣

縣内〔相模武〕は西部に山脈連亘すれども、大半は肥沃なる平原にして、河流の灌漑普し。

横濱〔市〕は縣廳所在地なり、近時まで淋しき一漁村なりしが、港灣の良好なると、東京の門口たるを以て、開港以來大に發達し、今や本邦開港場中第一に位し、内外諸港との航行繁く、貨物の輸出入甚だ多し、市には税關正金銀行を始め、諸外

七 横濱の居留地を見下したる景にして地形は一なり



近傍の江島は、風光明媚を以て著はれ、藤澤は遊行寺あるを

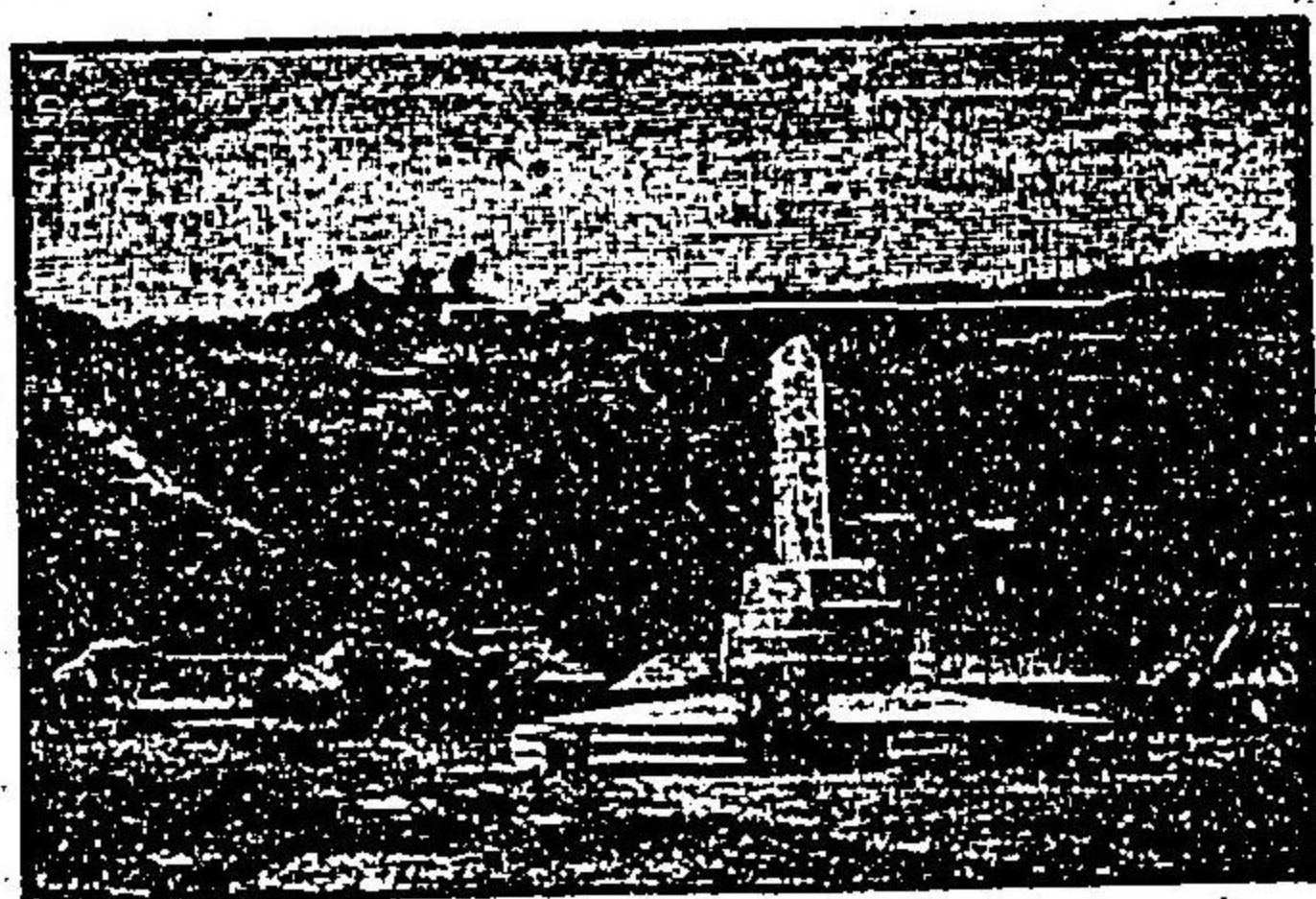
國領事館内外汽船會社支店等あり、近時盛に輸出向の陶器漆器等を産す。東海道線は、横濱の西南大船より、横須賀線を三浦半島に分岐す、鎌倉は、源頼朝以來、久しく武門政治の中心たりし地にして、鶴岡八幡宮、鎌倉宮、建長寺、大佛圓覺寺、稻村崎、由比濱等の名所舊址多く、氣候亦良好なれば、遊覽保養の客常に絶えず、

以て名高く、金澤は金澤、文庫の舊地として知らる。

横須賀は第一海軍區鎮守府の所在地にして、海兵團造兵廠、海軍機關學校等あり、南方の浦賀はヘル

リ氏來航の故を以て名高く、三崎には臨海實験所あり。

浦賀海峽は、東京灣の咽喉に當り、國防上の要地なるを以て、觀音崎には千葉縣の富津洲と共に堅固なる砲臺の設けあり、此邊の沿岸は概、礮濱なれども、



八 鎌倉と附近の名區を示す

九 ヘルリ氏上陸の地なる浦賀にあり、近傍の久里濱にあり、紀念碑



八 浦賀海峽 (五百萬分)



り、近海漁利多く、箱根山其西に峙つ。

箱根山は一大死火山にして、昔時は街道の要害たりしが、山中には蘆湖を始め勝景頗多く、且温泉所々に湧出するを以て、今は湯治避暑の良地となれり、鐵道は、此山北を迂回し、數多の隧道を過ぎて、静岡縣に入る。



九 大磯海水浴場の一部にして、夏時の雑沓を知るに足らん

秦野は烟草の集散地として名高く、其北方大山には、雨降社ありて夏日登山する者多し。

要 概

外國交通の衝に當り、在留外國人の多きこと本邦第一に位す。名所舊址等の遊覽地多く、又温泉場海水浴地等の療養地に富むを以て、他縣より來り止るもの、又は別莊を營むもの多し。

千葉縣

縣内〔安房上總〕は南部に山嶽あれども、北部には小金、

原習志野等の平野ありて河湖頗多し。

國府臺は有名なる古戰場にして、臺下に江戸川あり、此沿岸行徳は鹽を産し、流山の味

淋、野田の醤油は、共に産額我國に冠たり。千葉は縣廳及醫學專門學校の所在地にして、房總鐵道の起點に當り、佐倉は附近より

大吠岬は岩角に於て波近暗礁多く此に燈臺を設く



網を以て海面の一部を圍み引き縮むる所に網を引く所なり

佐倉炭を産す成田鐵道此より分れ、不動堂に名ある成田を経て、佐原に通ず、佐原は酒の産地にして、近傍に香取神宮あり。

銚子は利根川汽船の發着地にして、鯉節醤油木綿縮等の産あり。

大吠岬より大東岬に至る海上を九十九里瀆といひ、鯉の漁獲甚だ多し、大東岬の南西は、山勢海に迫りて礁嶺多く、此に誕生寺を以て名高き小湊あり、野島岬は半島の南端に位し、其海上を房州沖といひ、航行危険の所とす、其西は即浦賀海峽なり。

館山北條は西部の小港なれども、氣候良好なれば夏日保養



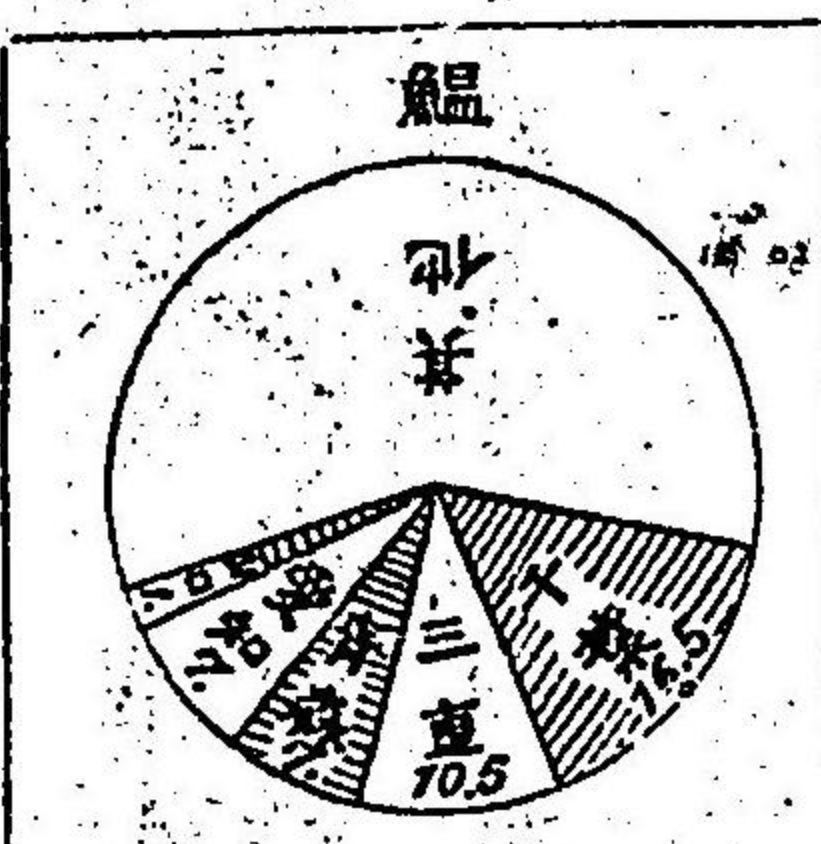
鑛山頂のなせ  
部に於ける部  
に並列する部  
石材なり

全額 一七〇萬圓  
分率を示す 一七〇萬圓  
三千重 一七〇萬圓  
愛知 一七〇萬圓  
山口 一七〇萬圓



の客多く、北方の木更津と共に、東  
京と汽船の往復あり。

鹿野山は眺望の勝れるを以て聞え、鑛山  
は石材の産多く山頂鑛山の状をなす、此  
等山地の南西は氣候温和にして、牛馬の  
牧養に適し、峯岡牧  
場此にあり。



概要

沿海は魚利多く、殊に鰯の漁獲は全國第一に位し  
搾粕の産は北海道に次ぐ。  
醤油味淋の産額は共に全國第一位なり。  
大豆の産共に多く、家禽の飼養亦頗る盛なり。

埼玉縣

縣内(大縣)は西部に山嶽蟠り、之より發源する河流  
は、東部の廣大なる平野を潤せり。

上國は日本  
道會社工場  
外部にして  
其内部に下



浦和は縣廳所在地にして綿織物を産し、大宮は  
鐵道(東北線)分岐點に當り日本鐵道會社の大工場  
及有名なる氷川公園あり、川越は川越鐵道の起  
點にして、米蕪の取引多く、又川越平を産し、附近  
には川越芋の産あり、飯能及所澤は共に織物の  
産地にして、狭山の附近は茶の産  
地に名あり。

熊谷は繭生絲及穀物の集散地  
にして、上武鐵道此より分る、秩父地  
方は木材、薪炭、石灰岩等を産し、又  
養蠶機械の業盛にして、其中心に  
大宮(郷)あり。

大麥產額の比  
較百分率を示す  
單位萬石  
全額 八六〇  
千茨城 六七〇

概

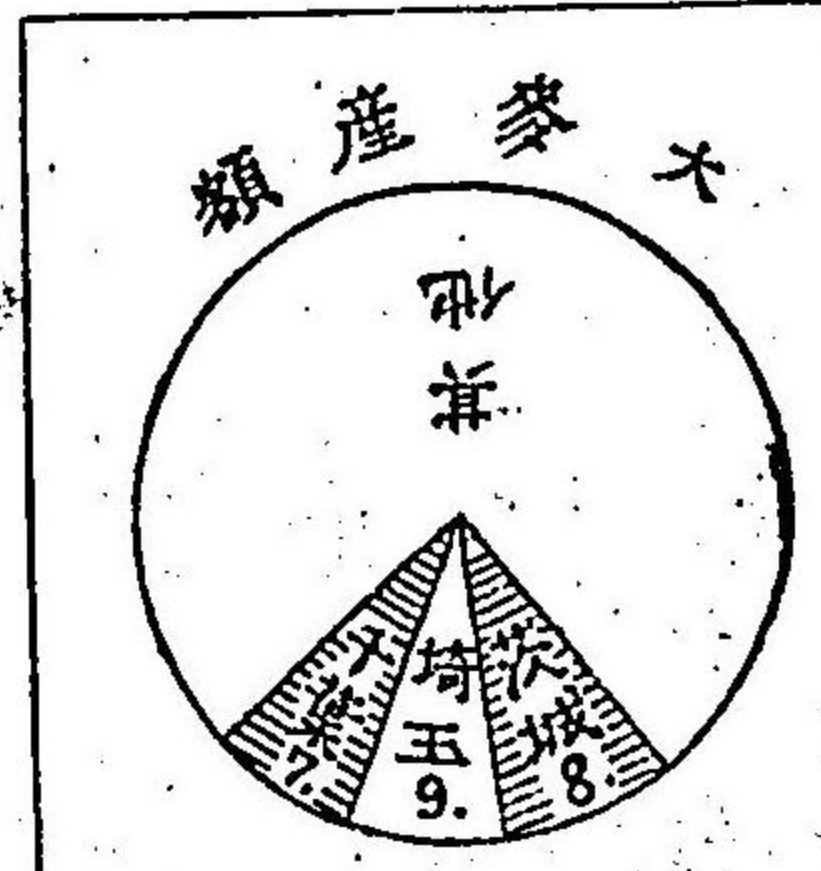
農産多く、殊に大麥の産額は全國第一にして小麥の産は第二に位し、大豆も亦北海道に次ぐ。機業に従事する戸数は全國最多數にして織物の産亦從て多し。

群馬縣

縣内(註)の北部及西部には山嶽重疊し、之より流出する數多の河流は相合して大河となり、共に南東部の平野を潤せり。



高崎(市)は鐵道(上野線、高崎線)の集點にして、生絲繭等の集散多く、近傍の新町よりは紡績絲を産し、富岡には有名なる製絲場あり。



アプト式軌條の一部を示す

ありて生絲の産出多し。

信越線の鐵道中碓氷峠には有名なるアプト式軌條を用ひ、二十餘の隧道を過ぎて長野縣に通ず。近傍の妙義山は、岩石の奇絶なるを以て名高く、礦部は鑛泉あるを以て著名なり。

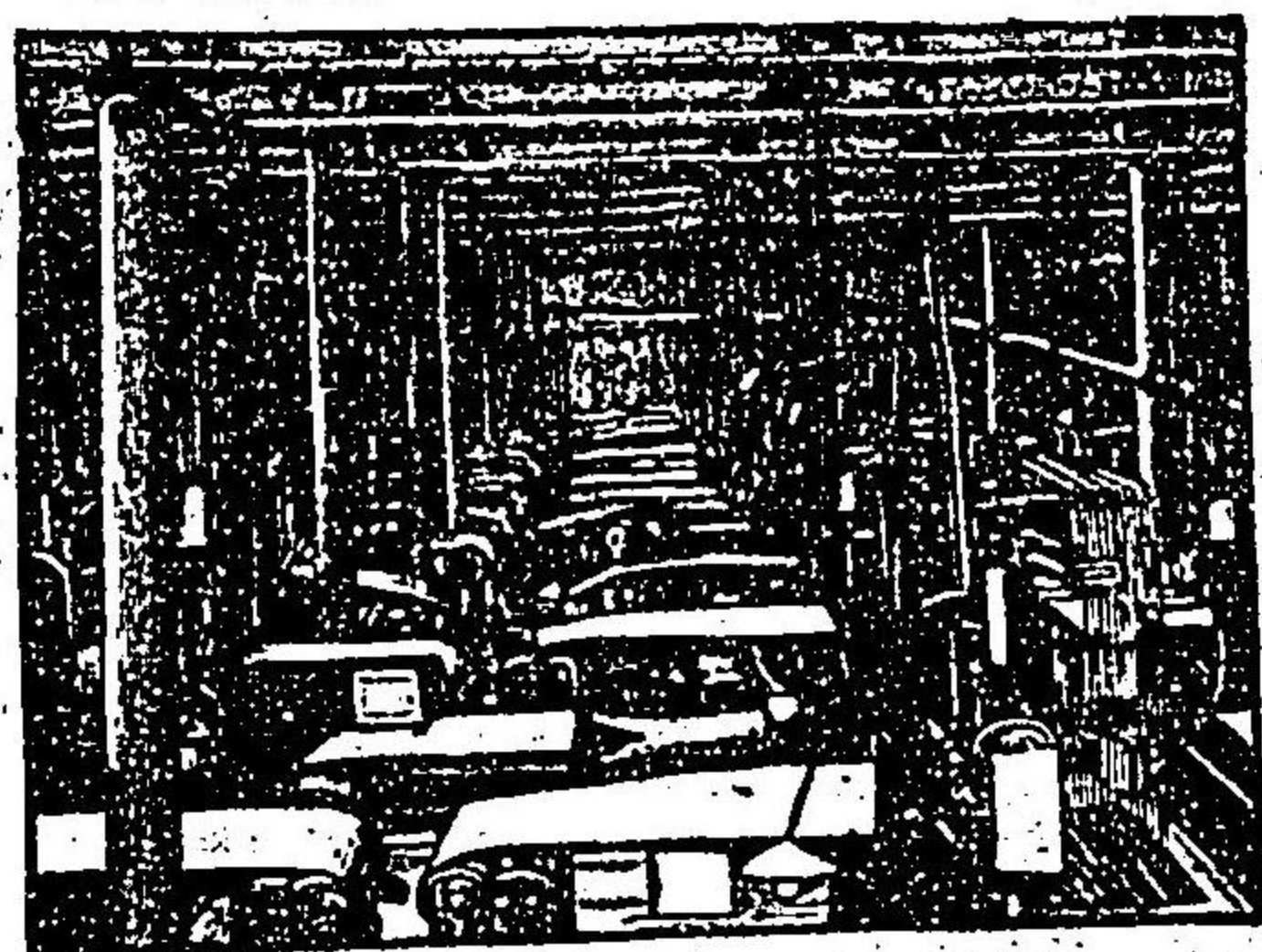
上下圖は妙義山第一の奇絶なる形を知らしめる。上圖は妙義山と共の上野赤城山及榛名山は、妙義山と共の上野三山と稱す。榛名山の上には榛名湖あり、湖畔に牧牛行はる。山腹の伊香保は温泉に名高く、又吾妻川の上流なる白根山の麓に草津温泉あり、古來著名なれども僻遠にして浴客多からず。



伊勢崎は有名なる機業地にして、銘仙の名世に

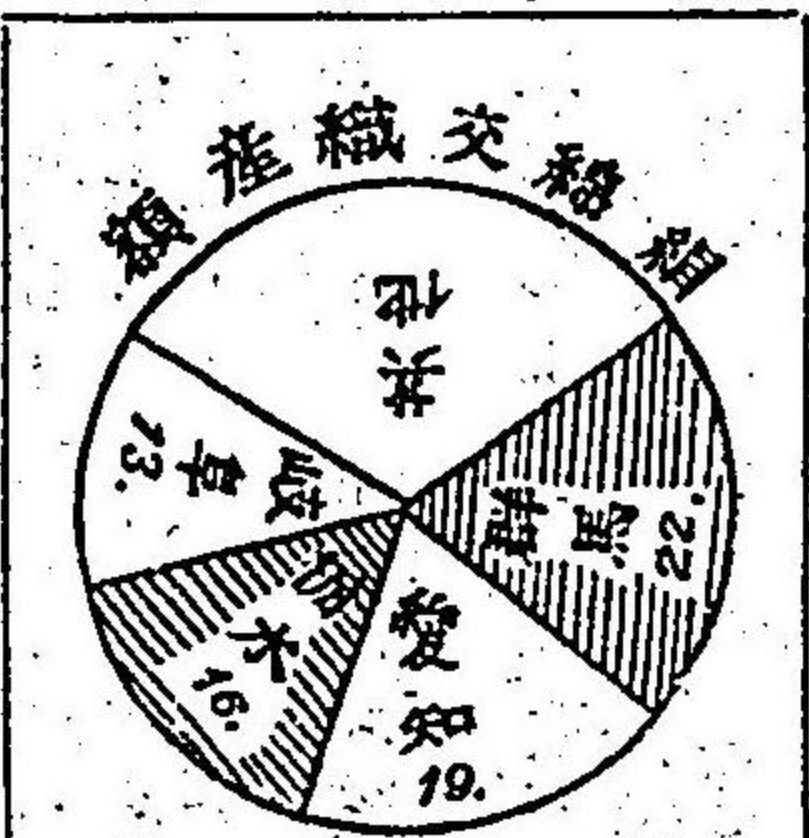


桐生織物會社の内部を示す



高く、桐生は北日本第一の機業地にして、羽二重、縹子等を産し、其精巧なること京都と並び稱せらる。

概 住民は殆ど養蠶を以て主業となし、蠶絲の産は長野縣に次ぐ。機織の業盛にして、絹綿交織の産出は全國第一に位し、絹織物の産亦甚だ多し。



絹綿交織産額の比較百分率を示す  
單位萬圓  
全額 一四六三  
群馬 二二二  
群馬 二二二  
群馬 二二二  
群馬 二二二  
群馬 二二二  
群馬 二二二  
群馬 二二二  
群馬 二二二  
群馬 二二二  
群馬 二二二

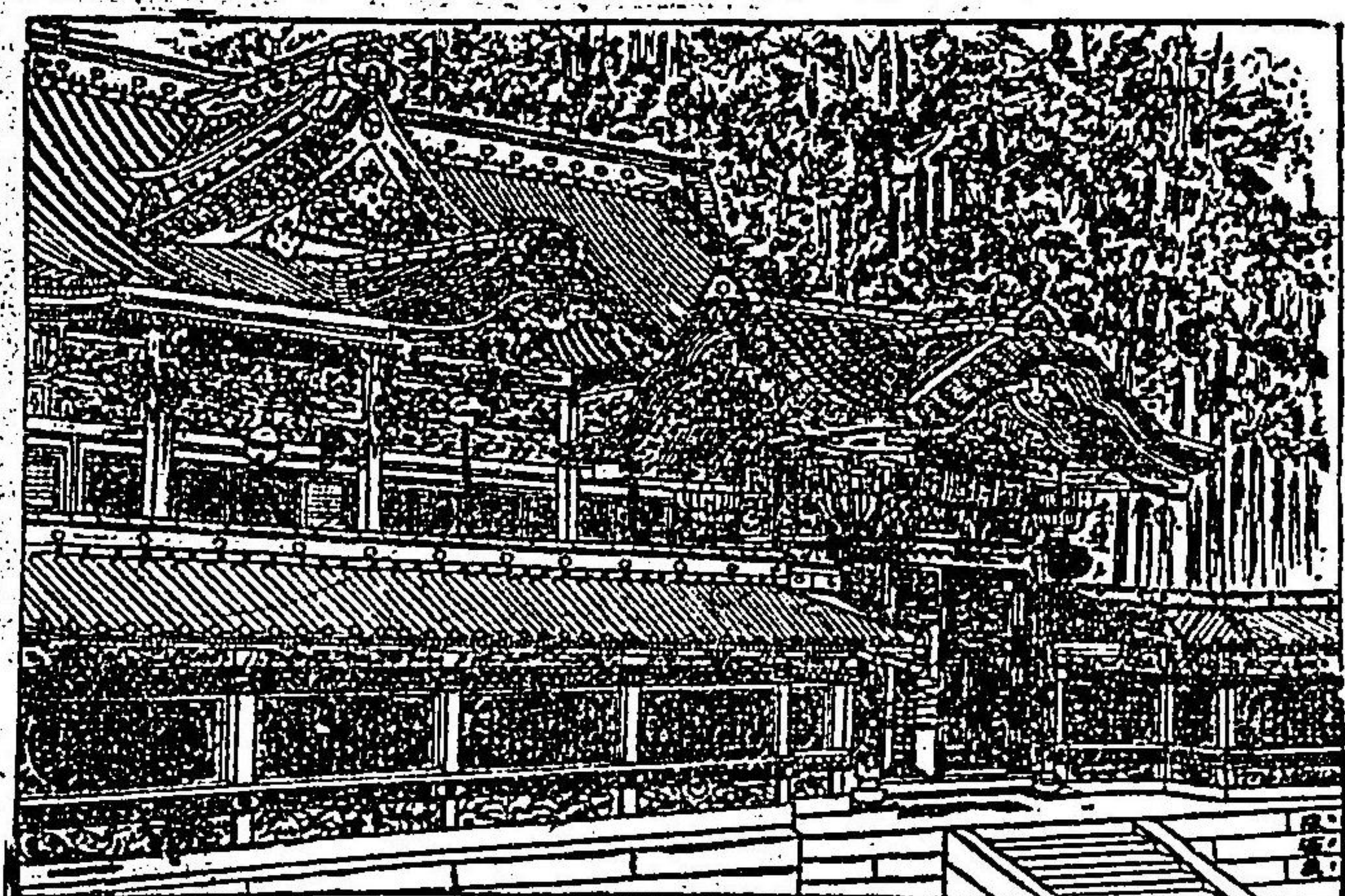
栃木縣

縣内(野)の西北部には山嶽多けれども、南部は土地平坦にして河川灌漑の便あり。

足利は機業盛にして、足利絹の産に名高く、又足利學校、址あり、佐野は佐野鐵道の交叉點にありて、機業行はれ、栃木附近は大麻の産多く、小山は鐵道(東北線南毛)の接續地にして、交通

上の要地たり。

日光廟の廣門に見ゆるは拜殿なり(有名なる陽明門は此外にあり)



東照宮の所在地にして、遊覽者常に絶えず。

宇都宮市は縣廳所在地にして、日光線の分岐點に當り、附近より干瓢を産す、南東の眞岡は眞岡木綿の産に富み、西方の鹿沼は大麻栽培の中心地にして其集散多し。縣の北東部は所謂那須野原にして其西方に高原山、北方に那須山あり、高原山麓の蘆原温泉は附近勝景に富み、那須山麓の那須温泉と共に夏時浴客多し。日光は社殿の莊麗を以て名高き

足尾銅山の一部にして下関は鑛坑の入口なり

大産額の比  
大産額 二二  
比 二二  
す 比 二二  
全額 二二  
島宮 二二  
根崎 二二



日光山中には瀑布多く、中禪寺湖に近き藤原瀑最名あり、湖畔には男體山高く聳え、風景幽邃にして、避暑に適し、西北の白根山麓には湯本温泉あり

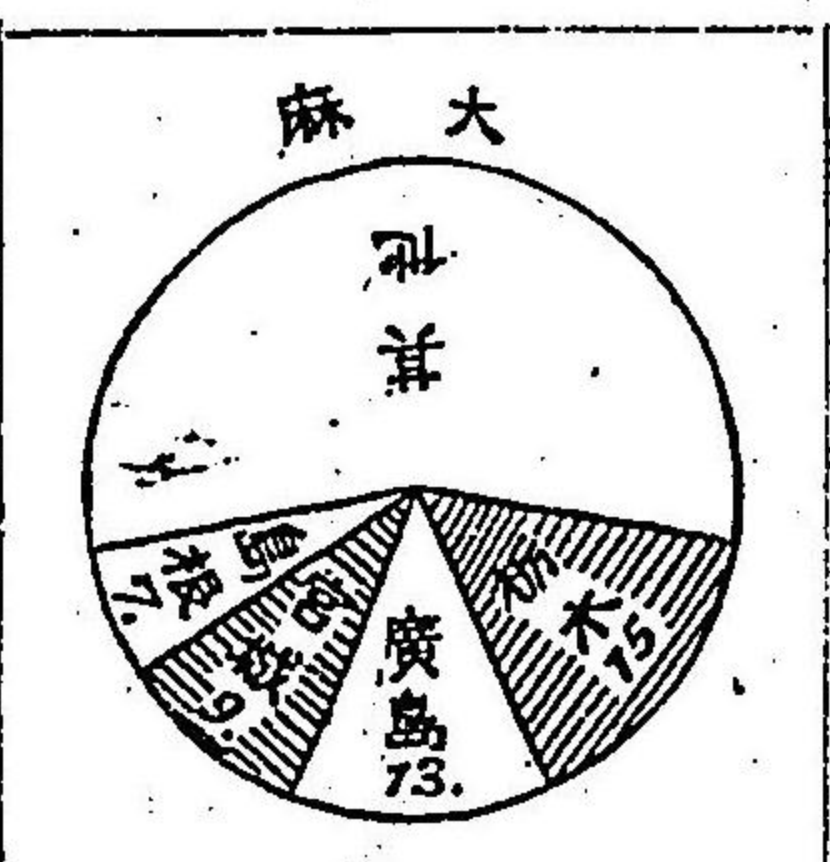
足尾には、有名なる銅山ありて此を

流る、渡良瀬川沿岸は近時鑛毒事件を以て喧しく、近傍

の庚申山は

岩石奇絶を

以て名あり。



大産の産額は全國第一にして、烟草は第二に位す。蠶養一般に盛にして絹綿交織の産甚だ多し。足尾の銅坑は全國の最多産坑にして總産額は秋田縣に次ぐ。

要 概

茨城縣

縣内〔常陸下〕の北部は山地なれども南部は平坦にして河湖多し。

して河湖多し。

霞浦は本邦第二の大湖にして、北浦之と連続して利根川に通ず共に舟運の便多く又淡水魚の産に富む

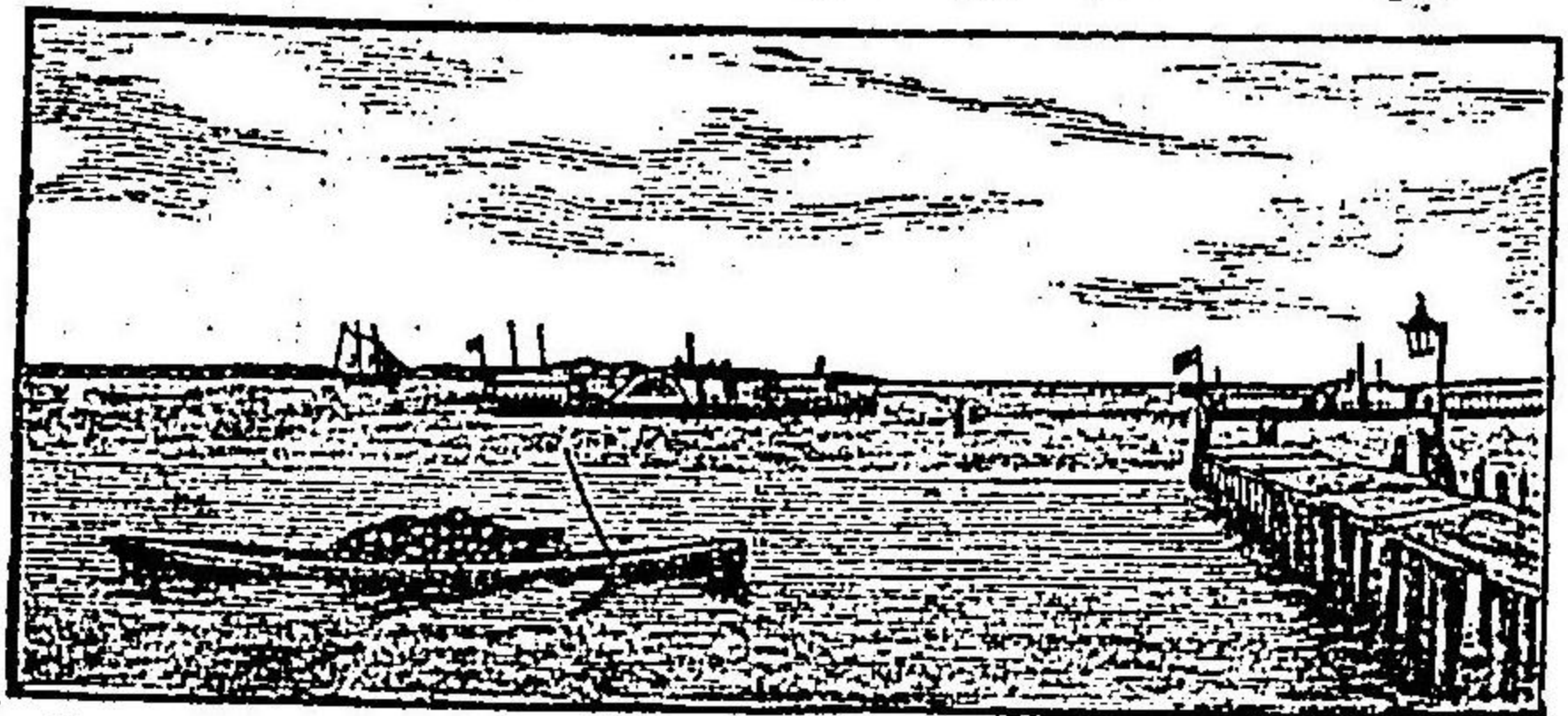
利根川は俗に坂東太郎と稱す、群馬縣より發し、武總の境に至りて江戸川を分岐し、次で鬼怒川、小貝川及手賀沼印、施沼、浦北浦等の水を集めて海に注ぐ、河口は幅一里餘、水深く流緩にして、運輸灌漑の利多し

結城は紬及木綿の産地にして、鬼怒川附近を流る、此下流猿島邊は多く茶を産し、西部の古河は古來の名邑なり。

筑波山は平野の中に屹立せる關東の名山にして、山中勝地多く山上に測候所あり、此附近の山地よりは良質の花崗岩を産す。

水戸(市)は縣廳所在地にして、太田線の分岐點にあり、元徳川氏の親藩を封ぜし所にして、常磐公園、弘道館等あり、水戸

地方誌 關東地方



足尾銅山の一部にして下関は銅坑の入口なり

大産額の比  
較百分率を示  
す  
單位萬貫  
全額 二八五  
栃木 四四  
廣島 三三  
宮崎 二五  
島根 一



日光山中には瀑布多く、中禪寺湖に近き華嚴瀑最名あり湖畔には男體山高く聳え風景幽邃にして避暑に適し西北の白根山麓には湯本温泉あり

足尾には有名なる銅山ありて此を

流る、渡良瀬川沿岸は近時

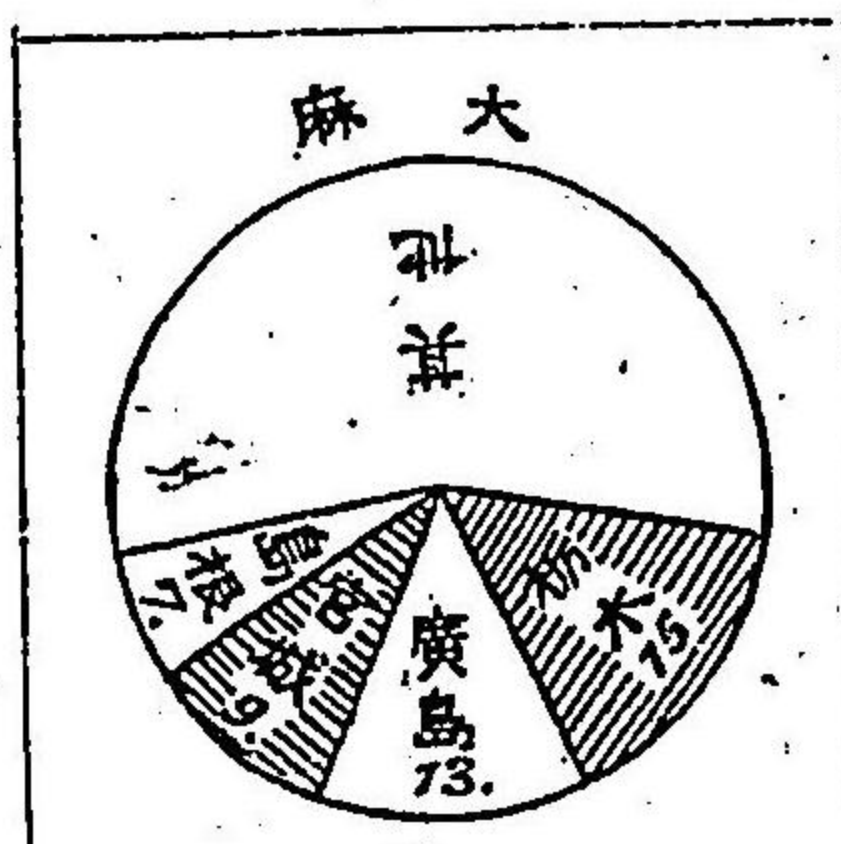
鑛毒事件を以て喧しく、近傍

の庚申山は

岩石奇絶を

以て名あり。

大産額



要 概

大麻の産額は全國第一にして、烟草は第二に位す。蠶養一般に盛にして絹綿交織の産甚だ多し。足尾の銅坑は全國の最多産坑にして總産額は秋田縣に次ぐ。

茨城縣

縣内(常陸下)の北部は山地なれども南部は平坦にして河湖多し。

して河湖多し。

霞浦は本邦第二の大湖にして、北浦之と連続して利根川に通ず共に舟運の便多く又淡水魚の産に富む。

利根川は俗に坂東太郎と稱す、群馬縣より發し、武總の境に至りて江戸川を分岐し、次で鬼怒川、小貝川、及手賀沼、印旛沼、浦北浦等の水を集めて海に注ぐ、河口は幅一里餘、水深く流緩にして、運輸灌溉の利多し。

結城は紬及木綿の産地にして、鬼怒川附近を流る、此下流猿島邊は多く茶を産し、西部の古河は古來の名邑なり。

筑波山は平野の中に屹立せる關東の名山にして、山中勝地多く山上に測候所あり、此附近の山地よりは良質の花崗岩を産す。

水戸(市)は縣廳所在地にして、太田線の分岐點にあり、元徳川氏の親藩を封ぜし所にして、常磐公園、弘道館等あり、水戸

地方誌 關東地方

利根川の河口にして其詳々たるを知るに

足らぬ

二二三

二二五

二二八

二四五

二四五

二四五

二四五

二四五

二四五

二四五

二四五

二四五

二四五

二四五

二四五

二四五

二四五

二四五

二四五

二四五

二四五

二四五

常磐公園にして左方の建物は有名なる好文なり



石岡は酒の産多く、土浦は霞浦汽船の發着地にして醬油の産あり。

草は此地の名産にして、那珂川の流域は之が栽培地なり。太田は烟草蒔蕪の集散地にして、附近の山地より寒水石斑石等を産す、又縣の北境に勿來關址及平潟港あり、此近傍は石炭の産多し。平潟以南の沿岸は、光風明媚にして、海上には鰯の漁利多く、大洗磯邊は避暑の好地たり、岬の以南は海邊砂丘に富み、有名なる鹿島神宮、此海岸にあり、海上は鹿島灘といひ、鰯網等の漁利多し。

全額	九三三
茨城	九三三
栃木	九三三
鹿島	六三三
福島	六一

概要

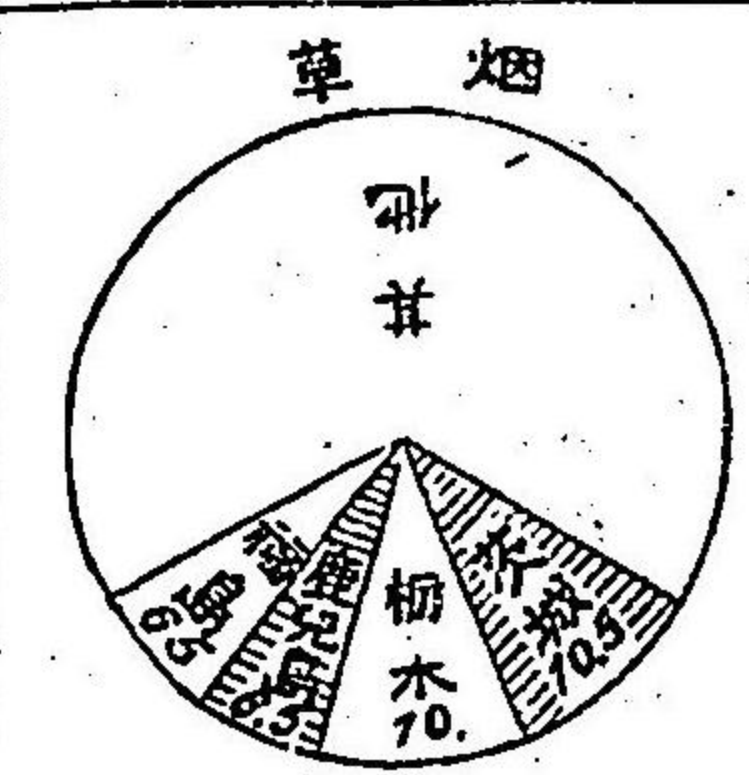
農業盛にして烟草小麦の産は共に我國第一なり。沿海は漁利多く、鱈鮪は殊に多量なり。寒水石斑石は本縣の特産にして茨城炭の名亦高し。

奥羽地方

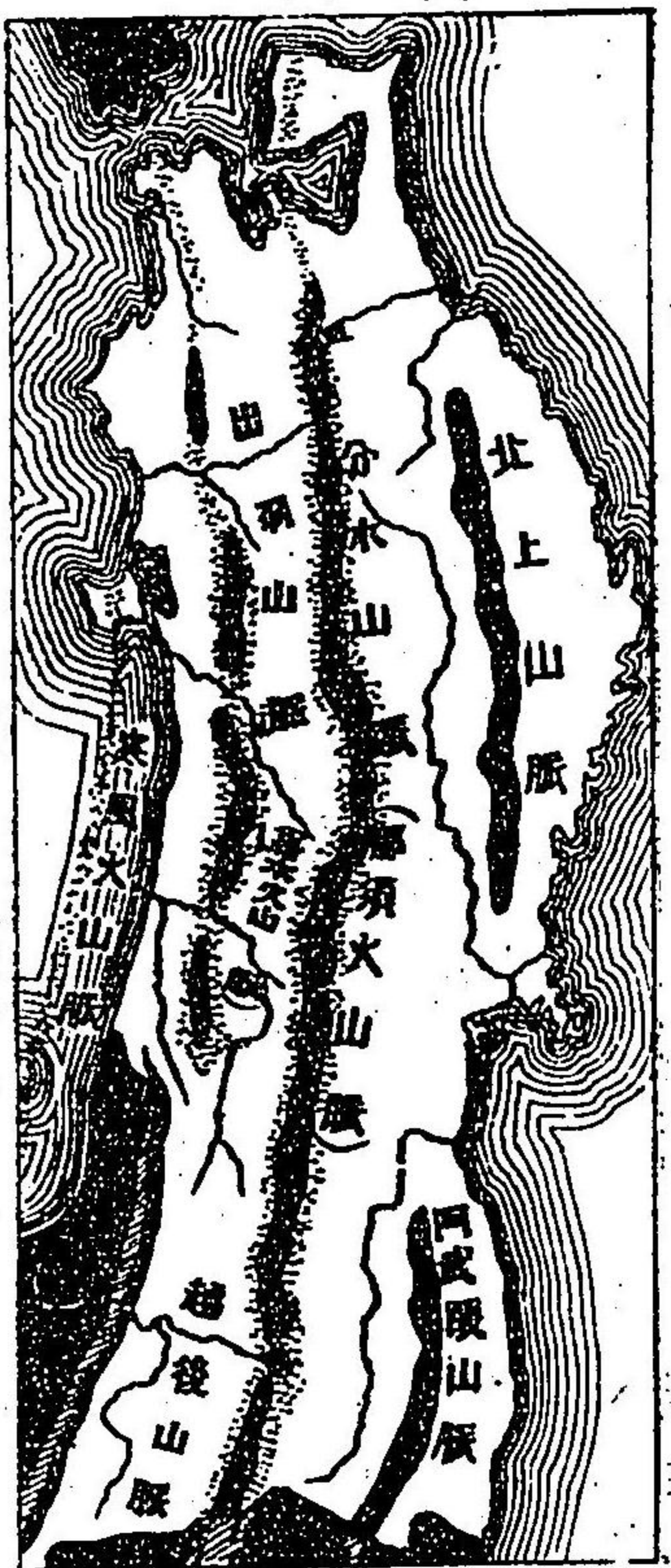
奥羽とは東山道の北部即、磐城岩代陸前陸中陸奥羽前羽後の七國にして、其中陸前陸中陸奥を三陸地方と稱し、羽前羽後を兩羽地方と稱す、域内を行政上左の六縣に分つ、

- 福島縣
- 宮城縣
- 岩手縣
- 青森縣
- 秋田縣
- 山形縣

地形 三面悉く海に瀕し、北方には津輕下北の兩半島あり、陸奥内海を挟み、東面には牡鹿半島出で、石巻灣を抱き、西面には男鹿半島ありて、八郎潟を圍めり。



一 奥羽地方の山脈火山脈及河

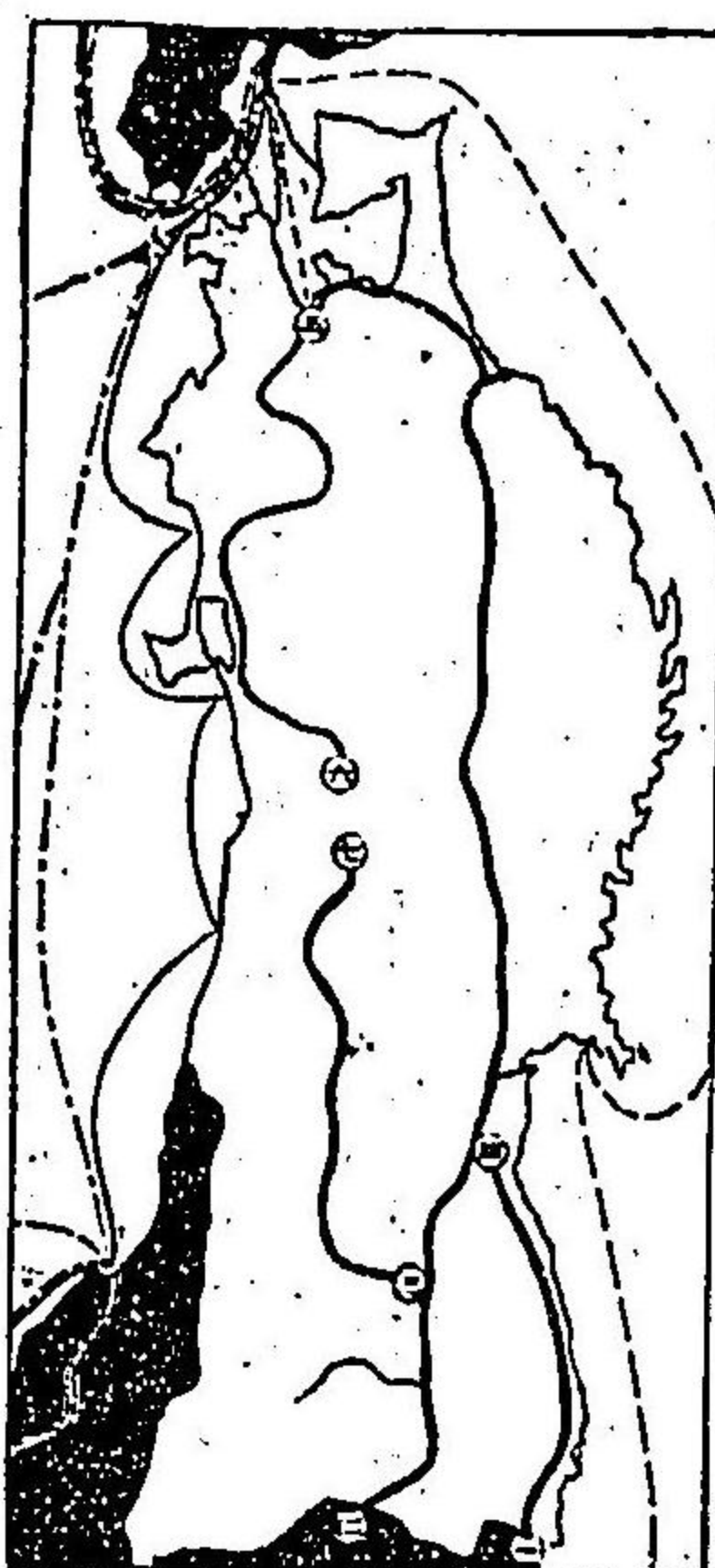


三條の山脈は殆相並行して域内を縦貫し、其間に二條の縦谷を造れり。

- 北上山脈 姫神山 (6,200) 早池峯 (6,600)
- 阿武隈山脈 靈山 (5,700) 大瀧根山 (7,400)
- 分水山脈(那須) 忍山 (7,100) 八甲田山 (7,400) 岩手山 (7,400) 吾妻山 (6,500) 磐梯山 (6,400)
- 出羽山脈(岩木) 岩木山 (7,400) 鳥海山 (7,100) 羽黒山 (7,400) 月山 (6,400)
- 越後山脈 朝日嶽 飯豊山

羽越山脈は所々斷絶して一連をなさず、且分水山脈と連結して、所々に階状の地形をなし、此他寒風火山脈ありて海邊に亘れり。

二 奥羽地方の交通を示す



東廻線横濱小樽西廻線其沿岸に寄港し且北海道との航通

河流は此等の山脈間にありて東西に分流す、即馬淵川北上川阿武隈川は太平洋に注ぎ、岩木川能代川御物川最上川日橋川等は日本海に注ぐ、此等の流域には肥沃なる平野多し、所により北上平原阿武隈平原津輕平原能代平原秋田平原庄内平原山形平原會津平等の名あり。

東北線の鐵道は海岸線と相會し、北走して奥羽北線と連絡し、又之と接續すべき奥羽

南線は東北線より分岐して北走す、此他尙一二の小支線あり、海運は神戸小樽

頻繁を極め、又三條の海底電線ありて互に連絡せり。

**福島縣** 縣内〔岩代郡 城代郡〕には三條の山脈連亘し、河湖其間に挾りて、所々に平原を形成せり。

阿武隈川は域内主要の大河にして、流域は桑園に富み、養蠶製絲の業盛に行はれ、都邑は多く此中に發達せり。

**白河**は戊辰の激戦地にして馬市に名高く、近傍に**白河關址**あり、**須賀川**附近には煙草を産し、**郡山**は岩越鐵道分岐點に當り市況盛なり、此等の地は皆蠶業盛にして、生絲の集散多く、**三春**地方は馬の牧養に名高く、**二本松**は戊辰の激戦地にして生絲紬を産す。

福島は縣廳所在地にして、奥羽南線の分岐點に當り、繭生絲織物の取引盛大を極め、羽二重の産に名高き**川俣**は此南東

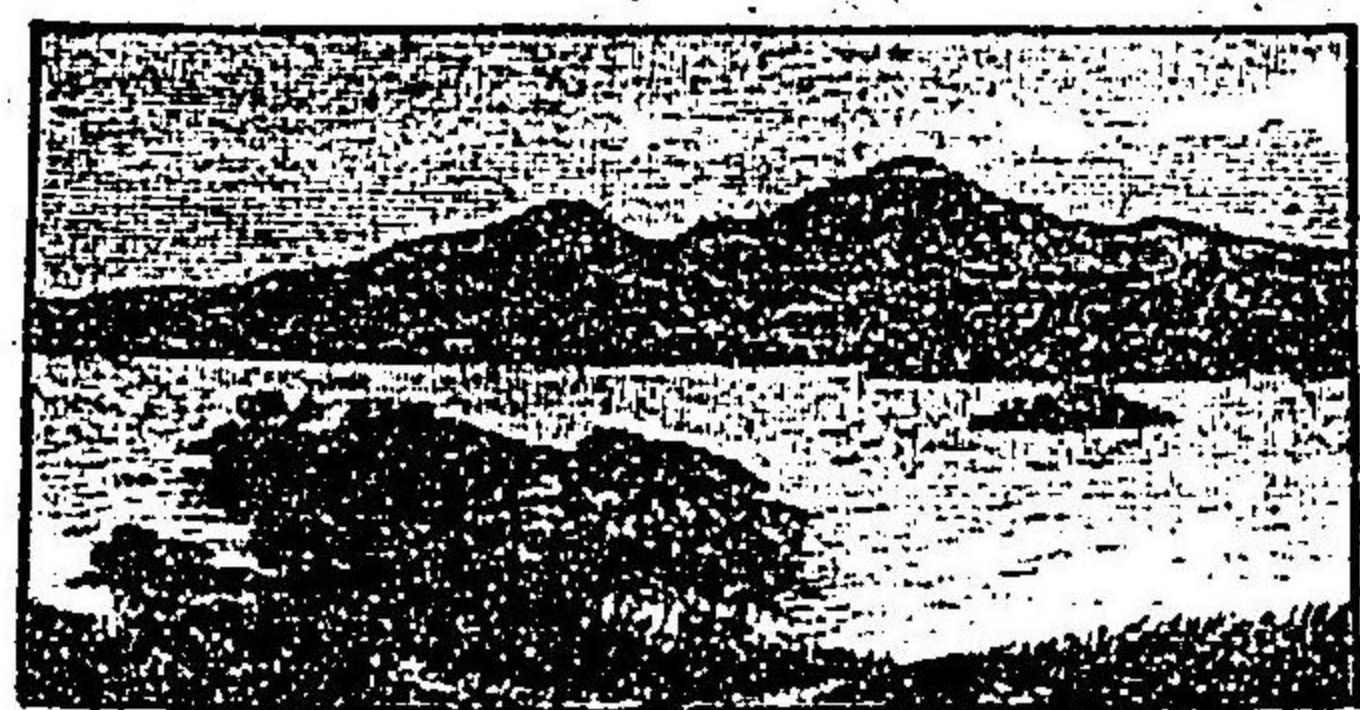
にあり。

福島の西方**吾妻山**は近時破裂せし火山なるを以て名高く、北方の半田は嘗て銀の産を以て聞え、東方の**磐山**には**靈山神社**あり。

**若松市**は戊辰の激戦地にして、會津平の中心にあり、工業頗盛にして、漆器陶器の産多く、蠟燭亦佳品の稱あり、附近よりは人參を産す。

**磐梯代湖**は汽船の便を有し、**磐梯山**其北方に聳えて風景甚だ佳なり、近時疏水を設けて阿武隈川に通じ、其沿岸には田圃大に開けたり、**磐梯山**は近時破裂せし火山にして、其際生じたる數多の湖沼山麓に湛へり。

**平**は石炭採掘の中心地にして、之に近く**小名濱**あり、北方の**中村**は相馬燒の産地にして、此邊の海岸には勝地多し。



高き三つは  
梯山前に  
るは往年に  
の原生じたる  
槍原沼にして  
湖の島嶼は  
噴出物の堆積  
せしものなり



松島灣の一部を示せるものにして多数の島嶼散在する状を見るべし

石巻と秋田四十萬分の一とを示せるものにして北上川口は深底波状く同深線の波状くをなすを見るべし地海に迫りし平地に見るべし

此より西南の海岸は砂濱なれども牡鹿半島及其以北は礁濱多く金華山海上に屹立す此沖合は海獸鮪等の好漁場にして北方の女川灣は地形上甚だ良港なり

氣仙沼は良港なれども陸上との交通悪しく又西北境に近き細倉

は鉛の産多かりしが今は其採掘を中止し鬼首には有名なる歌土湯あり

平野廣くして所謂仙臺米の産甚だ多し仙臺平埋木細工は共に名高き産物なり



盛岡市に於ける馬市當日雜沓の状を示す

岩手縣

縣内陸前一部陸中一部は東西兩部に山脈ありて、河流其間を流れ、狹長なる平野をなせり。

一關は米生絲の集散地にして、其北方衣川邊は古址多く、衣川・柵址・平泉・館址・高館・中尊寺等皆名高く、水澤には緯度觀測所ありて、附近に鎮守府址あり。

盛岡市は縣廳及高等農林學校の所在地にして、水陸交通の便を受け商業稍盛なり、生絲織物鐵器マツチ軸木等を産し、附近には馬の牧養及林檎の栽培盛なり、近傍に厨川・柵址あり、南部富士の稱ある岩手山高く其北西に聳ゆ。





釜石は釜石鑛山より採掘する鐵の積出港にして、近時此南方地方に發見したる金産地は頗る豊富なるが如く、宮古は漁業の中心地なり。

此邊は三陸海嘯の際、甚だしく害を蒙りたる處にして、海岸は山勢海に迫りて岩角鋸齒の如く、閉伊岬海中に突出す、以北は稍單純なれども亦礁嶺多く、海上は漁利に富み、殊に鮑、柔魚、鮪等の産に名高し。

管内面積の廣きこと諸府縣中の第一なり。鐵の産出は全國第一に位し、硫黄は北海道に次ぐ。

稗は全國産額の殆ど三分一を占め、近來林檎の栽培多く、牧馬亦盛なり。鮑の漁利他に比ぶものなく、盛に干鮑に作り、鮭も北海道の次に位す。

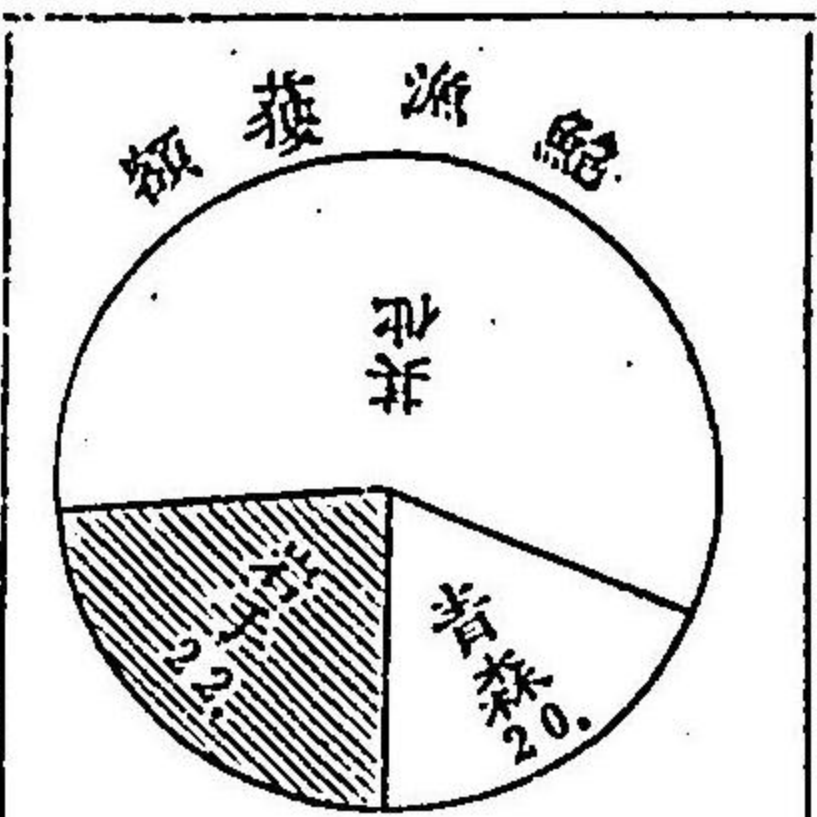
青森縣

縣内は三條の山脈相重りて高地多きも、東西兩部には河流多く平地亦廣し。

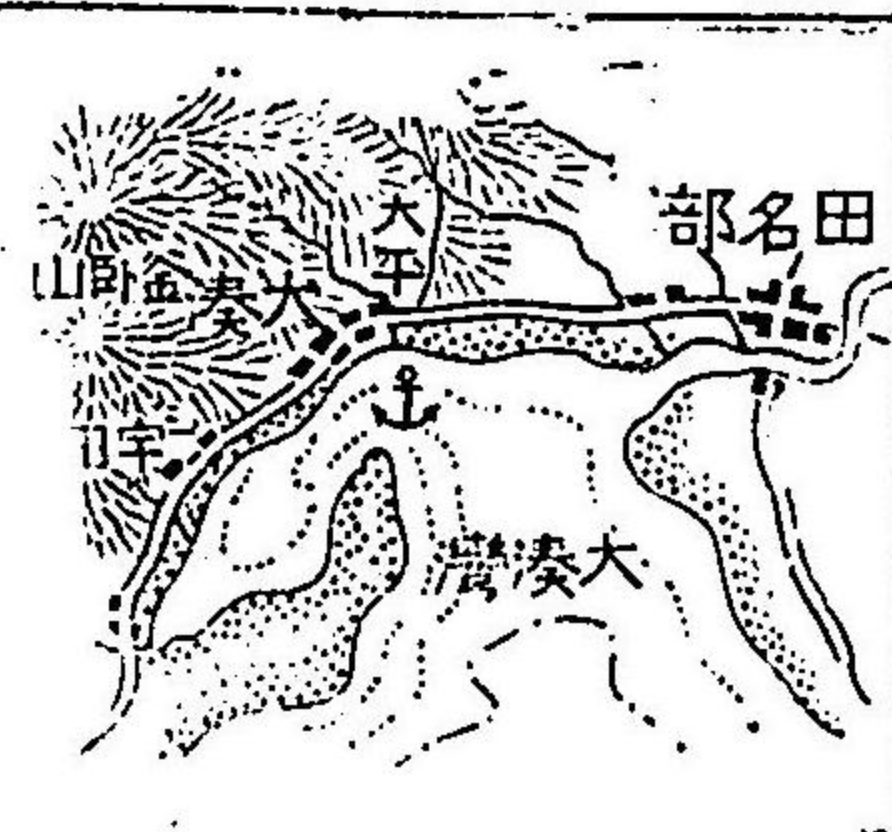
八戸は鮫濱を扣へて、海産物の集散多く、北西の三本木原に

鮑産量の比較  
百分率を示す  
單位萬圓  
全額  
岩手 一四七  
青森 九〇

要 概



大湊附近二十  
萬分の一



は牧馬盛にして軍馬育成所あり。

野邊地は陸奥内海の要港にして、之と對する大湊には海軍水雷團の設あり。

恐山は有名なる火山にして硫黄の産多く、又附近より良材を産するを以て名あり。

青森(市)は縣廳所在地にして、鐵道(東北線)の接續點に當り、又北海道と航通上の要地たり。

陸奥灣は夏泊崎によりて、青森野邊地の兩灣に分れ、又平館海峽によりて

津輕海峽と通ず、津輕海峽には龍飛岬、大間岬突出し、北東端の尻屋岬邊は、

暗礁海霧多けれども、昆布の産に富み、岬以南は砂濱にして湖沼多し。

弘前(市)は第八師團司令部の所在地にして、米及津輕塗を産し、附近よりは林檎及蔓細工を出す。

岩木山は津輕富士と稱し、山容の美を以て聞え、岩木川の流域は米の産多

河口に十三湯あり、此邊鮭を産す、河口以南は砂濱多けれども、南部は山勢海に迫りて礁濱をなし、鱈作此に突出す。

要 概

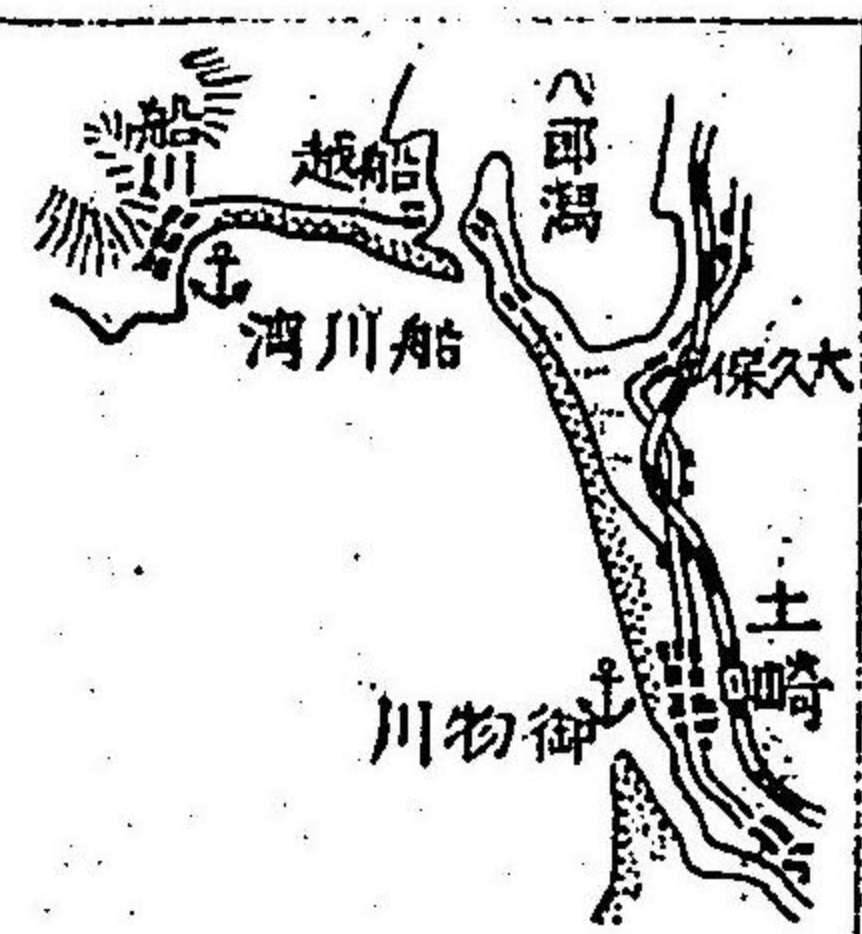
管内は本州中氣候最寒く従て雪期甚だ長し。山林廣くして、良林に富み又滿庵の産は北海道に次ぐ。平地は林檎の栽培多く沿海は漁利に富み、殊に鱈は北海道に次ぐ。

秋田縣

個の盆地をなし、海岸地も亦稍平坦なり。

能代川は米代川、大阿仁川、小阿仁川等の合流にして灌漑廣く農業盛なり。此上流には鑛山多く、又木材の産に富む、御物川流域も亦多く米を出す。

小坂尾去澤阿仁は共に著名の鑛山にして銅銀を産し、能代港は能代川口にありて米、木材等の商業地たり、春慶塗は此地の特産なれども産額多からず。



土崎と船川二  
十萬分、二

銅産額の比較  
百分率を示す  
單位百貫

秋田 一六五  
全額 一五  
秋田 一六五  
全額 一五

銅産額の比較  
百分率を示す  
單位萬斤

秋田 四二七  
全額 一〇四  
秋田 四二七  
全額 一〇四

秋田(市)は縣廳所在地にして、御物川沿岸にあり、畝織八丈縞

等を出し、又露の産に名高く、河口の土崎港

は秋田の門口なれども、冬季は波荒く碇泊

に適せず、對岸の船川港は良港たり。

男鹿半島には寒風山屹立し勝景を以て著はる沿岸

は奇石怪岩多く海上には雷魚の産あり、半島以北の

沿岸は砂濱にして砂丘多く、以南一帯も亦砂濱なり。

横手は木綿の産地にして近傍に金澤、柵址

あり、南境の院内は有名なる銀山にして、出

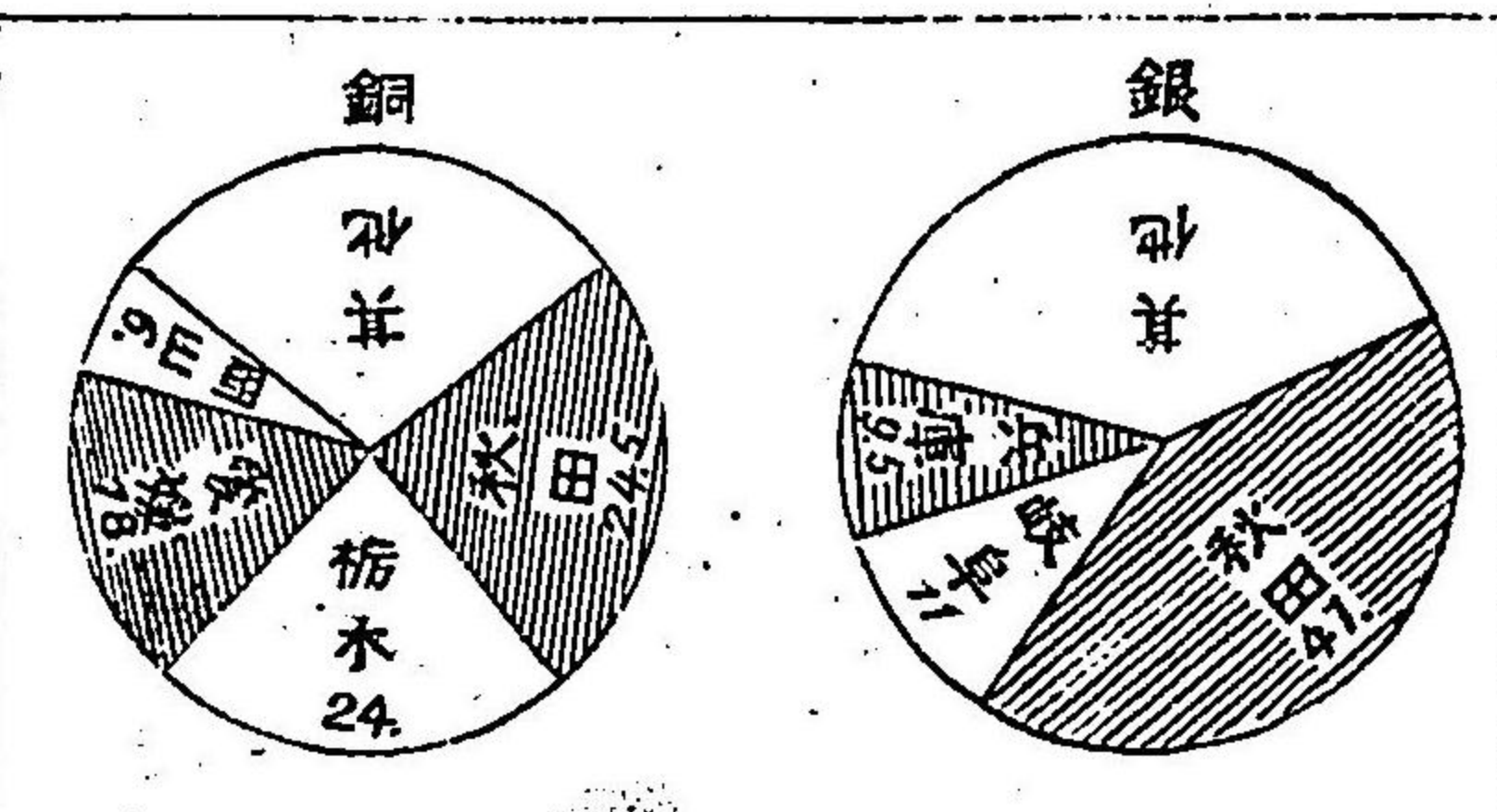
羽富士の稱ある鳥海山其西方に聳ゆ。

要 概

山林多く、國有林の廣きこと、鑛山の多きこと共に全國第一なり。銀銅の産額は共に本邦第一にして地産育は本縣の特産なり。

山形縣

縣内(無羽世)は地勢秋田縣に酷似し、平原ありて共に



河の灌漑に便なり。

最上川は本邦三急流の一にして、その上流は山形平原を潤し下流は庄内平原を潤す、共に農業盛なり、兩平原の間に羽黒山、月山、湯殿山あり、羽前三山と稱し、行者の登山するもの多し。

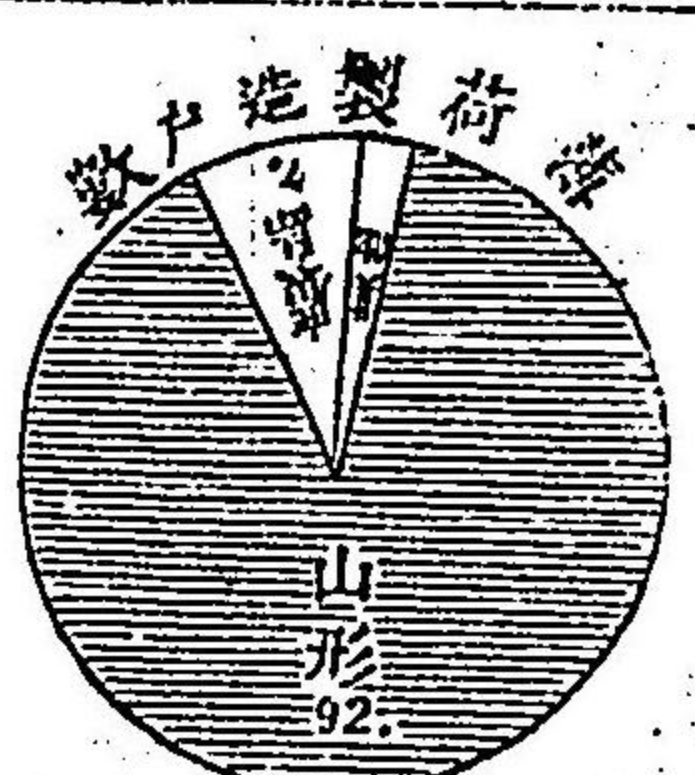
酒田は最上川口に位し、水淺けれども米穀の積出多く、鶴岡は庄内平原の中心に位し、米穀の集散地にして、蠟燭の産亦名あり。

新庄は龜綾織の産に名高く、天童附近は薄荷の栽培盛なり、山形市は縣廳所在地にして米穀の集散多く、米澤市は機業頗盛大にして絲織の産世に名高く、又生絲の取引多し。

の取引多し。

薄荷の栽培多きことは本縣の特色なり。  
養蠶製絲の業盛にして絲織の産出多し。

薄荷製造戸數の比較百分率  
山形 一四  
全縣 六一  
單位 六三五  
山形 五八七  
廣島 四二



奥羽地方概括表

縣形山	縣田秋	縣森青	縣手岩	縣城宮	縣島福	縣府
羽後、一部前	羽後、大部	陸奥、大部	陸奥、一部	陸奥、一部	磐城、大部	區管
湯殿山	院阿尼、小寒島、院去坂、内仁、山山	八甲山	釜石山	早池山	磐城山	山地
最上川	八耶湯	小十河	衣北川	名取川	猪苗代湖	河勢
鶴岡、新庄、酒田	船代、土崎、横手	大野、八戸	一関、水澤、宮古	氣仙沼	三春、平、中村	處
羽前三山	金澤、男鹿、牛島	恐山	平泉、高館、鎮守府	多賀城、鹽竈、松島	白河、關、靈山神社	名地舊址
酒田	土崎	野邊地	釜石	氣仙沼	小名濱	港
米、薄荷、漆	米、銅、銀、木材	米、林、鹿、馬	米、神、林、鹿、馬	大豆、馬、餅	桑、烟草、人参	天產物
生絲、米澤織	鹿、秋田、漆	鹿、秋田、漆	鹿、秋田、漆	鹿、秋田、漆	鹿、秋田、漆	製造物

本州中部地方  
に於ける山脈  
火山脈及河流  
の方向を示す

本州中部地方

此地方は東海道の尾張三河遠江駿河伊豆(大)甲斐東山道の美濃飛騨信濃北陸道の若狭越前加賀能登越中越後佐渡の十六ヶ國にして之を行政上左の九縣に分つ。

- 山梨縣 靜岡縣 愛知縣 岐阜縣 長野縣 新潟縣 富山縣
- 石川縣 福井縣



地形 域の南海岸には伊豆半島出で、駿河灣を圍み、渥美半島知多半島ありて、渥美灣知多灣を擁する等、屈曲甚だ多けれど、北海岸は頗る單純に

して能登半島突出して富山灣を抱へ海上には遙に佐渡島の浮ぶあるのみ。地域崑崙樺太兩山系の結合地にして之に屬する山岳甚だ多く幅員亦廣し富士火山脈此結合點を横斷して殆南北に亘り數多の高峯を噴起せり。

關東山脈

甲武信嶽 金峰山  
(9,100) (9,420)

越後山脈

飯豊山 清水峠

此他寒風火山脈あり米山之に屬す。

富士火山脈

天城山 富士山 八ヶ嶽 戸隠山 妙高山  
(4,910) (12,470) (9,670) (4,250) (8,150)

赤石山脈

赤石山 駒ヶ嶽  
(10,200) (9,900)

木曾山脈

惠那山 駒ヶ嶽  
(7,920) (9,500)

飛驒山脈(火御山脈)

御嶽 乗鞍嶽 穂高山 繪ヶ嶽 立山  
(9,500) (10,450) (11,500) (9,200) (9,200)

寶達山脈

寶達山

鈴鹿山脈

伊吹山 鈴鹿山

中國山脈

三國山

此等の山脈結合地は濃飛高原

此他能登火山脈白山火山脈白山及阿蘇火山脈(風來寺山)等あり。

河流は此等の山間を流れ南北に分れて海に入る、即、富士川、大井川、天龍川、矢作川、木曾川は太平洋面に流れ、阿賀川、信濃川、神通川、庄川、九頭龍川は日本海に注ぐ、此等の下流沿岸には何れも平坦なる沃地あれども、越後平原、濃尾平原等は殊に其廣大なるものなり。

交通 主要道路には東海道中山道及北陸街道等あり、鐵道は東海道線、南海岸を貫通して、中央西線及關西鐵道之と連絡し、北海岸には北陸線の外、北越鐵道ありて信越線と接続

① 本州中部地方の交通を示す  
 ② 東海道線  
 ③ 中央西線  
 ④ 關西線  
 ⑤ 北越線  
 ⑥ 信越線  
 ⑦ 篠井線  
 ⑧ 中央東線  
 ⑨ 神戸小橋  
 ⑩ 東廻線  
 ⑪ 横濱小橋  
 ⑫ 四廻線  
 ⑬ 横濱打狗  
 ⑭ 日本海線

し、又中部には中央東線及  
 信越線より分る、篠井線  
 ありて、將に中央西線と相  
 會せんとす、其他此等より分岐す  
 る支線少からず、海運は神戸小橋  
 東廻線横濱小橋西廻線及日本海  
 線等の外小航路多く沿岸所々に寄港せり。



**山梨縣** 縣内(野)は四境殆、山岳を繞せども、中央には一大平  
 地を存す、之を**甲府盆地**と稱し、水利亦乏しからず。

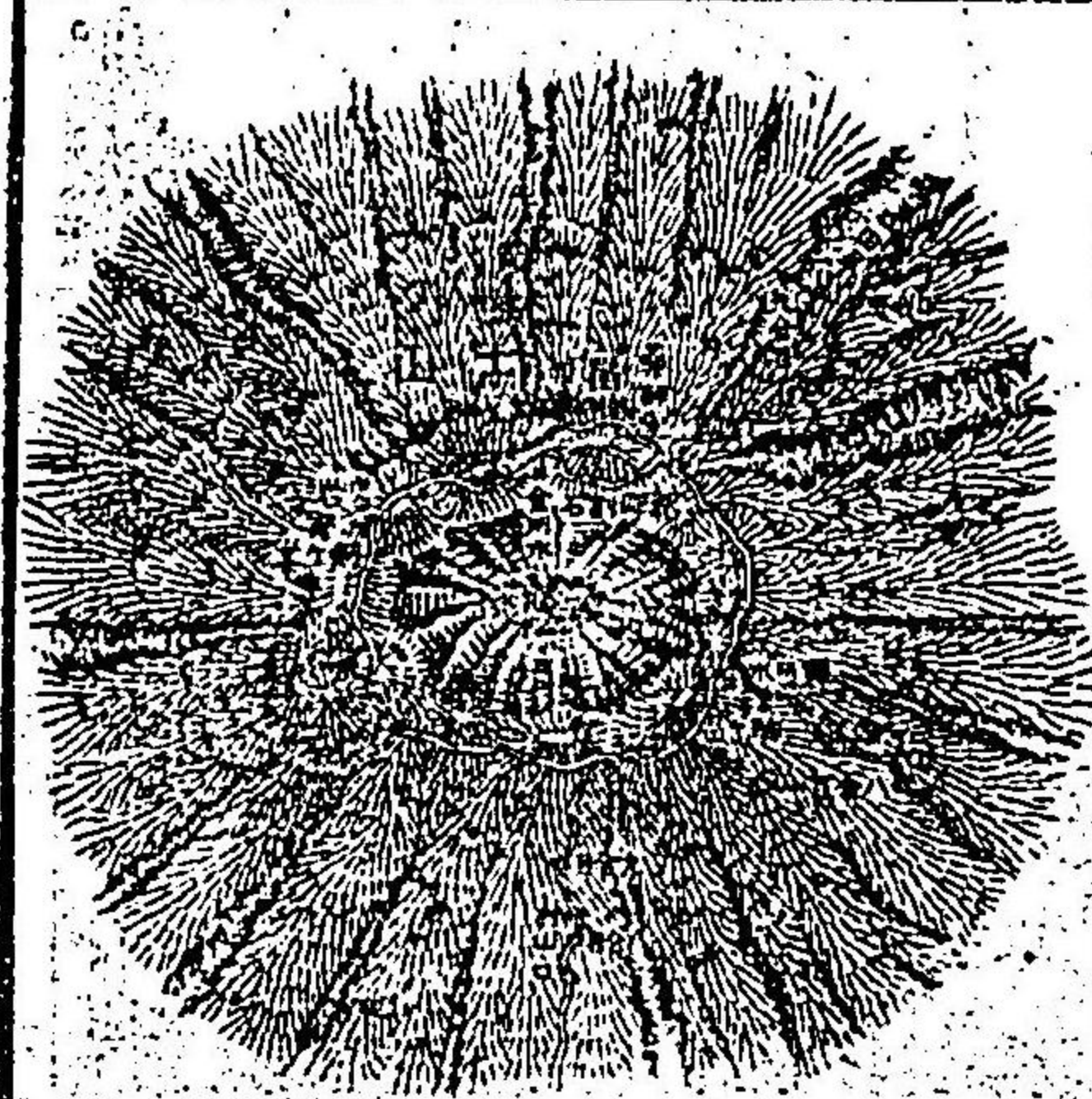
富士川は笛吹川釜無川の合流にして、本邦三急流の一に數へられ、東部の  
 桂川には奇巧に名高き猿橋を架す、桂河の上流地に富士山あり。  
 富士山は一大休火山にして、山容の美を以て著はる、山頂に雷噴火口あり。

① 猿橋と桂川の  
 ② 峽谷とみせの  
 ③ るものにして  
 ④ はに現はるし  
 ⑤ は中央東線の  
 ⑥ 鐵橋なり



をなせる平地にして、盛んに甲斐  
 絹を製出し、谷村は之れが集散多  
 く、此西方に笹子隧道あり、勝沼の  
 四近は葡萄の産出多く、近時葡萄  
 酒を醸出す、**甲府市**は縣廳所在地  
 にして、生絲其他縣内産物の集散

八峯其周圍に駢立し、絶頂最高  
 高く、又山腹の一端を賣永山  
 といふ、山麓は渺茫たる裾野  
 にして、北麓には湖水所々に  
 散在す、近時次第に開拓せら  
 れ、盛に楮三椏を栽培せり。



① 富士山頂を示  
 ② せる間にして  
 ③ 完全なる間、  
 ④ 體なる間、  
 ⑤ の噴火口と上  
 ⑥ 注視せよ

地にして近傍に酒折宮あり、北方の御嶽山は勝景を以て著はれ、金峰山は水晶の産に名あり。富士川に近き市川大門邊は近來製紙業盛となり、鵜澤は富士川通航の極限に當り、雨畑は硯材を出し、身延山は久遠寺あるを以て名あり。

概

山梨に山ありの態の如く管内山地多きを以て穀産は割合に少し。果物の産多く殊に葡萄は全國第一にして又水晶の特産なり。養蠶盛にして生絲織物の産多く殊に甲斐絹は我國第一なり。

静岡縣

縣内(河豆江)は、數多の山嶽重疊すれども數大河ありて其等の沿岸及海岸には平地少からず。

安倍川の流域は茶園甚だ多く、大井川は昔時逆瀬渡のありしを以て名高く、天龍川の流域も亦茶園多く上流地方よりは木材の産多し。

御殿場は富士登山口の一にして、附近より三極を産し、沼津

五上國は富士川より富士山を望みたる所にして下國は大井川の鐵道なり



は伊豆半島へ通ずる要路に當り、貨物の集散多く、豆相鐵道此近傍の三島より分る。北條は一名邑にして、近傍には修善寺、蛭小島等、源氏の史跡多く、修善寺は又東方の熱海と共に温泉に著はれ、南方の下田はもと開港場たりしを以て名あり。

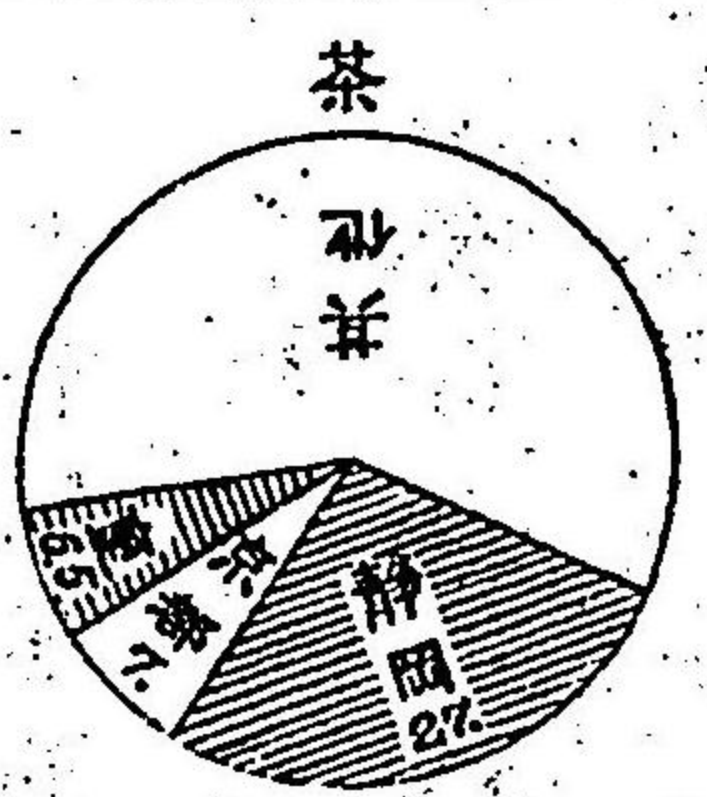
天城山は半島の中央に聳ゆる死火山にして、山中は木材石材の産多く、又椎茸の收利多し、此山勢海





茶産額の比較  
百分率を示す  
單位萬貫  
全額 一七二〇  
静岡 一九五  
京都 四六一  
三重 四六  
此外 臺灣 二三五

り沿岸は砂濱多く海には鰯鯉鱈等の漁利多し。  
濱松は茶疊表の集散多く又風琴の製作に  
名あり近傍に三方原の古戰場及濱名湖あり  
濱名湖は風光明媚にして今切によりて  
遠州灘と通ず又北方の秋葉山は賽者多し。



要 概

山姿秀麗なる富士山國境に聳え河に海に景を添へて名勝多し。  
茶經節洋紙の産は共に全國第一に位し半紙琉球表木材石材亦多し。  
漆器の産多く又精緻なる竹細工の名産なり。

愛知縣

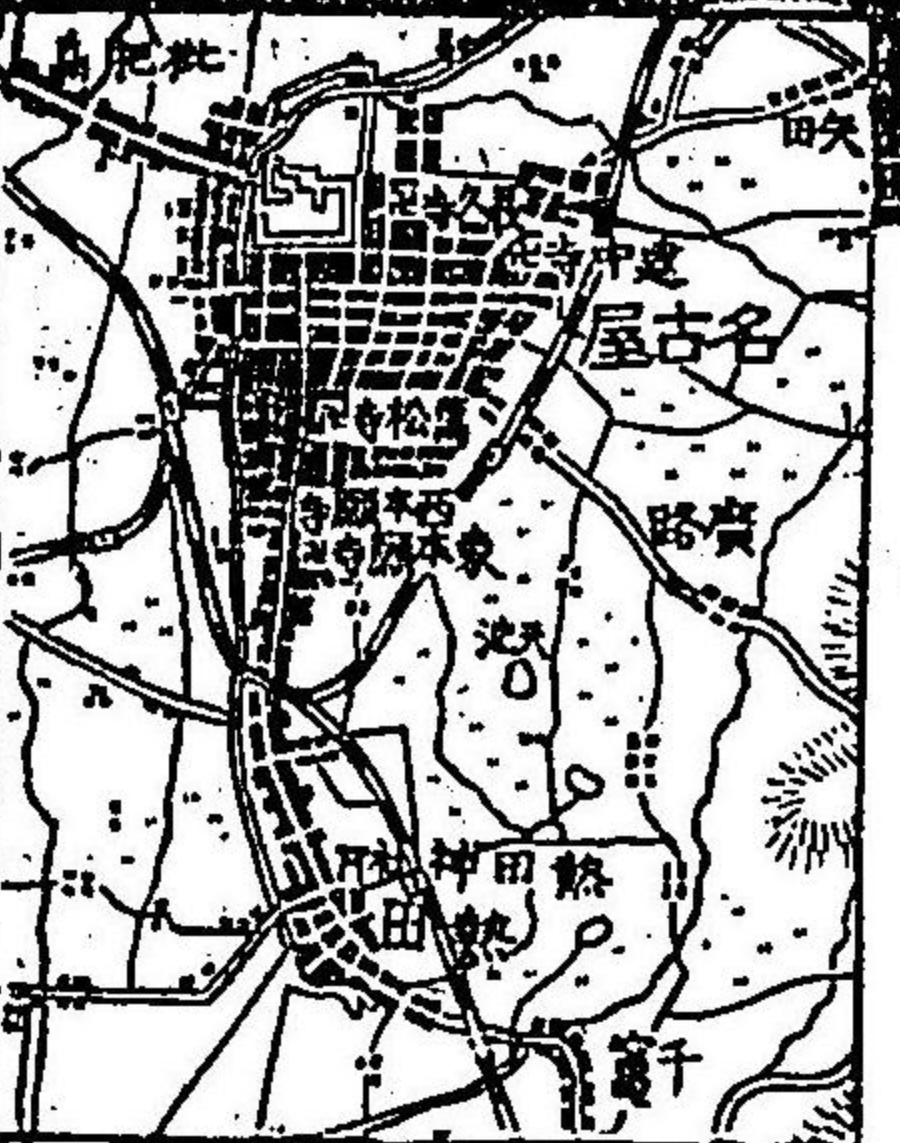
縣内(尾張)は東北部に山岳起伏すれども西部は肥沃なる平野相連り、河流灌漑の便多し。

豊川は矢作川及其支流太平川と共に三河の國名起原たり、矢作川流域は古來綿の名産地なりしが今は漸く衰へて米及桑の耕作盛となれり

豊橋は豊川の下流に位し、附近より烟草芋等を産す、豊川鐵

知多半島の東  
岸にして右方  
に出でたる砂  
洲は権現島な  
り

名古屋城の一  
名古屋敷の牙  
城にして號の  
周囲の淡く畫  
れるは金網を  
以て被はるゝ  
が放なり



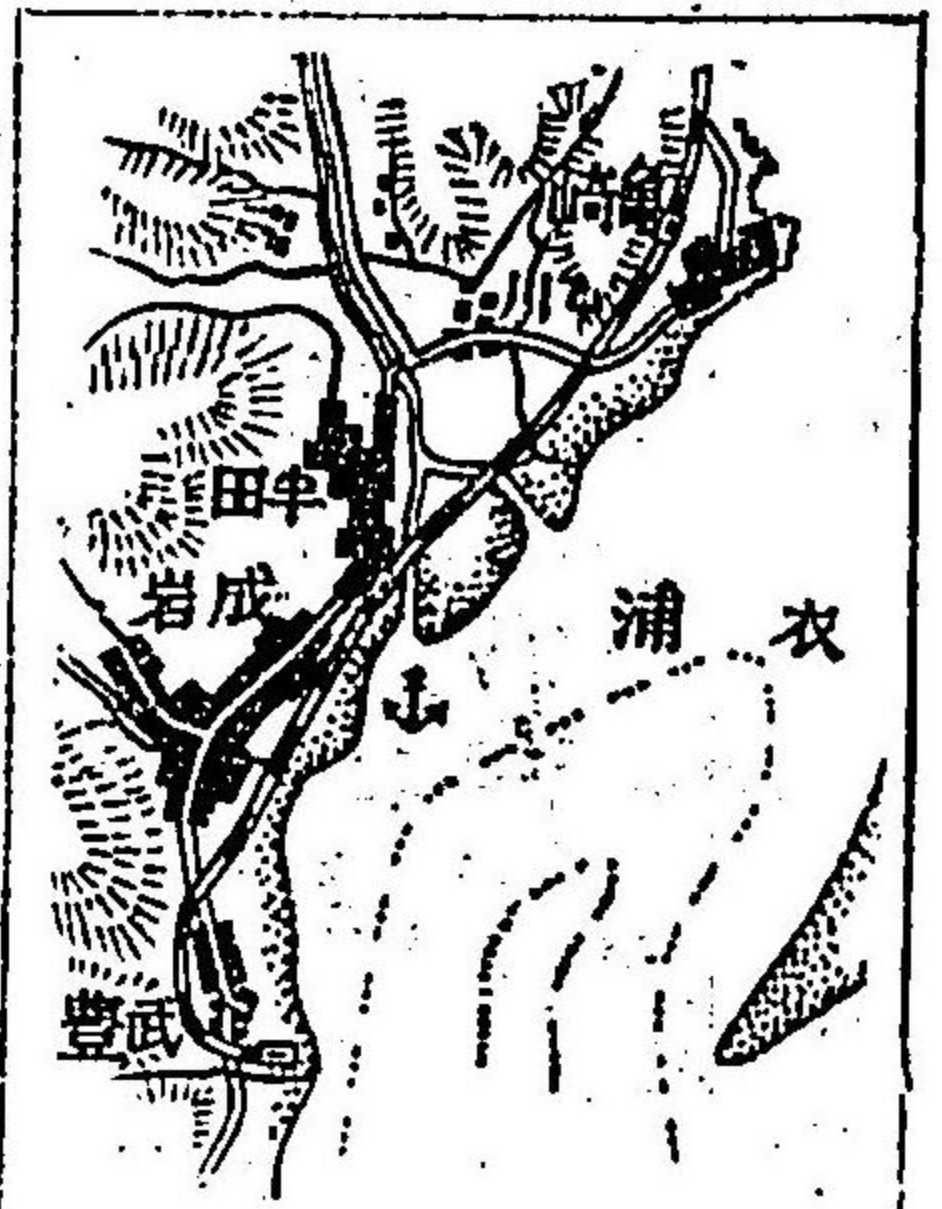
産する名倉

あり、

岡崎は徳川

氏創業の地

にして、地方商業の中心地たり、大府



は武豊線の分岐點に  
當り、近傍の有松鳴海  
は共に絞木綿の産に  
名高く、桶狭間は有名  
なる古戰場なり。

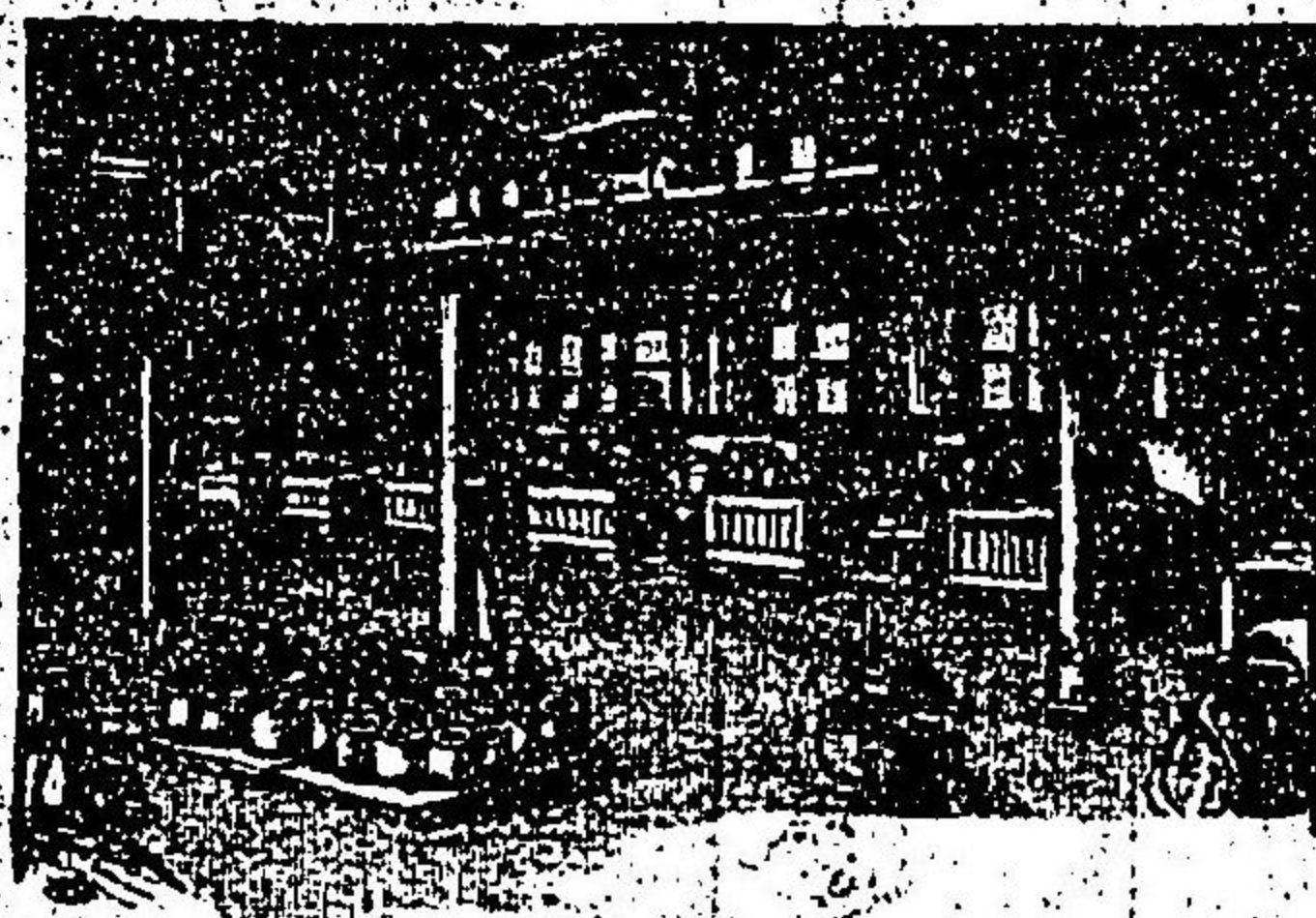
知多半島の龜崎半田は共に清酒酢等の醸造多く、武豊は開港場にして重に陶器を輸出し、常滑は陶器の産に名高き所なり、熱田は熱田神宮あるを以て又宮と稱す、海陸交通の要地なれども、港口淺きを以て近時築港の企あり、

陶器製造の状況を表すものとして、前記の数字を並列するに、器具の概形を造りて半乾きとなしたるもの、又後部の工人は之を機織りに載せ、薄く削りて器具となし居る處なり。

知多半島の岬端を師崎と稱し、渥美半島の伊良湖岬と相對して、知多灣及渥美灣を抱く、灣口に佐久島篠島等あり、灣岸は一帶砂濱にして海水浴地多く、海上には鮪の漁利多し。

名古屋市は東西兩京の間にありて、鐵道

系の中心に位し、百貨輻湊商業殷盛を極め、里人稱して中京といふも、徳川氏の親藩を封ぜし地にして、金の鯨に有名



木綿織産額の比較百分率を示す單位萬圓  
 大坂 八六二  
 京都 四〇〇  
 和歌山 四〇〇  
 愛知 五六〇  
 岐阜 五〇〇  
 全額 一〇〇〇  
 比 四  
 陶磁器産額の比較百分率を示す單位萬圓  
 全額 一〇〇  
 愛知 一六六  
 岐阜 一〇七  
 全額 一〇〇  
 比 一

なる牙城は今離宮となれり、縣廳第三師團司令部控訴院醫學專門學校等の所在地にして織物漆器扇七寶燒綿絲等の産多く、近時マツチ麥稗眞田等の産亦漸く増加せり。

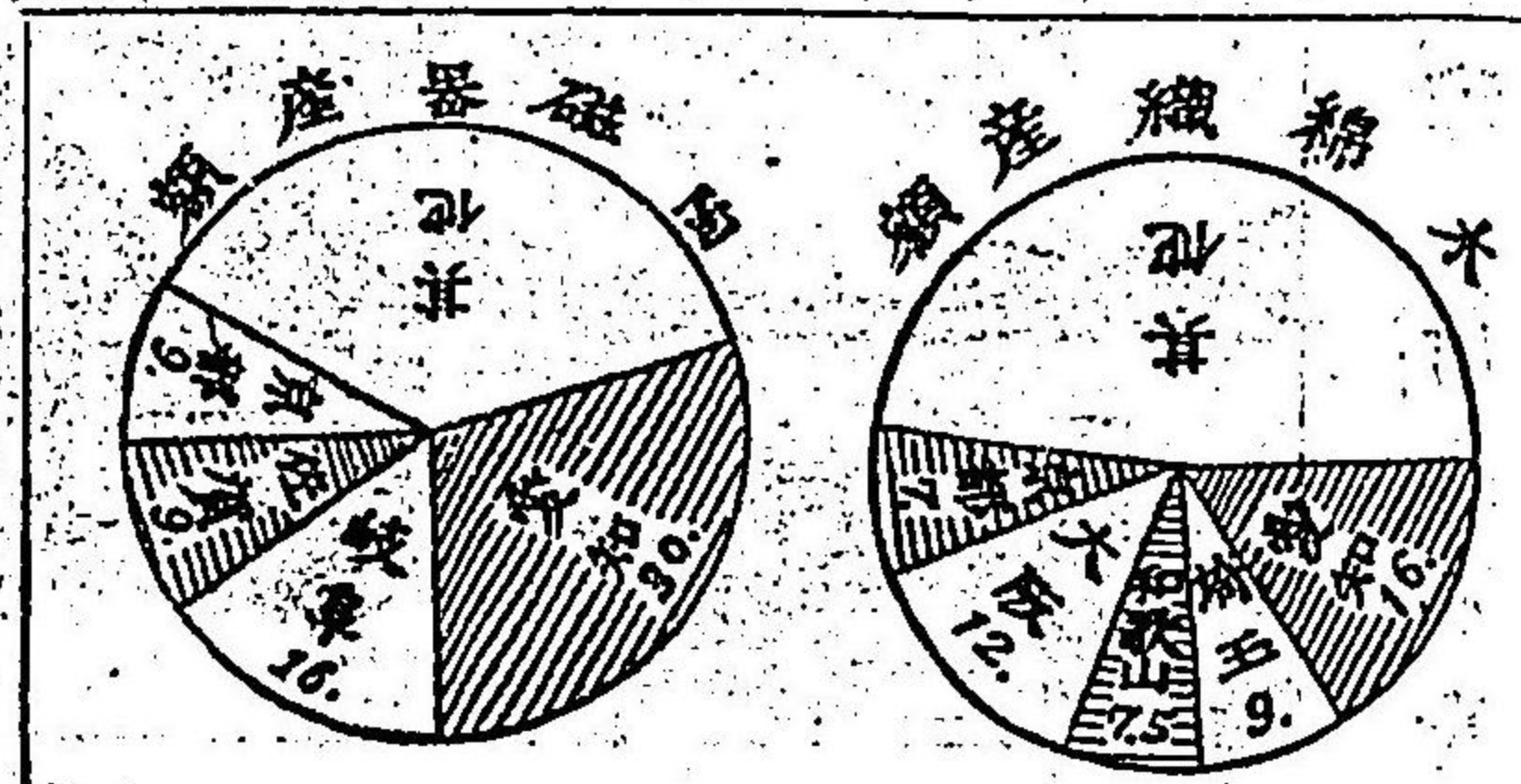
瀬戸は製陶業盛なる所にして、長久手は戦史に名高く、西北の一宮は地方商業の中心にして、尾西鐵道此より分れ、津島を経て關西鐵道と連絡す、又木曾川沿岸の犬山は犬山燒の産地にして、小牧山は有名なる古戰場なり。

概要

全國殆ど瀬戸燒の名を知らざるものなく、其産額我國に冠たり、木綿織物の産は本邦第一にして、麥稗眞田マツチの産亦甚だ多し、農産豊富にして、尾張は特に野菜物に富み、宮重大根の特産あり。

岐阜縣

縣内(美濃)は三面山に圍まれ、北部は甚だ高峻なれ



ども南方は平坦なる沃野にして、河水の灌漑の利多し。

木曾川は長野縣より來り、飛騨川長良川揖斐川等を合せ、舟楫灌漑の利多く、其流域は、米の産多けれども、時々汎溢の憂あり。

岐阜(市)は縣廳所在地にして、米穀織物

紙生絲等の集散多く、提灯團扇等亦名産とす、市東に有名なる金華山、聳え、其麓を流る、長良川は鵜飼の名所たり、上流の八幡地方は製絲業盛にして、板取川沿岸地方は抄紙業盛なり、又岐阜の東方蜂屋には蜂屋柿の名産あり、大垣は舟運の要點にありて、米穀の集散多く、赤坂は蠟石を



長良川に於ける鵜飼の有様なり

一六 黒鉛産額の比較百分率を示す 岐阜 全額 富山 一四 一三

産し、關ヶ原は名高き古戰場にて近傍に不破關址を存し、養老山には養老瀧あり。

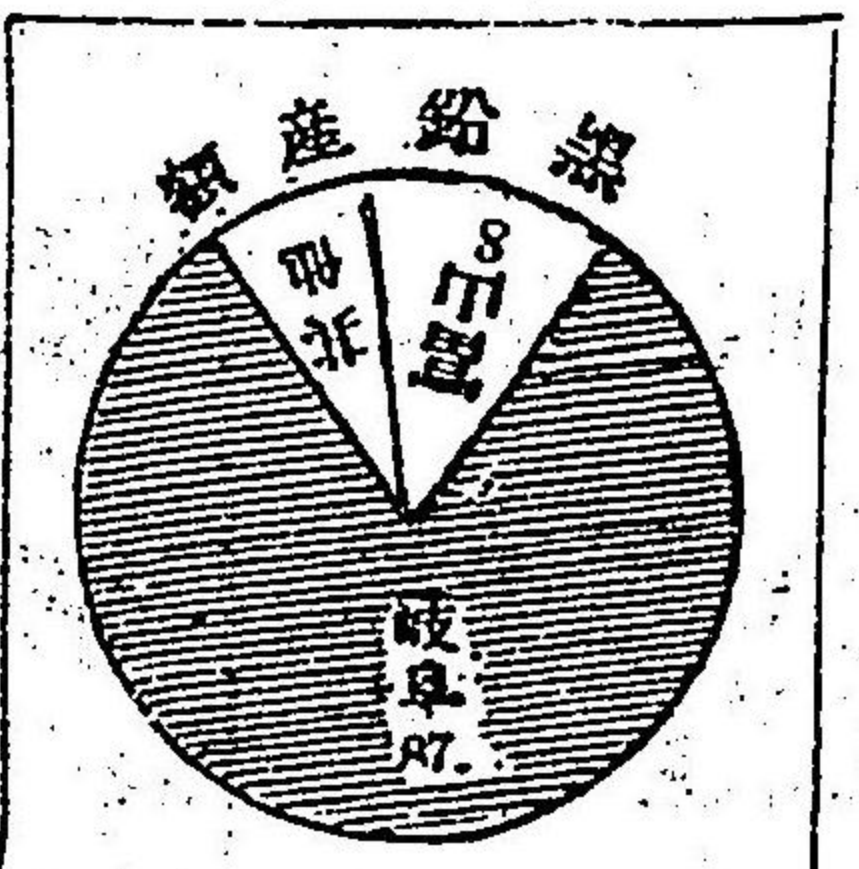
土岐津は近傍の多治見と共に、盛に陶器を産出し、中津は中

央西線現時の終點にして製絲業行はる。

高山は山岳四周し且土地礫確なれば、主として養蠶紡織を業とし、又春慶塗一位細工

を産す、近傍の位山には水松繁茂し、北部の

山地よりは銀銅鉛等を産す。



紙の抄出は古來名高く殊に美濃紙の産は全國第一に位す。

陶器は愛知縣に次ぎ生絲織物の産亦多し。

黒鉛は本縣の特産にして、銀は全國第二位を占め、鉛の産亦多し。

長野縣 縣内(信)は數多の山脈集合し、火山脈亦其中央に亘

り、只山間所々に狹長なる平地ありて、數多の河川此を流る

一七 諏訪湖の冬  
水結して人馬  
其の上より流  
出たての川  
に於ける木  
給送の状を  
示す。長野  
園は長野川  
境に近き静  
たるもの



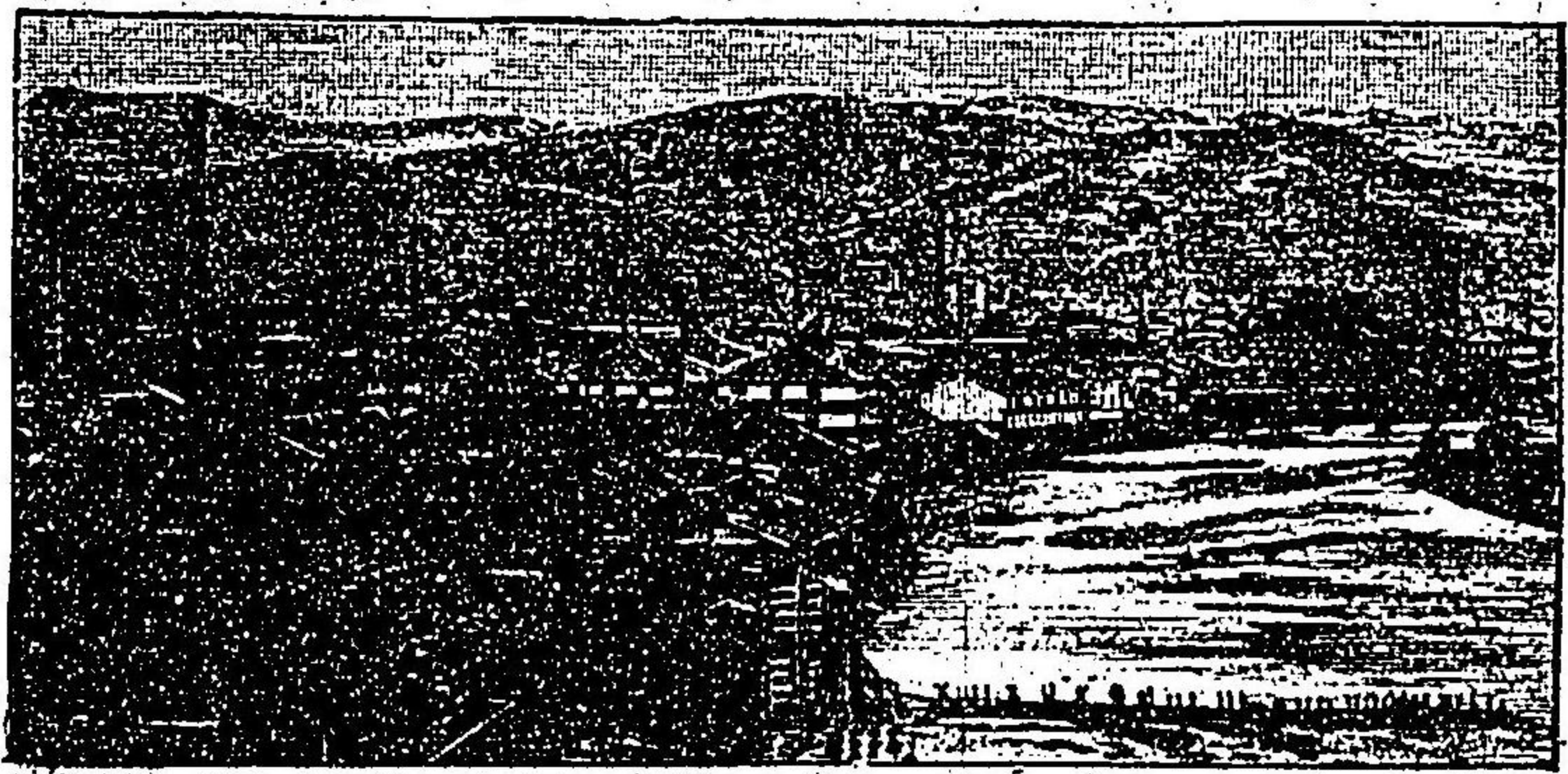
福島は木曾谷の要地にして、檜細工を産し、近傍に木曾、棧道、址、寝、覚、床の勝地及宮越城址等あり。

木曾谷は有名なる森林にして、檜の良材を産し、又木曾駒の産

一八 上諏訪の市  
上諏訪の市  
ゆにして高  
ゆにして高  
ゆにして高  
ゆにして高  
ゆにして高

に名あり、御岳は夏時登山者多し。上諏訪は諏訪平の中心に位し、製絲業盛大を極め、飯田は伊那谷の要市にして、生絲元結の産あり。

松本は松本平の中心にあり、縣内第一



東城

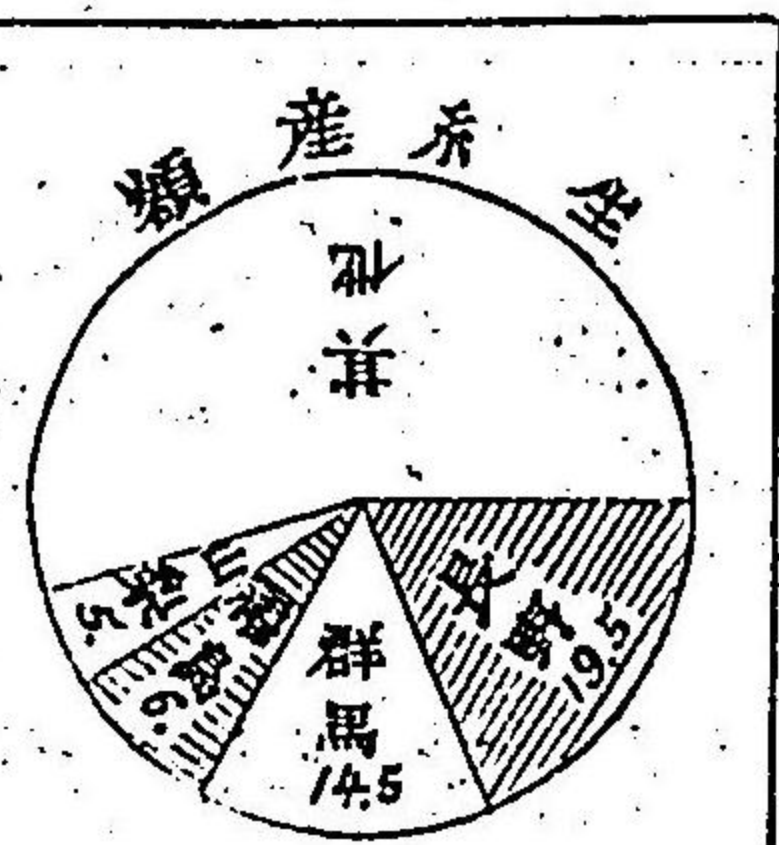
一九 生米産額の比  
較百分率を示  
す。單位萬圓  
全額 二五〇  
長野 四九  
群馬 三七  
山梨 二五

の商業地にして、繭生絲の取引多く、鐵道篠井線鹽尻より來り、觀月に名高き、姨捨山附近を過ぎて信越線に合す。上田は佐久平の中心市場にして、生絲上田縞を産し、小諸も亦繭の集散多し、其東方淺間山は有名なる噴火山にして、山麓に輕井澤あり。

長野(市)は善光寺平にあり、縣廳所在地にして、鐵道開通以來重要な市場となれり、有名なる善光寺あるを以て、賽者常に絶えず、近傍の川中島は名高き古戰場なり。

要 概

面積廣くして、一府八縣に隣し、海岸線を有せず。養蠶盛にして繭生絲蠶卵紙は共に産額我國第一に位す。木曾の森林は良材の産多く、木曾駒の産亦名高し。



**新潟縣** 縣内（佐渡後）は境上に山脈相連れども、中部は廣大なる平原にして、大河之を貫流す。

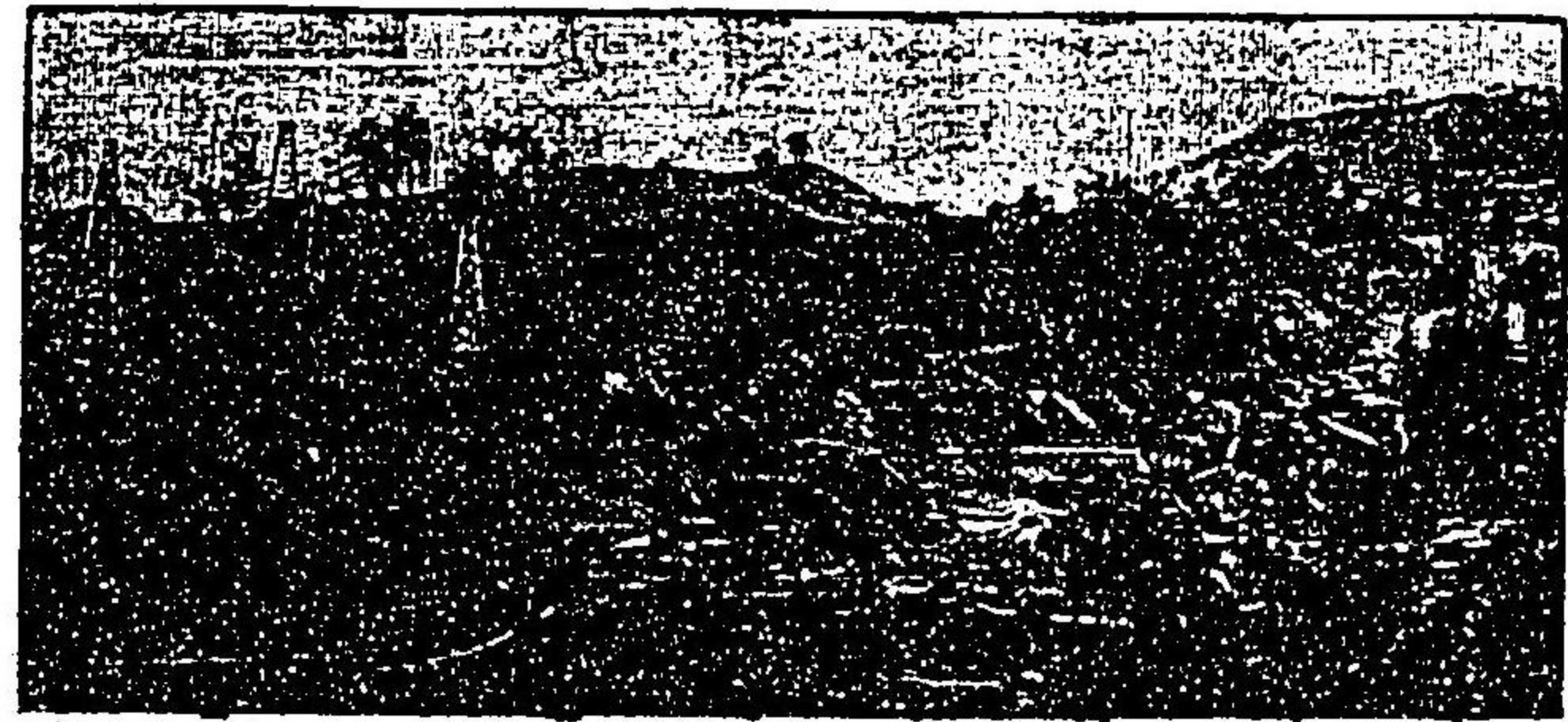
信濃川は本邦第二の長流にして、下流は小汽船の便を有し、河中は鮭の漁利少なからず、又流域は米の産出極めて多し。

信濃川口の**新潟(市)**は縣廳

所在地にして北越鐵道の終點たる沼垂と河を隔て、相臨む、港は古き開港場なれども水淺く波荒きを以て貿易振はず、近來漆器の製出稍盛となり**新發田村**上は共に名邑にして村上には漆器（漆器）の産あり。  
**新津**は石油業盛大にして近傍の**五泉三條**

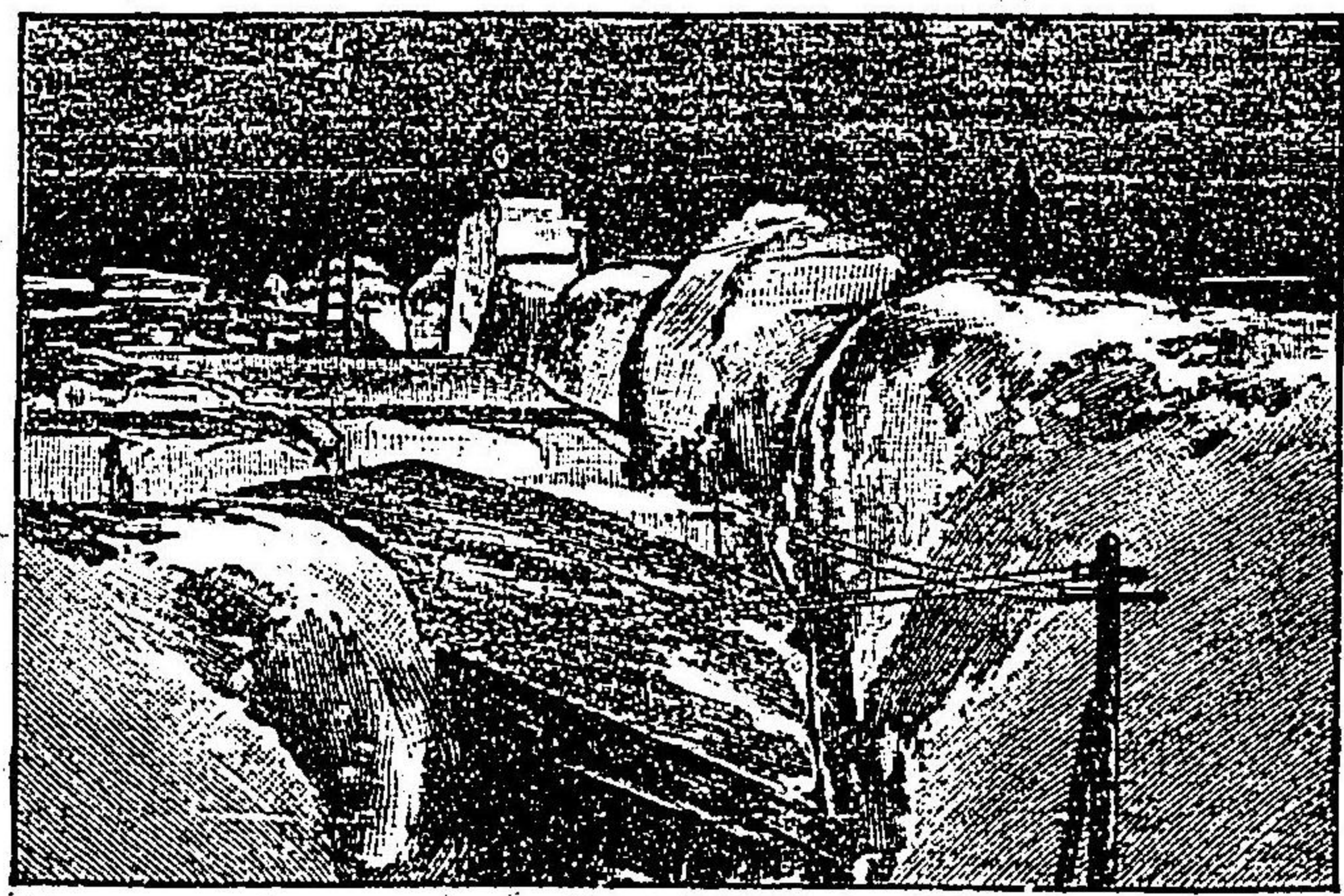


新潟縣 二〇  
二十萬分、二  
油類の石油坑  
に於ける長岡  
列するは機織  
掘低く芽舎の  
状態なすもの  
は手掘なり



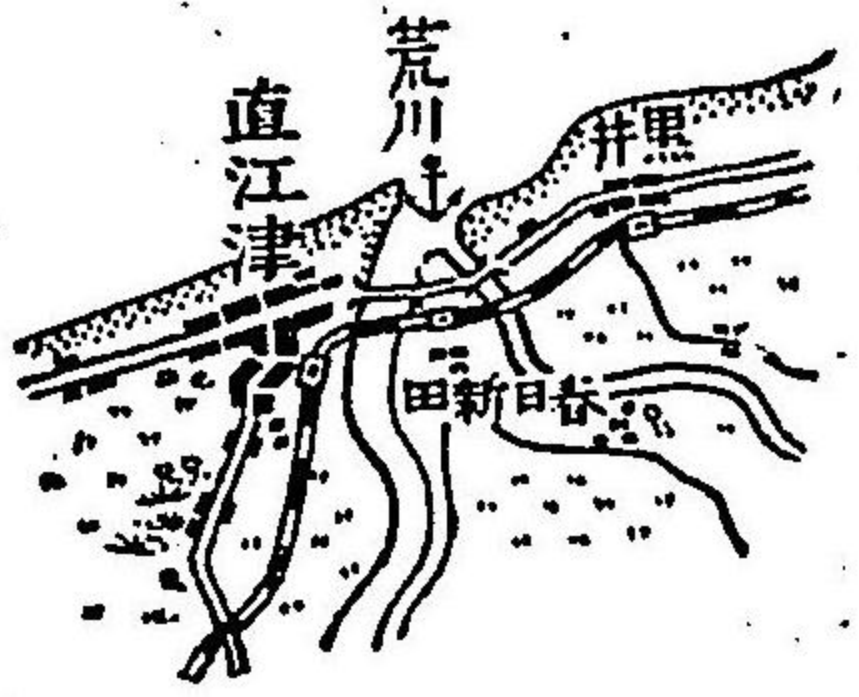
明治二十六年  
に於ける長岡  
左方の下部に  
一部分は現は  
一、家屋は二階  
の屋根は二階  
前面の電信柱  
割合に多く現  
はるは、街道  
の交又點なれ  
ばなり

は共に織物の産地にして五泉平の名世に著はる。  
**長岡**は石油業の中心地にして、商業活潑を極め、米穀の集散及織物の産出多く、近傍の**栃尾**は紬を産し、西南の**小千谷十日町**は、共に縣内主要の機業地にして、越後縮透綾羽二重等の産多し。  
**柏崎**は石油業盛にして日本石油會社あり、又織物米穀等の取引多く、**出雲崎**は**寺泊**と共に佐渡と交通上の要地なり。



**直江津**は鐵道の接續地に當り、貨物の集散多く、**高田**は古來

圖二二二 直江津港 二十萬分一

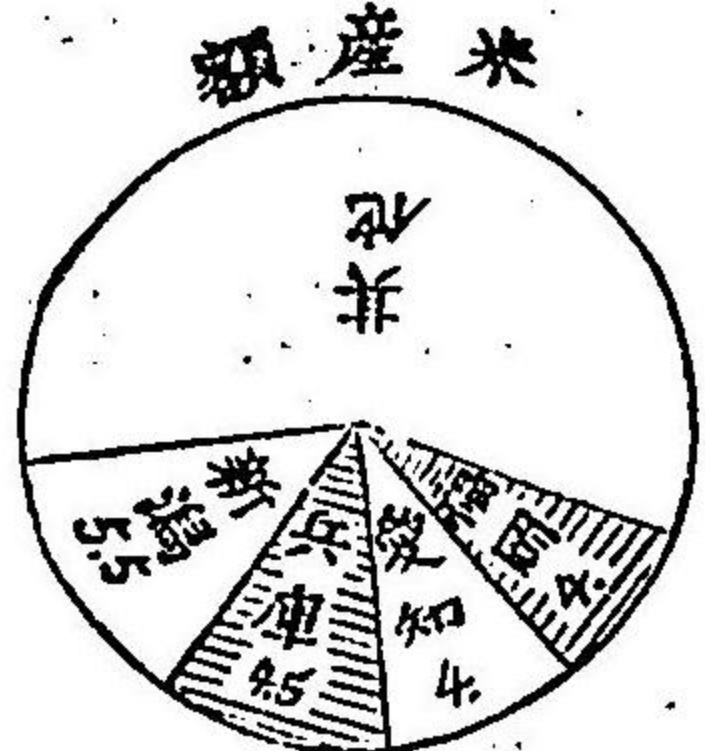


深雪を以て名高く、織物烟草及漆器(漆器)等を産し、近傍の春日山には上杉氏の城址を存し、妙高山麓には赤倉温泉あり。越後の沿岸は概砂濱にして砂丘多けれども、南西境

圖二二四 親不知の沿岸 此海濱を通行せしが今は別新道の設あり

は山岳海に迫りて所謂親不知の險をなし北東の國境にも岩礁並列して海府浦の勝をなせり此海上遙に佐渡島あり。

圖二二五 米産額の比較 百分率を示す 全額 四一七三石 新潟 二二七三石 兵庫 一三三三石 愛知 一七九六石 福岡 一六八六石



佐渡は全島山多きも中部には一帯の平地あり、相川は島中の名邑にして、近傍の金北山に金銀坑あるを以て榮え、又陶器(名無)



後との往復繁く、沿海は鰯鮑の産あり。 稷(稷)を産す、此南方に眞野宮あり、夷小木は共に要津にして、越

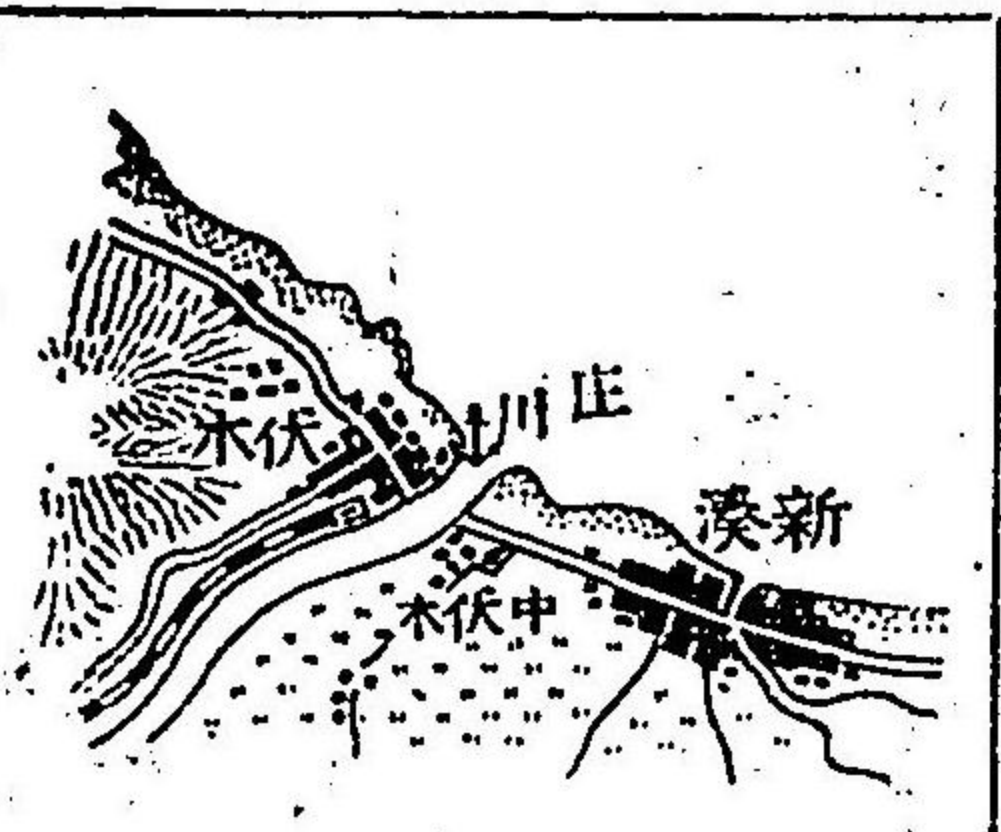
要 概

管内降雪多く、越路の雪とて古より名あり 米及石油の産額は共に全國第一に位し、金も亦第三位を占む。 柔魚の漁獲は全國第一にして、鮭は岩手縣、鱒は富山縣に次ぐ。

富山縣 縣内(越)は三方山を繞せども、中部は土地平坦にして、數條の河川此を流る。

黒部川は水勢疾く、所々に急湍あり、此上流にある立山は有名なる火山にして、庄川の上流には天柱石及釣橋の奇觀あり。

魚津は其海上に往々蜃氣樓の現はるゝを以て名高く、富山市は縣廳所在地にして、米穀肥料の集散多く、又古來賣薬の行商を以て名あり。



圖二二六 伏木港と新湊 二十萬分一

高岡(市)は中越鐵道の交叉點に當り、銅鐵器及漆器等を産し、城端は機業盛に行はれ、伏木は開港場にして米穀を輸出す、此近傍に新湊あり。

概

北陸中雪最も少き地なれども寒氣は甚だ強し。賣藥行商は都鄙遠近殆全國に足跡普し。鯉の産は北海道に次ぎ青銅器の産は京都に次ぐ。

石川縣

縣内(加賀)は山地多けれ

ども海岸は地平にして潟多く河

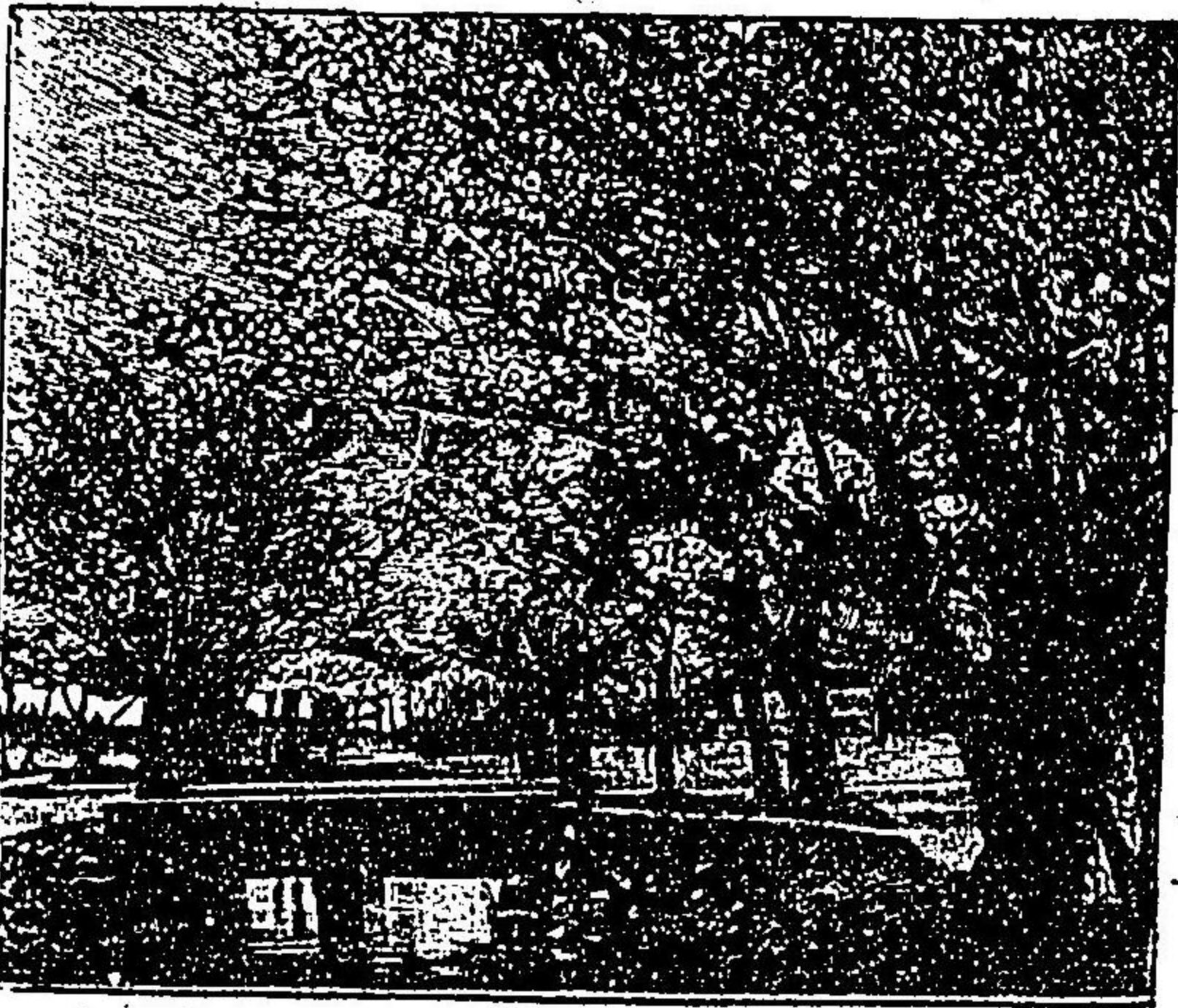
北潟邑知潟等稍大なりとす。

金澤(市)は前田氏の舊城下にして

北陸第一の都會なり、縣廳第九師

團司令部第四高等學校醫學專門

兼六園の二部を示す

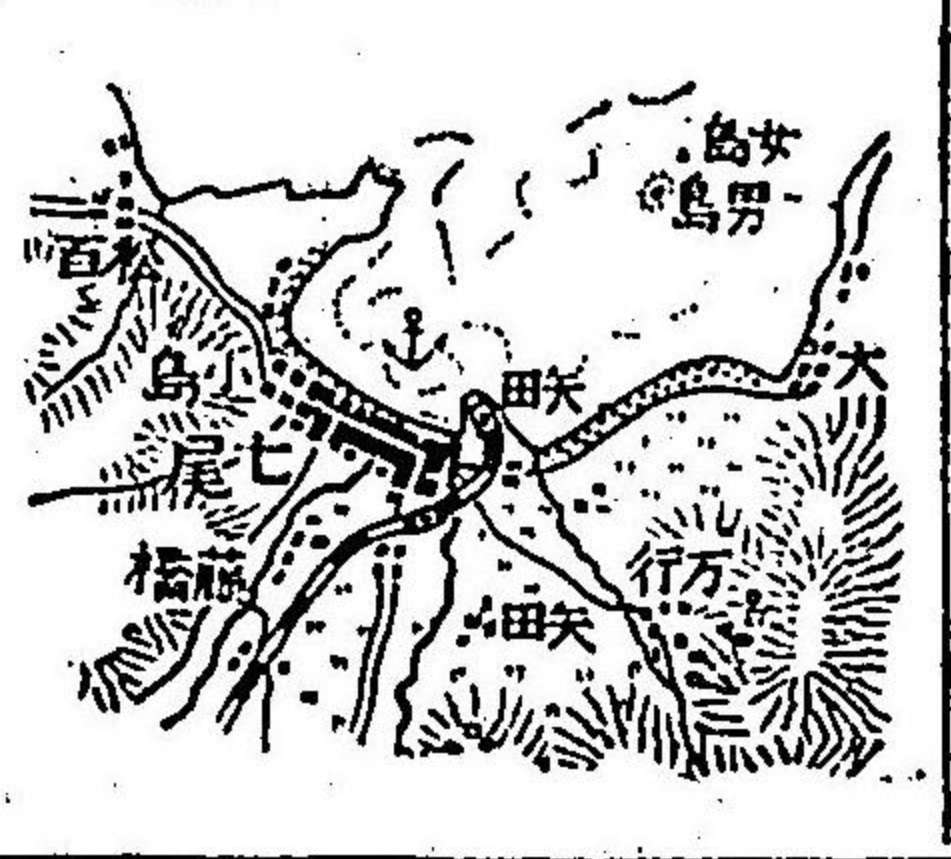


學校等の所在地にして、又有名なる兼六園あり、生絲織物九谷焼漆器銅器等の産に名高く、北西の金石は水淺く浪荒くして碇泊便ならず七尾鐵道此北東より能登半島に通ず。

能登は山地にして沿岸断崖多く、珠洲岬剛岬海中に突出す、此邊暗礁多く、海上遙に七尾懸倉島あり、沿海は鰐島賊鰐等の産多し、半島の東部に七尾灣あり、熊鷹島によりて南北二灣に分る。

七尾(市)は碇泊安全なる開港場にして、米、鰯等を輸出す、近傍の和倉温泉は浴客多く、北部の輪島は輪島塗の産地なり。

小松は加賀絹九谷焼等の産地にして近海に安宅關址ありと傳ふ、大聖寺も亦九谷焼の産多く、九谷製陶會社あり、之に近き山代は九谷焼を産し、

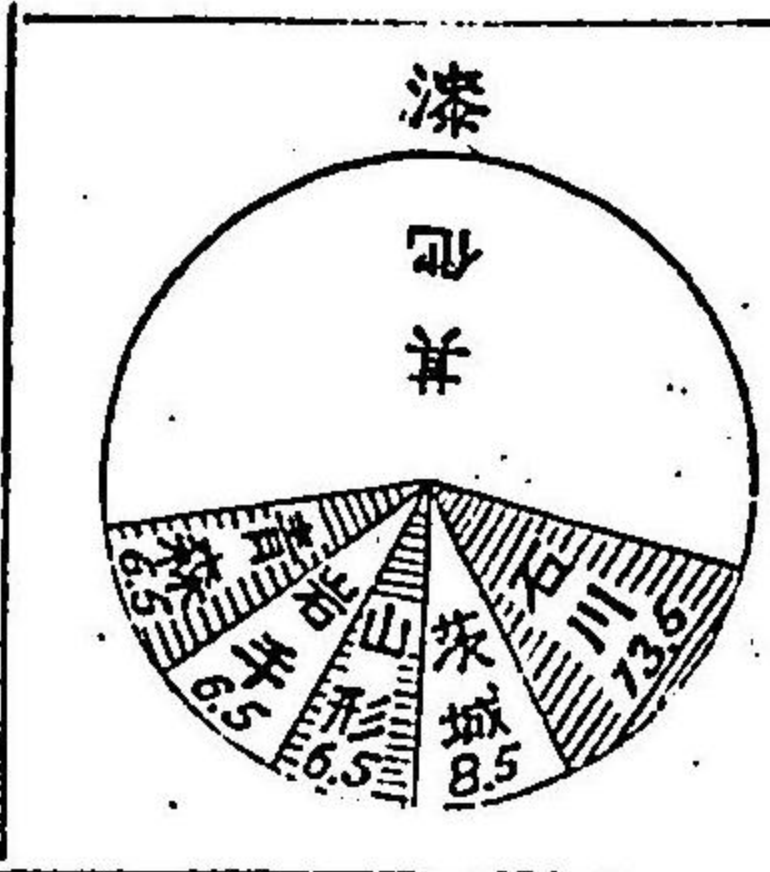


七尾港 二八 二十萬分、二八

山中は山中塗を出す、共に又温泉場として名あり。

概

九谷焼は縣内の特産にして産額亦頗多し。漆汁收穫は第一に位し、従て漆器の産多く、全國中第二位を占む。



産地	單位百貫
青森	二七
岩手	二八
山形	二八
山	三三
茨城	三五
石川	五五
全	四一
石	四七

福井縣 縣内(越前)は南境に山岳連亘すれども、東北部には平地ありて、河水灌漑の利多し。

九頭龍川は足羽川白野川等の支流を有し、灌漑域廣く、有名なる都會は多く、此中に發達せり。

福井(市)は縣廳所在地にして、古來奉書紬の名産ありしが近來羽二重の産夥しく、又米穀の集散多し、市中に藤島神社あり、永平寺亦遠からず、縣内は機業甚だ盛にして、東部の大野





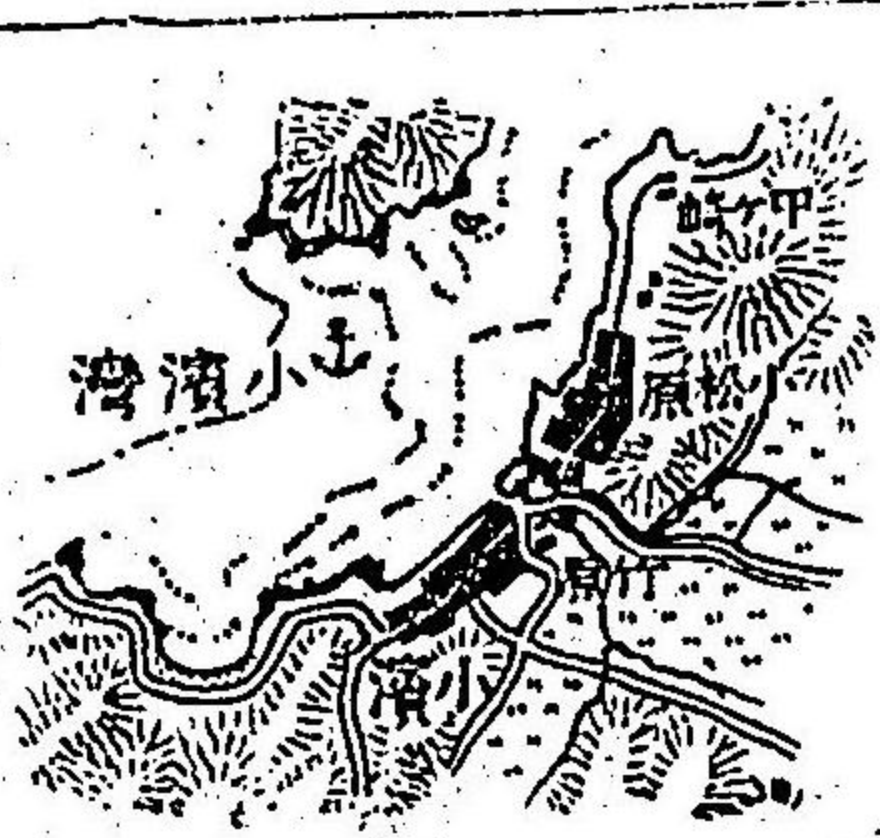
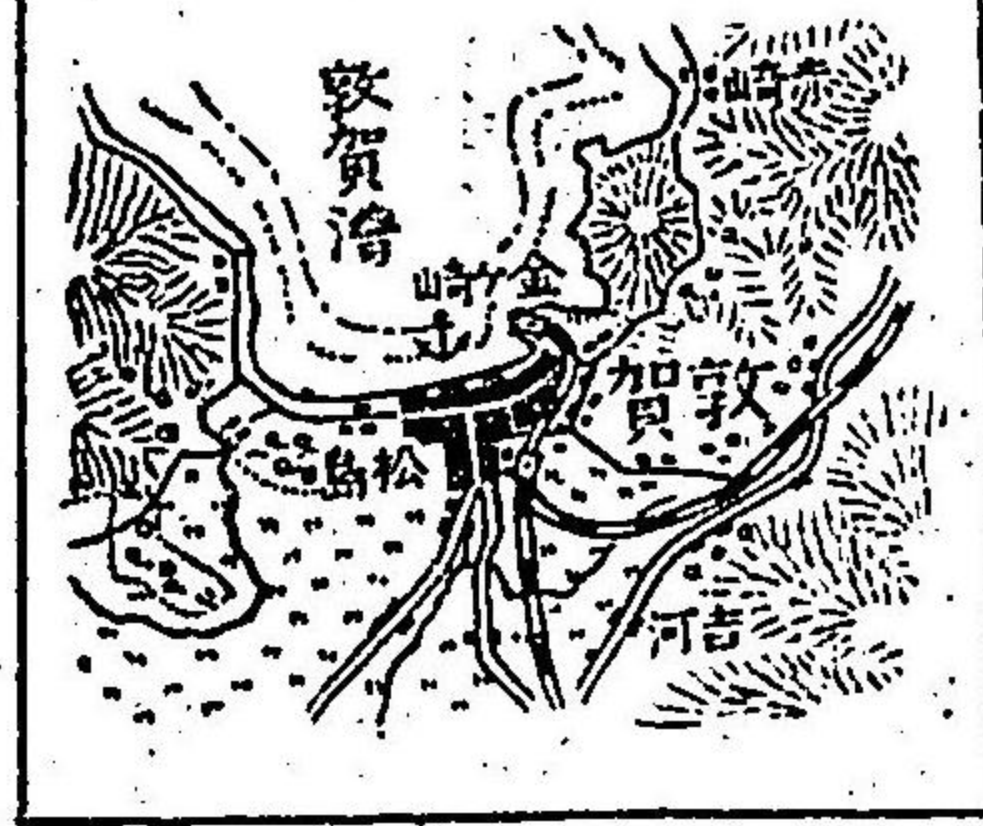
三〇  
三〇  
二十萬分、二

三二  
三二  
二十萬分、二

勝山等皆其一中心なり、河口の三國阪井港は、水淺くして碇泊の便少けれども、雲丹の産に名あり。

武生は蚊帳及鎌を産し、敦賀は主要の開港

場にして、日本海岸第一の商業地なり、鐵道は之より柳瀨隧道を経て滋賀縣に通ず、此近傍に金崎城址あり、小濱は若狹の要港にして、若狹塗を産し、近海は若狹鯛の漁利に名あり。



要概

本邦輸出品の首たる羽二重の原産地にして、其産額は全國第一なり。若狹塗奉書紙等は古來の名産にして、其産亦少からず。

### 近畿地方

近畿地方は畿内全部即山城大和河内和泉攝津東海道の伊賀伊勢志摩東山道の近江山陽の播磨山陰道の丹波丹後但馬等の十三國を含み之を行政上左の二府五縣に分つ

滋賀縣 京都府 奈良縣 三重縣 和歌山縣 大阪府 兵庫縣



近畿地方の山脈火山脈及河川の方向を示す

地形 北部一帯日本海に臨み南部は半島状をなして太平洋に突出し其東面には更に志摩半島ありて伊勢海と熊野灘とを分ち西面には淡路島ありて大阪灣と瀬戸内海の播磨灘とを分ち大阪灣は由良海峡によりて紀伊水道と通ず

城内には二條の山脈東西に走り又之を連接する山脈ありて内地は山嶽多く殊に南部は高峻を極む

#### 中國山脈

鬼城山 三國山

#### 紀伊山脈

高野山 彌山 山上岳 大鷲原山

#### 鈴鹿山脈

鈴鹿山

此他白山火山阿蘇火山等ありて東西に亘る

斯く山脈縦横に連れるを以て河水は四方に分流す即關山川由良川は北に流れ千種川揖保川市川加古川は南に流れ淀川紀川は西に流れ熊野川は南東に宮川は東に流る此等諸川の沿岸には各多少の平地あれども淀川の流域に屬する畿内平原は面積殊に廣し

交通 道路は京都を中心として東海道中山道中國道山陰

近畿地方の交通を示す

① 東海道 ② 山陽道 ③ 關西道 ④ 北陸道 ⑤ 奈良道 ⑥ 南海道 ⑦ 神戶小樽線 ⑧ 東海道 ⑨ 横濱小樽線 ⑩ 日本海線 ⑪ 大阪商船 ⑫ 近海船



街道等四方に通じ、鐵道は東海道線域内を東西に走りて山陽鐵道と連結し、關西鐵道亦殆ど之と並走す、又南北に通ずるものには北陸線奈良鐵道南海鐵道等あり、其他此等の線路を連絡し、或は分岐する短線多し。

海運は大阪神戸を中心として諸外國と通じ、又神戸小樽東廻線横濱神戸西廻線日本海線を始め、大阪商船會社の二十餘線ありて、内國の諸地と連絡し、海底電線は淡路を経て四國と通ず。

**滋賀縣** 縣内は山脈四境を圍繞すれども、中央は一大湖

水にして、其沿岸には平地少からず、

琵琶湖及其附近を示す

琵琶湖は本邦第一の大湖にして、縣下面積の六分一を占め、野洲川愛知川等を入れ勢多川となりて流出す、湖中には多く淡水魚を産し、湖上には汽船の便あり、湖中に數島あり、就中竹生島は風景の佳なるを以て聞ゆ。

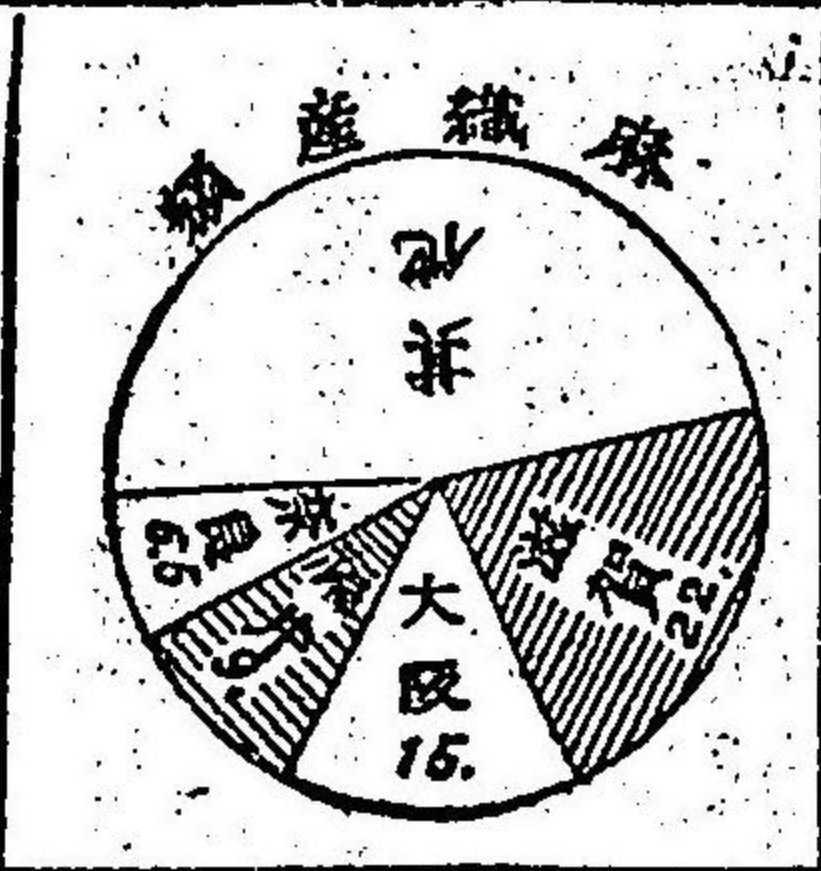


**米原**は北陸線の分岐點に位し、長濱は汽船の發着地にして、

近傍は養蠶紡織の業行はれ、長濱縮緬の産世に高く、北方の姊川及賤嶽は共に有名なる古戰場にして、東北の伊吹山には艾の産あり、

彦根は湖東の名邑にして、此より分る、近江鐵道に沿ひて日野あり、行商人を以て名ある處とす、八幡は蚊帳・疊表等の集散多く、草津は關西鐵道の分岐點にして、南方信樂地方よ

麻織産額の比  
 較百分率を示す  
 取位萬圓  
 三七八二  
 八三三  
 五五五  
 三三五  
 二五五



りは、茶及信樂焼を産す。

大津(市)は縣廳所在地にして、湖上汽船の便あり、米油等を集散し、麻を製出す、三井寺、石山寺を始め、所謂「近江八景」の勝地は、多く此附近にあり。

要 概

本邦第一の大湖ありて淡水魚の産多く沿岸には菜種米の産多し、麻織の産は全國第一にして、八幡蚊帳の名世に高く晒布の産亦多し、日野及八幡地方は人情豊敏にして古來近江商人の名世に著はる。

京 都 府

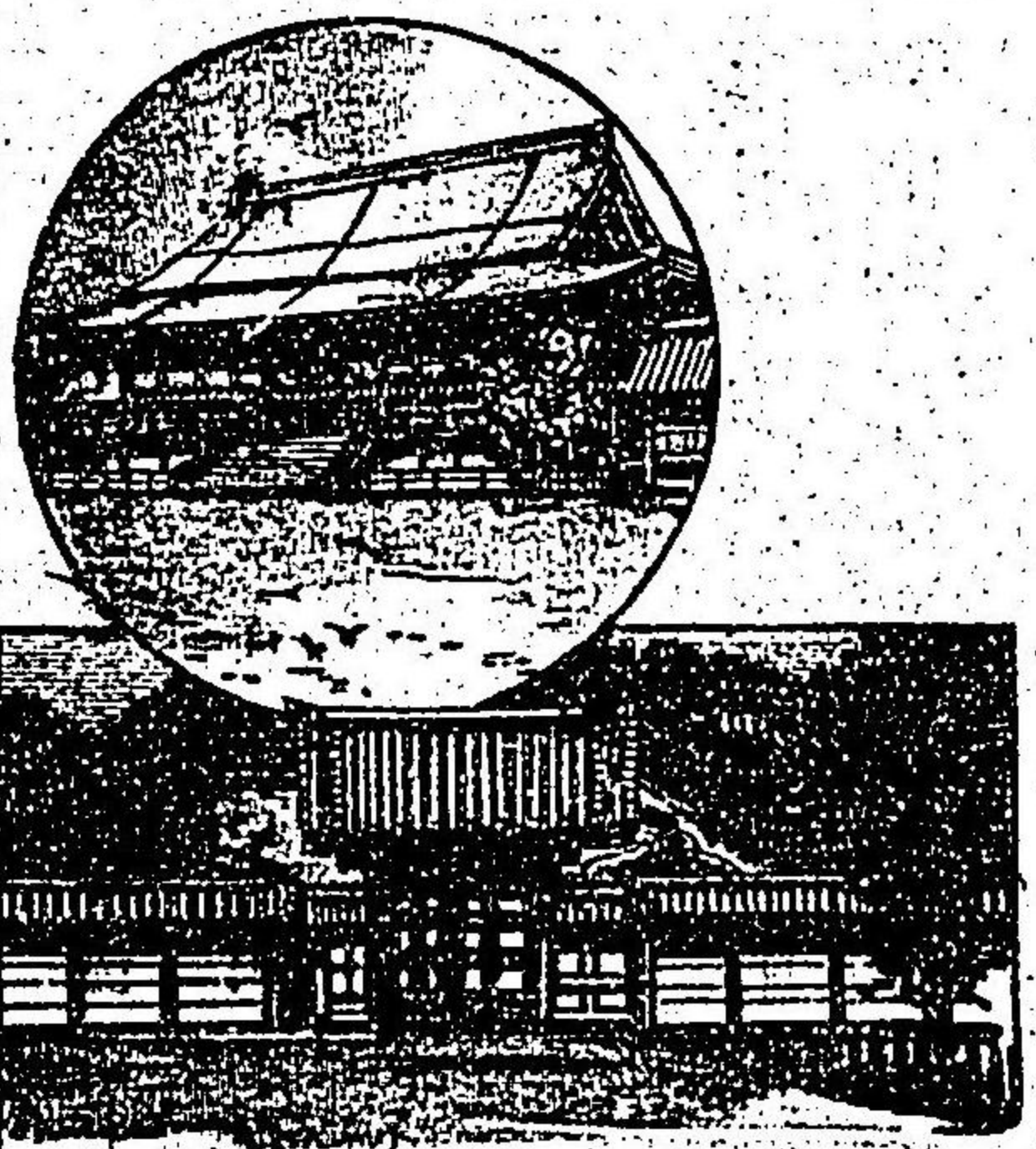
管内(山崎、丹波、三郡)の北部は、大半山嶽に被はれ、河流の沿岸のみ僅に平坦なれども、南部には小平地あり。

京都(市)は府廳所在地にして、千有餘年間我國の首都たりしを以て、一に西京と稱す、全市を二區(左京、右京)に分つ、街衢端正に

して、三方は山に圍まれ、賀茂川市の東を流る、風光秀麗にして、

市の内外には、京・都・御・所・二・條・離・宮を始め名社巨刹及勝地甚だ多し。

- 泉涌寺 三十三間堂 豊國神社 清水寺
- 西大谷、東大谷 知恩院 南禪寺
- 平安神宮 銀閣寺 大徳寺 建勳神社
- 金閣寺 仁和寺 等持院 西本願寺
- 東本願寺 東寺 延暦寺 高雄山 嵐山



上圖は紫宸殿  
 にして下圖は  
 京都御所の門  
 前なり

市民は美術工藝に長じ、殊に染織の技に精しく、西陣織、友禪染、鹿子絞等を製出し、外國より輸入するメリンスは、多く此地に於て染上げ各地に配布す、其他清水焼、粟田焼、蒔繪塗等の産あり、又京都帝國大學、第三高等學校、高等工藝學校、帝室博物館等ありて、關西學術の中心たり、近年琵琶湖疏水の工

事成り其利便頗多し。

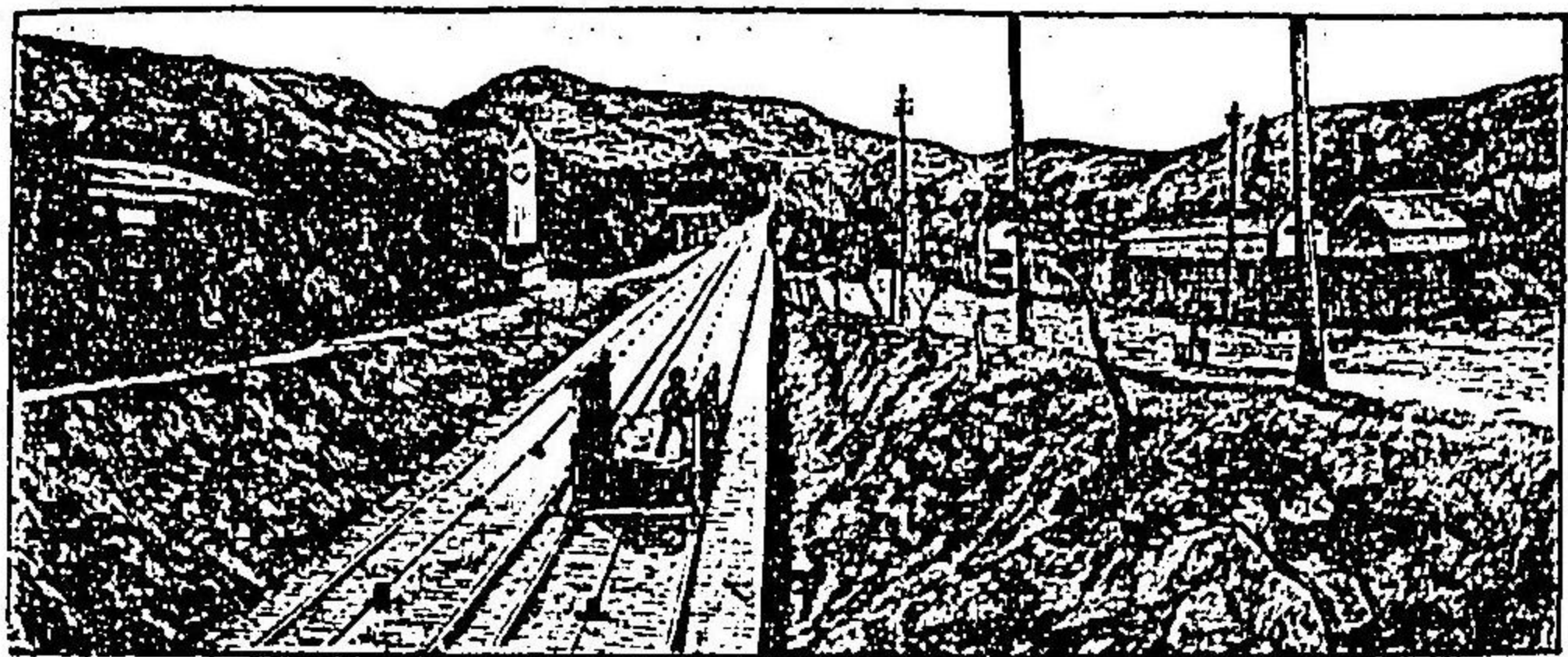
伏見は淀川汽船の發着地にして近傍に  
桃山あり、宇治川・巨椋池等を一眸に集め、  
景色絶佳なり、宇治川沿岸の宇治は茶の  
名産地にして平等院・萬福寺等あり。

六  
琵琶湖疏水の  
インククワイ  
を示せるもの  
は京都市の利  
電燈電車に利  
川せらるる

宇治川は勢多川の下流にして、賀茂川・桂川・木津  
川等と共に合して淀川となる此近傍に淀・八幡  
山崎等の名邑あり、又木津川上流には、元弘の史  
に名高き笠置山あり。

桂川上流地の龜岡附近は生絲を産し、由

良川上流の福知山は、地方産物の集散地なり、阪鶴鐵道此を  
過ぎて日本海岸の舞鶴に通ず。

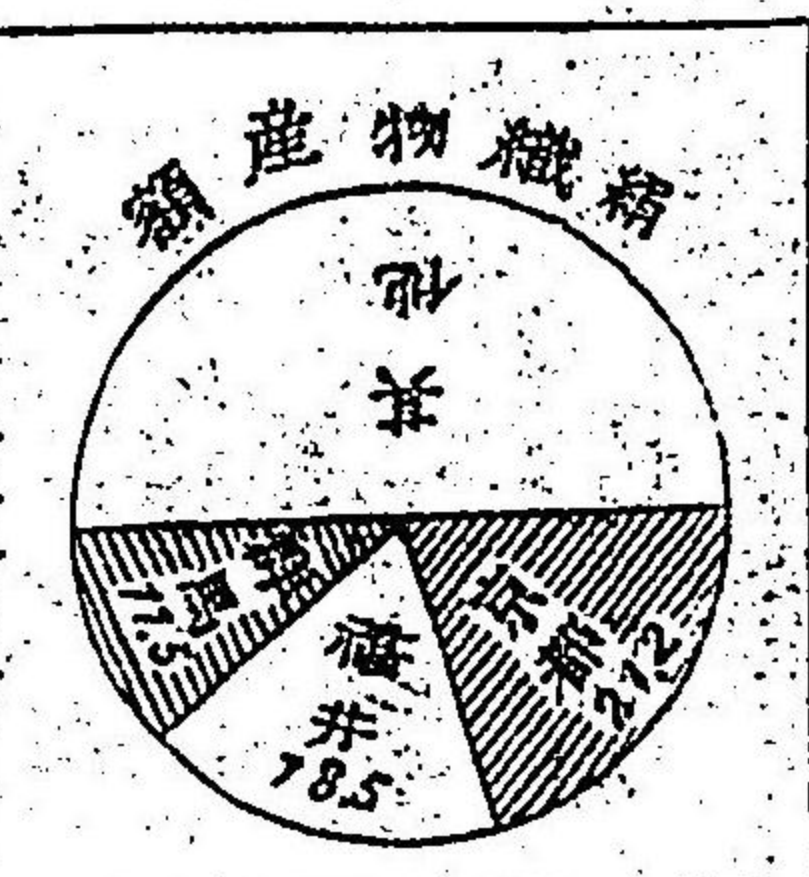


七  
天橋立は砂嘴  
の長さ略二十  
七町餘南端に  
狭き水道あり  
切戸と稱す

八  
絹織物産額の  
比較百分率  
を示す  
全額 單位萬圓  
京都 七四五〇  
群馬 一三九〇  
八七〇



舞鶴は軍港の一にして、第四海軍  
區鎮守府あり、宮津は碇泊安全な  
る開港場にして、其前面に天橋立  
あり、一帶の白砂長く海中に斗出じ、青松  
此に繁茂して、頗佳景なるが故に本邦三  
景の一に數へらる、近傍  
の峰山は縮緬及羽二重  
の集散地にして丹後縮  
緬世に名あり。



要 概

永く帝都の地たりしを以て史上の舊址多く、且人情優美なり、  
絹織物の産は全國第一にして、染物は府民の特技なり。  
青銅器の産は全國第一、陶器は第三位を占め、宇治茶の名亦高し。

**奈良縣** 縣内(大)の南部は山嶽重疊して、十津川吉野川、其間を流れ、北西の一部は平坦にして大和川の流域に屬す。



奈良市と附近の名區を示す

奈良市は縣廳の所在地なり、奈良朝七代の帝都たりしをて、著名なる建物多く、春日神社、東大寺、正倉院、興福寺等最名あり、又帝室博物館ありて、舊時の遺物を陳列す、市よりは、筆墨漆器鹿角細工等を産す。奈良の東月瀬は梅花の名所にして西方郡山地方は多く金魚を飼養し、法隆寺は稀有の古寺なるを以て著しく、南方の多武峰には談山神社、畷傍山には神武天皇御陵あり。吉野は南朝數代の皇居たりしところにして、行宮址如意輪

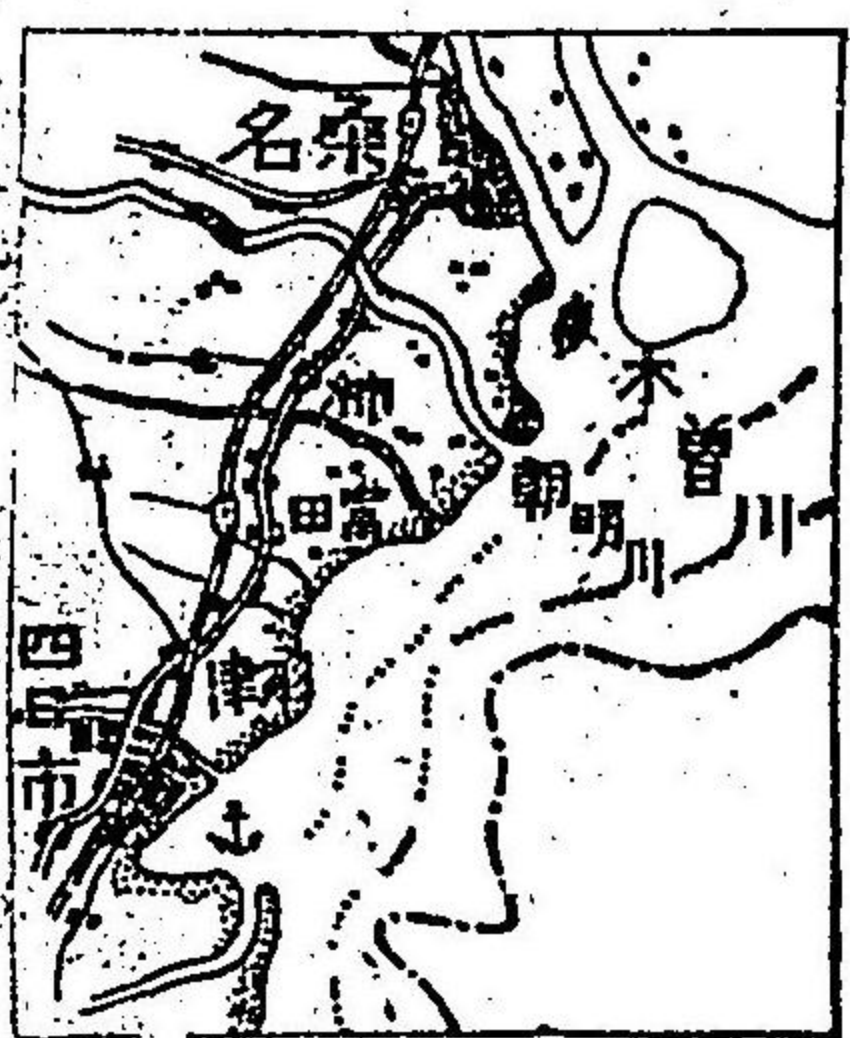
堂等あり、又吉野山の櫻花は古來天下に冠たり。

**概** 京都と共に帝都の跡なるを以て名區勝地に富み、且歴史上の遺跡多きが故に史家の一大標本室ともいふべきなり。

**三重縣** 縣内(伊賀伊勢志)は、西部と南部とに山岳相重れども、東海岸は平坦にして、殆平行せる數多の河流之を漑せり、上野は伊賀の名邑にして傘を産し、又北方の丸柱には伊賀焼の産あり。

**四日市市**は開港場にして、萬古焼綿絲洋紙等を産し、西方には能褒野(日本武)鈴鹿山(關址)等の名區多く、北方の桑名は米穀の集散地にして、時雨蛤の名産あり。

津(市)は縣廳所在地なり、阿漕浦に臨み



四日市港と桑名港(二十萬分、一)

内宮の正面  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十



之が爲に賑ひ、近傍に二見浦及朝熊山の名  
區あり、鳥羽は風浪穏なる良港なれども、陸  
上との交通不便なり。

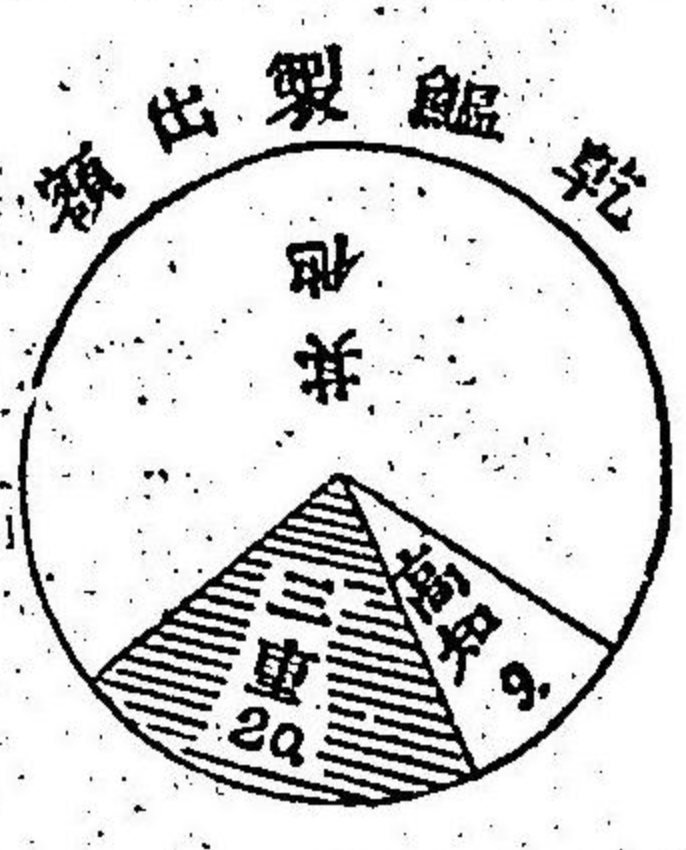
志摩半島は屈曲多く大王崎安樂崎等突出し、答志島  
管島等散在す、半島以北は概砂濱にして海上は伊勢

且鐵道の接續點(關西線)に位し、商業盛  
にして、絹子織の名産あり、近傍の一  
身田は専修寺あるを以て、賽者多く、  
松坂は木綿の商業盛なり。  
宇治山田には内宮及外宮あり、共に  
莊嚴無比の靈社にして、遠近より參  
拜する者常に絶ゆることなく、市街



乾産の比  
一三  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十

蝦及鯉の産多く、以西は礁濱にして、出入に富み中に  
尾鷲の良港ありて、材木の積出多く海上には鯉鰯等  
の漁利あり。  
米、菜種等の農産多く、木綿の産出亦多し。  
乾鰯鹽鰯の産は全國第一にして、伊勢鰯亦名あり。  
皇大神宮鎮座の地にして、參拜の爲他縣より來る者多し。



和歌山縣

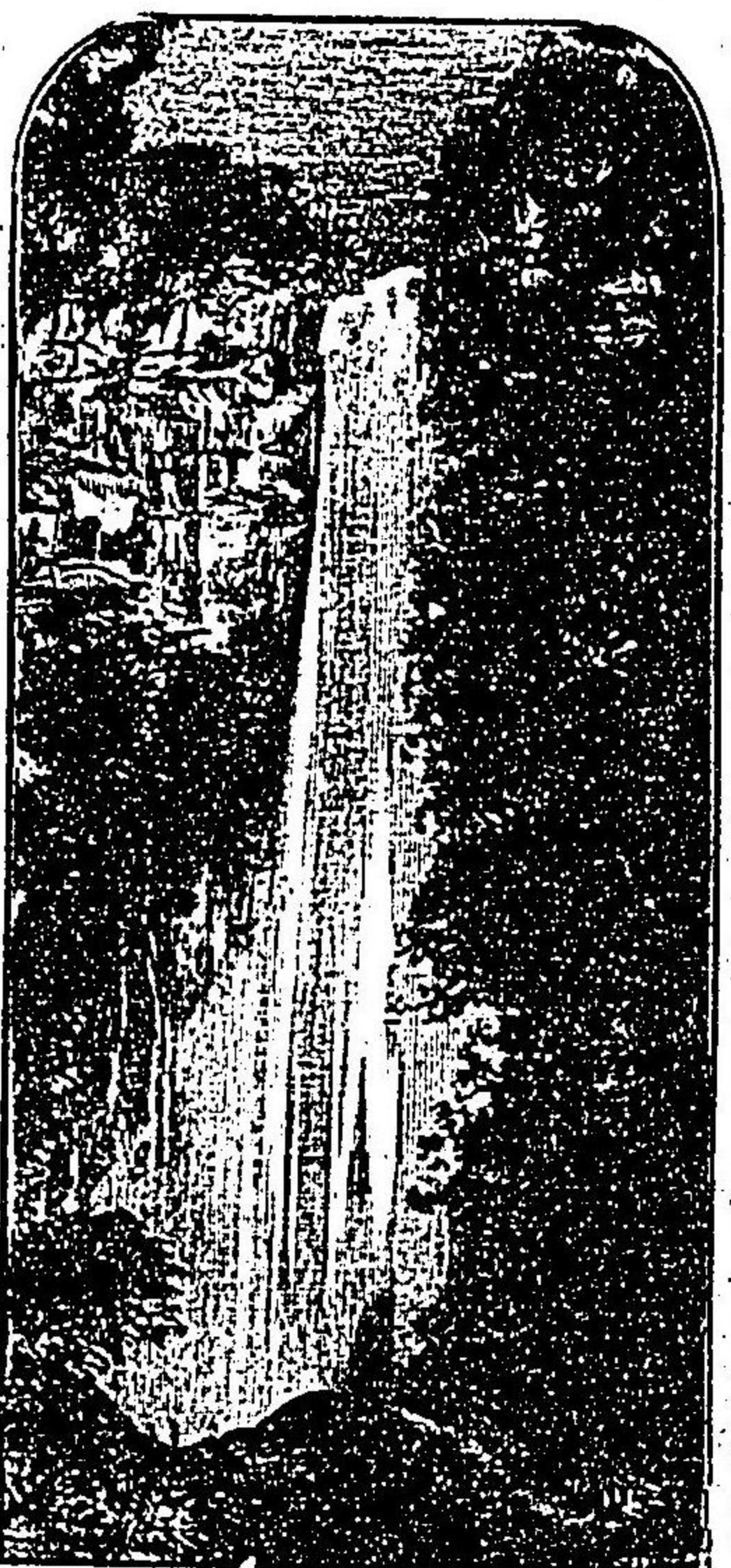
縣内(和歌山縣)は海岸を除く外、概山地にして、平野少  
く、河流三方に分派す。

熊野川口の新宮は本宮、那智山と共に所謂熊野三社を祀れ  
る地にして、木材、木炭を出し、那智山には有名なる那智瀑あ  
り、壯觀無比と稱す。

熊野川は北山川、十津川の合流なり、其溪谷は熊野森林にして、良材に富み  
北山川には岩石の奇勝を以て名ある、瀨戸あり、河口以南は礁濱にして  
瀬戸海中に突出す、此北西に田邊港あれども、大船の碇泊に適せず。



湯淺は近傍の有田川及日高川の流域より産する蜜柑の集散地にして、又醬油の醸出多く黒江は漆器の製造盛にして産額海内第一なり。



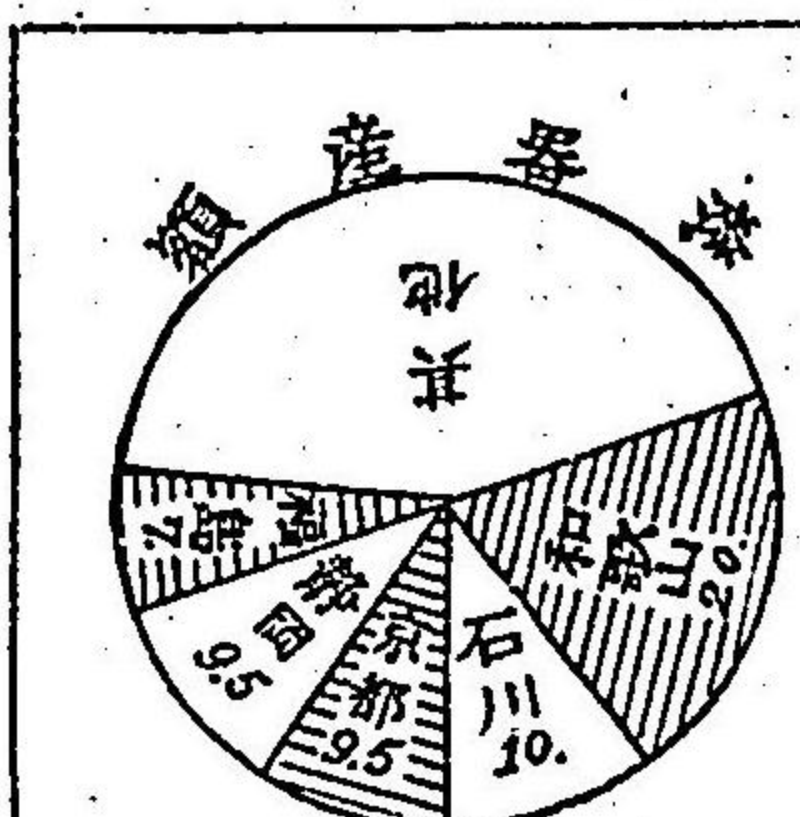
和歌山(市)は嘗て徳川氏の親藩を封ぜし地にして、現時縣廳あり、鐵道(紀和)の集點に位し、綿フランネルの産甚だ多く、又紋羽清酒傘等を産す、南西を和歌浦といひ、風光明媚古來の勝地たり、加太は大阪灣の咽喉に當り重要な地點なれば、前面の友島に要塞を設け、東方の高野山は金剛峯寺あるを以て賽者多く、爲に山頂に一小都會發達せり

概要

管内山に富み良材の産多く、木國の名之より起る。蜜柑の栽培多く、紀州蜜柑の名世に高し。綿フランネル漆器の産は共に全國第一なり。

大阪府

管内(和泉河内)は三方山を繞らせども、西方に開く大平野ありて、河流灌漑の便甚だよろし。



淀川は流緩にして、運輸灌漑の便多く、河口は安治木津等の數派に分れて海に注ぎ、大和川の流域は綿の産に名あり。

大阪(市)は淀川口にありて大阪灣に瀕す、仁徳天皇の舊都にして、豊臣氏此に城きし以來大に繁榮となり、今は東京と共に帝國の二大中心たり、市を分ちて四區(東區)となし、街衢端正にして、溝渠縱横に通じ、府廳を初め第四師團司令部控訴



大阪城は豊太閤の築造したるものにして、今外廓を存す、園は其一部を示せるものなり

漆器産額の比 一五  
單位萬圓 五九〇  
全額 一八〇  
和歌山 一〇  
石川 一〇  
京都 五  
靜岡 五  
福島 四

手記 4218 不向 一 壹次 猪火 合 市 島 在 石 記  
 + 此 陽 呼 是 哉 記 名 此 子 記 記 記 記 記

安治川は關西の貨物集注點にして關は其川口を示せるなり

地方誌 近畿地方

院高等工業學校等あり、又市中の名區として、**四天王寺**・**生國魂神社**・**高津宮**・**天満天神**等を著名とす。

市は商工業の大中心にして、砲兵工廠造幣局等を始め數多の大工場ありて、綿絲・マチ・硫酸等の製出夥しく、港は大開港場の一にして海陸交通の衝に當り、陸には數條の大鐵道相集り、海には大阪商船會社此を中心として、清韓諸國を初め内地の各所に通じ、貨物の輸出入甚だ多く、税關商品陳列所等の設けあり、目下築港中にして、完成の曉には自由港となる豫定なれば、一層の繁華を見るに至らん。

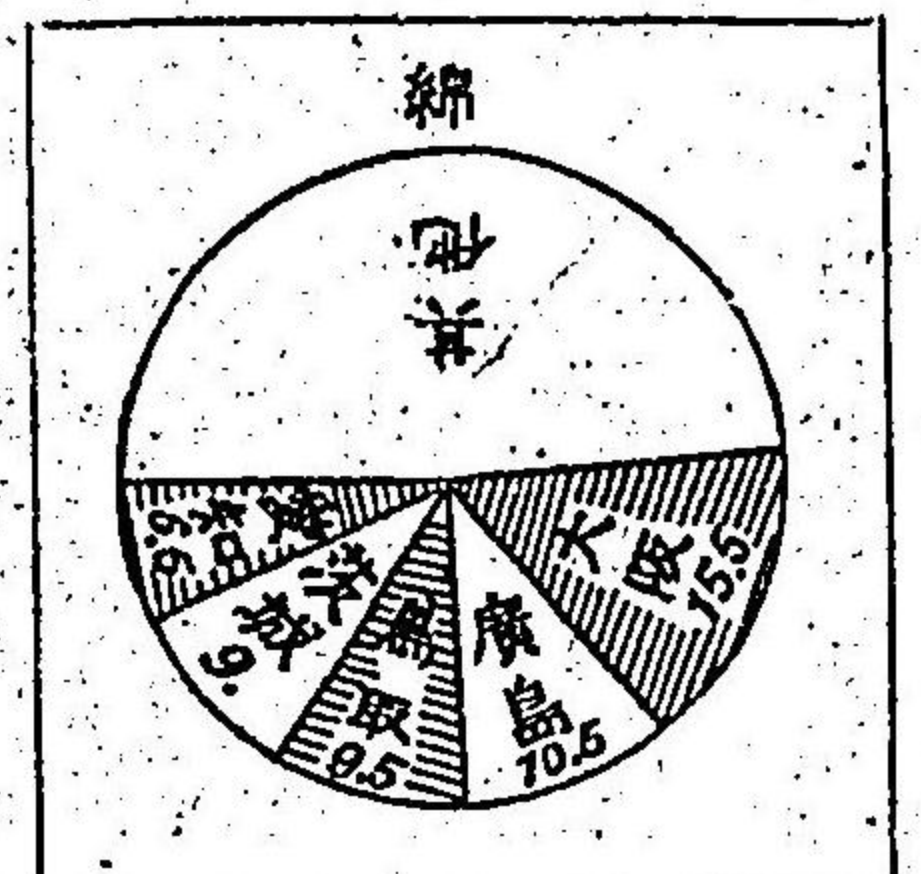


綿産額の比較 百分率を示す 單位萬貫  
 全額 四八六  
 大阪 七五  
 京都 五二  
 兵庫 四七  
 大坂 四七  
 島取 三二  
 茨城 三二

要 概

堺市は往時外國との貿易場たりしが、今は段通の産に名高く、又清酒・奴物を産す、此南東に聳ゆる**金剛山**は北東の**四條畷櫻井**と共に、**楠氏**の事蹟に名高く、西境の**池田**は清酒炭の産地なり。

管内平野多く綿の産出は全國第一なり。經濟止の大中心にして、各種の工業及商業盛なり。綿絲製出は全國に冠絶し、木綿織マツチは第二に位し、段通の産亦多し。



兵庫縣

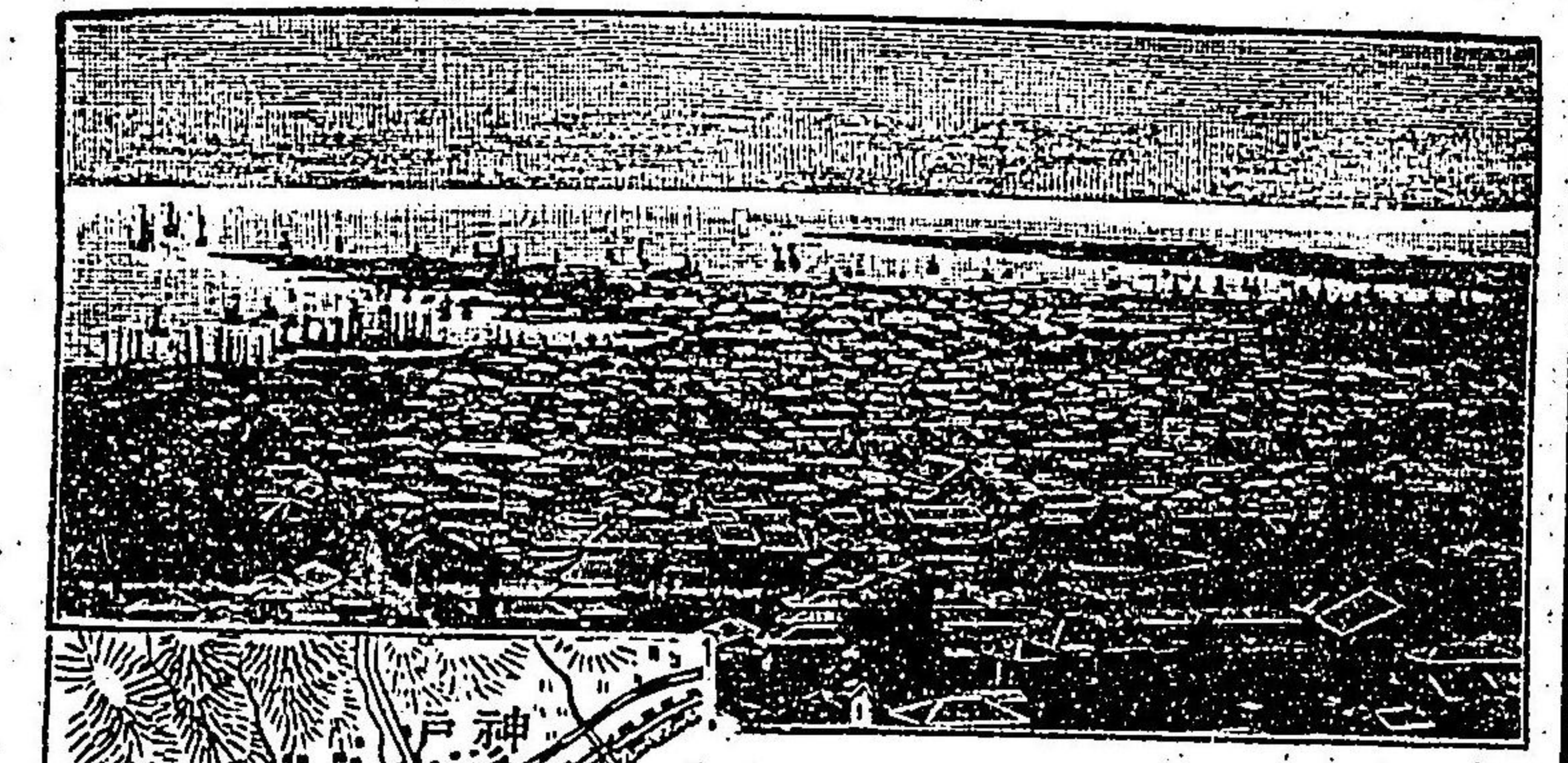
縣内(福崎、伊丹、淡路、一部)には東西に亘れる山脈ありて、諸川を南北に分流し、其南斜面は土地頗平坦なり。

西宮・御影等の地方は灘と稱し、北東の**伊丹**と共に清酒の産額多く、北方の**六甲山麓**には**有馬温泉**あり。

**神戸(市)**は鐵道接續點(阪神鐵道)に位し、海港は横濱と共に大開

地方誌 近畿地方

神戶港の全景  
にして地形圖  
の縮尺は二十  
萬分一なり



あり、附近の一谷は著名の古戰場とす、**明石**は帆木綿の産地

港場にして、水深く碇泊に便なるを以て、百貨輻湊し京阪地方の門口なり、商業機關能く整ひ外國商館軒を並べ、又縣廳・税關及高等商業學校等あり、近時工業益盛にしてマ、チ綿絲・洋紙等の産多く、又神戸牛の産に名あり。

市内の湊川神社は楠氏の忠節と共に其名世に高く近傍に布引瀑あり。

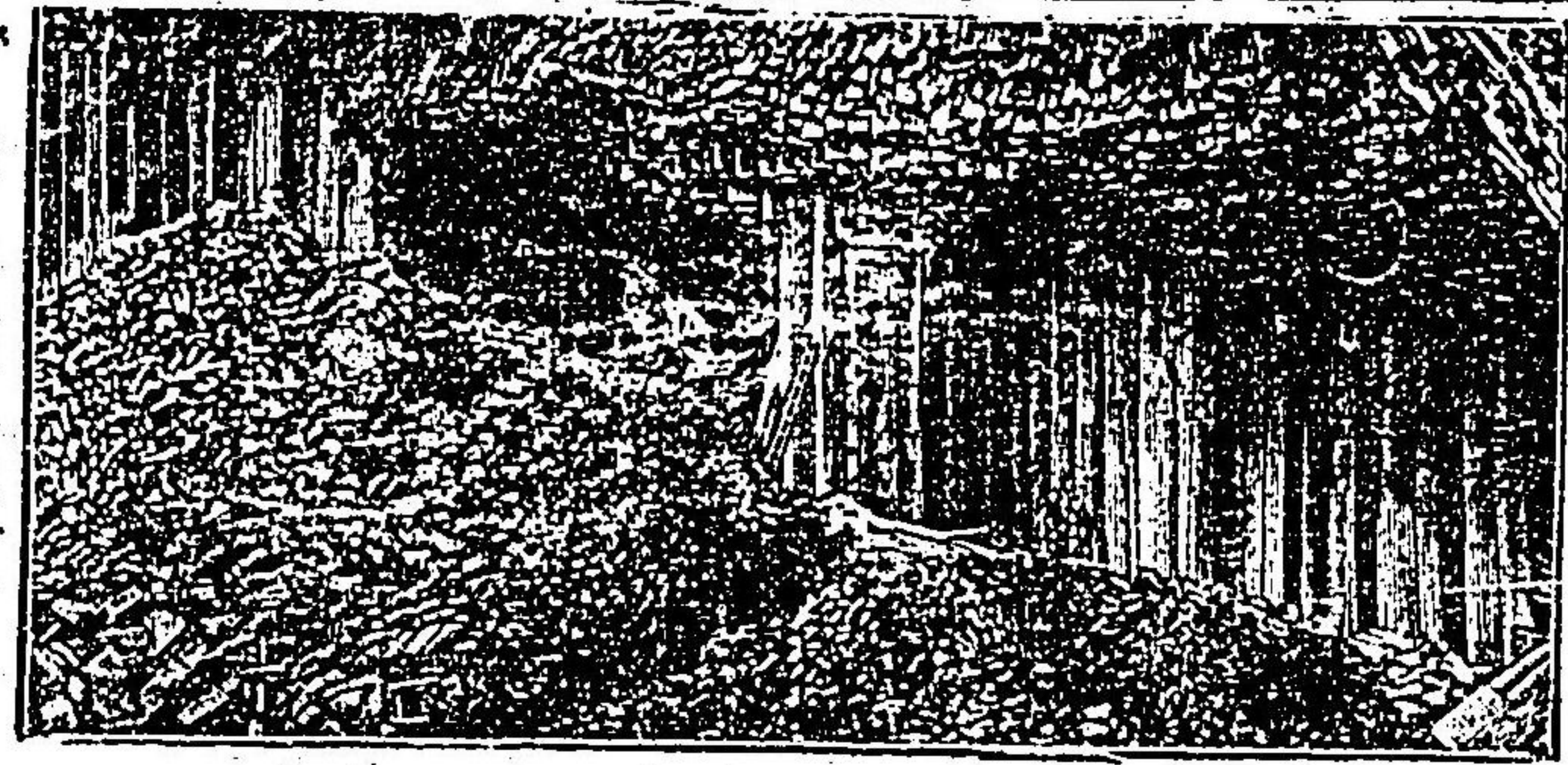
神戸以西は白砂青松の濱にして須磨舞子等の勝地

近畿地方概括表

郡	京	縣 賀 滋	縣 府
丹波、一部	山城	近江	區管轄
山崎、比叡山、鞍馬山、笠置山、大江山	比叡山、宇治川、福知山、舞鶴山	伊吹山、野洲川、愛知川、勢多川、比叡山	山地
巨椋池	宇治川、京都府、伏見	野洲川、愛知川、勢多川、比叡山	河勢
舞鶴山	京都府、伏見	野洲川、愛知川、勢多川、比叡山	都邑
銀閣寺、平安神社	東本願寺、西本願寺、泉涌寺、豐國神社、三十三間堂、清水堂、知恩院	野洲川、愛知川、勢多川、比叡山	名地
宇治茶、松茸、丹波栗	宮津	野洲川、愛知川、勢多川、比叡山	港
四陣織、友仙染、子統清水燒、粟田燒、青銅器、漆器、丹後縮緬、生絲	生絲、濱縮緬、近江、蚊帳、蠶桑、漆油、信樂燒、野洲晒	野洲川、愛知川、勢多川、比叡山	天產物
		野洲川、愛知川、勢多川、比叡山	製造物



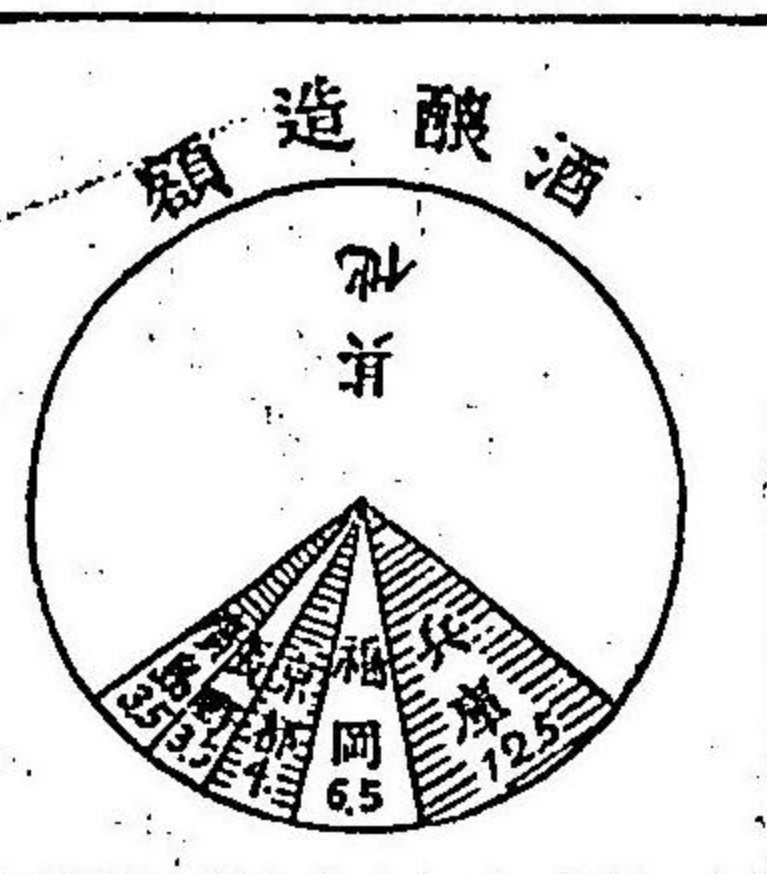
廣島	長野	京都	兵部	全額	示す	比	清酒	二二	玄武	二〇
一五	一一	一一	二二	四二	單位	百分	造額	一〇	洞は	〇
五	五	五	七	四	萬石	率を	の	岩	な	
					石	な		石	な	



洲本は島内の名邑にして由良には要塞を設け、福良近傍には淡路焼の産あり。

にして近く淡路島を望み風光絶佳なり。姫路(市)は播但鐵道の交叉點にして第十師團司令部あり、米の取引多く又革細工に長ず、西方の龍野は醬油の醸造多く、赤穂は製鹽業に有名なる所なり、生野は銀銅の産多く、出石は出石焼を出し、豊岡附近は泖行李を産す、又北方の玄武洞は岩石の奇を以て著はれ、城崎は温泉の爲めに名高し。

淡路は山地多く東岸の



地方誌 近畿地方

二二二  
 比較率の比  
 單位高川  
 七〇〇  
 三七八  
 一一八  
 全庫額  
 兵庫額  
 大坂額  
 愛知額

地方誌 中國地方

概

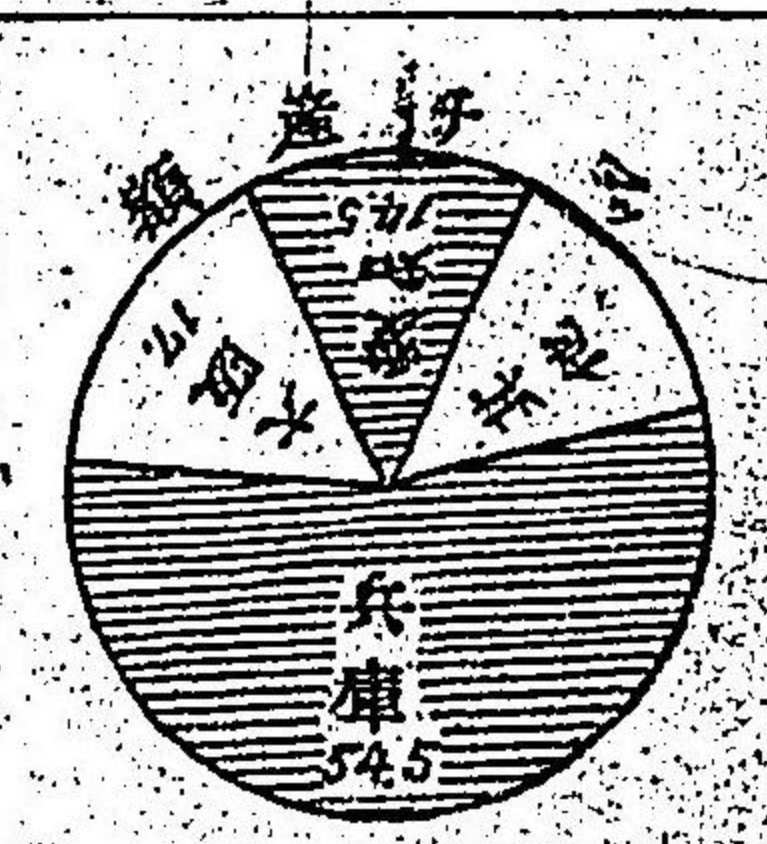
清酒の産は共に全國第一に位す、  
 綿絲の産は大阪に次ぎ、醬油の産は千葉に次ぐ、  
 銀の採掘鹽の製造は共に有名なる産業なり、  
 花崗岩神戸牛柳行李は共に本縣の名産なり、

中國地方

中國地方は山陽道の美作備前備中備後安藝周防長門と山陰道の因幡伯耆出雲石見隱岐との十二國にして之を行政上左の五縣に分つ、

- 岡山縣 廣島縣 山口縣 島根縣 鳥取縣

日本海岸は屈曲單純にして中部に島根半島及隱岐島あるのみ、之に反し瀬戸内海面は出入島嶼多く其形勢により沿海を水島灘備後灘廣島灣周防灘等に分てり、山脈域内を縦貫して山陽山陰の兩面に分ち又之と並行し



畿道別國名表

畿道	國名	名
東海道	伊賀伊勢志摩尾張三河遠江駿河甲斐伊豆相模武藏安房上總下總常陸	
東山道	近江美濃飛騨信濃上野下野磐城岩代陸前陸中陸奥羽前羽後	
北陸道	若狹越前加賀能登越中越後佐渡	
畿内	山城大和河内和泉攝津	
山陰道	丹波丹後但馬因幡伯耆出雲石見隱岐	
山陽道	播磨美作備前備中備後安藝周防長門	
南海道	紀伊淡路阿波讃岐伊豫土佐	
西海道	筑前筑後豐前豐後肥前肥後日向大隅薩摩壹岐對馬琉球	
北海	渡島後志石狩天鹽北見釧路日高十勝釧路根室千島	

關東地方概括表

山陽縣 山口縣 島根縣 鳥取縣  
岡山縣 廣島縣

**地形** 日本海岸は屈曲單純にして、中部に島根半島及隱岐島あるのみ、之に反し、瀬戸内海面は出入島嶼多く、其形勢により、沿海を水島灘備後灘廣島灣周防灘等に分てり。山脈域内を縦貫して、山陽山陰の兩面に分ち、又之と並行し

畿道別國名表

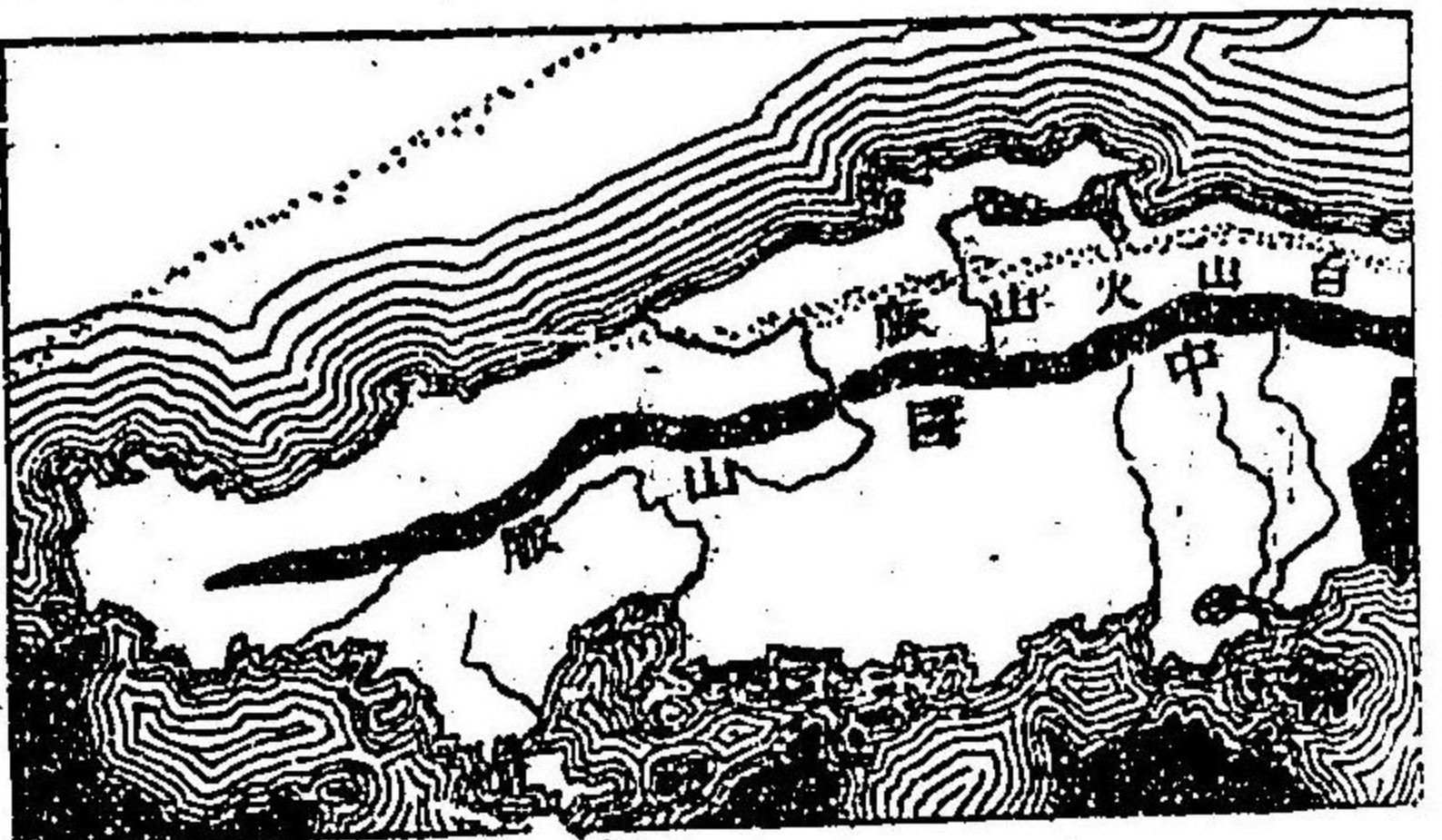
畿道	國名	名
東海道	伊賀伊勢志摩尾張三河遠江駿河甲斐伊豆相模武藏安房上總下總常陸	
東山道	近江美濃飛騨信濃上野下野磐城岩代陸前陸中陸奥羽前羽後	
北陸道	若狹越前加賀能登越中越後佐渡	
畿内道	山城大和河内和泉攝津	
山陰道	丹波丹後但馬因幡伯耆出雲石見隱岐	
山陽道	播磨美作備前備中備後安藝周防長門	
南海道	紀伊淡路阿波讃岐伊豫土佐	
西海道	筑前筑後豐前豐後肥前肥後日向大隅薩摩壹岐對馬琉球	
北海道	渡島後志石狩天鹽北見釧路日高十勝釧路根室千島	

關東地方概括表

府縣	管轄區域	地勢	處邑	名地	址	港	天產物	製造物
東京府	武藏一部 伊豆七島 相模原	三原山	隅田川 多摩川	芝公園 日比谷公園	波浮	米、野菜、梨、鳳梨、芭蕉、淺草海苔	絹織物、西洋紙、錦繪、綿織、紫菜、干、醬、給食、醬油	
神奈川縣	武藏一部	箱根山 丹澤山 大	馬入川 蘆湖	鎌倉金澤江ノ島 箱根山 遊行寺 雨降神社 延子大 磯國府津 久里濱	橫濱 橫須賀 榎原 浦賀	麥、粟、米、黍、野、稻、草、材木、魚	漆器、陶器、挽物、細工、小田原醬油、小田原梅干、浦賀水餉	
千葉縣	安房 上總 下總一部	鹿野山 鋸野山 清澄山	利根川 江戸川 印旛沼 手賀沼	香取神宮 國府齋成 田不動 誕生寺 鋸野山 鹿野山	銚子 館山 北條 水更津	米、麥、牛、馬、鹽、茶、川越、石	銚子縮、鹽、節、推船、行徳鹽、佐原酒、流山味噌、野田醬油、佐倉炭	
埼玉縣	武藏大部	武甲山 三峰山 甲武宿母	荒川	米川公園		麥、大豆、鹽、礬、石	生絲、絹織物、綿織物	
群馬縣	上野	赤城山 榛名山 妙義山 四阿山	利根川	上野三山 碓氷峠 磯部鹽泉 伊香保溫泉 草津溫泉		米、煙草、桑	生絲、蠶繭、卵紙、桐生織物、伊勢時銘仙	
栃木縣	下野	那須山 男體山 高尾山 白根山 庚申山 足尾銅山	那珂川 鬼怒川 中禰寺湖 渡良瀬川	日光 庚申山 湯本溫泉 那須溫泉 鹽原溫泉 足利學校址		米、大麻、木、銅、硫黃	足利絹、真岡木綿、千紙	
茨城縣	常陸 下總 一部	八城山 筑波山	利根川 那珂川 久慈川 霞ヶ浦	常磐公園 筑波山 大洗海濱 鹿島神社 勿來關址 鹿島神社	平沼	米、麥、大豆、水戸、水花、煙草、水、石炭、崗岩、斑石、魚、鱈、鱈、淡水	結城袖、結城木綿、石岡酒、下總茶、蒟蒻粉	

中國地方の山脈火山脈及河流の方向を示す

○ 山陽鐵道  
 ○ 陰陽線  
 ○ 横濱小樽線  
 ○ 西海線  
 ○ 日本海線  
 ○ 大阪商船會社諸船線



て北海岸を走れる火山脈あり。

中國山脈

崑山 三國山(三國境を接する所にほ所々に同名の山あり)

白山火山脈

大山 三瓶山

河流は此山脈に分たれて南北に流る、即ち吉

井川(川大) 旭川(川大) 高梁川

太田川等は山陽面に流

れ、江川、鏡川、白野川等は

山陰面に流る、此等の流

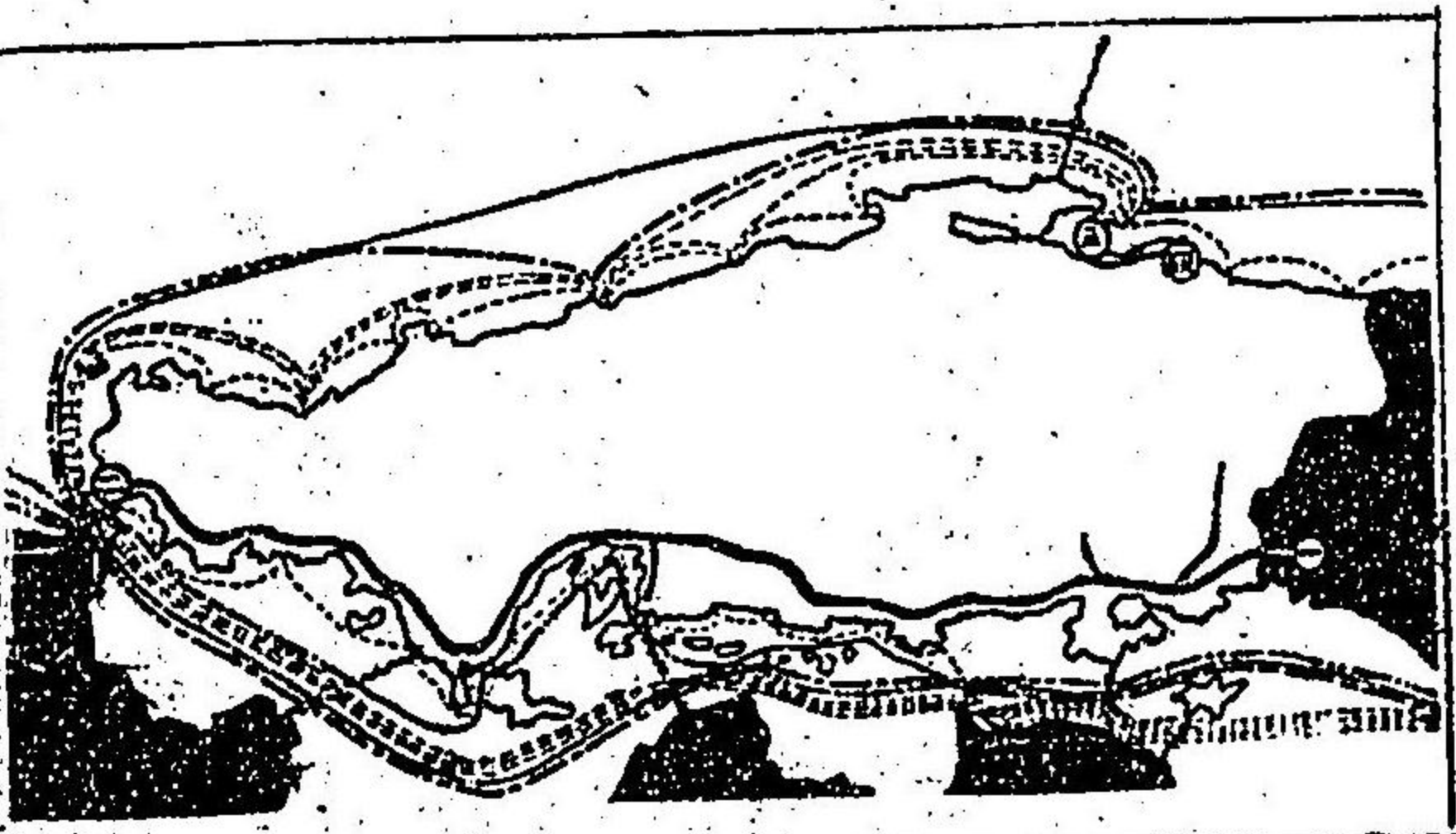
域は、多少の平地あれども、概狭小にして

吉備平原のみ稍大なりとす。

交通

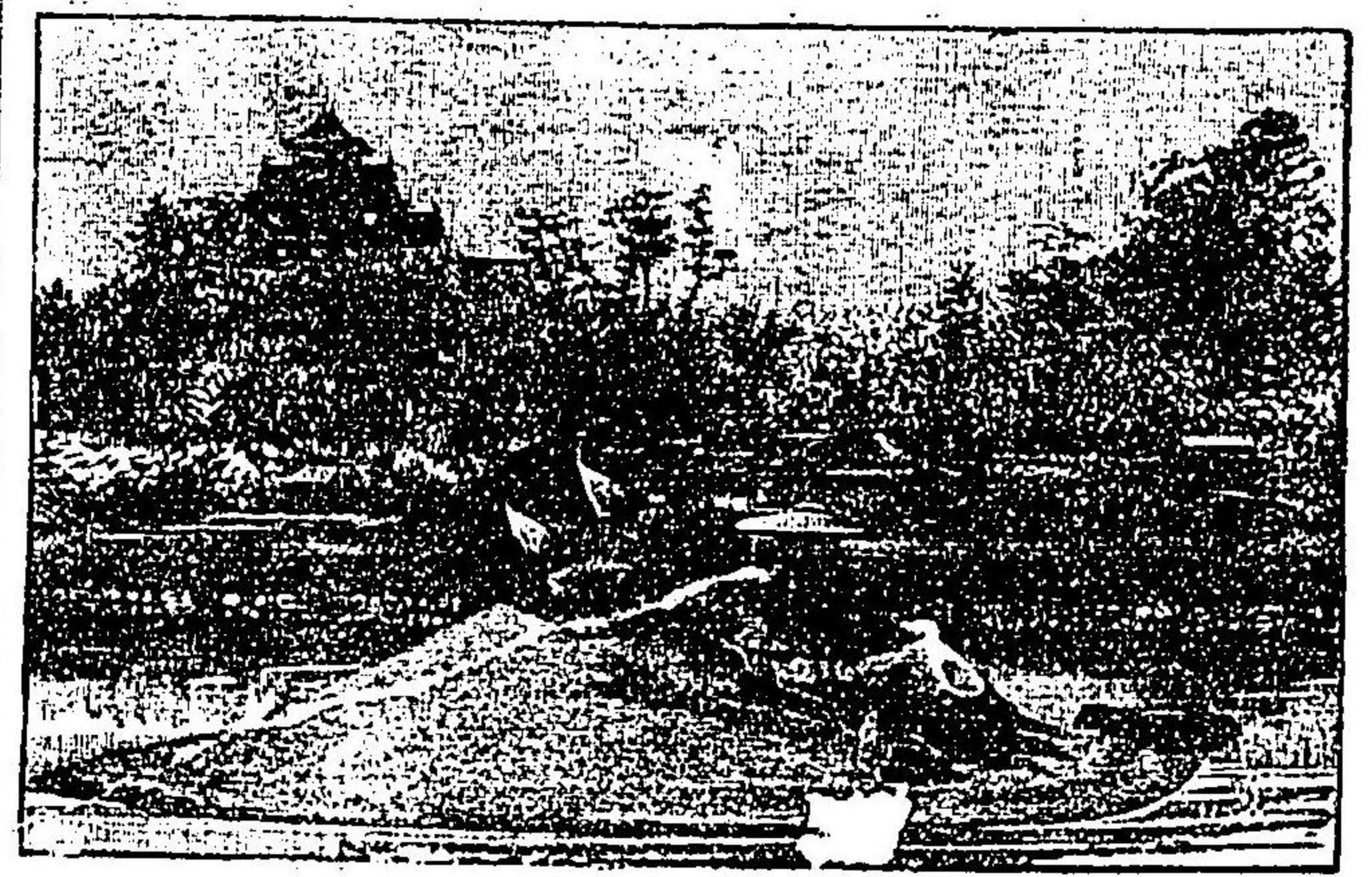
主要の道路は山陽に中國道、山陰に山陰街道ありて、海岸地を通じ、鐵道は

地方誌 中國地方





三 後樂園は日本  
三公園の旭川  
數へられ臨み  
の清流に四方  
て竹林四方を  
園む園内勝地  
多く園は其中  
の中島なり



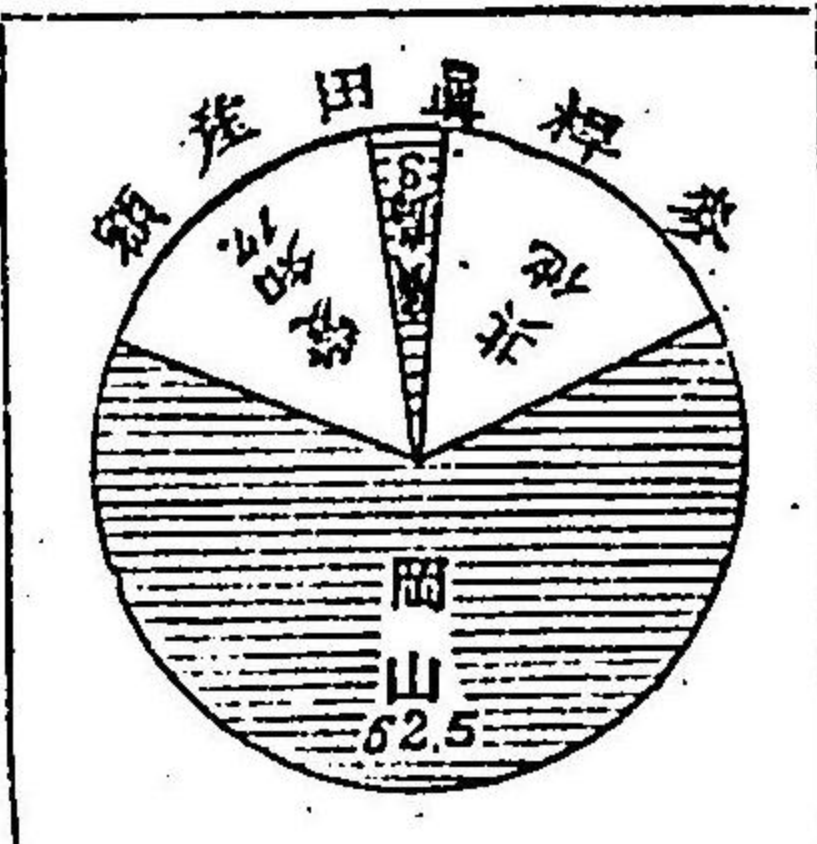
山陽鐵道内海岸を走りて一二の短線之より分れ、又日本海岸には陰陽線あり海運は横濱小樽西廻線日本海線及大阪商船會社の數線ありて、沿海の要津を連ね、又四條の海底電線は九州に通じ、一條は四國に通ず。

**岡山縣** 縣内美作備前は山脈北方に亘りて之より流出する河川多く其下流は平野廣し。

三石は附近より蠟石を産し、伊部は伊部燒の産を以て聞ゆ、**岡山市**は池田氏の舊城下にして、旭川の下流にあり、河口に三幡港を扣へ、又中國鐵

四 麥稈眞田産額  
の比較百分率  
を示す  
全額 一七四  
岡山 一七四  
愛知 一七四  
廣島 一七四

道によりて北方に通ず、縣廳第六高等學校、醫學專門學校及有名なる後樂園あり、綿絲華筵等の製出甚だ多し、津山は交通の衝に當り、雲齋織、足袋等を産し、兒島高德の事蹟に名高き院庄此近傍にあり。  
**玉島**は縣内の要津にして、四國と交通の衝に當り、**笠岡**は北方の**高梁**と共に麥稈眞田の産出多く、又西境に近き**吹屋**は有名なる銅山なり。



概 麥稈眞田華筵の製出は共に我國第一にして綿絲の産亦多し。牛の飼養は全國第二に位し、山地は銅の産に富み、沿海は鰯の漁利多し。

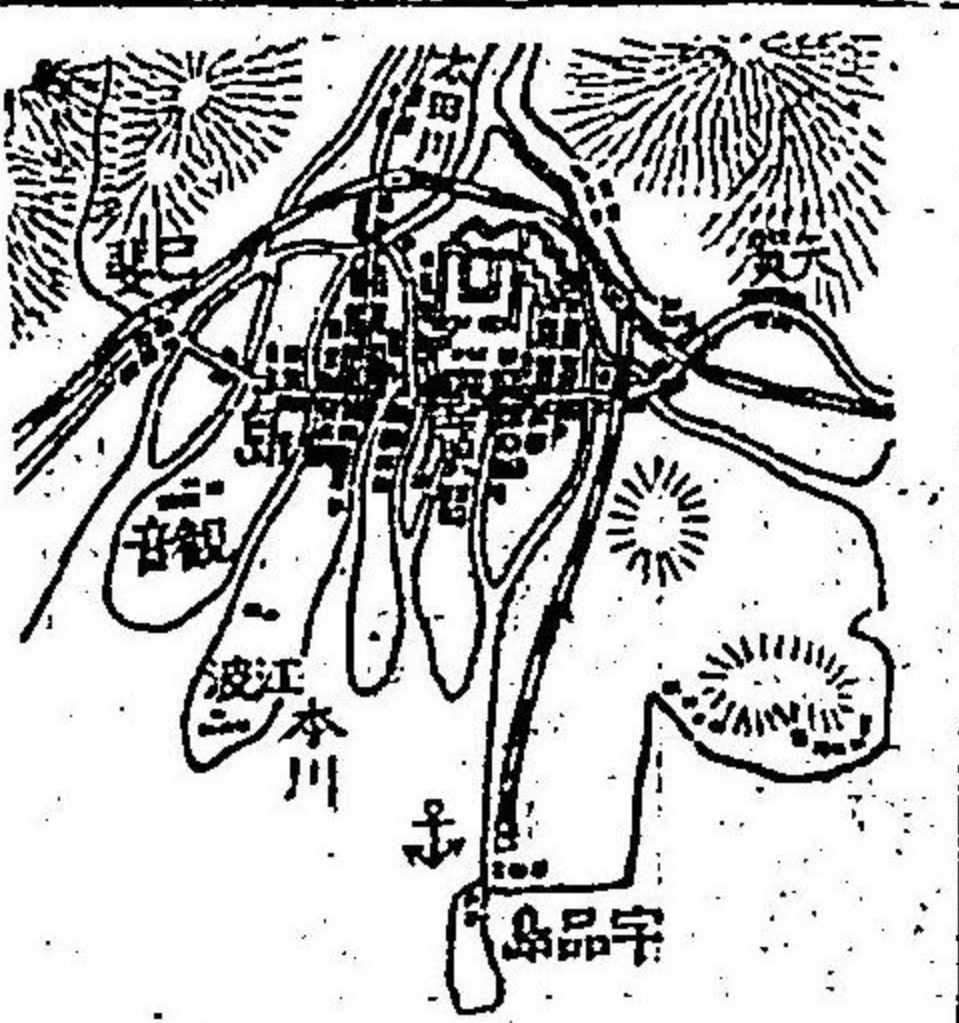
**廣島縣** 縣内備後の北部は山岳重疊して其間に盆地を作り、之を潤せる河流は北斜面を流れ、南斜面にも亦短流多く、

尾道附近 五  
二十萬分一



次は交通上の要地にして、吉田の附近には大麻の栽培頗る盛なり。

廣島(市)は淺野氏の舊城下にして中國第一の大都會なり、太田川市中を流れ、河口に近く宇品港あり、縣廳第五師團司令部控訴院高等師範學校等の所在地にして、

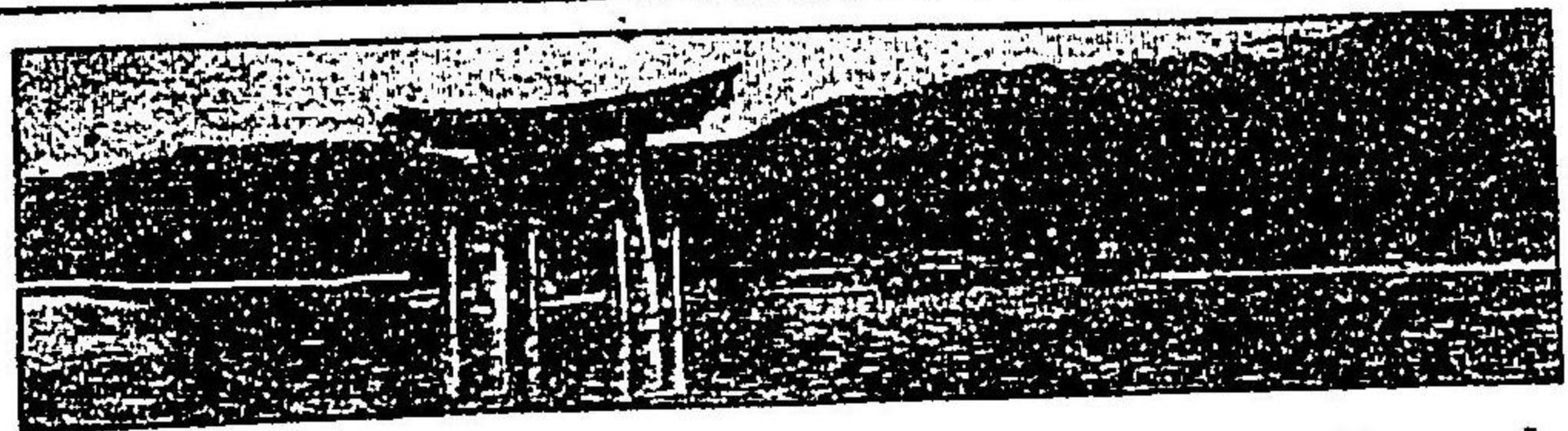


廣島附近 六  
二十萬分一

下流に平地を形成せり。

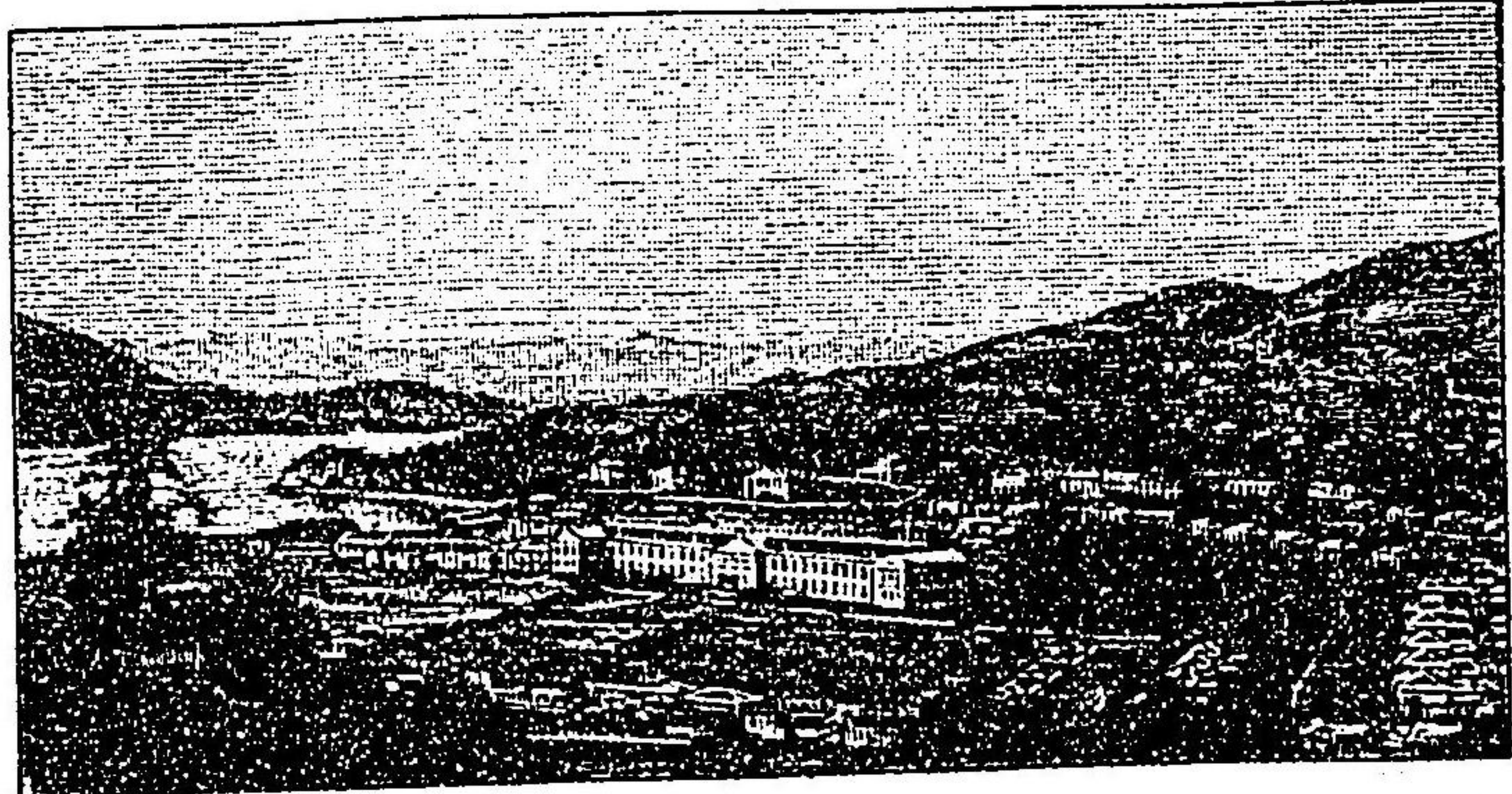
福山は東部の名邑にして、附近より綿烟草を産し、鞆には保命酒の名産あり、尾道(市)は内海航路の要津にして、疊表の集散多く又酢の産あり、其西方絲崎は開港場にして、三原は鐵細工に名高く、北方の三

嚴島は周圍七  
里餘の島に  
て其北岸に  
島神社あり  
と八十八間  
の海上に大  
表あり此邊  
色甚だ佳なり



本邦三景の一に數へられ、又竹細工の名産あり。

山繭織鐘誥マチ等を産す、鐵道吳線此近傍より分る、吳(市)は軍港の一にして第二海軍區鎮守府あり、此南方は有名なる穩戸、瀬戸に通じ、西方は海軍兵學校の所在地なる江田島に面す、倉橋島は近傍の諸島と共に綿の産多く、嚴島には嚴島神社ありて満潮の時は殿樓水に浮ぶが如く、風景甚だ佳なるを以て



概要

蠶表、華廷の産多く、備後表の名全國に著し。綿の産は全國第二に位し、大麻も亦第二位なり。牛の飼養は第一にして、沿海の牡蠣も亦其價額第一なり。

山口縣

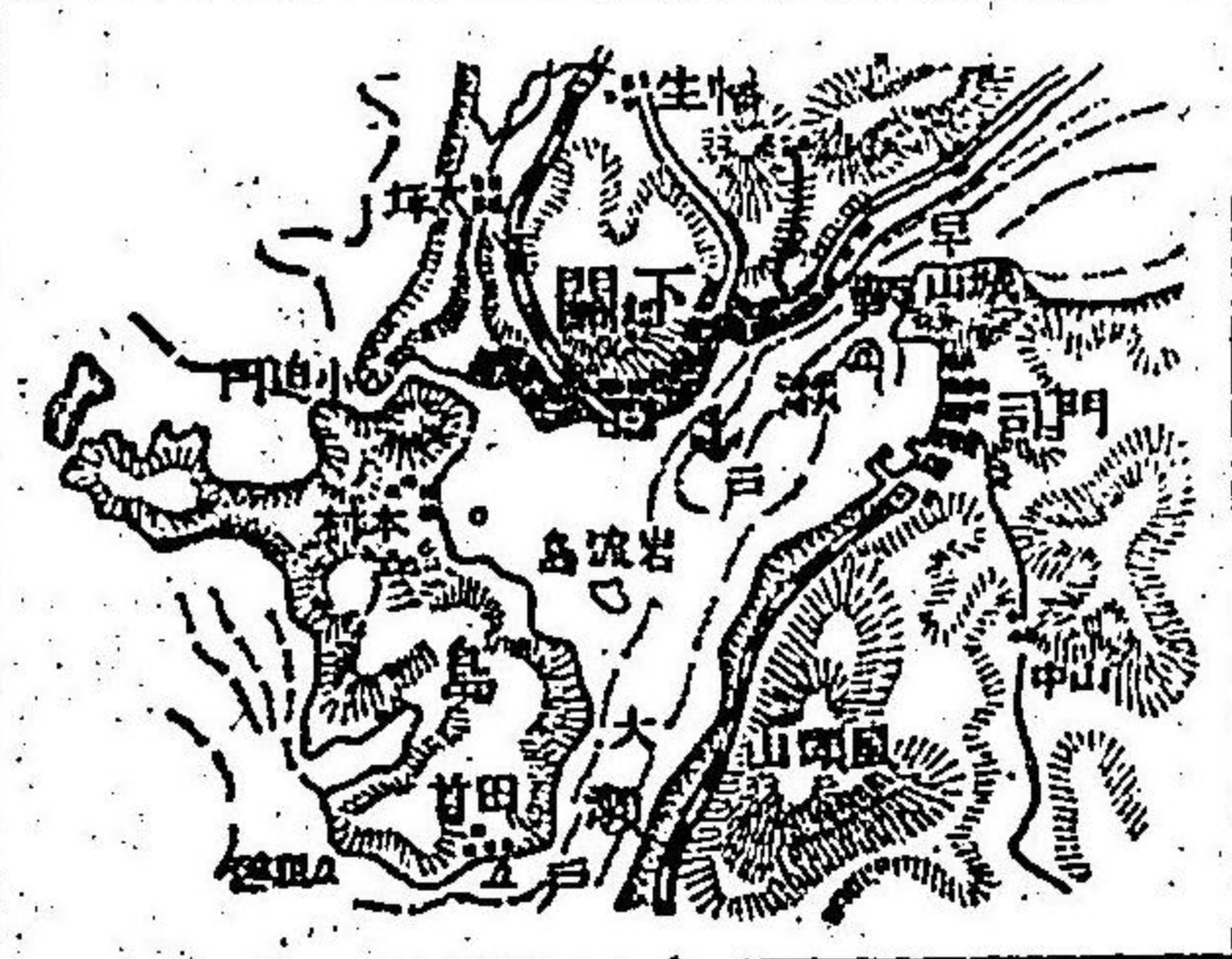
縣内(長門)は丘陵起伏して、河流を南北に分ち、海岸のみ稍平坦なり。

岩國は岩國川の下流に跨り、錦帶橋を以て著はる、蚊帳、木綿縮紙等の集散多く、柳井津は前面の屋代島と共に綿木綿を産し、又甘露醬油の名産あり。徳山は縣内の名邑にして、北方の鹿野は安質母尼の



全島	九二八
廣島	九六八
岡山	九九三
兵庫	七九四
鹿兒島	七一九
山口	六七〇

錦帯橋は全島一の五小橋よりなり、構造頗る奇なり、柱を全盤に柱を川に支へて、



多く、防府(三田)は製鹽業の中心地にして、徳地地方は紙の産多し、山口は山嶽四周して交通不便なれども、一時繁盛を極めたりし所にして、縣廳及山口高等學校あり。厚東川口に近き小野田は、セメントの産多く有帆には石炭を出し、上流の秋吉臺よりは石灰石を産す。下關(市)は主要なる開港場にして、船舶の出入多く、主に石炭、米、綿布等を輸出す、嘗て清國と馬關條約を締結したる所にして、地域國防上の要點に當るを以て砲臺の設あり、赤間硯馬關烟草を市の名産とす。

下關海峡の東部は狹窄して早瀬瀬戸をなし、其北濱は平氏の滅亡と共に史上に名高き壇浦にして、平家蟹、日月貝等の奇産あり、周防灘の沿岸は鹽田

下關附近(二十萬分、一)

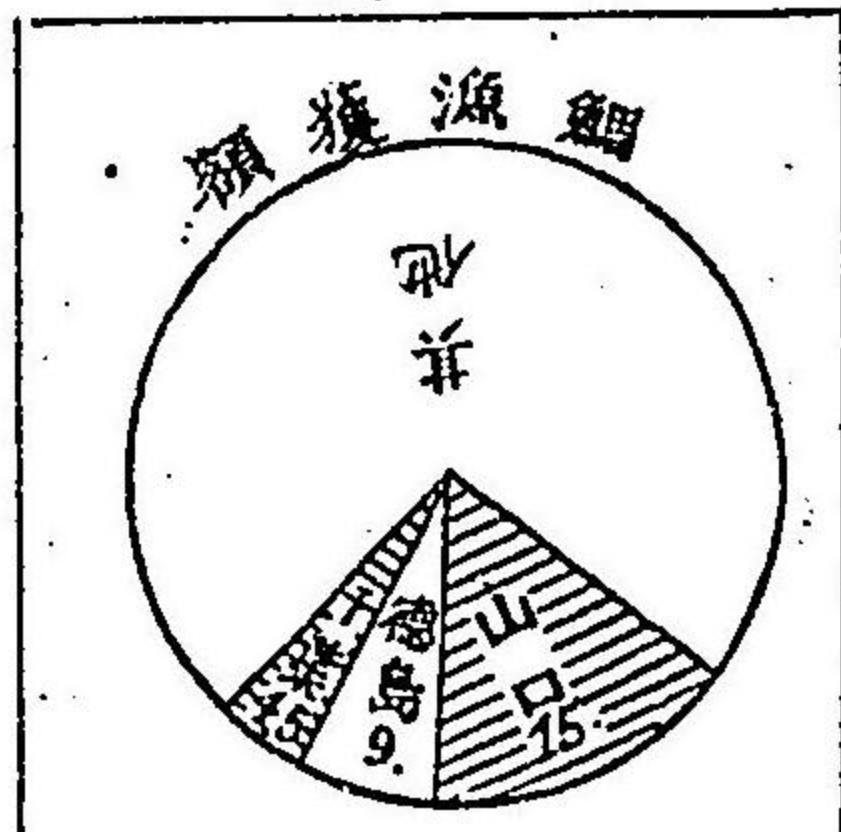
多く海上には烏賊を産す、又海峡の西口には彦島ありて、大瀬戸小瀬戸をなし響灘に通ず、此邊は亦烏賊多し。

萩は毛利氏の舊城下にして、萩焼及夏橙を産す。

瀬戸の比較  
百分率を示す  
單位萬圓  
山口 三五六  
全額 三三三  
徳島 一六二  
千葉 一六二

概要

鹽の産は香川縣に次ぎ、安質母尼の産亦少からず、沿海は鯛鱈等多く、共に其漁利全國の首位を占め、緞の産亦夥し。



島根縣

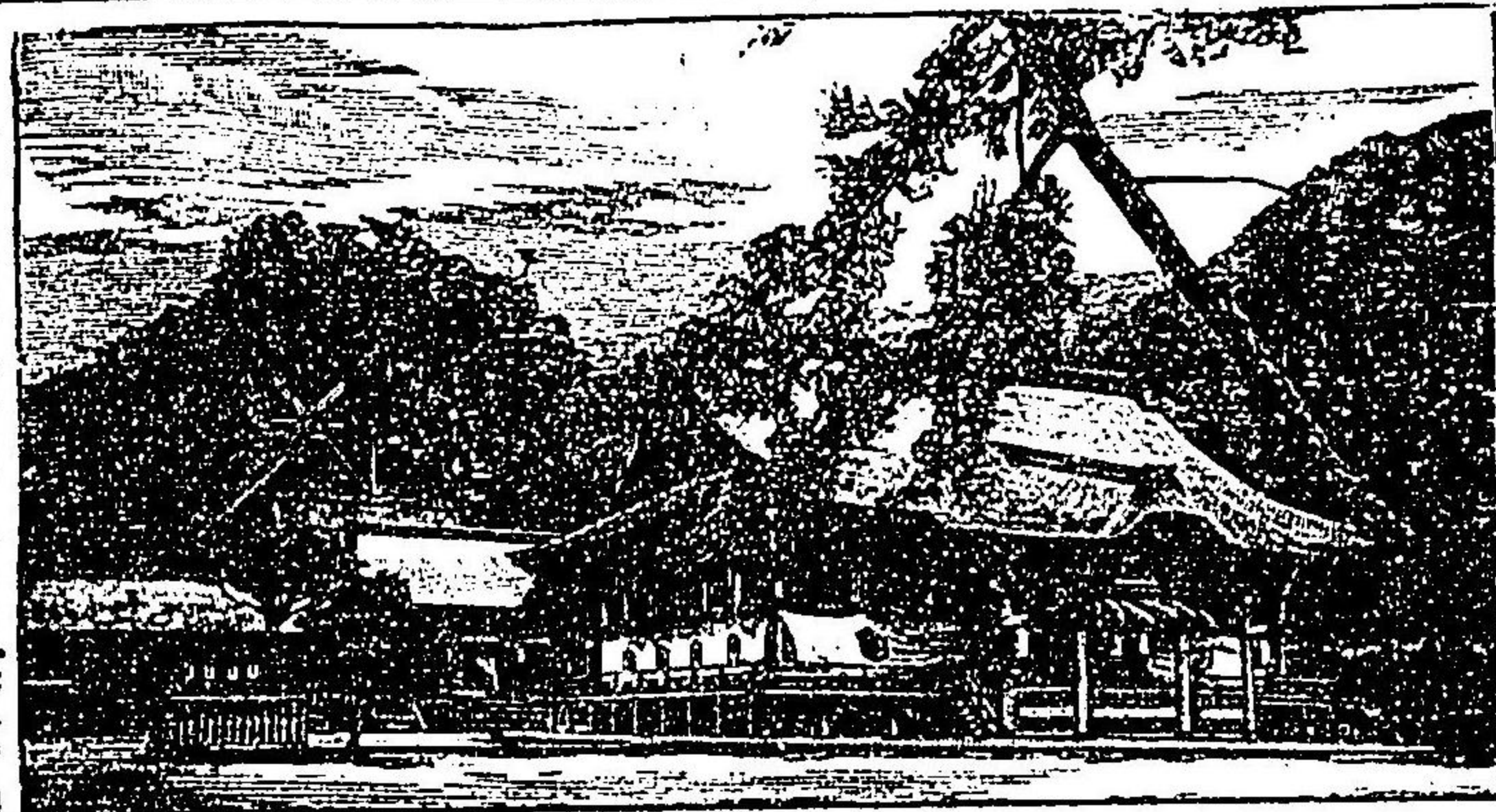
縣内〔石見〕は山岳境上に延亘し、火山脈亦之と並行すれども、大河多く其沿岸は稍平かなり。

江川は中國第一の大河にして舟楫の便を有し、陰陽交通の要路なり、此東北三瓶山には鳥地獄あり、簸川は神門川と共に管内主要の生産地を流れ其發源地たる松邊山は簸川上の舊地なり。

津和野は街道の要點に位し、濱田は開港場



出雲大社には  
築町北端の山  
麓にあり、其  
最大の建物に  
其拜殿なり



にして米銅及紙等を輸出し、又近傍より瓦を産す、其北東大森は嘗て銀産を以て有名なりしが今は盛ならず。

松江(市)は穴道湖と中海との間にあり、縣廳所在地にして附近より出雲焼を産し、又人參の名産あり、杵築は出雲大社ある所にして、賽者常に多く、玉造よりは瑪瑙細工を産す。

穴道湖は鱸の産を以て名高く、其水大橋川によりて中海と通じ、中海は夜見瀆によりて海と分る、此邊風光甚だ佳なり、島根半島の海上は烏賊鱈及海苔を産し、其西方石見瀨の沿岸は平直にして碇泊地少けれども海上には烏賊鱈等の産あり。

隱岐は島前と島後とに別れ、住民は漁業牧牛を業とし、鯛は殊に漁利多し、島前には後鳥羽天皇の御火葬所を存し、島後の西郷は樞要の港なり。

概要

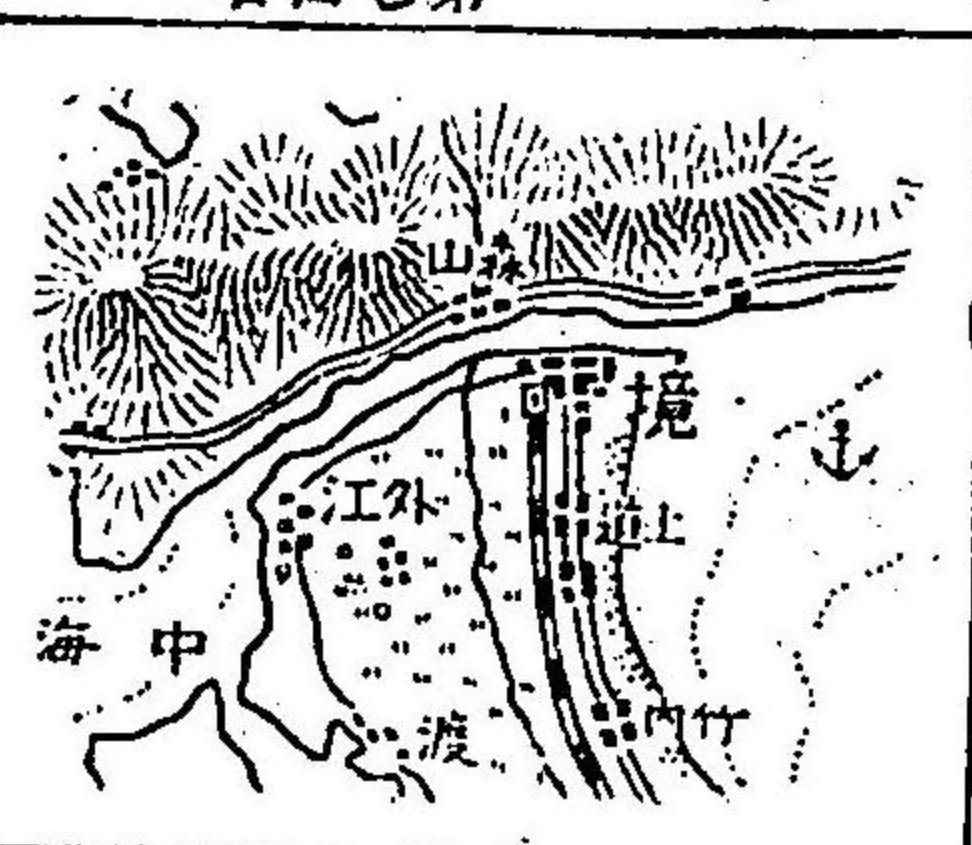
冬季は西北の寒風荒くして降雪甚だ深し。石見半紙の名世に高く、大麻の産出、鯛の漁利亦多し。

鳥取縣

縣内(因幡)は山脈南境に連り、又火山脈中部を巨れども河流之を過りて所々に小平地をなせり。

夜見濱は綿の産出多く、其北端に境港あり、碇泊安全なる開港場にして、南部の米子は綿の集散甚だ多し。

日野川は陰陽交通の要路にして上



一四 境港附近  
二十萬分、二  
一五 大山は中國第一の高山にして半腹に大山の寺ありて有名

中國地方概括表

縣取鳥	縣根島	縣口山	縣島廣	縣山岡	縣府
因伯	隱出石	長周	安備	備美備	區管
船大	岐雲見	門防	後	中作前	域轄
船上山	三瓶山 船通山 三國山 大森銀山	母野安賀 厚東川	太田川 三次川	吹屋山 旭川 高梁川	山(嶺)嶽
天神川	江ノ川 神門川 篠ノ川 中道湖	岩國川 下ノ關市、萩山口 徳山、防府、岩國 柳井津、小野田	廣島市尾道市、吳市 福山、三好、吉田	岡山市、津山、勝山 玉島、高梁、伊部 笠岡	河湖
境	松江市、濱田、杵築 津和野	錦帯橋、壺ノ浦、萩	後樂園、院ノ庄	三瓶山、船通山、出雲大社	都邑
鳥取市、米子、倉吉	濱田	三田尻 下ノ關 萩	尾道 糸崎 大原、綿、煙草、牛 牡蠣、砂鐵	三幡 玉島	名地、舊址
大山、船上山、夜見濱	純麻、生蠶、木材 人參、十六島海苔 海草、鐵、砂鐵、銀 銅、瑪瑙	米、夏橙、馬關、煙草 石灰石、石炭 安賀母尾、硯材、銅 鐵、銀	備後表、善達、綿 山崎、木綿、紙 酢清酒、保命酒 鐵、鐵、鹽	米、開草、綿、煙草 牛、馬、三石、燧石 銅、鐵、海月、硯、銅	港
境、米子	石州半紙、出雲燒 瑠璃細工、瓦	岩國、柳井津、萩 關戸、蚊帳、紙 セメント、硫酸 甘露糖、赤間硯 鹽、萩燒	製造物	天產物	產
盤	餅木綿、生綿、紙 葛粉、稻扱				製造物

中國地方概括表

縣取島	縣根島	縣口山	縣島廣	縣山岡	縣府
因伯 幡善	隱出石 岐雲見	長周 門防	安備 藝後	備美備 中作前	區管 域轄
船大 上山	大森銀山 三國山 船通山	母野安 尼鐵山		吹屋銅山 三國山	山 (鐵山)
天千代 神川	尖道湖 中 海	江ノ川 神門川 簸ノ川	太田川 三次川	高梁川 旭川 吉井川	河 湖
境 島取市米子介賣	津和野 松江市濱田杵築	下ノ關市萩山口 徳山防府岩國 柳井津小野田	廣島市尾道市吳市 福山、絲崎、鞆吉田 三次	笠岡 玉島、高梁、伊部	都 邑
大山、船上山、夜見濱	三瓶山、船通山、出雲大社	錦帯橋、壇ノ浦萩	嚴島	後樂園、院ノ庄	名地 舊址
境米子	濱田	三田尻 下ノ關	尾道 絲崎 吳 字品	三幡 玉島	港
蟹 鯛、帆立貝、白珊瑚	銅、瑪瑙 海草、磯砂、鐵、銀 人參、十六島海苔	米夏、櫻、馬關、煙草 石灰石、石炭 安食、母尼、現材、鯛 鱈、鰻	大麻、棉、煙草、牛 牡蠣、砂鐵	米、開草、綿、煙草 牛、馬、三石、鐵石 銅、鐵、海月、鰻、鰻	天 產 物
葛粉、稻、披	石州牛紙、出雲燒 瑪瑙細工、瓦	岩國、柳井津、萩 關戶、蚊帳、紙 セメント、硫磺 甘露糖、油、赤間、硯 鹽、秋糖	備後、表、華、蓮、絲、綿 山、織、木、綿、織、紙 酢、清、酒、保、命、酒 鐵、器、鐵、詰、鹽	疊、表、華、蓮、絲、綿 麥、稈、武、田、雲、登、織 足、袋、備、前、燒、鹽	製 造 物

流地方は砂鐵を産し、近傍に大山及松上山あり、大山山麓の大山原は牧畜盛にして船上山は名和長年の事蹟に著はる。

倉吉は生糸緋木綿稻扱等を産す、殊に生絲は品質良好の名高く、鳥取市は縣廳所在地にして、交通の要衝に當り紙、葛粉等を産す。

**概** 管内の山地よりは砂鐵を出し、其産額我邦第一なり。  
**要** 綿の産額は第三位にして、海中の白珊瑚(海柳)は本縣の特産なり。

### 四國地方

四國は南海道の大部即阿波讚岐伊豫土佐の四國にして、之を行政上左の四縣に分つ。

徳島縣 香川縣 愛媛縣 高知縣

**地形** 瀬戸内海の濱には讚岐高繩兩半島あり、前者は播磨灘と豫讃灘とを分ち、後者は豫讃灘と伊豫灘とを分つ。又太

四國地方の山脈火山脈及河流の方向を示す



平洋面には室戸足摺の兩岬相對して土佐灣を抱き、東面は紀伊水道にして蒲生田岬突出し、西面は豊豫海峡にして佐田岬長く海中に斗出せり。山脈は中央を殆ど東西に亘り、又之と並走せる火山脈ありて内地は一般に高く到る所山巒重疊せり。

四國山脈

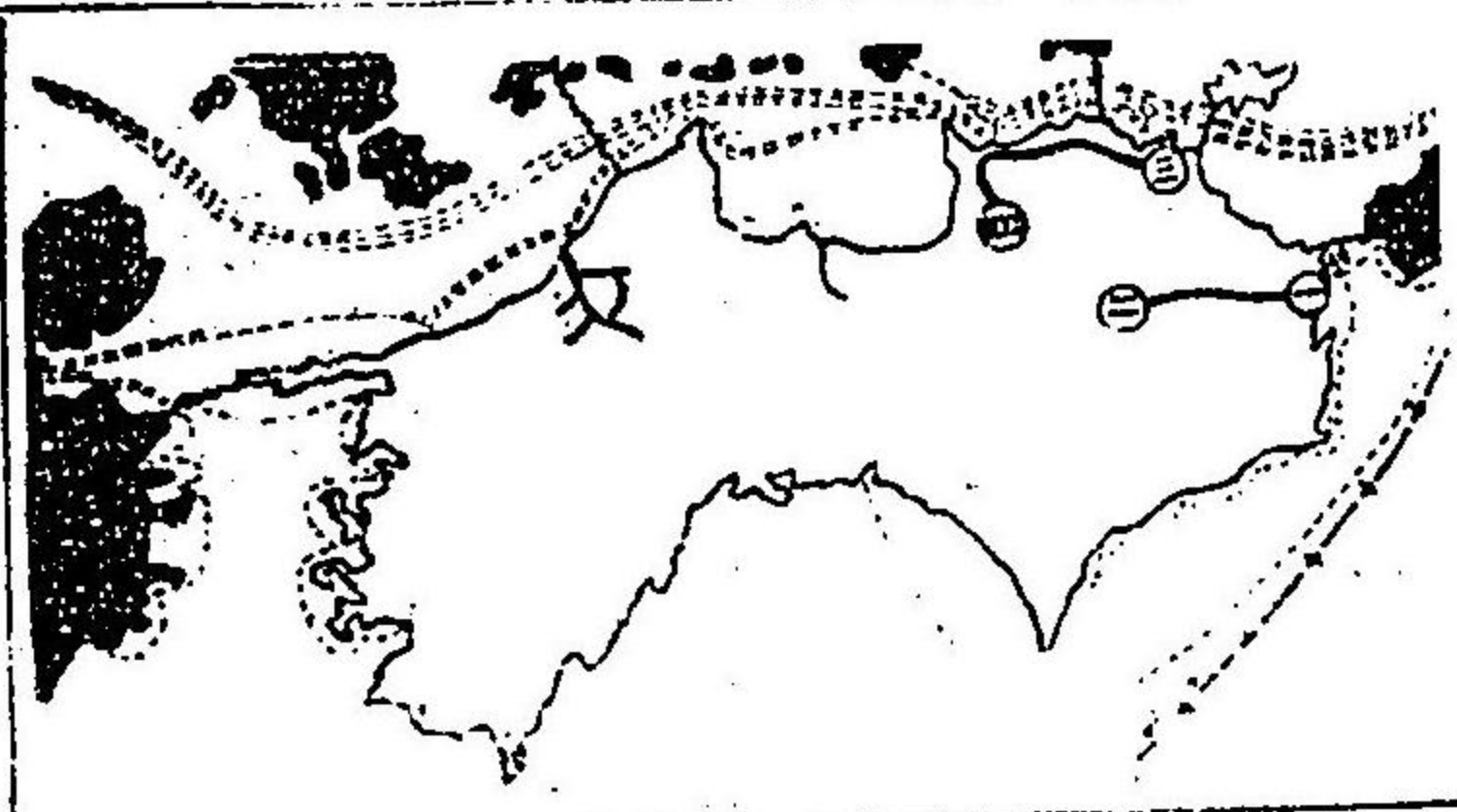
此一岐を讃岐山脈と云ふ

阿蘇火山脈

石鎚山 7,790 飯野山 7,400

河流は此高地に分派せられて諸方に流る、其中有名なるは吉野川仁淀川渡川肱川等なり。然れども平地甚だ少く、稍大

四國地方の交通を示す 徳島鐵道 讚岐鐵道 神戸打狗線 大阪商船會社



なるは吉野川の流域あるのみ。交通 道路は海岸及吉野川域に通じ鐵道は徳島讚岐伊豫等の諸線あれども、未だ發達十分ならず、海運は大坂商船會社の寄港地多く、且東豫汽船會社住友汽船會社土佐郵船會社等ありて交通稍便なり。

徳島縣

縣内阿は大半山に被はるれど

徳島附近 三 二十萬分、二

も、河海の沿岸は土地平坦にして、殊に吉野川の流域は面積廣し。

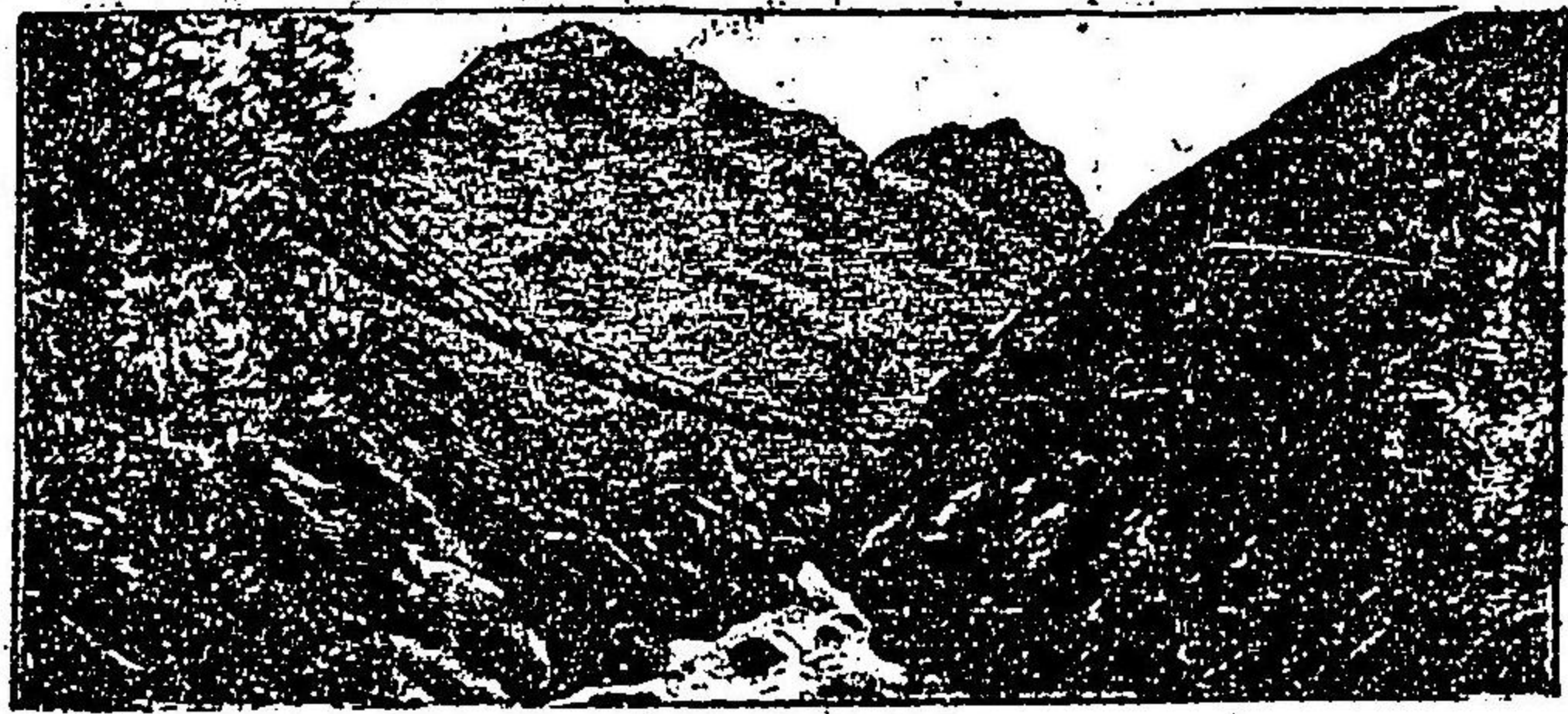
吉野川は四國第一の長流にして、俗に四國三郎と稱す、流域は土地肥えて米作に適し、又藍烟草の産多し、徳島鐵道此河谷に沿ひて西に通ず。





祖谷の約四の橋ひに  
して憂を橋ひに  
なり

那賀川の上流  
五  
地方に於ける  
木材の送ける  
を示す



上流地より産する木材の市場なり。  
蒲生田岬以西は沿岸平直にして海上漁利多く

徳島(市)は縣廳所在地にして藍烟草等の  
集散多く、又織織を産す、脇町附近は藍の  
耕作盛にして、半田は半田塗を産し、池田  
地方は烟草の栽培多し。

祖谷地方は山多く谷深  
く、風俗人情自ら別世界  
をなし、劔山には劔神社  
ありて、夏日賽者多し。

小松島富岡は共に  
東部の名邑にして、  
殊に富岡は那賀川



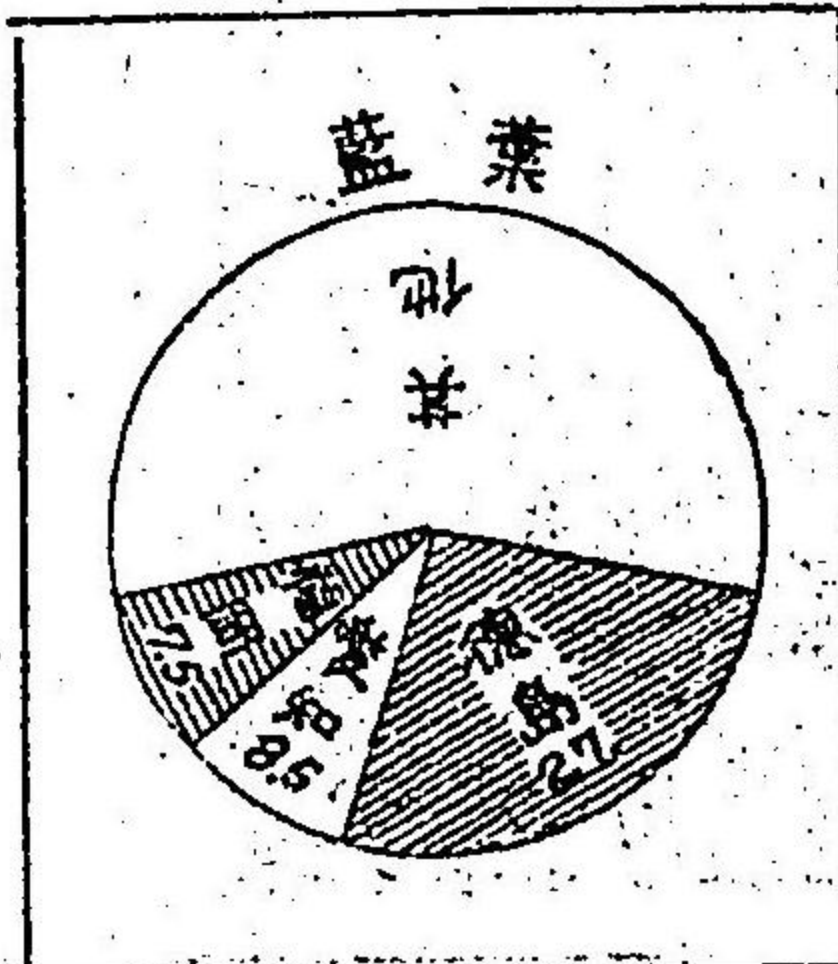
鳴門海峡は潮  
流激しく大渦  
なして舟行  
極めて危険な  
り

藍産額の比較  
七  
百分率を示す  
単位萬貫  
全額 一五六〇〇  
徳島 一四二〇〇  
愛知 一一三〇〇  
福岡 〇〇〇〇



製鹽業甚だ盛にして  
齋田鹽の名世に高く、  
又國防上重要な地點  
なるを以て要塞の設  
あり。

以北は屈曲錯雜して製鹽行はる、  
北部の鳴門海峡は潮勢急激にし  
て大渦をなし、舟行危険なれども  
潮時を擇めば舟行難からず。  
鳴門海峡に面する撫養は



概 藍の産は本邦第一に位し砂糖烟草の産亦多し。  
齋田鹽の名世に高く阿波織亦名産なり。

香川縣

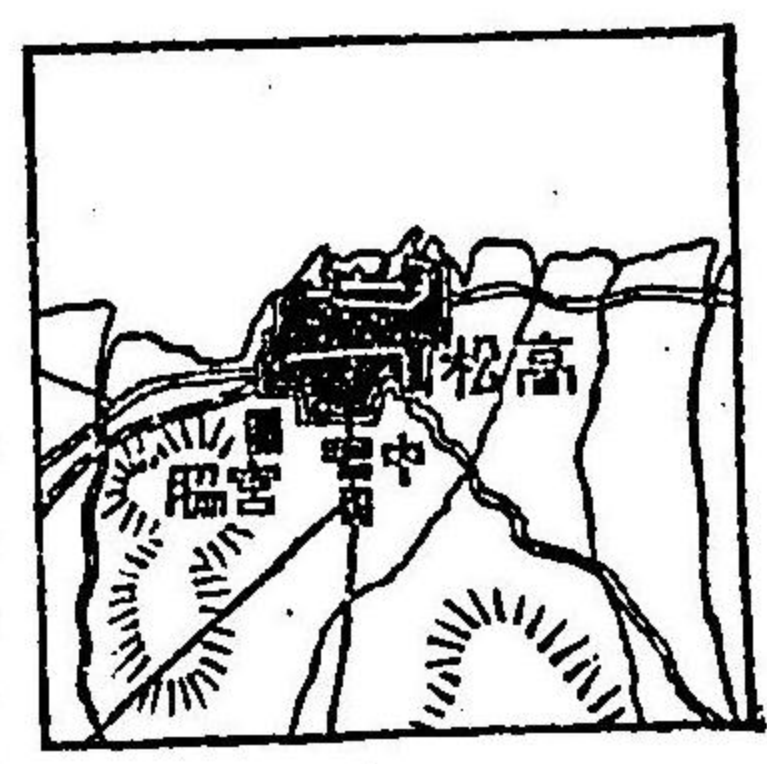
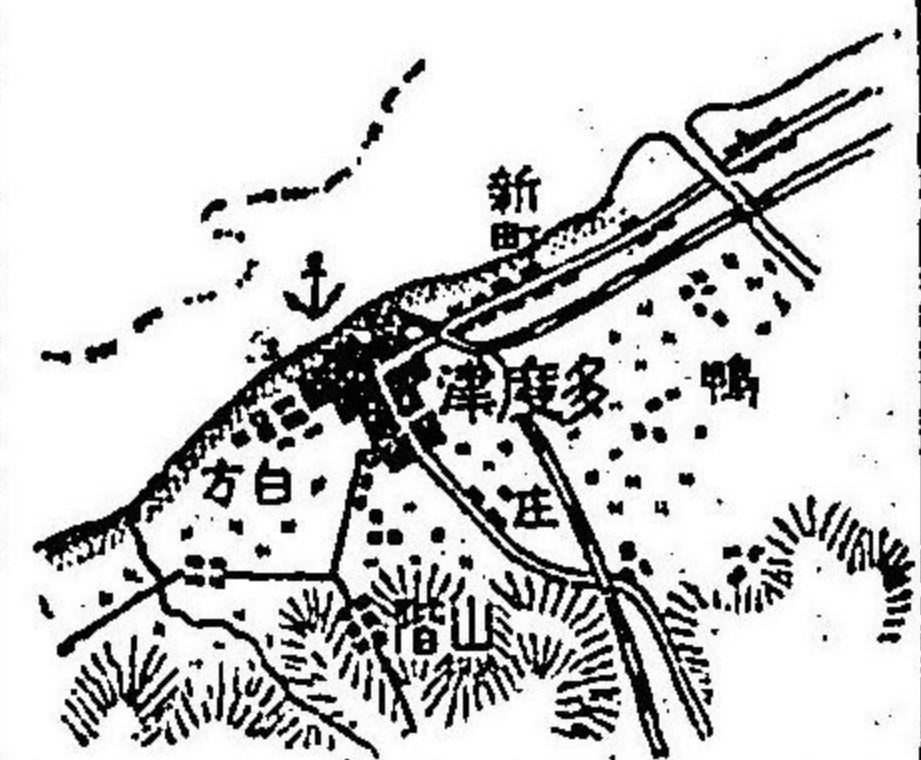
縣内は國境に山脈あれども、漸次海岸に低下

し、海上には小豆島鹽飽諸島等あり。  
 引田は砂糖醬油等の産を以て名高く、高松(市)には縣廳及有名なる栗林公園あり、四國屈指の商業地にして、海は港灣の設備整ひ、船舶の出入多く、陸は讚岐鐵道ありて西南諸地に通ず、市よりマツチ漆器(糸谷)等を産す。

近傍の屋島は名高き古戰場にして、五穀山は山容の奇勝を以て著はれ、白峯山上には崇徳上皇の御陵なり。

要區に當り、團扇の製造亦極めて多く、多度津は中國と連絡する要津にして、日々郵便船を出し、其南西諸間は自然の良港なり。

飯野山は一に巖崎富士と稱し、山容の秀美を以て著れ、前面の鹽飽諸島は人民海事に長じて遠洋漁業に従事



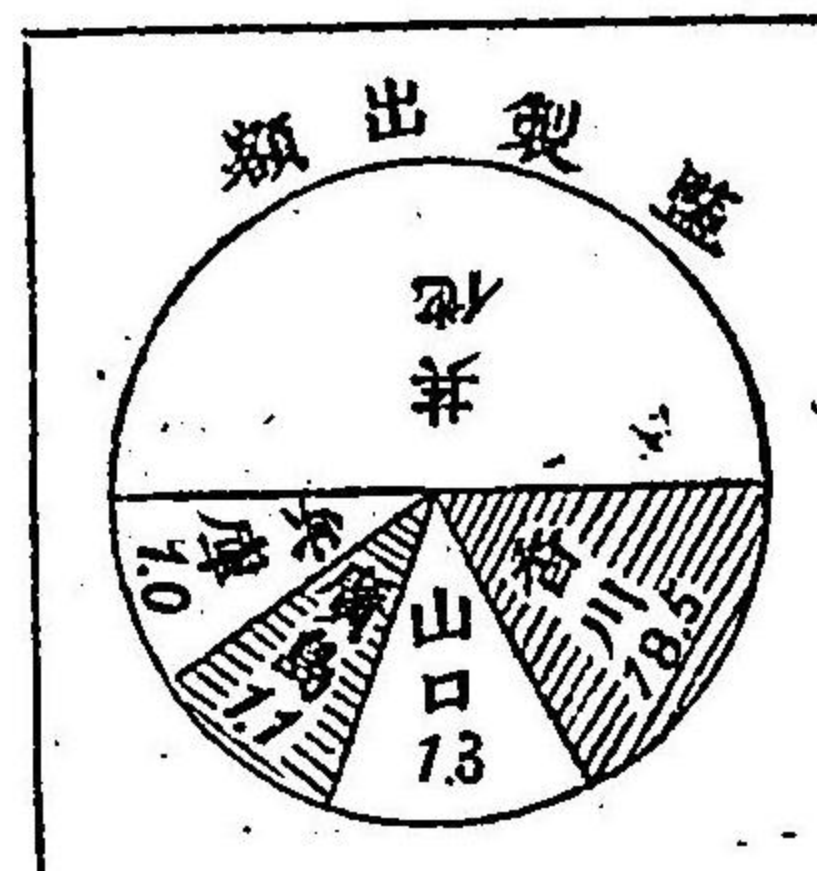
高松附近 八  
二十萬分、二

多度津附近 九  
二十萬分、二

飯野山は高さ一〇尺許の小峯なれども、平野の中心に屹立するが故に人目を惹き易し  
 鹽産額の比較 百分率を示す  
 全額 八五〇  
 山口 一五〇  
 香川 一八五  
 山廣島 一一四  
 兵庫 八七二



するもの多く、又多く工匠を營む特風なり。  
 善通寺は第十一師團司令部の所在地にして、琴平には金刀比羅宮ありて、賽者常に絶えず、西部の觀音寺も亦名邑にして海産物の集散稍盛なり。



本縣は鹽の製出全國第一に位し、砂糖も讚岐三盆白の名世に高く、綿の産亦多し、依て三白の方言あり。近來麥稈眞田の製造大に進歩し、竹細工の産亦多し。

愛媛縣 縣内(伊)は山多けれども、沿海は地平にして海上は島嶼に富む。

別子山 銅山 二  
道に 通ず 此  
居は 上 下  
部より 終 起 點 上  
下部 終 起 點 上  
と 高 さ 二 千 尺  
の 相 違 あり 此  
間 鐵 道 及 貨 物  
を 運 搬 す



新居濱は精銅所の所在地にして、鐵道により別子山と通じ船舶により中國と連絡す、別子山には有名なる銅坑ありて、産額本邦第二に位し、西北に立川銅山及市川安質母尼坑あり、此西方に聳ゆる石槌山は夏日登山者多し。今治は舟泊の要地にして、波止濱近傍は製鹽業盛なり、其前面來島海峡は潮流の急なるを以て名あり。

松山(市)は重信川の平野にあり、縣廳所在地にして松山縞の産あり、伊豫鐵道此を中心として四方に通ず、道後には古來温泉を以て著はれ、砥部は砥部燒久萬は伊豫簾の産に名高く、

三津濱は舟泊の要地にして松山の門口なり。肱川流域は榎樹の栽培及抄紙の業の盛にして其の中心に大洲あり、紙蠟等の集散多く、長濱港と相通ず。

伊豫灘の沿岸は砂濱多く、海上に興居島あり、全島一山よりなり、俗に伊豫ノ小富士と稱す、此邊鰯漁を以て名高く、豊後海峡の沿岸は出入島嶼多く、其中の日振島は藤原純友の據りし所なり。

宇和島は八幡濱と共に九州渡航の要津に當り、且大阪神戸に定期航行あり、此地方より産する織物紙木蠟等の集散多く、商業稍盛なり。

要 概

山地は鑛産に富み銅は全國第三に位し安質母尼亦名あり。越樹の栽培多く生蠟の産出は福岡縣に次ぐ。沿海は漁利多く殊に鰯漁は全國中第三位を占む。抄紙業盛にして産出は全國第二に位し織物の産亦多し。

Handwritten notes and signatures at the bottom of the page, including names like '馬場' and '山本'.





九州地方の火山脈及河川の方向を示す



島は更に東松浦北松浦西彼杵島原等の諸半島に分れて、其間に伊萬里灣大村灣千々岩灘筑紫海等を擁し、天草諸島は八代灣と天草灘とを分つ、南方には薩摩大隅兩半島ありて鹿兒島灣志布志灣を抱き、薩南諸島又其南方に散在せり。城内は二條の山脈南西より北東に亘り、加ふるに二條の火

て日向灘と瀬戸内海とを分ち、瀬戸内海には國東半島ありて、更に大分灣と周防灘とを分つ、北は玄海灘響灘に臨み海上に壺岐對馬の諸島あり、西には肥前半島平戸島五天草島飯島等あり、肥前半

山脈ありて、到る所山岳相重疊せり。

筑紫山脈

雷山 寶満山 福智山

九州南部山脈

市房山 祖母山

霧島火山脈

多良嶽 温泉嶽 霧島山 御嶽 開聞嶽

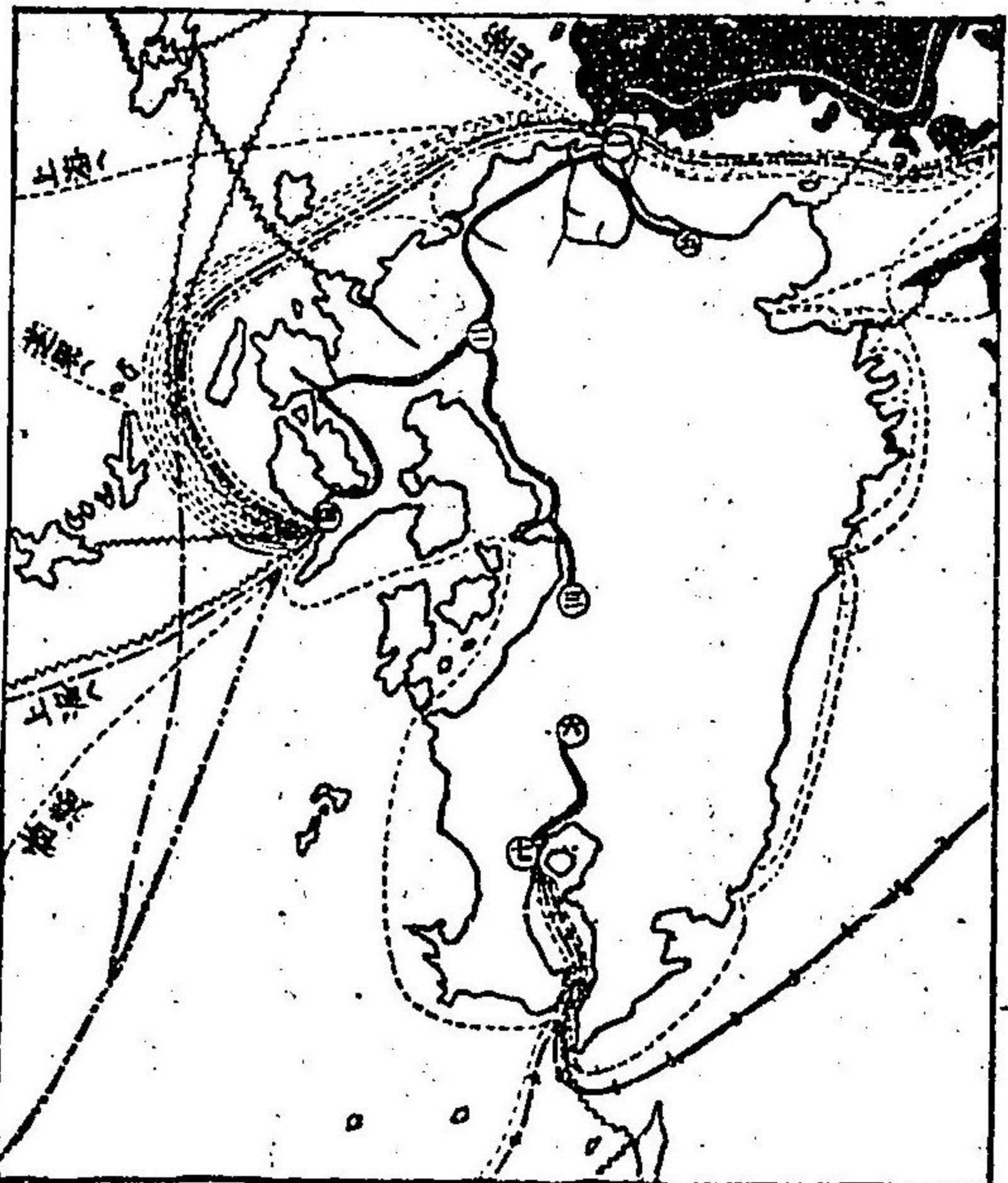
阿蘇火山脈

阿蘇山 九重嶽 由布嶽 英彦山 二子山

河水は此等の山岳に分派せられて諸方に通ず、即、遠賀川は北に流れ、筑後川白川、糠川、内川は西に流れ、大淀川五箇瀬川、大野川は東に流る、然れども、南部は地狭く山重れるが故に、概、水流迅く平野亦少しと雖、北西部には廣大なる筑後平野、肥後平野等あり。

交通 主要なる道路は海岸を通じ、鐵道は九州鐵道幾多に分れ、豊州線、筑豊線、長崎線、八代線等となりて諸方に走る、又

九州地方の交通を示す  
 長崎線 豊後線 豊前線 豊後線 豊前線 豊後線 豊前線  
 長崎線 豊後線 豊前線 豊後線 豊前線 豊後線 豊前線  
 長崎線 豊後線 豊前線 豊後線 豊前線 豊後線 豊前線



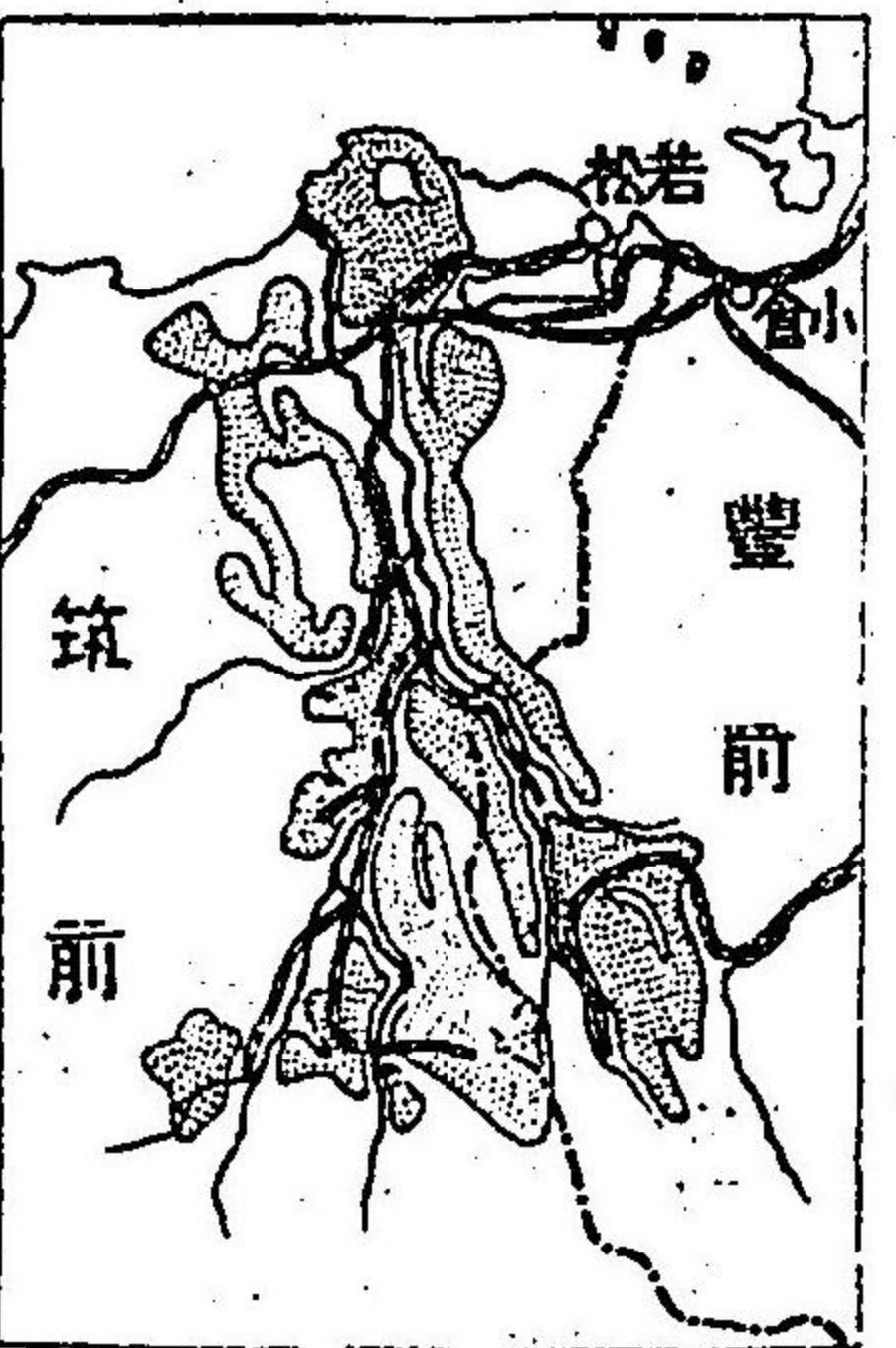
福岡縣

縣内(筑前、筑後)は中部に、山岳起伏して河水を分流し各灌域は肥沃なる平原なり。

遠賀川の流域は、即ち筑豊炭田にして、石炭の採掘甚だ多く、河道は重要な

南部には鹿兒島線あり海運は長崎門司を中心として海外へ通ずる外に、大阪商船會社、肥後汽船會社の寄港地多く、又海底電線は中國、四國及臺灣と通じ、其他長崎より清韓シベリヤに達する。

遠賀川流域に於ける石炭の分布を示す

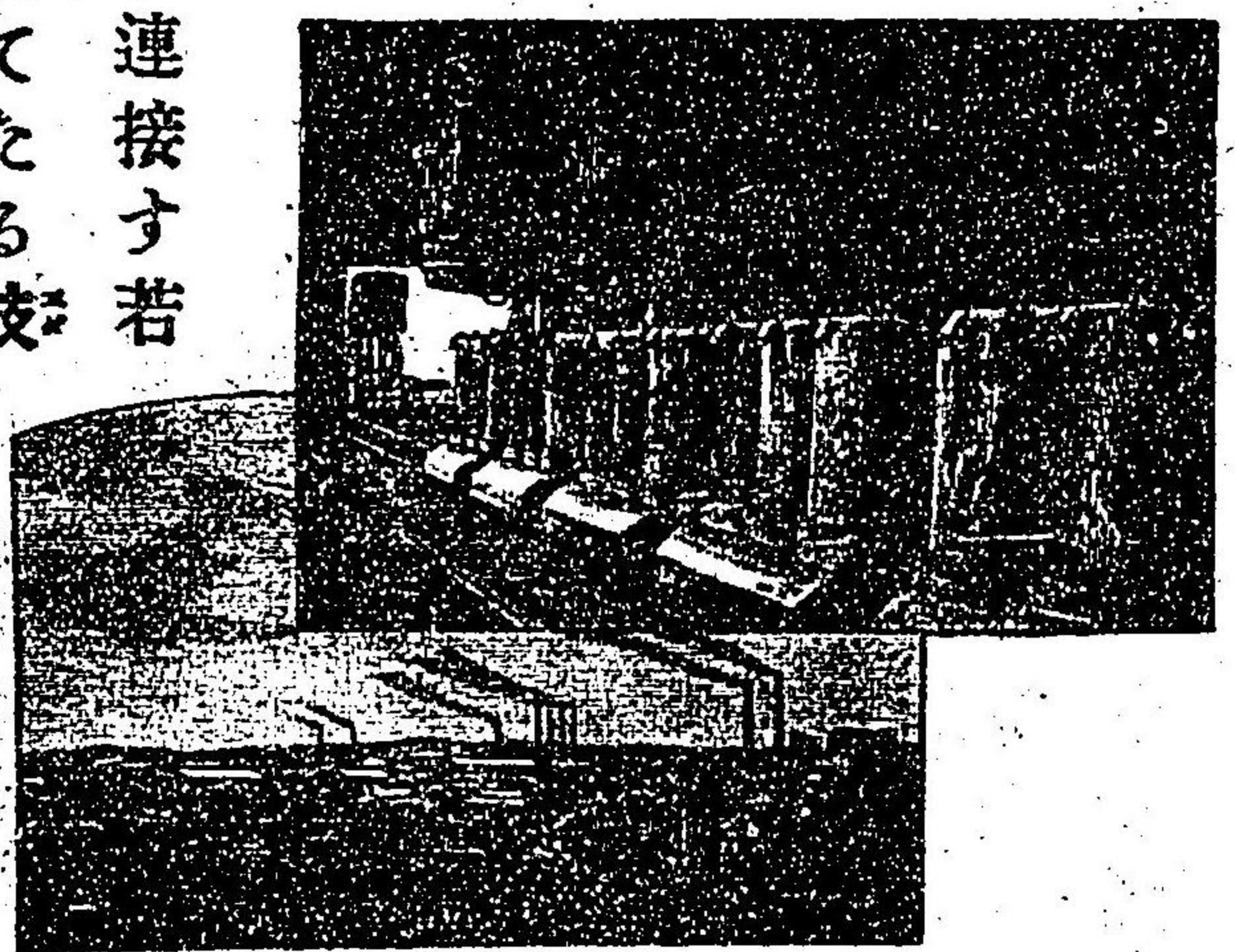


炭田ありて石

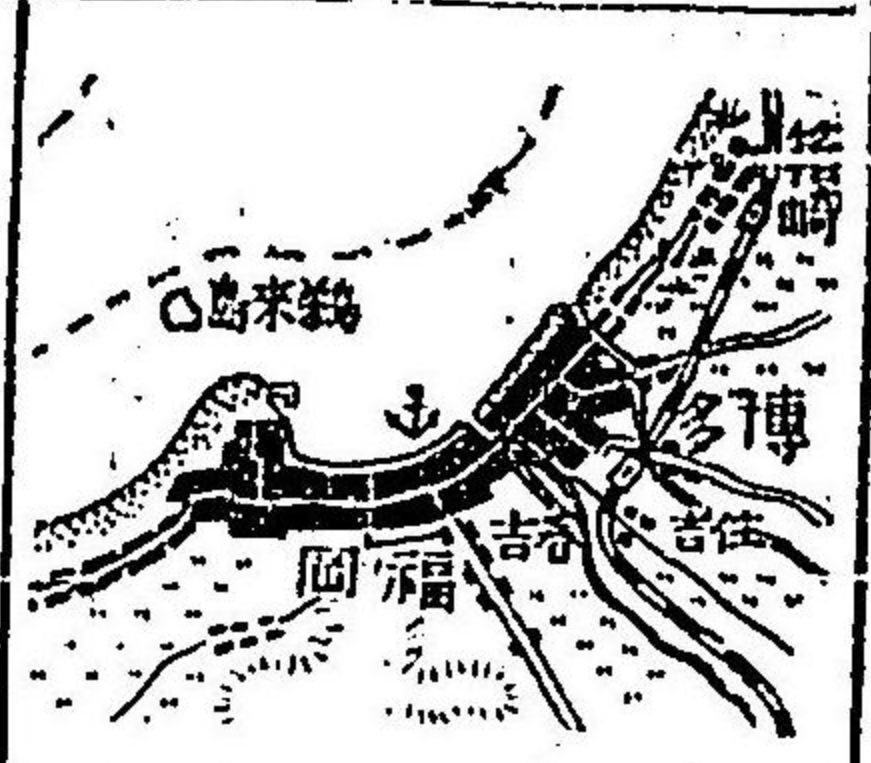
門司(市)は開港場の一にして内外諸港との航行を繁く、又南西に廣き

下圖は、枝光の全景にして、上圖は其内部なり

炭の輸出多し、小倉(市)は豊州線の交叉點に當り、第十二師團司令部あり、小倉織は市の名産なれども産額乏しく、折尾は筑豊線の交叉點に位す、此鐵道は筑豊炭田地方と石炭積出の要港なる若松とを連接す、若松は開港場の一にして、洞海を隔てたる枝



福岡附近  
二十四分、二



光には製鐵所あり。  
蘆屋は古の崗水門にして此より以西は所々  
礁濱あれども概砂濱多くして南西には海中  
道突出し博多灣を抱く。

福岡(市)は黒田氏の舊城下にして縣廳及福岡醫科大學あり、  
附近より高取焼を産す、博多織を以て知らるゝ、博多も市の  
一部に屬し現時開港場たり、古來外國交通の衝に當りしを  
以て、此近傍には舊址多し。

箱崎の箱崎宮は應神天皇を祀りたる靈社にして香椎には神功皇后を奉  
祀せる香椎宮あり西方の姪濱は九州探題城址にして東方には應神天皇  
の降誕地たる宇美あり、其近傍に水城址、太宰府廳址及太宰府神社あり、太  
宰府神社は菅原道真を祀る又西岸の芥屋は岩石の奇觀に名高く沖島邊  
は日露戦争の際常陸丸の擧沈せられし所とす。

生産額の比  
百分率を示す

單位產額  
全額 二三三四  
福岡 七三  
愛媛 四一  
熊本 二五  
熊本 一一  
兵分 一八

石炭産額の比  
百分率を示す  
單位萬噸  
全額 七七〇  
福岡 七五  
北海道 七〇  
佐賀 六五  
長門 五五  
島時 四三

久留米(市)は久留米緋の産に富み、又米穀の  
取引多く、大川は若津港を扣へ、米の集散盛  
にして、又清酒を産す。

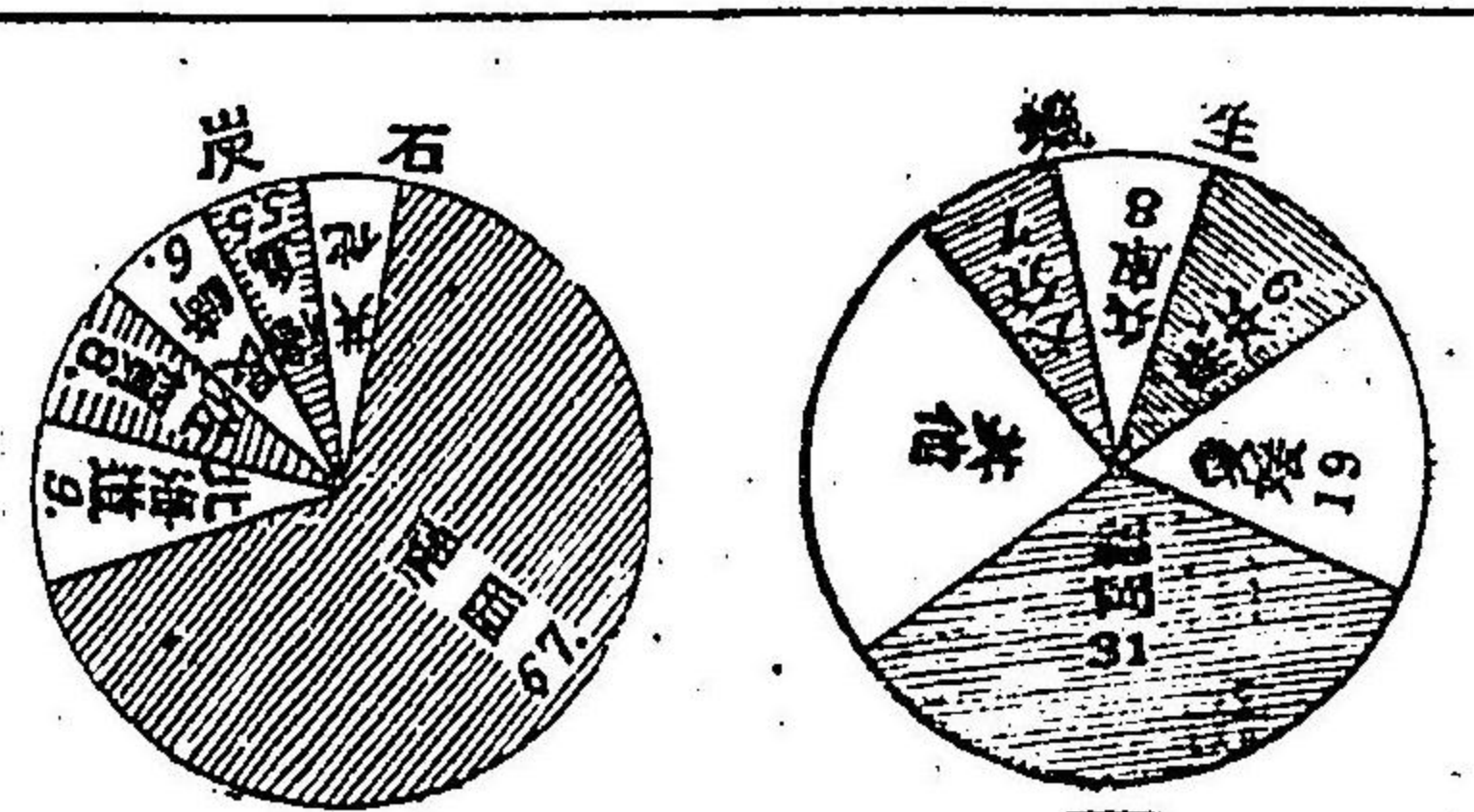
柳河は疊表莫莖の産多く、三池は著名の炭  
坑にして、大牟田は其石炭積出港なり、前面  
の筑紫海は潮汐の干満の差著しく、所によ  
り十八尺以上に及ぶと云ふ。

概要

管内は炭田多く石炭の産額は全國の七割を占む。  
農業盛にして生蠶の産は全國第一に位し菜種は北海道に次ぐ。  
清酒の醸造莫莖の製出共に全國第二に位せり。

佐賀縣

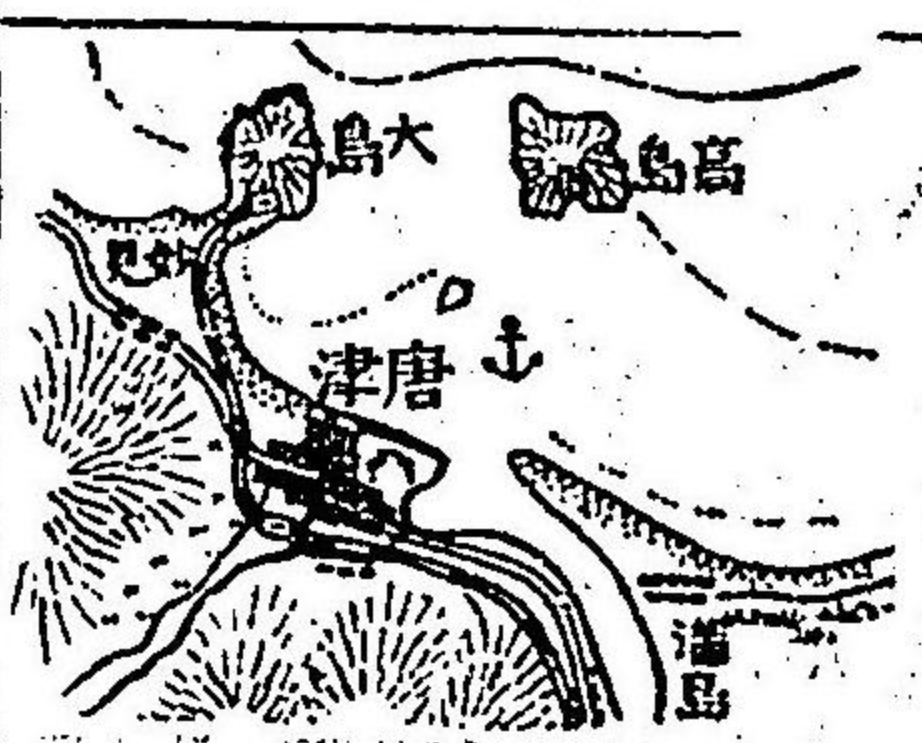
縣内(一部)は山岳中部に起伏すれども甚だ高から  
ず、此南方には肥沃なる大平原あり。





唐津港附近  
二十萬分の一

九州鐵道線は鳥栖より分れ、一は八代線となりて南に走り、一は長崎線となりて域内を貫通し、唐津線伊萬里線更に之より分岐す。



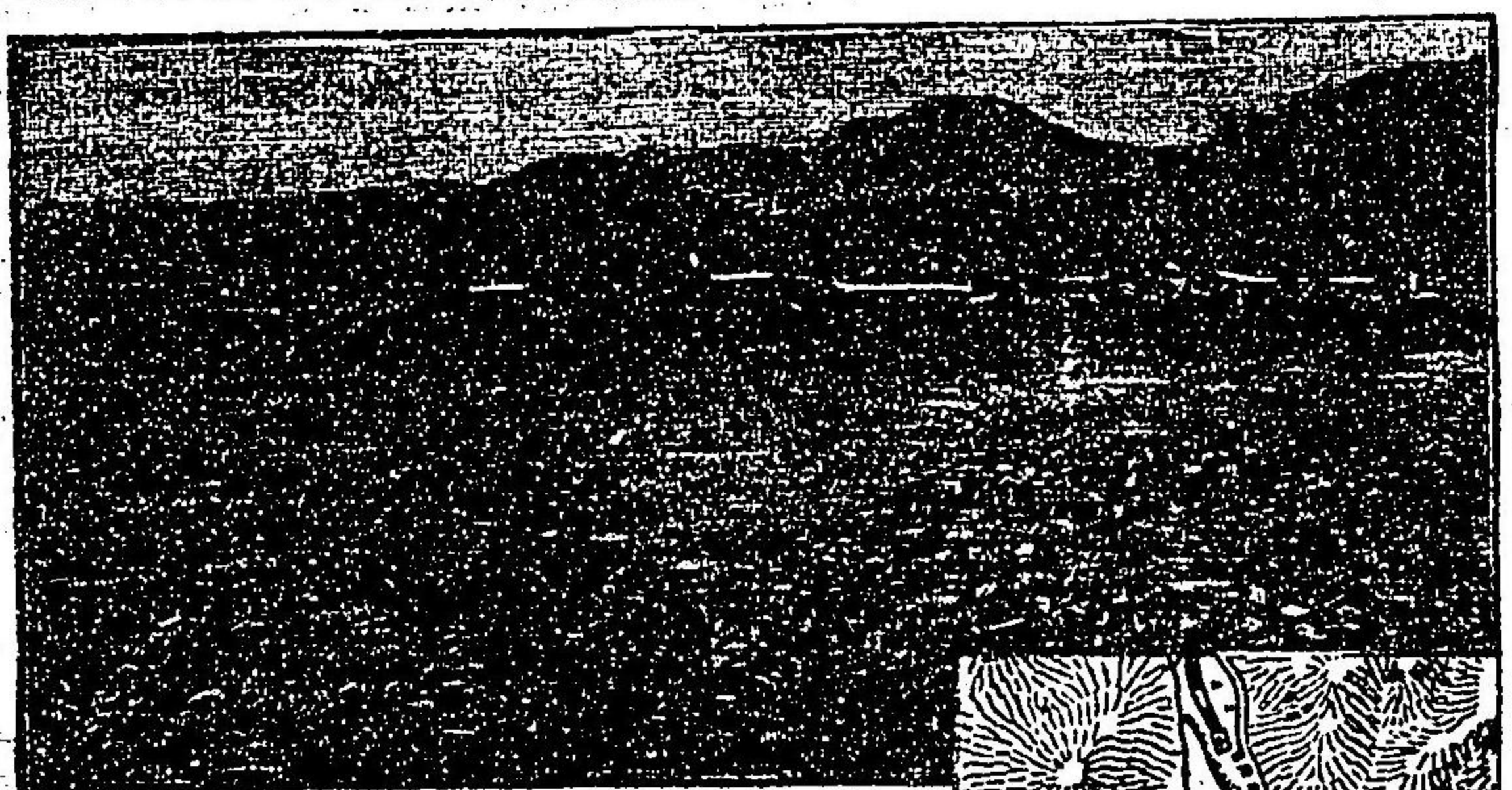
佐賀市は鍋島氏の舊城下にして縣廳の所在地なり、米穀の集散甚だ多く、松浦川口の唐津は開港場にして、附近に炭田多く石炭の輸出多し、其北西名護屋は豊公征韓の事蹟に著はる。

武雄は著名なる温泉場にして、有田は有田焼の産に名高く、又近傍に大河内焼の産あり、伊萬里は陶器の積出多し。

概 石炭の産多く全國第三位を占め、米穀の收穫亦多し。陶器の産出に富み、有田焼大河内焼等の名世に高し。

長崎縣 縣内(佐賀縣の一部)は數多の半島と島嶼とよりなり、山岳域内に起伏して平地少し。

長崎港を眺望  
したる圖にし  
て地圖は一十  
萬分の一なり



早岐は鐵道佐世保線の分岐點に當り、近傍より三河内焼を産し、佐世保市は軍港の一にして、第三海軍區鎮守府及造兵廠あり、長崎市は古き開港場にして縣廳控訴院税關及醫學專門學校あり、貿易盛大にして、内外諸港へ定期航行絶えず、附近の三菱造船所は規模甚だ大なり、烟草は此市の名産とす。

長崎の前面に高島端島等あり、良質の石炭を出し、野母崎邊は鱈の特産あり、口津は開港場にして石炭を輸出し、島

竹取近附  
二十萬分、二

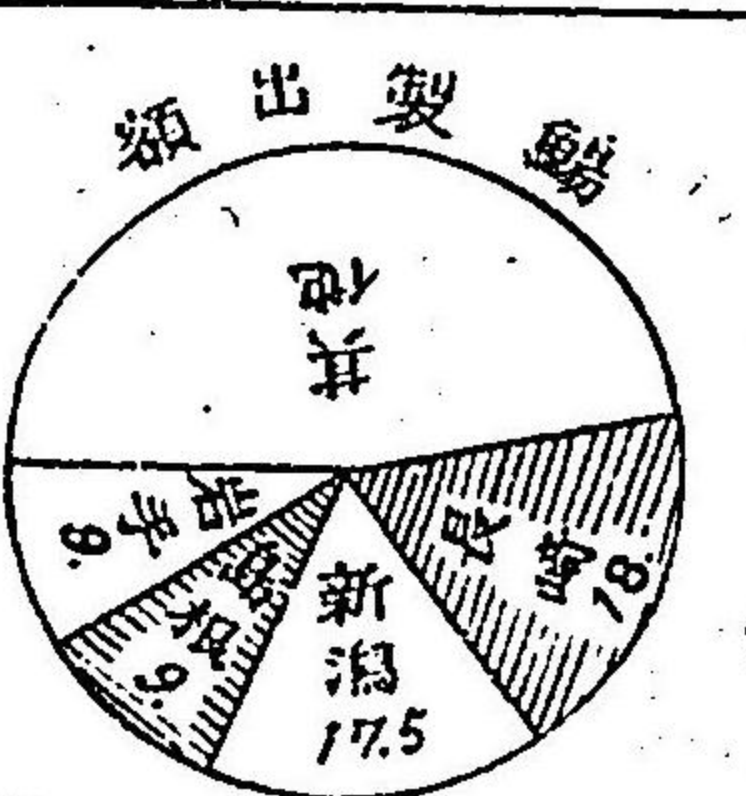
全額 二四三  
長崎 二四三  
新潟 二四三  
岩手 二四三



原は温泉に名高く、附近より烟草砂糖等を産す。  
五島列島は鯨鯨の捕獲に名高く、福江島の福江は漁船碇泊の要地にして、平戸島の平戸は昔時外國との商業地たり。

壹岐島は山多けれども、大豆の産に富み、沿海は漁利多く、郷浦勝本等の要津あり、對馬島は上島下島よりなり、地瘠せ農業に適せざれども、沿海は漁利多し、嚴原は鹿見佐須奈と共に開港場にして韓國との取引多く、竹敷は海軍要港なり。

對馬島は我國の西北端にして、韓國と距ること海上



三十五裡に過ぎざれば、島民は其近海に出漁するもの多し。

**概要**  
本縣は古來外交の衝に當るが故に、人民は海外思想風に發達せり。石炭産出は全國第四位を占め、牧牛は甚だ盛にして、陶器の産亦多し。海産物豊富にして、烏賊の漁獲、鰯の製出は共に全國第一なり。

**熊本縣** 縣内(肥)の東部は山岳重疊すれども、西部には平地ありて、河流多し。

球磨川は本邦三急流の一にして、所々に奔濤激流あれども、木材の輸送を資け、下流は舟楫の便あり、此上流地方山巒重疊の中に、五家莊あり、平家の遺族潜匿せる所と傳ふ、交通不便にして、別世界をなせり。

菊池川、白川、綠川の流域には、肥後平野ありて、米粟の産甚だ多く、白川の發源地たる阿蘇山は有名なる火山にして、噴烟常

下圖は阿蘇山  
現時の噴火口  
現時的に上圖  
若し時の噴火口  
を示す



に絶えず。

熊本市は細川氏の舊城下をり白川の下流に位し、九州屈指の都會にして、縣廳第六師團司令部第五高等學校等あり、有名なる熊本城は兵燹に罹りて僅に其址を存し、成趣園は風致の優雅を以て聞ゆ、市は米の集散多く又紡織を産す、此北方には田原坂(四南役の遊戯地)山鹿(温泉)隈府(神社)等の古地名區多し。

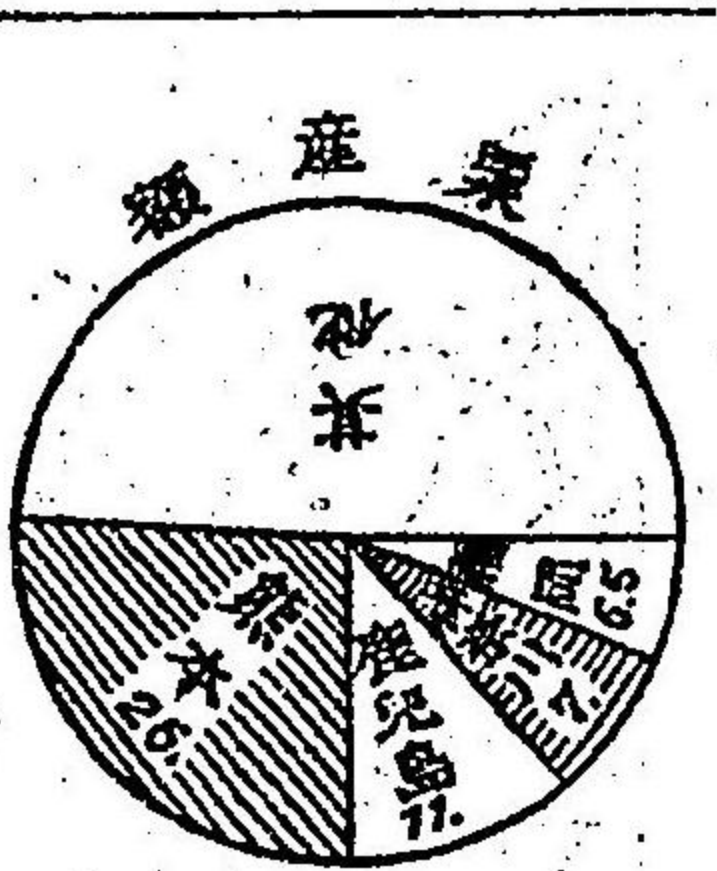
三角は宇土半島の端にある開港場にして石炭の輸出多く、八代は球磨川の河口



下圖は成趣園  
内の一部に  
て上圖の縮尺  
は二十萬分一  
なり

粟産額の比較  
百分率を示す  
單位萬石  
全額 二〇〇  
熊本 二五三  
鹿兒島 二二三  
神奈川 一一五

にありてセメントを産し又高田焼(八代)の名産あり、上流の人吉は舟行の極限地とす。八代近傍は砂濱にして其前面に八代灣を隔て、天草諸島あり上下の二島よりなり、甘蔗甘薯の産多く又無焰炭陶土の産に名あり。



**要 概**  
肥後米は良質を以て名高く粟の産は全國第一にして、烟草も亦多し。牧馬の頭数は第一に位す。天草島の陶土は附近各地の製陶原料となる。

**大分縣** 縣内(豊前)の西部には山多く、又殆、東西に亘れる火山脈ありて、海岸を二個の平地に分てり。

山國川は(豊前)と共に北部平地を灌し、其發源地たる英彦山には英彦神社あり、大野川大分川は南部平地を灌して、其沿岸には農産少からず。大分は縣廳所在地にして、瀬戸内海航路の要點に當り、米・生絲・蠶表等を集散し、檜物細工を産す、別府は有名なる温泉場

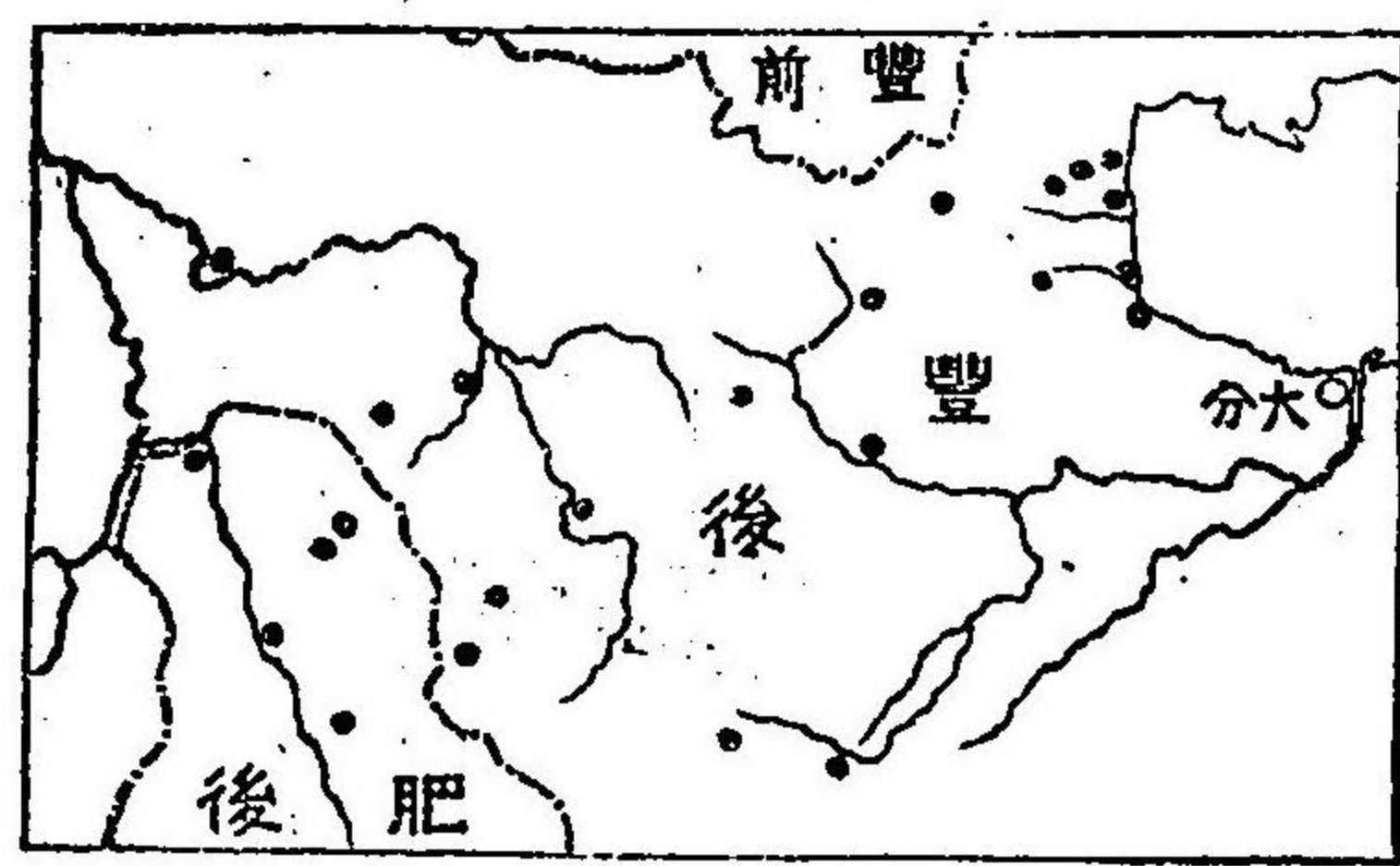
耶馬溪は山容の奇と溪谷の勝とを以て鳴る國は其一都

解内の温泉分布を示す圖中の黒點は主なる温泉湧出地なり



にして電車鐵道を以て連絡せり。別府の西北には豊後富士の名ある由布嶽あり、之より一方は九重嶽に一方は二子山に脈を通ず、斯く火山多きを以て温泉の湧出甚だ多し。

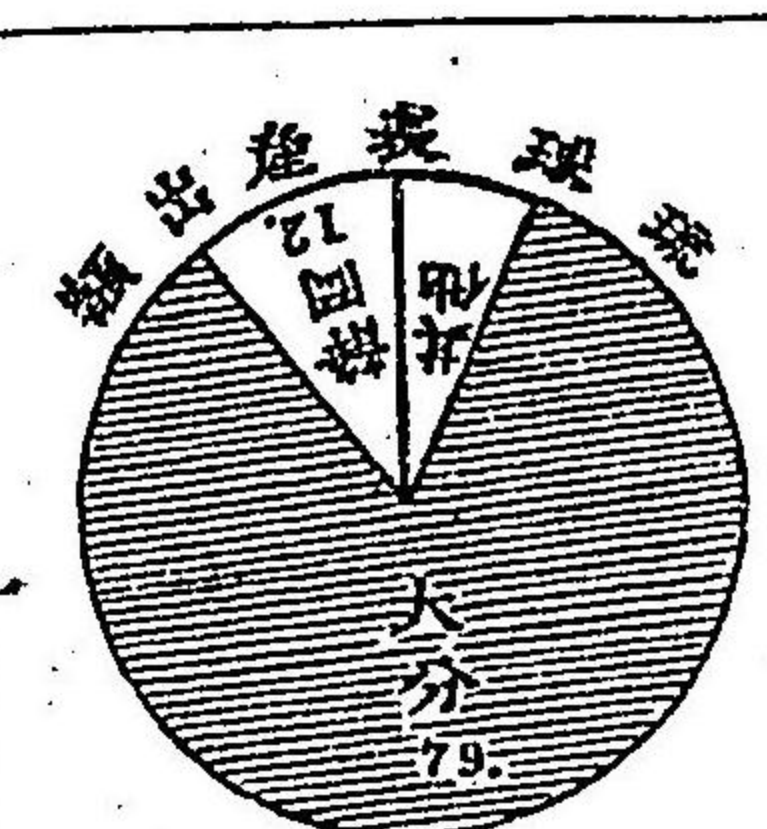
馬溪の勝あり、宇佐は和氣清鷹の事蹟を以て有名なる宇佐神宮の所在地なり。杵は南方の佐伯と共に縣内の名邑にして、大阪へ定期航行あり。



琉球表産出の比較百分率を示す單位萬圓  
大分 一一四六  
豊後 一八六

要 概

豊後海峡の沿岸は概々礁濱にして屈曲多く、北部に地蔵岬突出す、此邊潮流甚だ迅し。  
温泉湧出の多きこと全國に比なし  
琉球表の産額は我國第一に位し、山地には多く椎茸を産す。



宮崎縣

縣内(前)は沿海の一部を除く外概山岳に被はれ、之より發する數多の河流は殆平行して海に注ぐ。

延岡は五箇瀬川下流に位し、師の漁獵を以て名高く、上流の高千穂は天孫降臨の地と傳へ、日平には有名なる銅山あり。細島は縣内の要港にして大阪と定期航路を通じ、高鍋佐土原は共に海邊の名邑なり、大淀川畔の宮崎は縣廳所在地にして近傍より烟草半紙を産し、都城は縣内第一の都會にして萬年青の名産あり。

大淀川流域には稍廣き平地ありて砂糖を産し、四近よりは椎茸を産す又此上流地に峙つ霧島山は有名なる火山にして噴烟常に絶えず。

欽肥地方は熱帯植物試作地ありて、珈琲、幾那等を培養し、油津は南部の良港にして、大阪と定期航海あり。

縣内一帯の海岸は平直にして出入少く、海上は日向灘といひ風濤荒き處なれども鯨、鰹等の産あり。

概管内は天孫降臨の地と傳へ古史に名高き遺跡多し。椎茸の産甚だ多く又銅の採掘に富む。

鹿兒島縣

河も多くは溪流に過ぎず。

米津は一要津にして阿久根は我國第一の焼酎産地なり。

川内川は九州の長流にして、之に近く太平寺址、可愛山、陵等あり、河口以北の沿岸は砂濱多く、北方の黒瀬戸は潮流の急なる所とす、又南方は吹上瀆にして砂丘多く、野間岬其南に突出す。

斧野は北東の大口山、野南方の鹿籠等と共に有名なる金山

にして加世田は南部の名邑とす、坊

津は山川と共に昔時交通の地にして、指宿邊には烟草の産あり。

開闢嶽は形状富士山と酷似し、其餘勢海に

迫りて開闢岬となり、大隅半島の佐多岬と

相對して鹿兒島灣を抱く、灣内の櫻島には

御嶽屹立して浮ぶか如く、島内に大根の特産あり。

鹿兒島市は鹿兒島灣に臨み

大阪と定期航海あり、縣廳及

第七高等學校造士館あり、緋織、薩摩燒等を産す、此西方苗代

川附近も亦薩摩燒を産し、南方の谷山邊は錫を産し、其額全

城山より鹿兒島市の街を望みて、前島の櫻島なり。

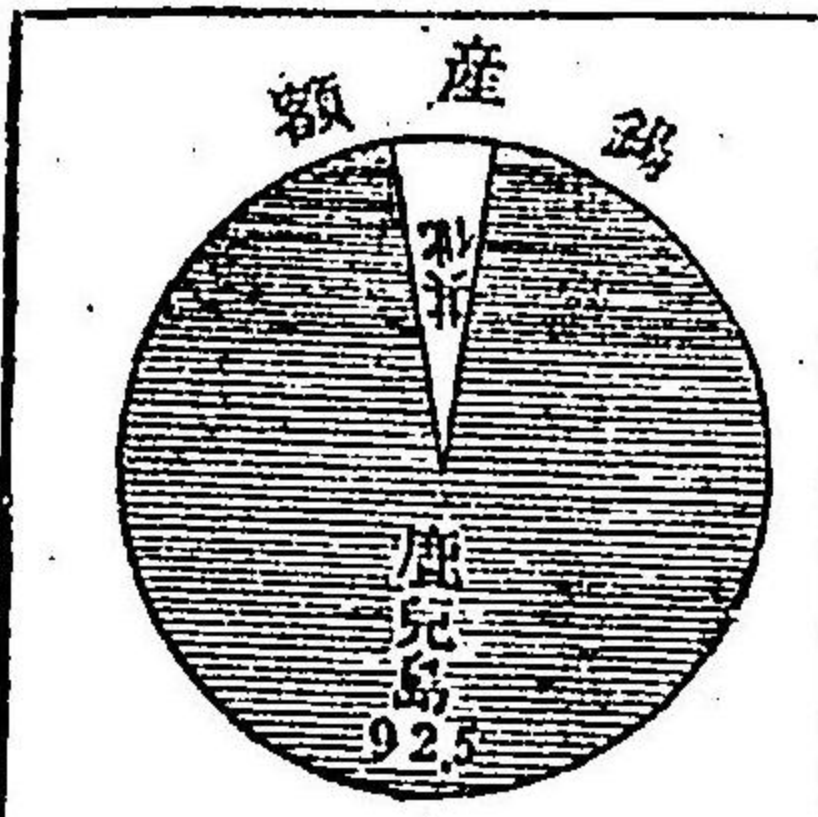


鹿兒島灣

錫産額の比較  
 錫産額の比較  
 百分率を示す  
 全額 鹿兒島 一九〇  
 單位千斤

國第一なり。  
 加治木は縣内の名邑にして、國分は國分烟草を産し、近傍の鹿兒島神宮は霧島山腹の霧島神宮と共に名高く、福山附近は馬の牧畜行はれ、垂水邊は烟草の栽培盛なり。南方の薩南諸島は、之を大別して川邊十島種子島屋久島大島諸島とす、川邊十島の口島以南を寶七島と稱し、常に硫烟を噴出す、其海上を七島灘といひ、航海危険多く、屋久島の一湊大島の名瀬は共に要港なり。

甘藷の産額は全國第一にして馬の飼養、黒砂糖の産は共に第二なり。錫の産は全國第一にして金は北海道に次ぎ、烟草の産亦名高し。住民一般に劇しき刺激飲料を嗜み、焼酎の産は全國第一なり。

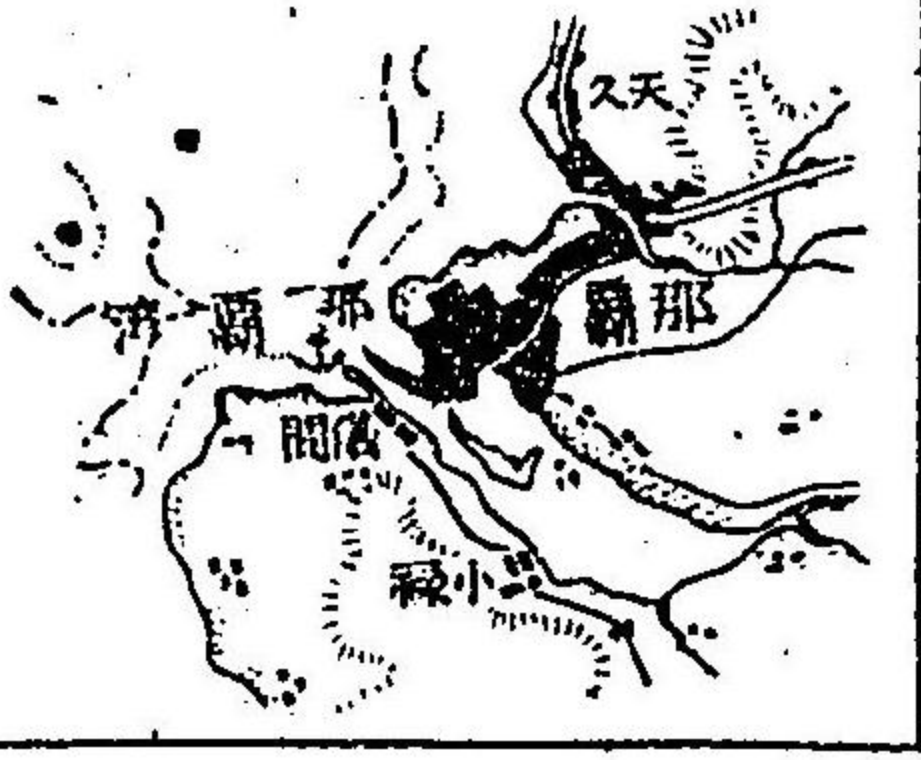


九州地方概括表

縣	府	管轄	地勢	處邑	名地	舊址	港	產物	製造物
沖繩縣	琉球	管轄	地勢	處邑	名地	舊址	港	產物	製造物
鹿兒島縣	大隅 薩摩	日向	霧島山 日平銅山	鹿兒島市 霧島市 霧島神宮	大平寺址 可愛山陵 吹上、濱城 霧島神宮	鹿兒島	米、芋、粟 國分烟草 牛、金、銀、錫 硫磺、燐 阿久根燒酎	薩摩燒 薩摩上布 薩摩餅 琉球麥 阿久根燒酎	日向半紙 日向炭
宮崎縣	日向	霧島山 日平銅山	霧島山 日平銅山	霧島市 霧島市 霧島神宮	霧島山、都城、高千穂	霧島山	木材、椎茸 烟草、萬年青 銅、鐵、錫	日向半紙 日向炭	日向炭
大分縣	豐前 豐後	英彦山 祖母山 九重山 布重山 由布子山	大山野川	中津 宇佐 大分 別府 佐伯	英彦山 耶麻溪 宇佐神宮 別府溫泉 豐後宮士	大分	木材、椎茸 烟草、萬年青 銅、鐵、錫	日向半紙 日向炭	日向炭
熊本縣	肥後	阿蘇山	球磨川 鹿本川 八代川 人吉	熊本 八代 山鹿 阿蘇山、五家莊	熊本城、成趣園、田原坂 菊池神社、山鹿溫泉	山鹿	肥後米、粟 菜種、烟草 無煙炭、陶土	球磨炭 球磨紙	球磨炭 球磨紙
長崎縣	肥前 肥後	溫泉 瓦敷	長崎 佐世保 口津 福江 勝本 佐須奈 竹敷	長崎 佐世保 早岐 島原溫泉	島原溫泉	長崎	米、烟草 長崎烟草 石炭	唐木細工 鱒三河內燒	唐木細工 鱒三河內燒
佐賀縣	肥前 大部	雷山	松浦川	佐賀 唐津 伊萬里 武雄	名護屋、武雄溫泉	佐賀	米、大豆	有田燒 大河內燒	有田燒 大河內燒
福岡縣	筑前 筑後	寶壽山 福智山	筑後川	福岡 小倉 久留米 若松、折尾 蘆屋、大牟田 大牟田、若津	蘆屋、香椎宮、箱崎宮 九州探題址、宇美 水城、太宰府廳址 太宰府神社、寶滿山 芥屋大門	福岡	米、茶、藍 藍、草 鹽、石炭	博多織 小倉織 久留米餅 菜種油 生絲 清酒、英藍 高取燒	博多織 小倉織 久留米餅 菜種油 生絲 清酒、英藍 高取燒

琉球人の風俗  
を示す  
今内地の風俗に例ふもの多ければ結髪挿髪は一般の風俗にはあらず

那覇附近  
二十萬分、二



**沖繩縣** 縣内(琉)は沖繩諸島先島諸島の二に分れ後者は更に宮古八重山の二群島に分る域内は

宮古島を除く外山地多く沿岸には珊瑚礁多し、氣候暑くして霜雪を見ること少く芭蕉椰樹蘇鐵の如き熱帯植物繁茂し、又ハブの如き毒蛇棲息す、風俗も大に異なり、男女共に髻を結び簪を挿み、家屋は颶風の襲來



屢なるを以て構造極めて低し、縣廳所在地たる那覇區は開港場にして大阪と航路を通じ、砂糖泡盛油上布木綿絣芭蕉布漆器等の産あり、首里區は元琉球王城にして、還天港は西表

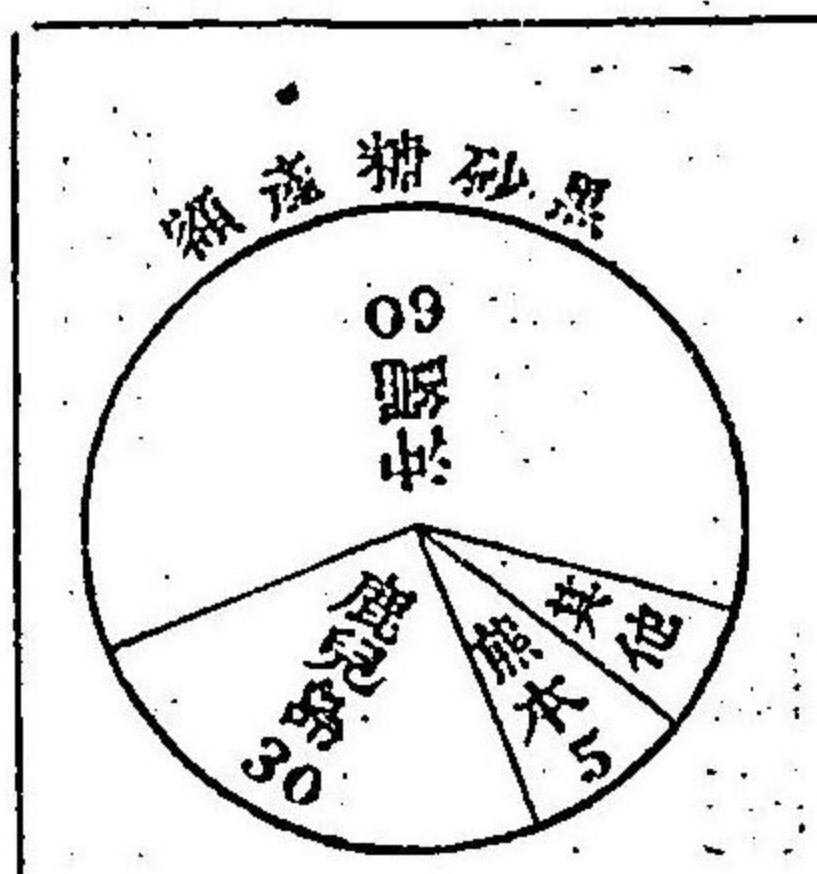
島の船浮と共に良泊なり。

要 概

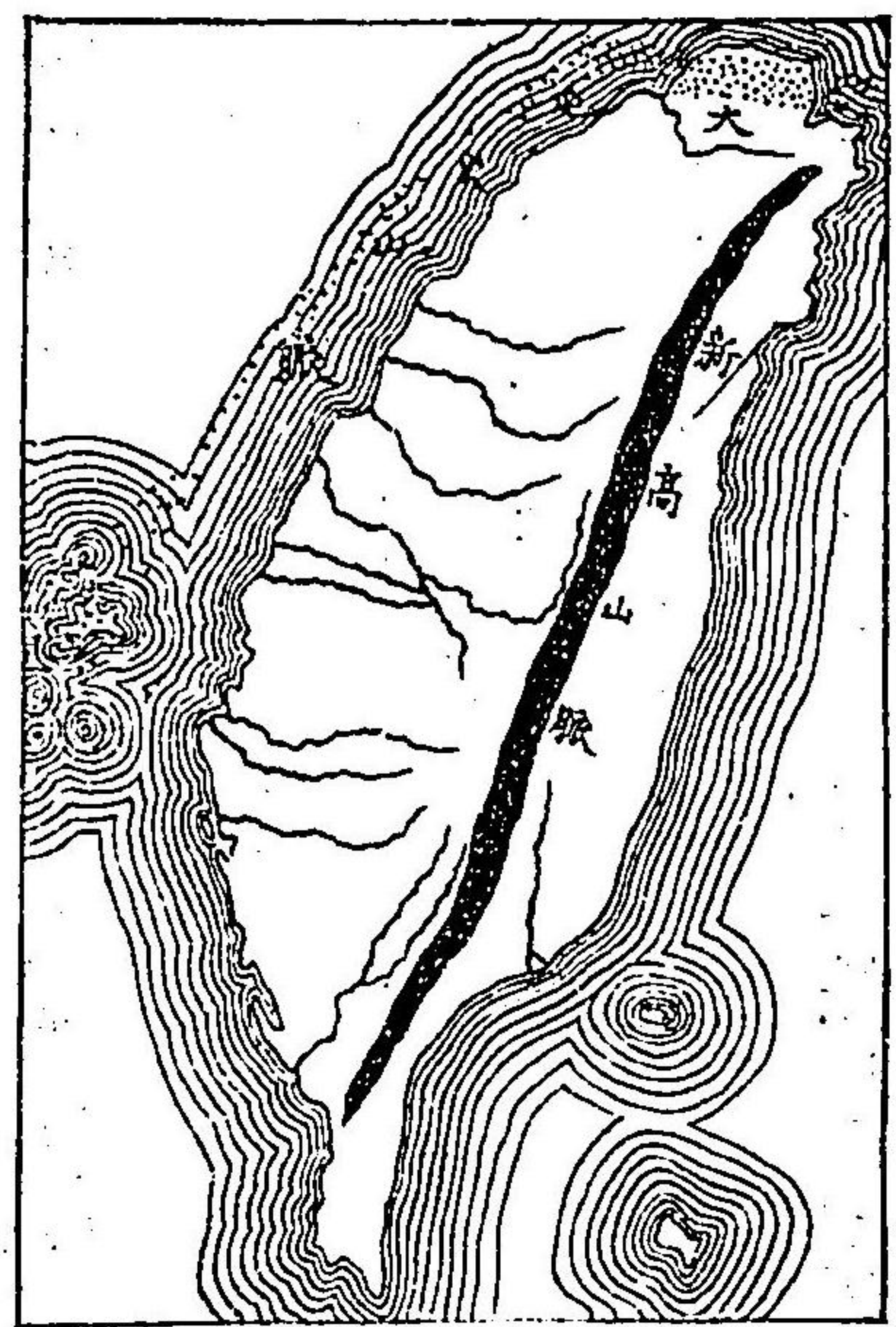
甘蔗の生育著しく黒砂糖の産は全國第一なり。琉球塗油織物泡盛等の特産あり。豚の飼養は全國の半以上を占め山羊も亦多し。

臺灣

臺灣地方は臺灣島と附近の數小島とにして臺灣總督府ありて之を統治し其下に二十の廳を置けり。



臺灣の山脈の方向を示す



島形恰も葉片の如く、北方には富貴角三貂角等突出し、南方には南岬、南西岬ありて、パシー海峡を隔て、アメリカ合衆國領のフィリピン諸島に對し、

臺灣東海岸の一例にして、断崖の直に海に迫る状を見るにべし



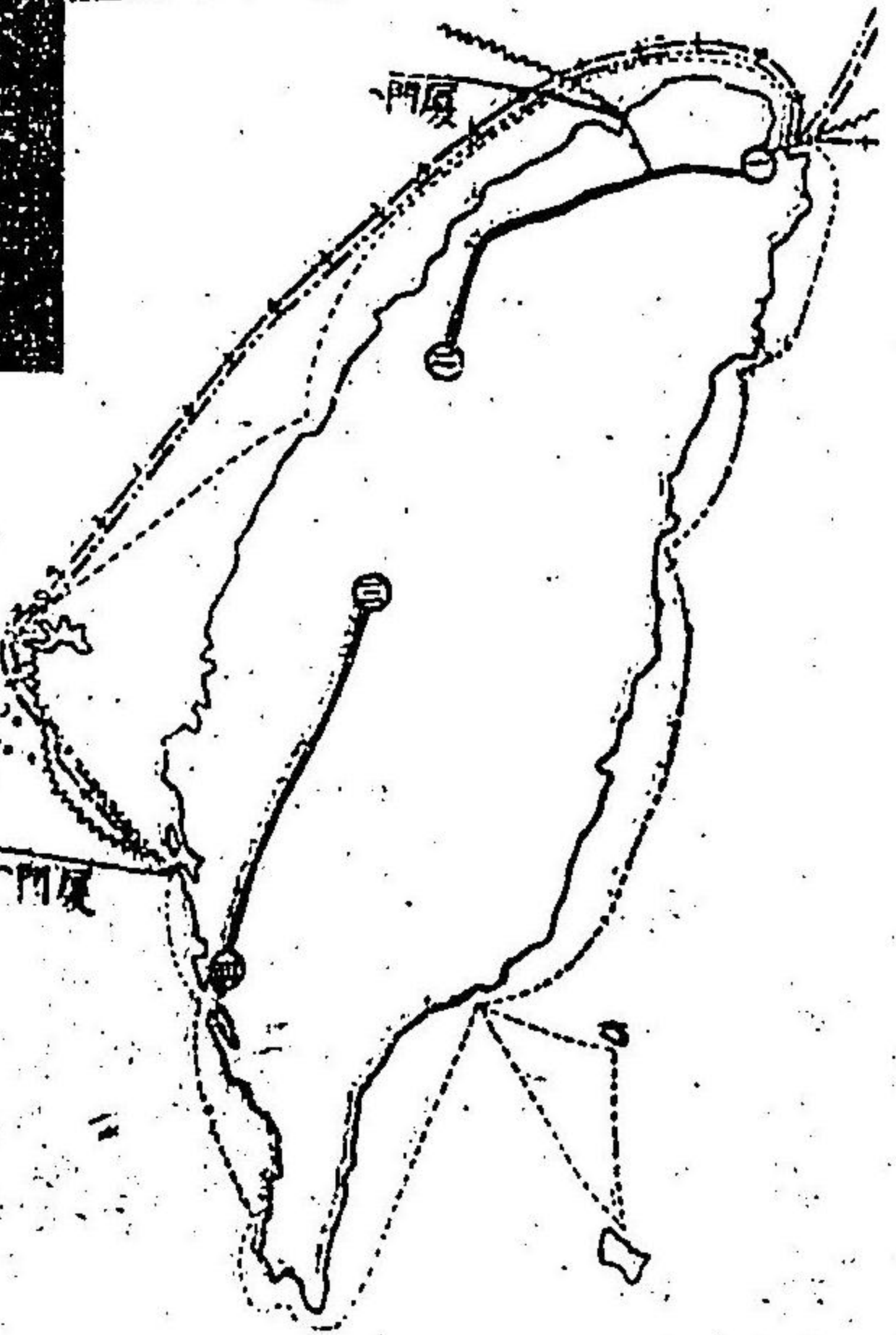
西は臺灣海峡を挟みて清國に面す。山脈域内を縦貫し、又北部には小火山脈あり。新高山脈 (12,350) シルツァヤ山 (12,350) 新高山 (12,350) 大屯火山脈 大屯山

河流は東西に分流す、即、西には淡水河、大肚溪、大突溪、下溪水、溪等ありて、東には卑南大溪、秀枯、樂溪等あり、西斜面は土地平坦なれども、河流は水量乏しく、東部は山岳重疊して断崖海に迫る。

道路未だ全からざれども、鐵道は臺灣線將に南北に貫通せんとし、海運は大阪商船會社の臺灣東廻線及西線廻



ありて各地を連れ、又本州とは四線の連絡航路を有し、清國へも亦二航路あり、其他本州及清國とは海底電線によりて相通ず。



**住民** 本島固有の住民は清國移住民の子孫即ち臺灣人多数なれども東部にはマライ族なる蠻人あり、其中臺灣人の感化を受け



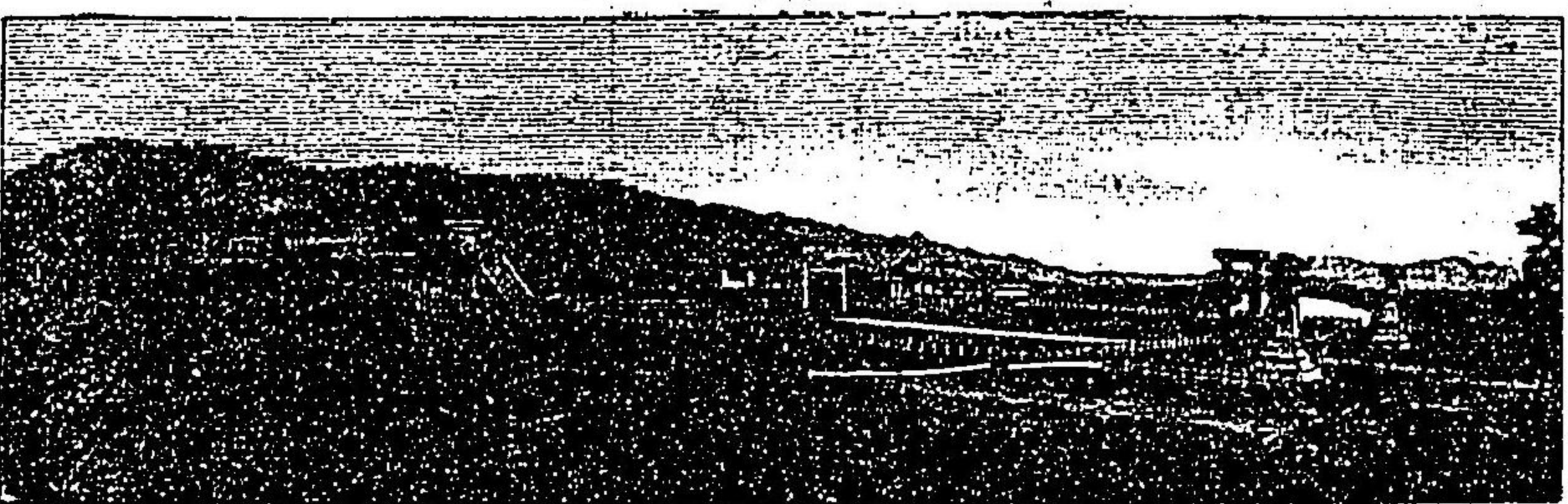
三 臺灣の交通を示す  
○◎臺灣北線  
◎◎臺灣南線  
! 神戶基隆  
! 横濱打狗  
! 神戸打狗  
! 基隆東廻  
! 同西廻線

四 臺灣生荷の男女を示す

五 基隆附近 二十萬分、二

六 臺北附近 二十萬分、二

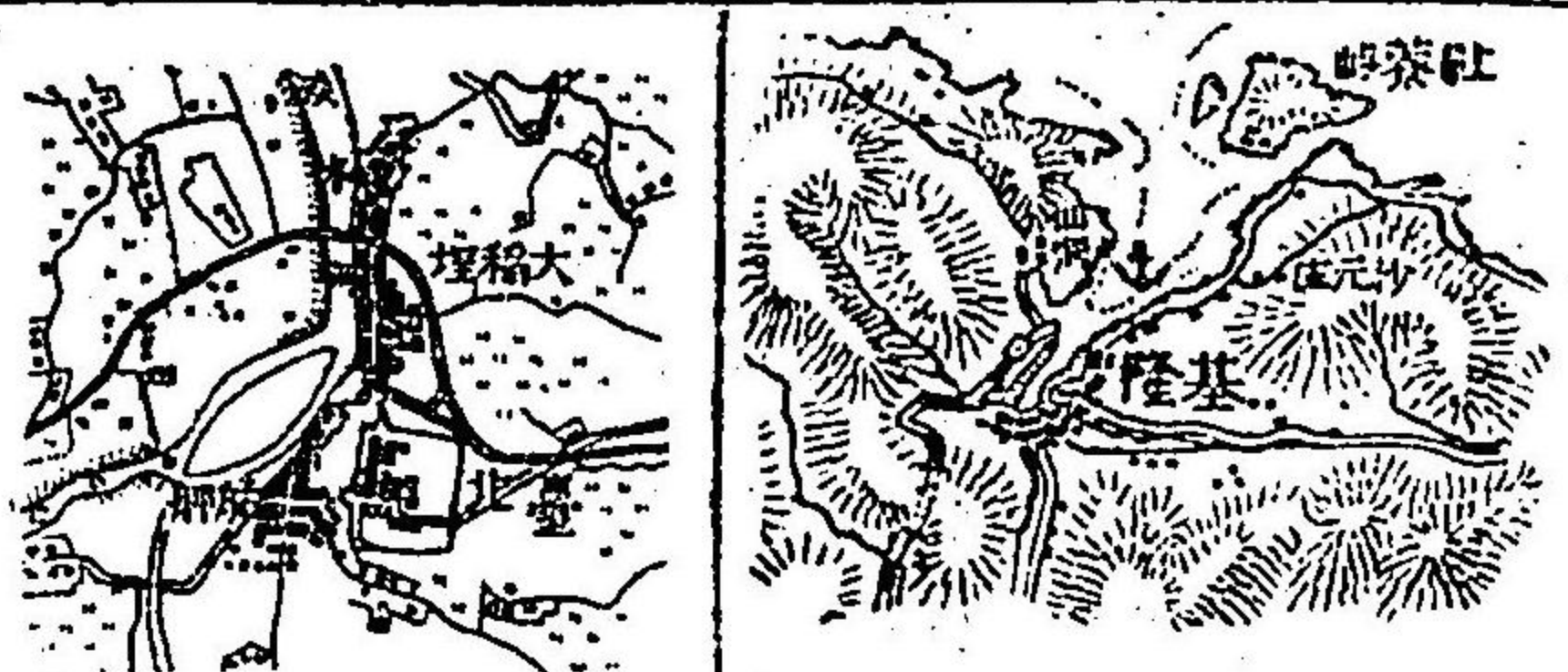
七 臺灣神社は大國魂命大日貴命少彦名命を祀りたる社に於て、終上病を得て終に薨じ給ひし北白川宮殿下を此に合祀したり



て農耕に従事する熟蕃と、山間にありて遊獵を業とする生蕃とあり、生蕃は性甚だ兇悪なり。

**西部地方**

基隆は本島の門口に位し要塞の設あり、主要の開港場にして又臺灣鐵道の起點に當り、附近より石炭及砂金を産す、臺北は大料炭河と新店河との會合點に位し、總督府覆審院臺灣國語學校等あり、又此附近に有名なる臺灣神社あり、府城の南西にある街區





淡水港附近  
二十萬分、二

を**艋舺**(舊街)と稱し、北にあるを**大稻埕**(新街)と稱す、大稻埕は烏龍茶の取引多く又鐵道によりて淡水(滬尾)に通ず、淡水は開港場の一にして米樟腦の輸出多く税關の設あり東北大屯山は硫黃の産に富み、附近に北投温泉あり。

新竹は農産地にして特別開港場**舊港**と通じ、苗栗は樟腦の産出多く、之に近く特別開港場後龍あり。

臺中はもと臺灣府と稱せし處にして中部の要地なり、輕便鐵道により特別開港場**塗葛窟**と通じ、彰化は米産地の中央に位し、其門口なる**鹿港**は特別開港場にして支那船常に輻湊し、東方の埔里社は漢人及熟蕃の雜居地なり、斗六は臺灣鐵道南部線現時の終點にして、樟腦の集散多く

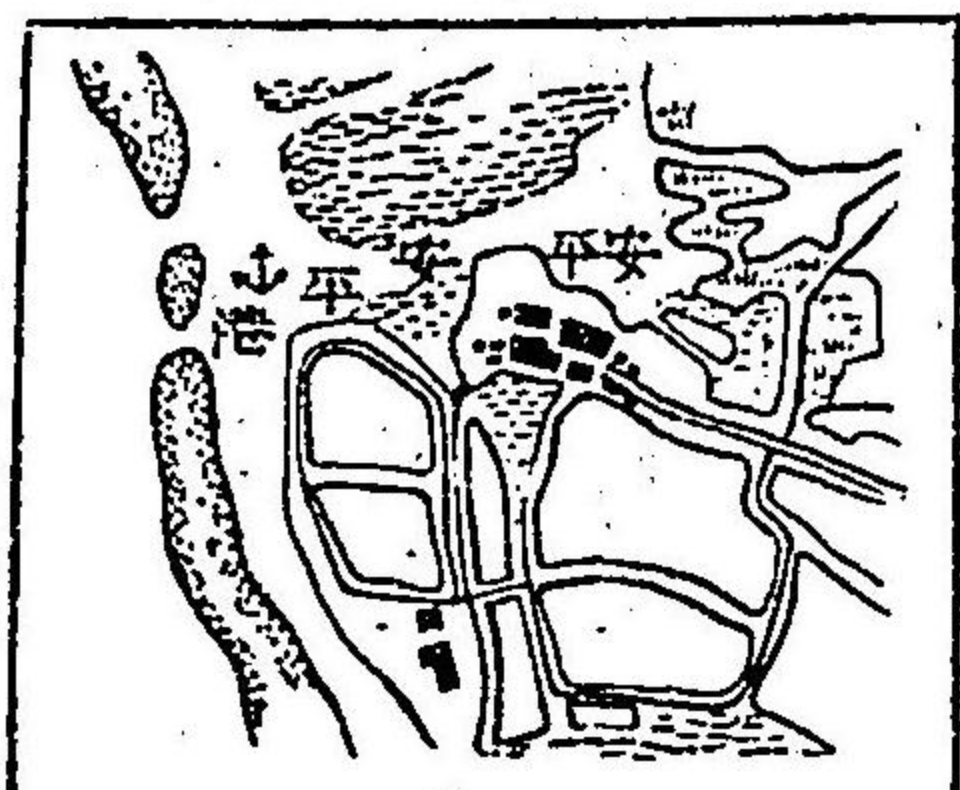
新高山は我國  
最高峰にして  
此圖は新高  
前山より望み  
たる様なり



嘉義地方は米砂糖の産あり、其西海岸ある下湖口、東石は共に特別開港場にして米砂糖を輸出す。

新高山は我國第一の高山にして、富士山より高さこ  
と三百八十尺、もとモリソン山と呼びしが、現稱は明治  
三十年、今上天皇陛下の命名し給ひしものなり。

臺南は製糖業地の中心に位し、もと本島の首府たりしを以て市況繁盛なり、西方の安平は開港場にして砂糖樟腦等の輸出多し。



鳳山は砂糖の産多く、近傍の**打狗**は開港場にして砂糖米等の輸出あれども、港内狭く且淺きを以て貿易衰退の傾あり、

安平港附近  
二十萬分、二

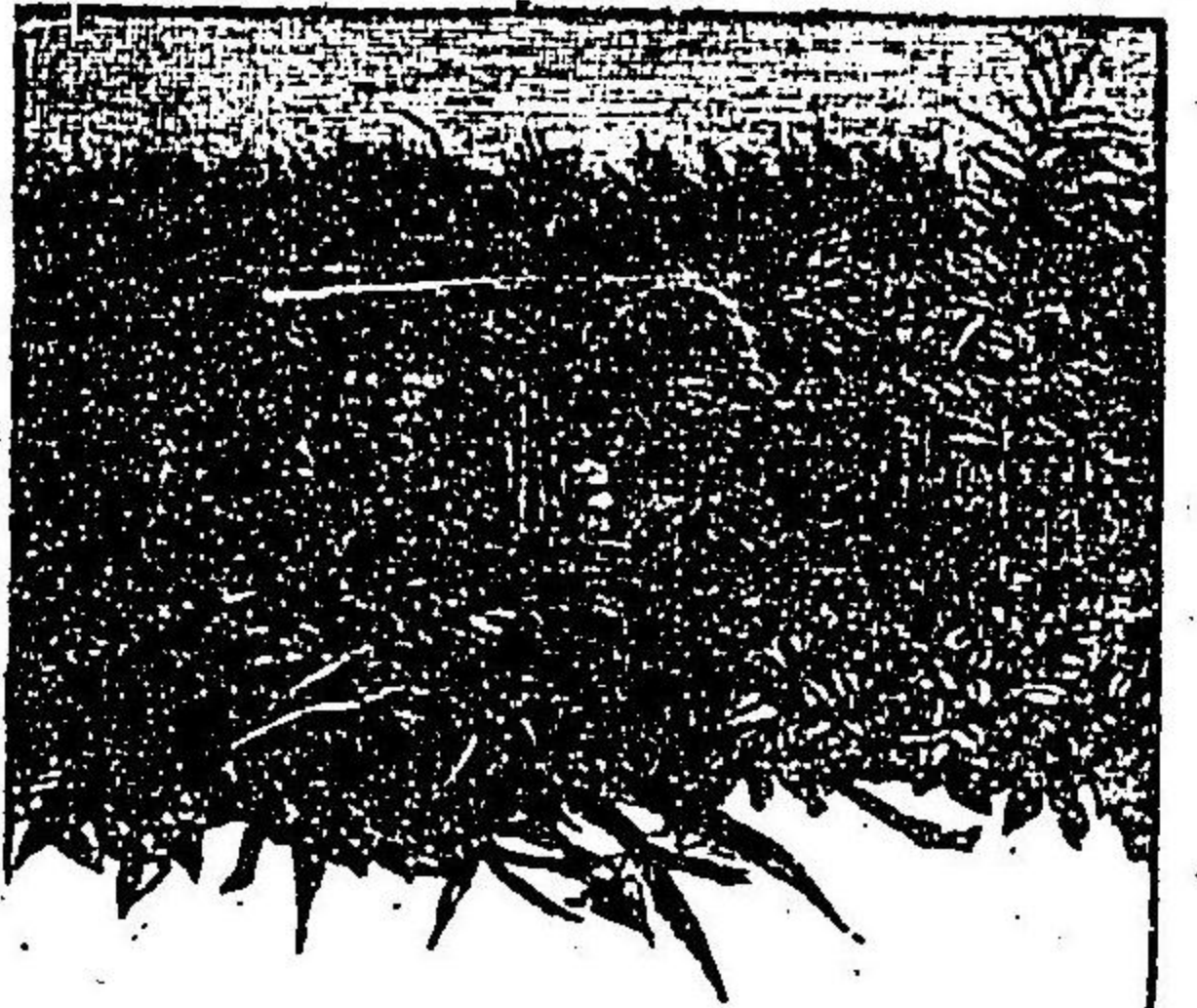


臺灣、北海道概括表

道	北海	臺灣	廳名	山地	勞	都邑	名地舊址	誌	天產物	製造物
	網走支廳 釧路支廳 浦河支廳 増毛支廳 空知支廳 小樽支廳 霧都支廳 函館支廳	臺東廳 阿蒙廳 蕃薯廳 鹽水廳 斗六廳 彰化廳 苗栗廳 桃園廳 新竹廳 基隆廳 宜蘭廳 花蓮廳 台東廳	檜山支廳 岩内支廳 札内支廳 上川支廳 室蘭支廳 河西支廳 根室支廳 宗谷支廳 稚内支廳	新高山 高山 シニウイ山 大屯山	淡水河 大肚溪 大突溪 下淡水溪 卑南大溪 秀枯巖溪	基隆 淡水 新竹 苗栗 桃園 彰化 鹿港 斗六 石壠 安平 打狗 牡丹 蘇州 媽宮	基隆神社 北投温泉 北投溫泉	基隆 淡水 安平 打狗 鹿港 彰化 鹿港 斗六 石壠 安平 打狗 牡丹 蘇州 媽宮	甘蔗 茶 米 ア ン ベ ラ 糖 金 石炭 硫黄 銅 飛魚	砂糖 樟腦 烏龍茶 ア ン ベ ラ 糖 工
	天谷嶽 石狩嶽 夕張嶽 芽室嶽 マツカリ嶽 ウラルマイ嶽 ウラス岳 駒勝岳 オプクアシケ岳 十勝岳 ムツカムレ岳 雄阿寒嶽 雄阿寒嶽 斜里山 真牛山	天谷嶽 石狩嶽 十勝川 湧別川 常呂川 沙流川	宗谷嶽 天谷嶽 石狩嶽 夕張嶽 芽室嶽 マツカリ嶽 ウラルマイ嶽 ウラス岳 駒勝岳 オプクアシケ岳 十勝岳 ムツカムレ岳 雄阿寒嶽 雄阿寒嶽 斜里山 真牛山	天谷嶽 石狩嶽 十勝川 湧別川 常呂川 沙流川	函館區 小樽區 札幌區 岩内區 室蘭區 河西區 根室區 宗谷區 稚内區	五稜 平取	函館 小樽 札幌 岩内 室蘭 河西 根室 宗谷 稚内	大豆 小豆 米 馬鈴薯 麥 稗 亞 米 石炭 硫黄 銅 飛魚 海豹 昆布 牡蠣 鹿角 鹿脂	製麻 麥酒 砂糖 枕木 鐵道 マンチ 軸木	

甘蔗畑の有様  
心示す

四宮港附近三  
十萬分一



附近より籐麻等を産す。

澎湖諸島

澎湖諸島は澎湖島漁翁

島白砂島の三島と他の數小島よりなり、城内山岳なく喬木を見ることなし。媽宮(馬)は我國南門の要地に位し、特別

我漂民を虚殺したる部落なり。

東部地方

卑南は卑南大溪の下流にありて此地方は猛悪なる生蕃所々に割據せるが故に内地の状況未だ詳にし難く宜蘭は東部の要地にして南方に蘇灣あり此



日本重要水產物一覽圖



開港場及海軍要港にして、澎湖廳を置き且要塞を設く、港内は珊瑚礁多きも水深くして船舶碇泊の便あり。

要 概

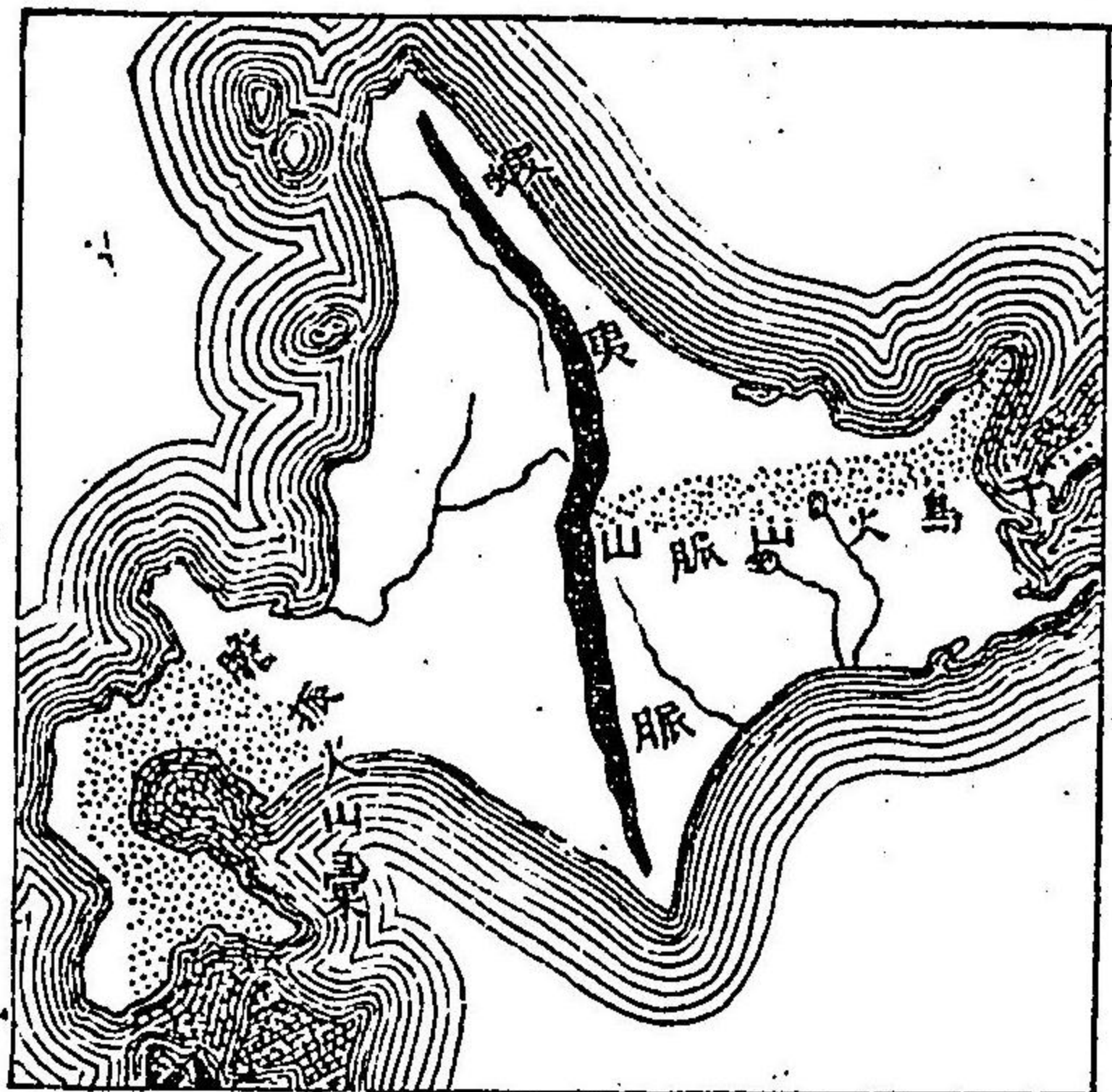
南部は熱帯に入り氣候暑くして熱病流行する處あり。樟腦は本島の特産にして世界産額の六分五を製出し砂糖烏龍茶亦多。米は一年に二回或は三回の收穫あり其他種々の熱帯植物繁茂す。

北海道

北海道は十州島即、渡島後志石狩天塩北見釧路白根十勝釧路根室と千島との十一國にして北海道廳之を管轄し更に十六分して各部に支廳あり。

**地形** 海岸單純にして殆、菱形をなし、北には宗谷岬野沙布岬あり、宗谷海峡を隔て、<sup>オホshima</sup> 樺太島と相對し、南は襟裳岬長く海中に突出し、西には渡島半島ありて北に内浦灣を抱き、東は知床岬納沙布岬突出し、根室海峡を挟みて千島

北海道地方の  
火山脈及  
山脈の  
方向を  
示す

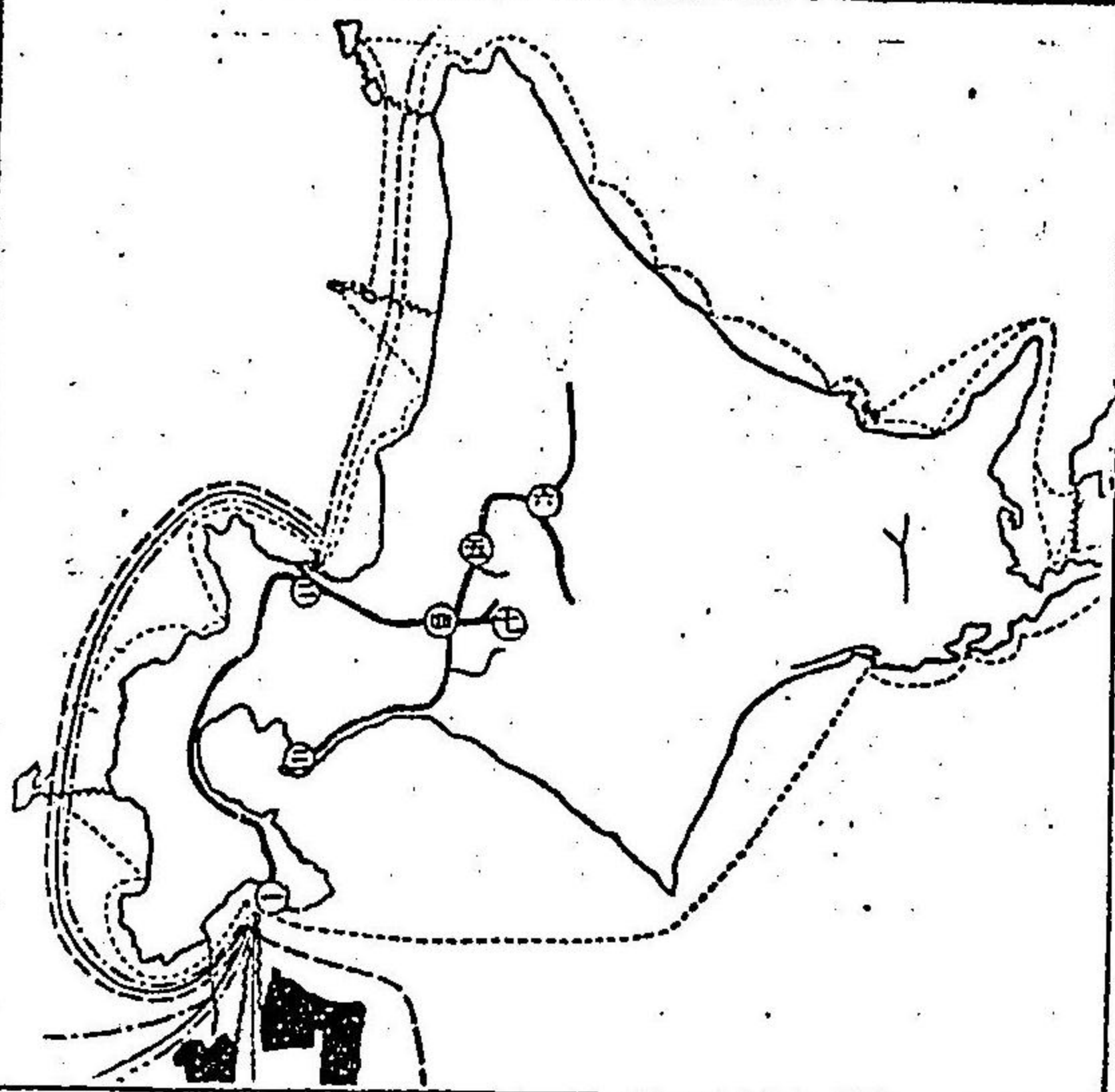


蝦夷山脈  
千島火山脈  
膽振火山彙

- 宗谷嶽 天鹽嶽 石狩嶽 夕張嶽 芽室嶽
- 良牛山 雄阿寒嶽 雌阿寒嶽 ヌタクカムウシベ
- 十勝嶽 オフタテシケ
- マツカリ岳 タルマイ岳 ウス岳 駒岳

諸島と相臨み、千島の北端は一帯の千島海峡を隔て、近くロシヤ領のカムチャッカ半島と相對せり。  
山脈は殆ど南北に連亘し、又東西に走れる火山脈あり、互に交叉して十字形をなし、西部にも亦一群の火山彙あり。

河流は此等の高地に分水せられて諸方に通ず、即ち石狩川、天鹽川は日本海に入り、湧別川、常呂川はオホーツク海に入り、十勝川、沙流川は太平洋に注ぐ、此等の沿岸は土地平坦にして、殊に石狩十勝天鹽の三平原は面積甚だ大なり。



**交通** 道路は山地を除く外、漸く發達し、鐵道も炭礦鐵道の室蘭線、幌内線、空知線等、石狩平原を縦横に走り、官設の上川線之と連接して、更に天鹽線、十勝線となり、其他北海道鐵道及短小なる二三の線路あり。

海運は神戸小樽東廻線横濱小樽西廻線日本海線沿岸線等

ありて各地を連絡し、又三條の海底電線によりて内地と連絡す。

**俗** 此地の主人をアイヌと稱し、體格偉大にして全身に毛多く、已嫁の女子は口邊に黥する習慣あり、性質魯鈍にして耕作を知らず、大抵漁獵を業とせり、衣は木の織緯にて造り、家は柱を土中に埋め茅を以て之を掩へり、現今人口漸く減少し、僅に一萬六七千に過ぎず。



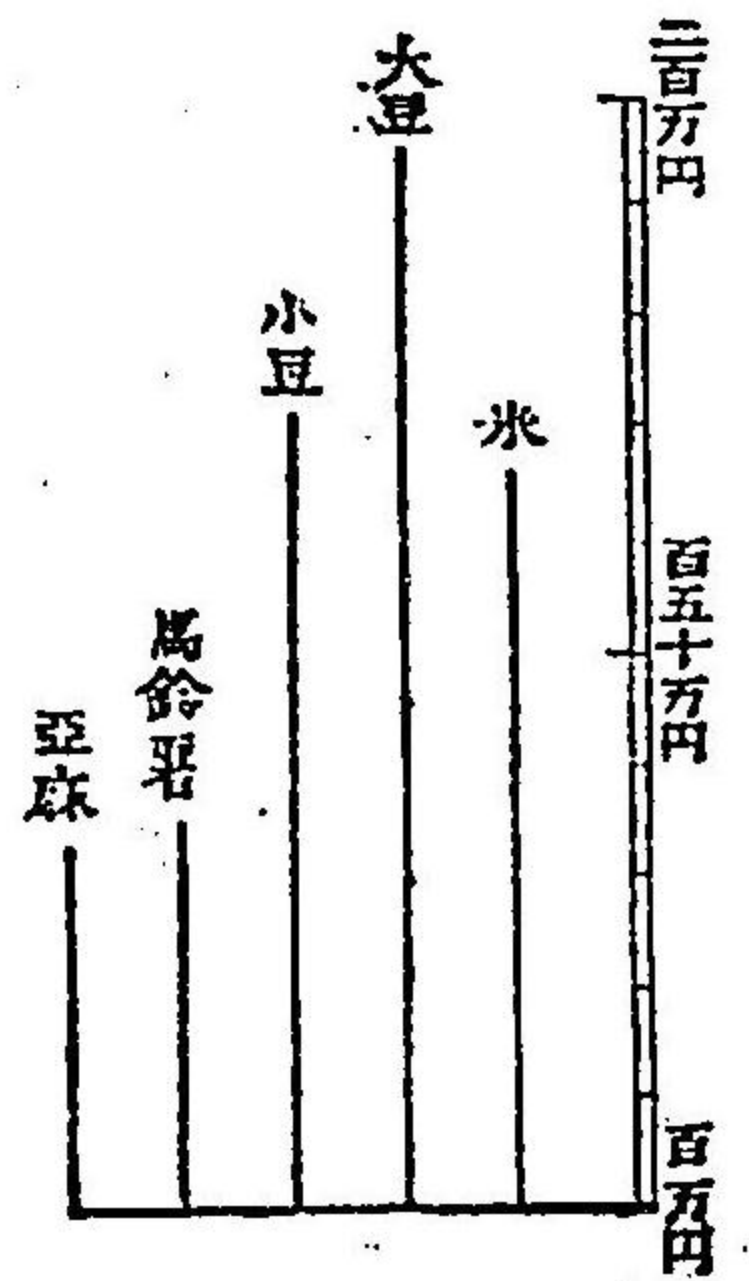
アイヌの男女と其住居を示す

ぎす。

**西部地方**

域内(石狩後志)は東境及半島部に山脈重疊すれども中部には廣漠たる二大平原あり。

石狩川は信濃川に次げる長流にして、雨龍空知江別豊平等の支流を合せて石狩灣に注ぐ上流には神居古潭の急流あれども、下流は小汽船の便を有し、河中は鮭を産し、流域は田野開けて農産に富む、天鹽川上流は人跡稀なる叢林なれど、下流の沿岸は有望なる開墾地なり。



北海道重要農産物の比較を示す

**函館(區)**は域内第一の開港場にして、支廳控訴院税關及外國領事館等あり、水産物硫黃石炭等の輸出多く、附近の五稜麻は戊辰の役に聞え、其外濠は所謂函館氷の産に名高し、北海道鐵道は函館に起り、牧場に名高き七飯を過ぎ内浦灣の要





一は天鹽に通ず。

天鹽川口の天鹽は昆布の取引多く、南方の増毛は鯨粕の積出多し、此邊の海上には鯨鱈昆布等を産す。

南部地方

域内千歳、網走、釧路は山脈南北に走りて平野を二分し、西境及北東境には火山甚だ多し。

室蘭は支廳所在地にして又開港場なり、水陸交通の衝に當り石炭の輸出多く、紋カニは砂糖製造盛なり、近傍に洞爺湖あり蝦夷富士の稱あるマッカリ岳其北方に聳ゆ。

沙流川流域にはアイヌ人の部落多く、平取は其中の最大なるものにして、源義經の祠と稱するものあり、新冠高原は馬の牧養盛にして、南方の浦河は支廳所在地なり。

襟裳岬はもと口蝦夷と奥蝦夷とを分ちし所にして之より西北は海岸彎

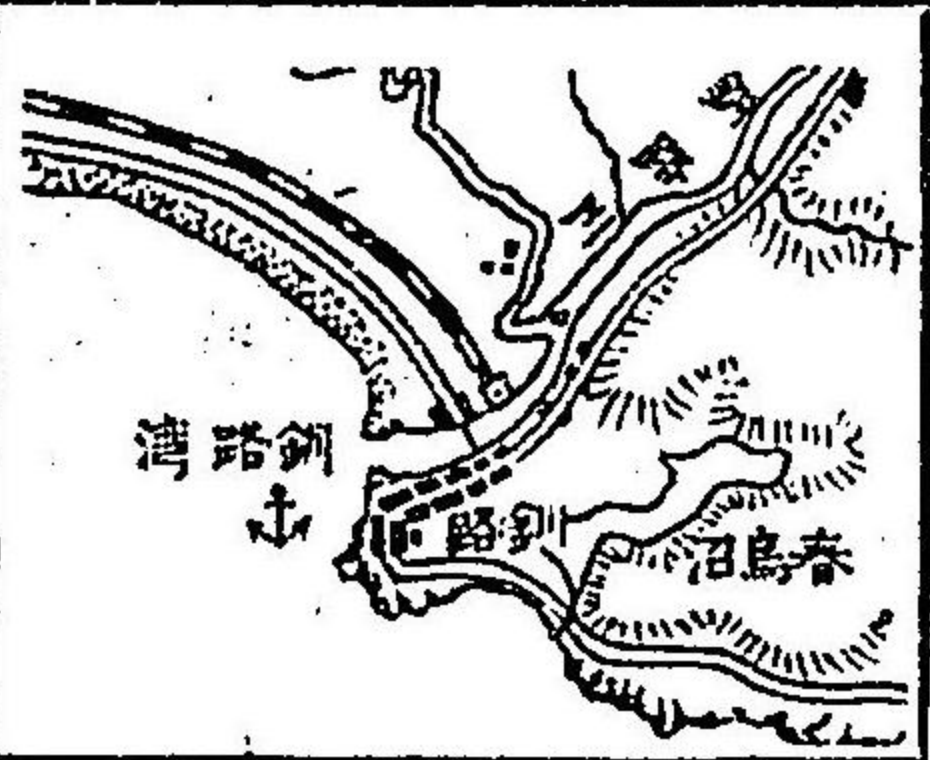
状をなして砂濱多く、海上には昆布鱈鱈等を産し、東北も亦彎状の砂濱にして海上は鱈鮭昆布鱈等を産す。

大津は十勝川口にありて、鮭漁に名高く、帯廣は十勝平原の中心に位し河西支廳の所在地なり。

釧路は釧路川口に位す、開港場の一にして、鐵道釧路線此より白糖炭田に通じ、硫黃山線は

上流の標茶より内地へ通ず、之れが終點たる跡佐登は硫黃の産を以て名ありし所なり。

厚岸は灣口に大黒島ありて風波の憂少けれども、海底淺く大船の出入に適せず、此灣内は牡蠣の産甚だ多し、花咲は根室と相背し、根室灣氷結の際此より荷揚するを常とす。



釧路港附近  
(二十萬分、二)

北東部地方

域内〔北見〕は山脈西境を亘り、火山脈南部にあ  
りて海岸のみ稍平坦なれども、砂丘沼澤多く、風連湖網走湖  
能取湖猿轡湖等其重なるものなり。

根室は支廳所在地にして又東部の要港なり、辨天島前に横  
りて風波を防けども、海底淺く且冬季氷結の不便あり。

根室海峡はガスといへる濃厚なる海霧  
多く、航海危険なり、其北方に突出する知  
床半島には硫黄を産す。

北見の海岸は冬季風波荒く、且氷  
結の虞ありて舟行全く絶ゆ、網走  
は支廳所在地にして夏季船舶の  
出入多く、枝幸は砂金の産を以て



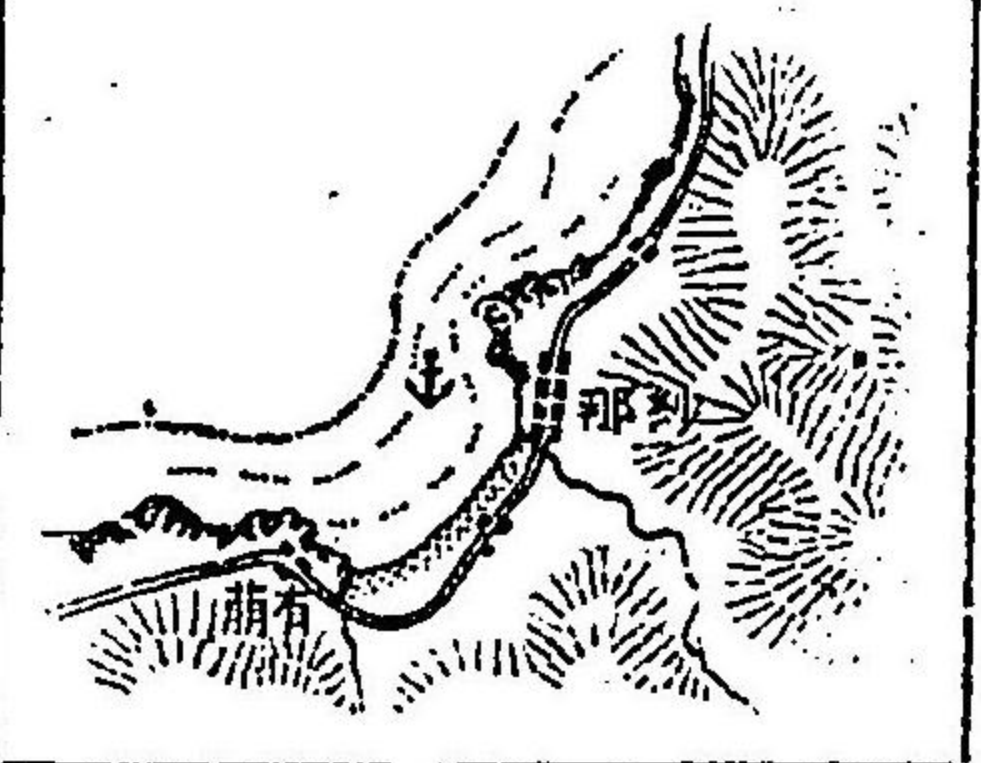
枝幸に於ける  
砂金採收場の  
有様なり

三 重	千 葉	全 額	北 海 道	示 す	水 産 物 價 値 の 比 較 百 分 率 を 示 す	秋 田	新 潟	兵 庫	鹿 島	北 海 道	全 額	金 産 額 の 比 較 百 分 率 を 示 す	砂 那 附 近	一 〇
一 一 五	一 〇 八	一 三 四	一 〇 八	一 〇 八	一 〇 八	二 六	九 二	三 二	一 〇 五	一 〇 五	一 三 四	一 〇 八	二 〇	一 〇

名高し、稚内は漁獵の一中心にして、西方の海上に禮文島利  
尻島等あり、此邊亦漁利多し。

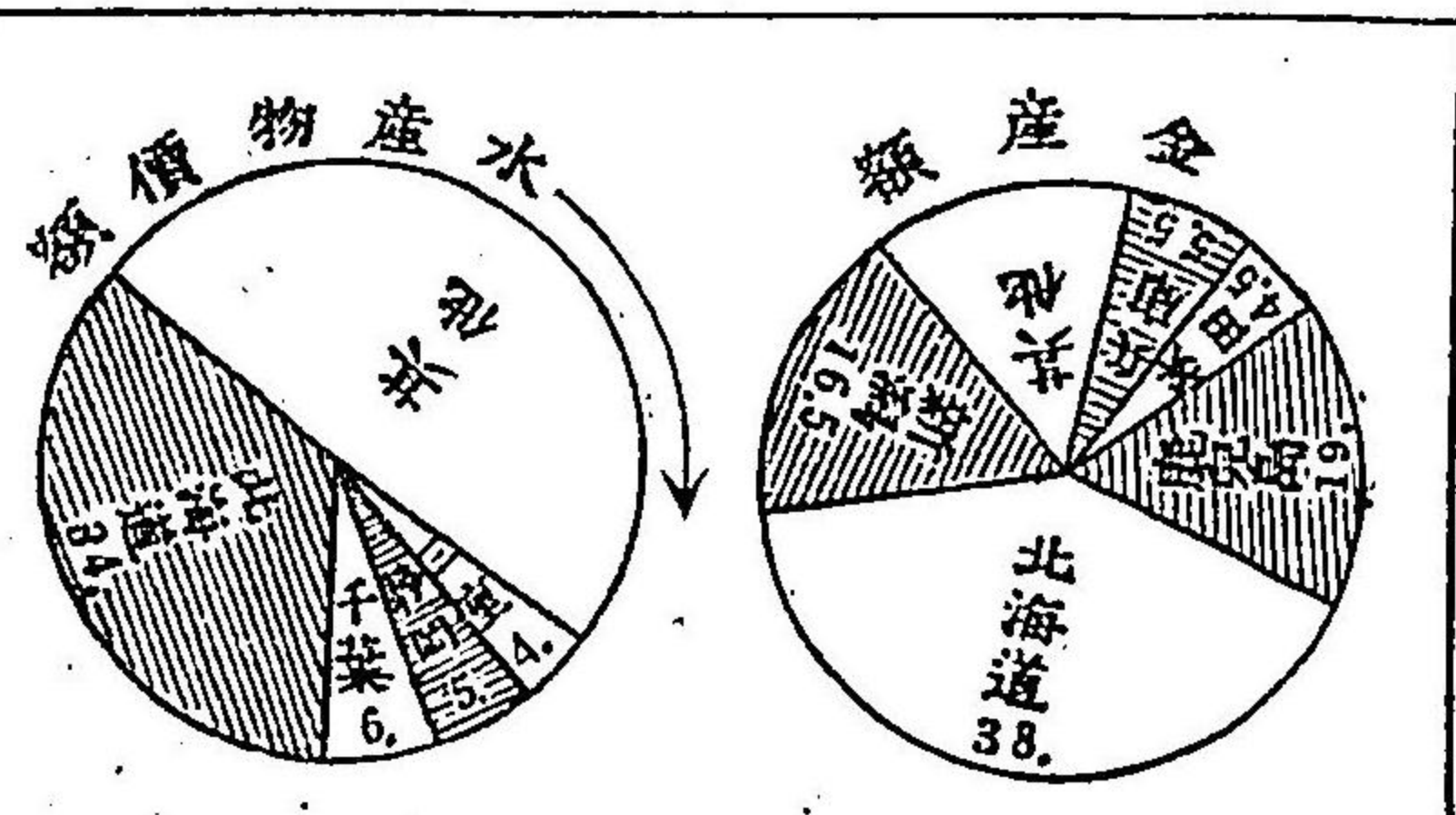
千島地方

千島は三十余の島嶼より成り、平地少く耕作  
に適せず、海岸は風波荒けれども、鯨海豹臘虎膾肭獸鱒鯨鮭  
等の産あり、國後島には爺嶽



聳え、南に泊村の碇泊地あり、  
色丹島の斜古丹亦良泊なり  
擇捉島は列島中最大にして  
紗那は舟泊の要地とす、得撫

島は以北の諸島と共に近時樺太島と交換  
して我が領土となりたる所にして、新知捨  
子古丹、恩稱古丹、幌筵、占守、阿頼度等の諸島



之より東北に點在せり、占守島は本邦の東端にして、千島海峽を隔て、カムチャッカ半島と相對し、阿頼度島は本邦版圖の最北端とす。

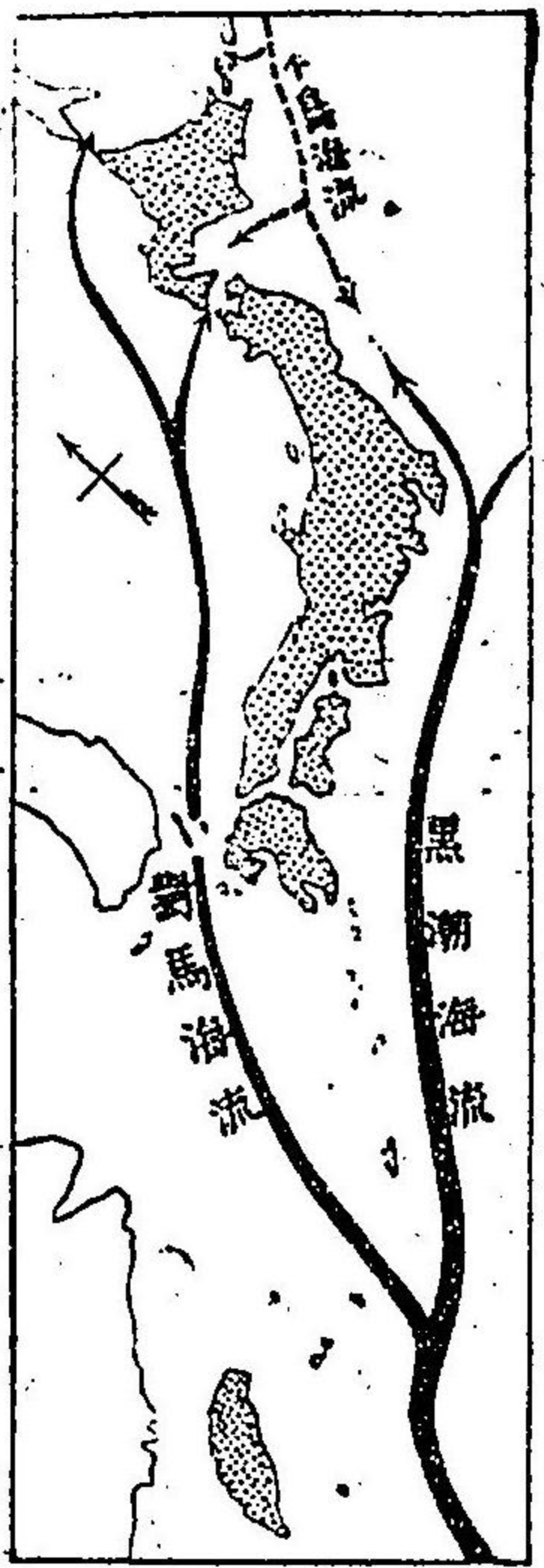
要 概

農業益盛にして大豆小豆馬鈴薯菜種黍は共に全國第一なり。  
鑛産多く金硫黃滿俺の産は全國第一に位し、石炭は福岡縣に次ぐ。  
鮭、鱒、鱈、昆布等の産多く水産類は全國第一なり。

近 海 誌

本邦は一群の島國にして、出入共に海によらざるべからず、海は國際上の慣例により、海岸より凡三里以内を其國の領海となす定なれば、海面に於ける我範圍は甚だ廣し。海水は一日に二回の昇降あり、之を潮汐といひ、新月満月の時は此差最も著し、又恰も河の如き流動系あり、之を海流と

本邦近海に於ける海流の流路を示す



いひ、流走の方向により寒暖の二種とす、本邦四近にあるもの左の如し。

黒潮海流 臺灣の東岸を過ぎ九州四國等の東南を流る。

對馬海流 黒潮海流より分れ、日本海を流れて北海道に達す。

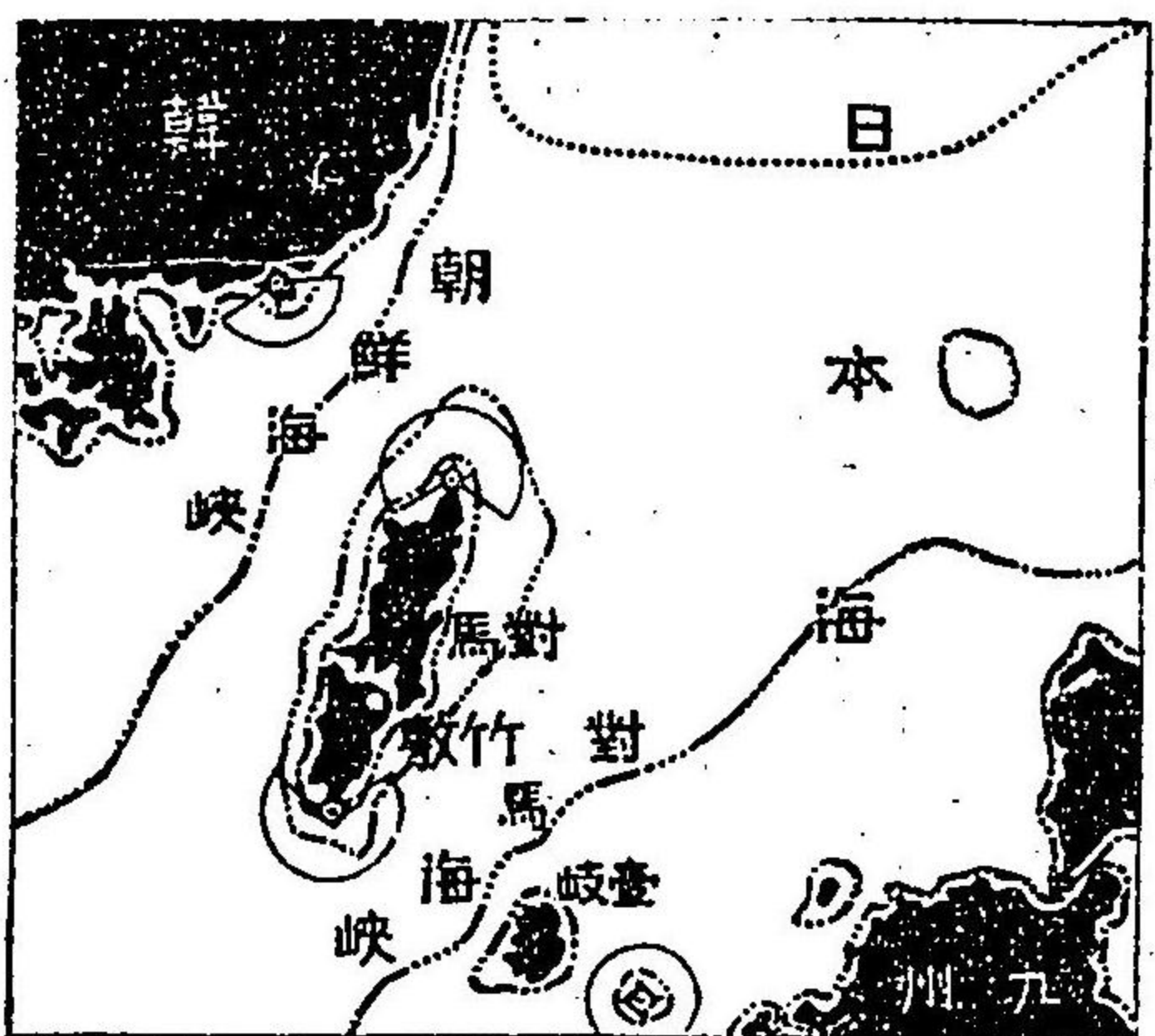
千島海流 千島諸島を洗ひ、本州の東岸に至りて消滅す。

海流は水生生物と密接の關係ありて、暖流には鯉、鱈等の産多く、寒流には鱒、鮭、昆布等の産多し、又海水中に含める鹽分は食鹽の料となり、人民の産業に與ふること多し。海は邦土を離隔するが如きも、其實は却て連接せしむるものにして、交通上の利便頗多く、國運の進歩は海の媒介によ



海峡は、東京灣の關門にして船舶の往復繁きも、海防上最要の地點なれば、觀音岬、富津洲には砲臺を設け、津輕海峡は、太平洋と日本海との咽喉に當り、大湊には水雷團を置き、函館には要塞の設あり、オホーツク海は、夏季霧多く、冬季風強く、且其一部は氷結の憂ありて不便多く、日本海は、裏日本航通の

要路なれども、冬季は風荒く波高き缺點あり、此肢節朝鮮海峡及對馬海峡は、共に軍事上重視せらるゝ所に於て、中間に竹敷要港あり。東海は屢颶風襲來の虞あれども、東亞航通の要路に當り、船舶の來往常に多く、其南端臺灣海峡は、我邦の南門に位し、



朝鮮海峡と對馬海峡との深を示す  
四 二 一  
〇〇〇 五〇〇 尊尊尊

媽宮要港ありて之に備ふ。

瀬戸内海は全く我領海に屬し、海上には幾多の島嶼散點して風景描くが如く、沿岸は所謂瀬戸内十州と稱し、製鹽の業盛なり、下關海峡は此西門に當り、由良海峡、鳴門海峡は共に東門に當るを以て、何れも要塞の設けあり、

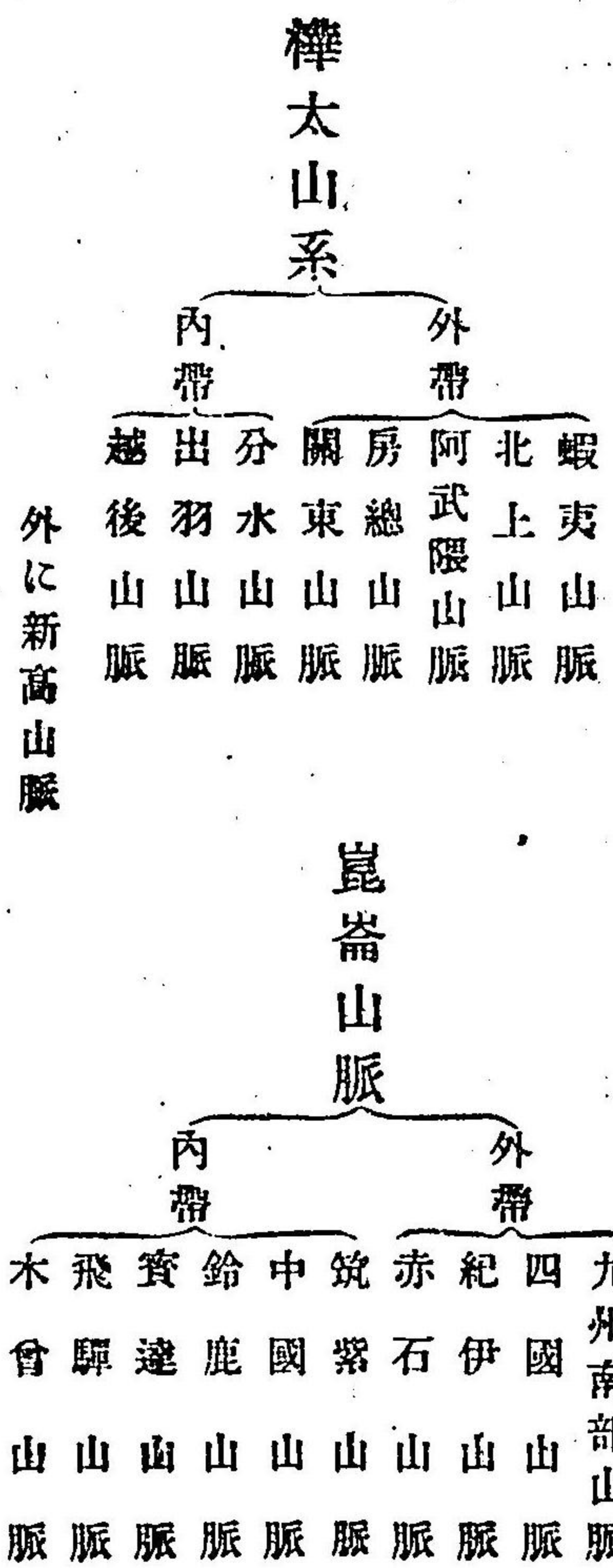
斯く海は無限の財源を供し、至便の交通路となり、且陸地の限りあるに反し、海上には殆りなく權力を擴張し得べきを以て、海國の人民は之を利用して益國權を擴張する覺悟なかるべからず。

括論

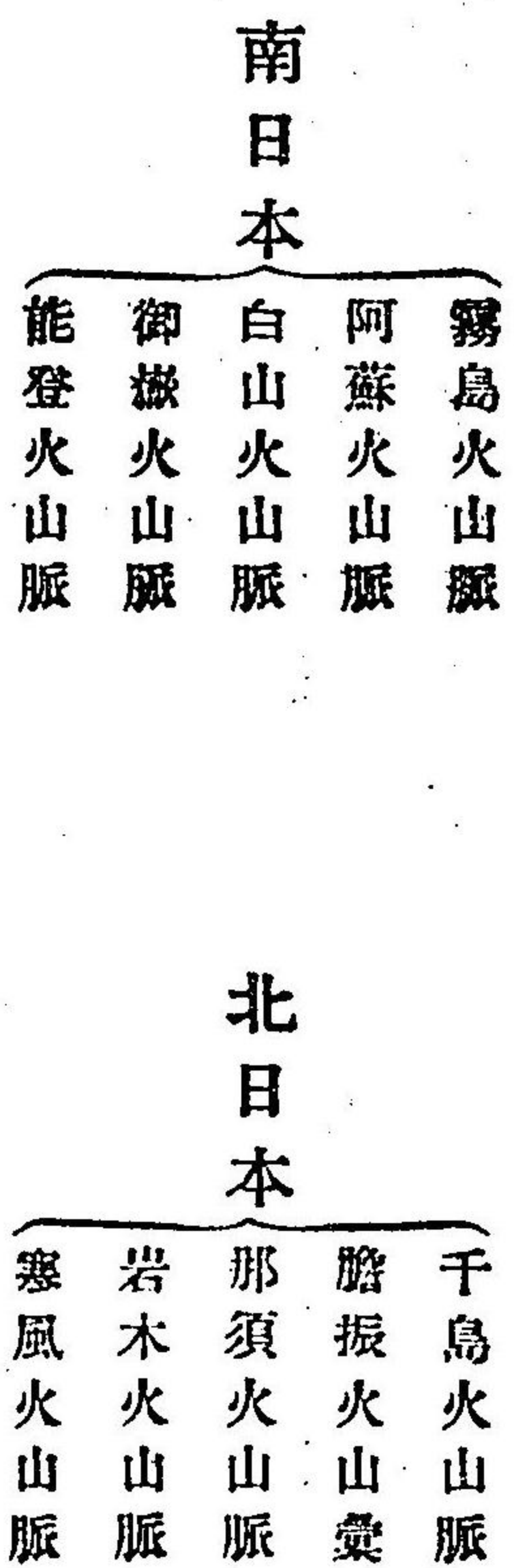
地形及近海

我國は樺太(日本)、崑崙(日本)、崑崙(日本)の兩山系、脊骨状をな

して縦貫す、樺太山系は樺太島より北海道を経て奥羽に亘り、崑崙山系は清國より九州に來り、四國中國及近畿を過ぎ共に本州中部に於て相會す、其凸面を表日本(帶外)と稱し、凹面を裏日本(帶内)と稱す、此兩山系に屬する主要の山脈左の如し、



此他兩山系の結合地に富士火山脈あり、以て北日本と南日本とを分ち、數多の火山脈、此中を亘れり。



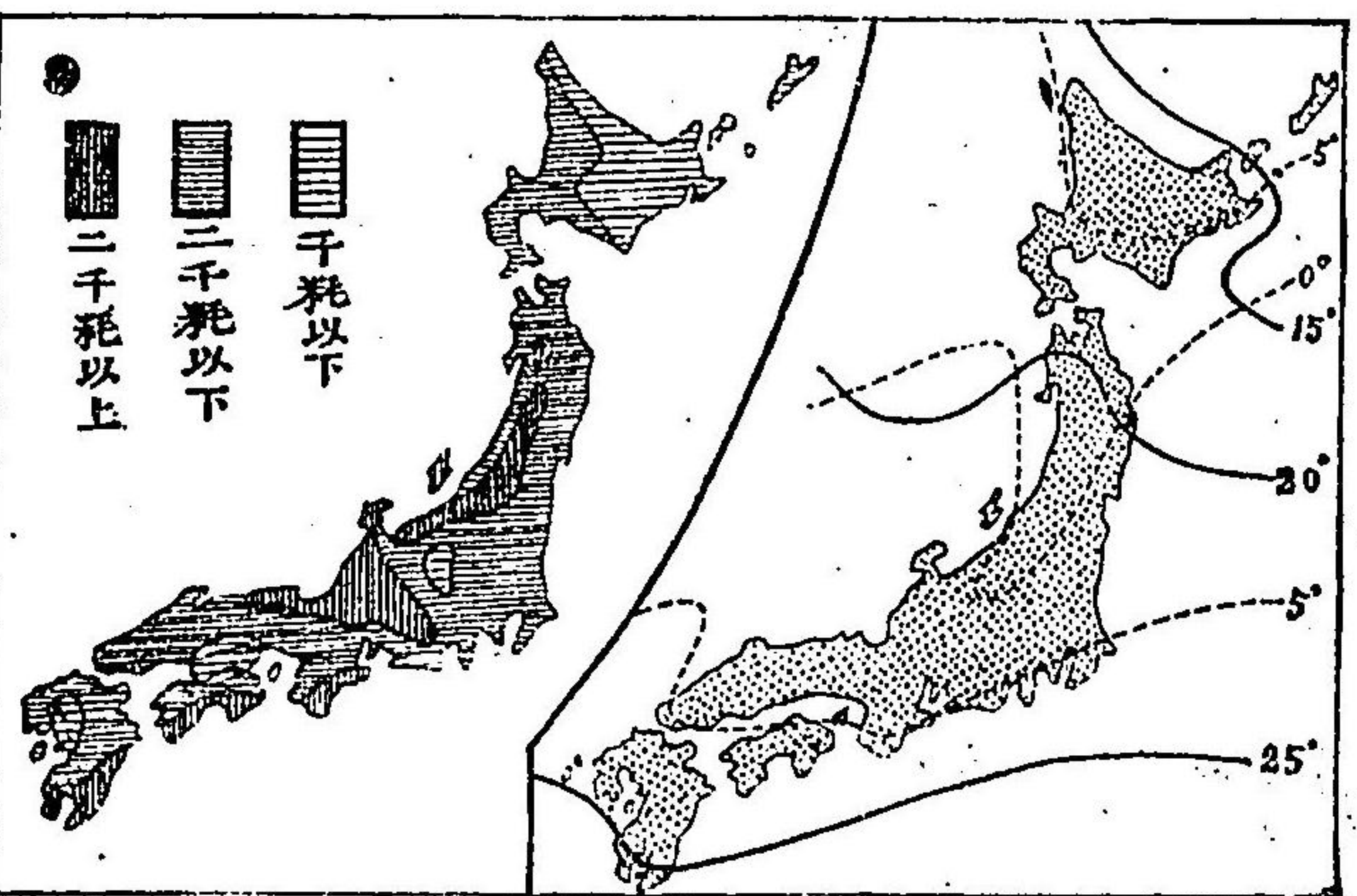
斯く山脈錯雜し、又火山に富めるが故に、峻岳峭峯到る處に聳峙す、されば河流の長大なるもの少く、又平野の廣漠たるもの稀なりと雖、舟筏灌漑の便に富み、五穀百果の産饒し。我國の沿岸は屈曲島嶼多く、且海面は北海道の一部の外は嚴冬と雖氷結せざるが故に航行の便多く、又海流ありて氣候生産等に影響を及ぼすこと大なり。

氣候及天産

我國は大部分温帯にあるが故に、氣候概温

右は本邦の夏  
冬雨季に於ける  
同温線に於ける  
左圖は雨量の  
分布を示せる  
ものなり

和なれども、地形南北に狭長なるを以て自、差異あるを免れず、されど温度は獨り緯度のみに由らず、山嶽、海流、風向等にも關するを以て各地甚だ錯雜せり、雨量も亦地勢、風向等によりて相異り、即、夏の風は概、南東より吹き、冬は北西より吹く、故に夏は太平洋面より濕氣を運びて表日本は雨多く、之に反し冬は日本海上の濕氣を齎して裏日本は雪深し、此兩風變化の時期、即、初夏には梅雨となりて陰霖連日に亘り、晚秋には颶風、暴雨の襲來屢なり、斯く各地季候、風土の差あるを以て、自、天産物の種類



を異にせり。

南部

榕樹、椰樹、鳳梨

水牛、豹、ハブ、信天翁等

中部

松、杉、檜、樅

兎、鹿等

北部

榎、松、蝦夷、松、白楊

熊、鹿、虎、膾、舘、獸等

生物は斯く各地特有のものなきにあらざるも、全土概、米、麥、諸穀の成熟に適し、山林は良材を産し、河海は魚族多く、地中は礦物に富み、加ふるに鶯、杜鵑の耳を樂ましめ、蝶、螢の目を喜ばしむるものありて、東洋、樂園と稱せらるゝ亦宜なり。

生産及産物

天産物の種類により自、人民の生業相異り、農業、林業、牧畜業、水産業、鑛業及工業等の別あり。

農業

農は古來我邦の大本たるを以て農産物殊に多く、今之を別ちて食料品及原料品となす。



日本重要林産物一覽圖

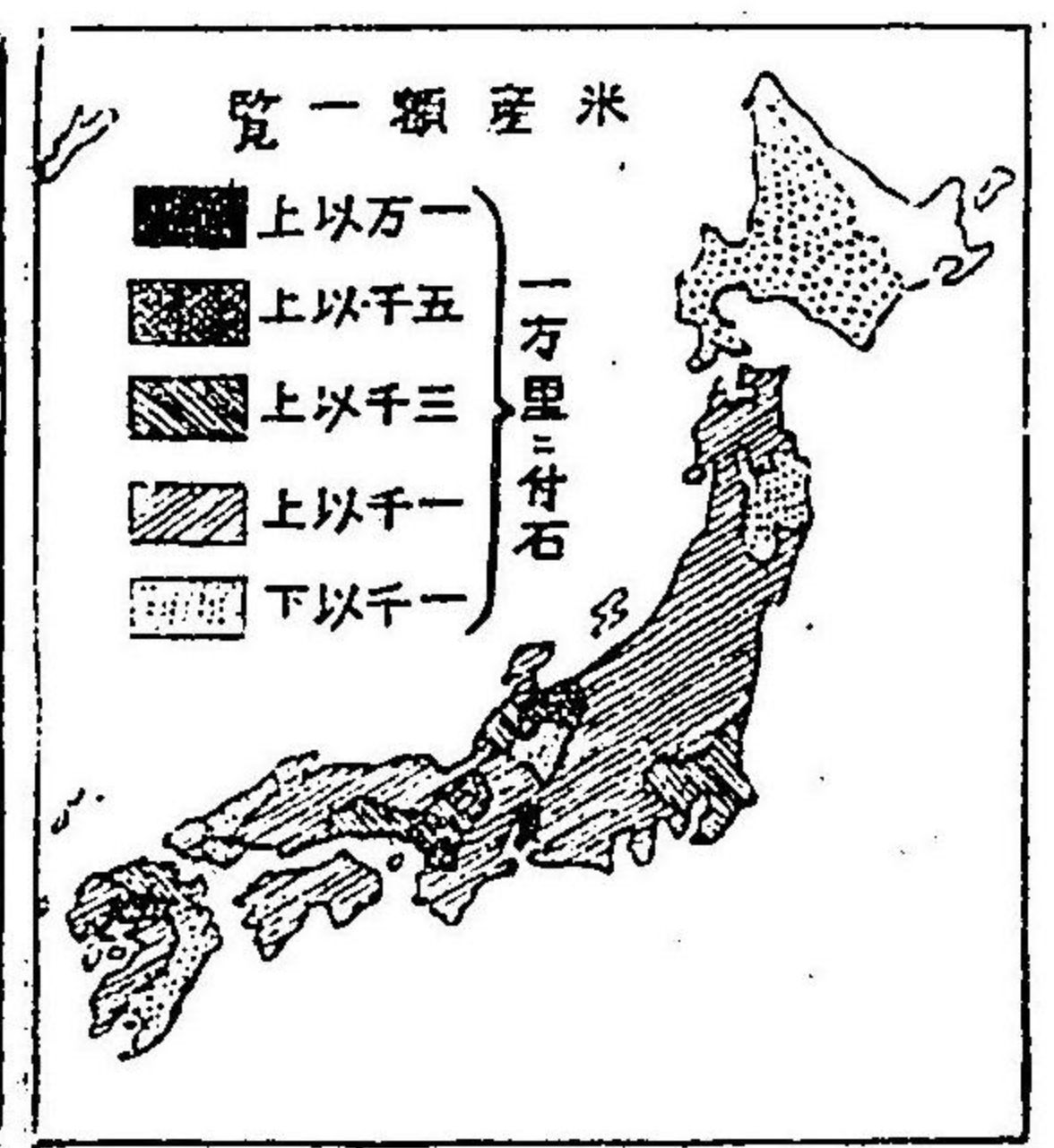


右圖は二方里に於ける米收穫に於ける多少を示し左圖は一方里に於ける多少を示す

括論

山林業 我國は樹木の繁殖に適するを以て、鬱蒼たる森林多く、其反別三千三百萬町歩に

原料品		食料品								
烟草	藍	大麻	砂糖(甘蔗)	綿	茶	繭(桑)	粟	大豆	麥	米
(九三〇貫)	(二五六〇貫)	(二九〇貫)	(三七〇〇貫)	(四九〇貫)	(三〇〇貫)	(三六〇石)	(三〇〇石)	(四〇〇石)	(二〇〇石)	(四〇〇石)



及び、主要なる産物左の如し。(林産一覽)

工業用 松<sup>1</sup>杉<sup>2</sup>樅<sup>3</sup>檜<sup>4</sup>檜<sup>5</sup>檜<sup>6</sup>樺<sup>7</sup>樟<sup>9</sup>桐<sup>11</sup>白楊<sup>14</sup>梅<sup>14</sup>蝦夷松<sup>16</sup>堰

主産物

松<sup>17</sup>琪<sup>17</sup>楠<sup>17</sup>樹<sup>18</sup>トド松

薪炭用 檜<sup>10</sup>等

樟腦<sup>5</sup>五六萬貫 檫蠟<sup>12</sup>二三〇萬圓

副産物

漆汁<sup>8</sup> (四萬貫) 椎茸

牧畜業

本邦は西洋諸國の如く古來肉食毛衣ならざりしを以て、牧畜未だ振はざれども、近來肉及乳の需用漸く増加し、從て牧畜稍、進歩せり。

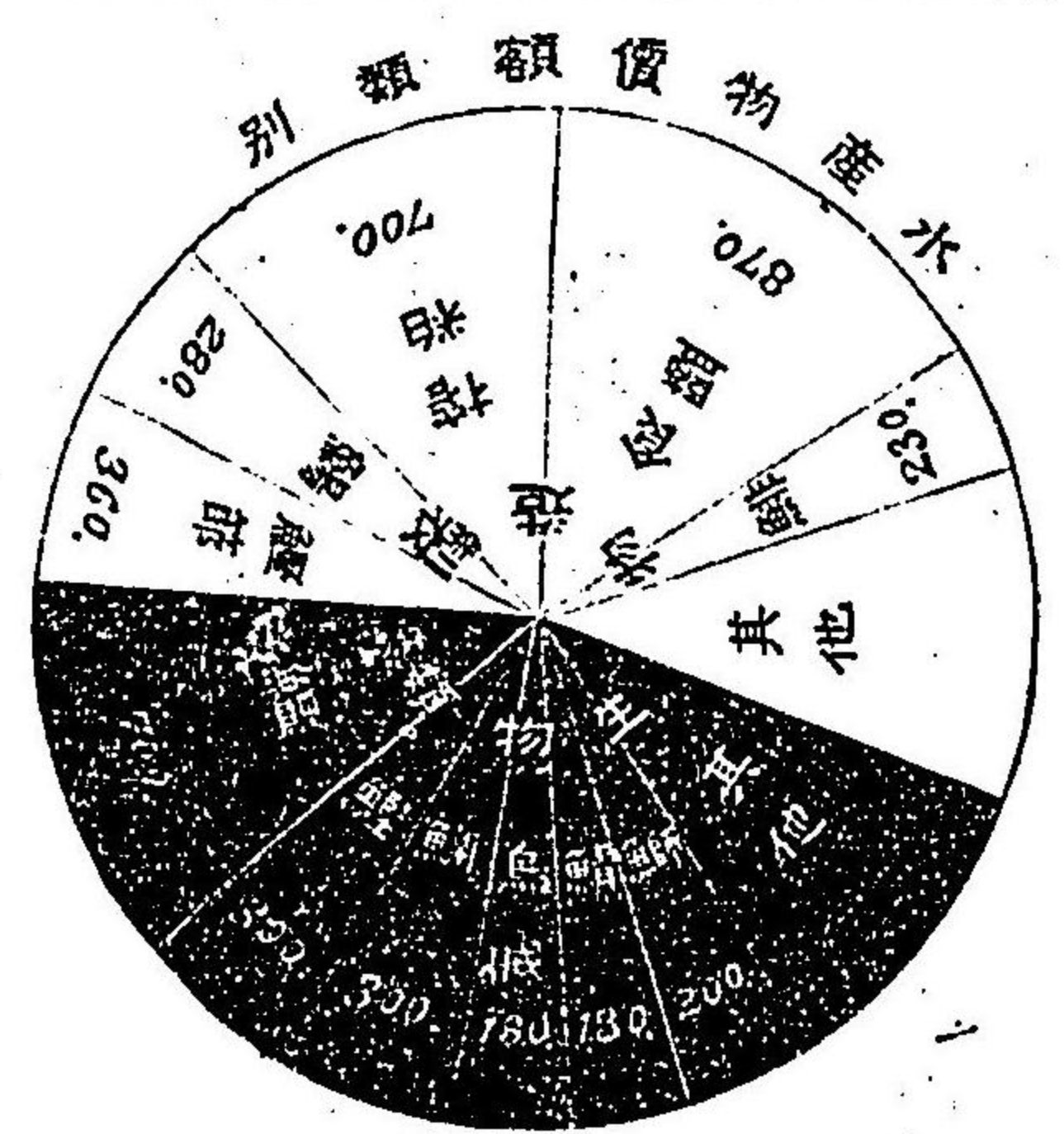
牛(二三〇萬頭) 馬(一五〇萬頭) 豚(二〇萬頭)

此外臺灣沖繩等にては山羊を飼養し臺灣にては水牛を飼養す家禽は房總及中國地方に稍行はる。

水産業

本邦は四面海に圍まれ、寒暖二種の海流は近海

を流るゝを以て、許多の魚介苔藻を産し、沿海甚だ好漁場に富み、殊に北海道及房總沿岸の如きは世界屈指の豊漁場たり水産物中重なる種類は左の如し。(水産物一覽)



より得る食鹽は其量甚だ多く、約六五〇萬石に及ぶ。  
**鑛業** 本邦の地體は各種の鑛物を包藏し、其探掘年々増加す、採鑛の主なる種類は左の如し。

魚類 鮭<sup>1</sup> 鱈<sup>2</sup> 鱒<sup>3</sup> 鰻<sup>4</sup> 鰯<sup>5</sup> 鰱<sup>6</sup> 鰪<sup>7</sup> 鰻<sup>8</sup> 鰻<sup>9</sup> 鰻<sup>10</sup> 鰻<sup>11</sup> 鰻<sup>12</sup> 鰻<sup>13</sup> 鰻<sup>14</sup>

海獣 鯨<sup>15</sup> 海馬<sup>16</sup> 海豹<sup>17</sup> 海狗<sup>18</sup> 海熊<sup>19</sup>

介虫 蛤<sup>20</sup> 蛤<sup>21</sup> 蛤<sup>22</sup> 蛤<sup>23</sup> 蛤<sup>24</sup> 蛤<sup>25</sup> 蛤<sup>26</sup> 蛤<sup>27</sup> 蛤<sup>28</sup> 蛤<sup>29</sup> 蛤<sup>30</sup> 蛤<sup>31</sup> 蛤<sup>32</sup> 蛤<sup>33</sup> 蛤<sup>34</sup> 蛤<sup>35</sup> 蛤<sup>36</sup> 蛤<sup>37</sup> 蛤<sup>38</sup> 蛤<sup>39</sup> 蛤<sup>40</sup> 蛤<sup>41</sup> 蛤<sup>42</sup> 蛤<sup>43</sup> 蛤<sup>44</sup> 蛤<sup>45</sup> 蛤<sup>46</sup> 蛤<sup>47</sup> 蛤<sup>48</sup> 蛤<sup>49</sup> 蛤<sup>50</sup> 蛤<sup>51</sup> 蛤<sup>52</sup> 蛤<sup>53</sup> 蛤<sup>54</sup> 蛤<sup>55</sup> 蛤<sup>56</sup> 蛤<sup>57</sup> 蛤<sup>58</sup> 蛤<sup>59</sup> 蛤<sup>60</sup> 蛤<sup>61</sup> 蛤<sup>62</sup> 蛤<sup>63</sup> 蛤<sup>64</sup> 蛤<sup>65</sup> 蛤<sup>66</sup> 蛤<sup>67</sup> 蛤<sup>68</sup> 蛤<sup>69</sup> 蛤<sup>70</sup> 蛤<sup>71</sup> 蛤<sup>72</sup> 蛤<sup>73</sup> 蛤<sup>74</sup> 蛤<sup>75</sup> 蛤<sup>76</sup> 蛤<sup>77</sup> 蛤<sup>78</sup> 蛤<sup>79</sup> 蛤<sup>80</sup> 蛤<sup>81</sup> 蛤<sup>82</sup> 蛤<sup>83</sup> 蛤<sup>84</sup> 蛤<sup>85</sup> 蛤<sup>86</sup> 蛤<sup>87</sup> 蛤<sup>88</sup> 蛤<sup>89</sup> 蛤<sup>90</sup> 蛤<sup>91</sup> 蛤<sup>92</sup> 蛤<sup>93</sup> 蛤<sup>94</sup> 蛤<sup>95</sup> 蛤<sup>96</sup> 蛤<sup>97</sup> 蛤<sup>98</sup> 蛤<sup>99</sup> 蛤<sup>100</sup>

海草 昆布<sup>35</sup> 荒布<sup>36</sup> 和布<sup>37</sup> 鹿角菜<sup>38</sup> 石花菜<sup>39</sup> 海苔<sup>40</sup> 等

此等の水産物は更に製造して、肥料・魚油・鹽物・乾物等となし又海水

銅(四三〇〇萬斤) 金(五六〇貫) 銀(一五〇〇貫)

石炭(七七〇萬貫) 硫黃(二三〇〇萬斤)

本邦は火山に富めるが故に花崗岩凝灰岩等は各地に産し其他石灰岩亦多し。

**工業** 各種の生業により收得したる原料に人工を加ふるを工業といひ、其産物種々あり。

蠶絲(二五〇萬貫) 綿絲(三二〇〇萬貫)

織物	絹織	綿織	麻織
(二五〇〇〇萬圓)	七四五〇萬圓	五三七〇萬圓	一四六〇萬圓
	三三七〇萬圓		

織物は斯く原料の異なるのみならず、織法も亦異なるが故に種々の名稱を異にす、今本邦製品中主なる織物を

日本重要陶磁器一覽圖



括論

舉ぐれば左の如し。

絹 羽二重 奉書袖 甲斐絹 糸織 袖(銘仙) 斜子 山繭織  
 八丈 博多織 仙臺平 縮緬 絨織 透綾 一樂織 縹子 綾  
 繪子 風通 緞子 縹珍 金燭 錦 木綿織 小倉織 雲齋  
 織 紋羽織 フランネル メリンス 羅紗 麻織 芭蕉布 葛布

陶磁器 (六六〇萬圓)

陶磁器は産地の異なるに従ひ其原料たる陶土同じからず、且多少製法の異なるが故に、各地特色多し、其主なるものは左の如し(陶磁器一覽圖参照)

相馬焼 會津焼 無名異焼 瀬戸焼 常滑焼 七寶焼 犬山焼  
 萬古焼 伊賀焼 美濃焼 信樂焼 九谷焼 清水焼 粟田焼  
 出石焼 淡路焼 伊部焼 萩焼 出雲焼 砥部焼 高取焼  
 有田焼 大河内焼 三河内焼 高田焼 薩摩焼